

## 復社姓氏校録附復社紀略

井上 進

復社は従前のいかなる「黨」とも異なり、自らその成員名簿を公開した。復社同人の制藝總集『國表』姓氏がこれである。固より社稿姓氏を以て即ちに完全な名簿とみなすことには無理があり、ここにその名の見えぬことが、そのまま復社の成員ではなかったことを意味する、とは言いきれない。傳狀の中では復社に加入して活躍した、などと記される人物が、現存する名簿には見えぬこともままあるし、第一、張溥とともに復社を創設した張采からして、やはり現存名簿には載っていないのである。また社稿姓氏にその名を載せられることが、即ちに復社の「正式」成員であることを意味するかどうか、疑って疑えなくはない。復社は、言うまでもないことながら、近代の政黨、結社ではなかった。従ってその成員となるということが、何によって「正式」に確認されるのかは、實の所、頗る曖昧だからである。だがどの様な留保をつけるにせよ、復社成員の名簿が復社研究の基本史料であることに變りはなく、これによってのみ復社という新たな運動を擔い、青年時代の黃宗羲や顧炎武とともに活動した人物群の詳細を知りうるのである。復社の成員名簿を出来る限り正確なものとすることは、小にしては復社史、大にしては

明末の社會、政治、文化を研究する上で、一定の意味をもちうるに違いない。

復社の社稿『國表』は、今では完全に失なわれてしまったらしく、傳存するという話は絶えて聞かない。また何度か舉行された大會の際に作成されたという名簿も、その原本は夙に佚亡してしまつた様である。だがこれらをもとにした『復社紀略』中の姓氏、吳翮の『復社姓氏錄』、吳應箕の『復社姓氏』は現存し、これによって復社の成員は、ほぼその全體を把握することが可能なのである。これら三書の概要、特徴については朱希祖『明季史料題跋』、謝國楨『增訂晚明史籍考』の關係部分に譲り、ここでは改めて述べない。ただ問題は版本である。吳應箕の『姓氏』は早く崇禎中に刊行され、康熙重刊本もあったというが、現在目にしうる刊本は民國刊貴池先哲遺書本しかなく、吳翮の『姓氏錄』が刊行されたのは道光中、『復社紀略』は光緒中の國粹叢書本が最初の印本である。つまり現在の通行各本はかなりの期間をほぼ傳鈔のみに頼ってきたのであり、當然そこには少なからぬ誤りが含まれている。しかも個有名詞を連ねた姓氏の場合、形音の相似等によって生ずる訛誤は、文義、内容に

よって校訂することは愚か、それが訛誤であるかどうかの判定さえ、一義的には不可能と言えるであろう。かくして姓氏の校訂においては、一般の書にもまして舊本、そして何より他書との比較が必須なのである。姓氏全體の検討が一向になされず、また恐らくは唯一公表された校訂への努力、蔣逸雪「復社姓氏考訂」(『張溥年譜』附録、一九八二、齊魯書社)も、率直に言ってみるべき成果なく終ったのは、この點に困難があったからであろう。本録はどうか。幸いにも舊本の方は以下に記す數本が得られたし、他書についてもかなりの方志を利用できた。固より査閲すべくして遂にかなわなかつた方志も一二に止まらないし、また史傳、筆記、別集、總集等の利用は、遺憾ながら甚だ不十分である。更に史料的な問題を除いても、自らの及ばざるを感じた所は少なくない。即ち解決すべき、或いは解決しうる問題はなお數多く残されているのである。だがどれほど不十分、不完全なものであっても、ともかく「校」と稱しうる所までは行った、と信ずるし、少なくとも實用的な面では、何ほどの便宜を提供しうるであろう。この一篇に敢えて「復社姓氏校録」と名づけた所以である。本録が利用される中で、その誤りや不備が訂補されていくことを期待したい。

本録に用いた姓氏の諸本とその概要は次の通り。

『復社姓氏目錄』存前卷 惠氏紅豆齋鈔本 北京圖書館藏

張鑑『冬青館甲集』五、答震澤吳愚甫書に「蒙示所言貴池本、家有

舊藏惠紅豆齋傳鈔前後兩卷、……係次尾(吳應箕)先生子孟堅訂刻者」とある一本の殘本であろう。この本をここで利用しえたのは、ひとえに社會科學院近代史研究所の劉志琴教授と歴史研究所の樊克政教授のおかげである。北京圖書館が藏する善本を外國にいて利用しようなどというのは、まず馬鹿げた妄想に過ぎないのであるが、劉教授の特別なはからいにより、樊教授が親しく貴池先哲遺書本と對校する勞を執られ、その校本を送って下さったのである。樊教授は遺書本復印件の上に俗字や訛字まで含め、極めて克明に異同を過録された上、更にこれとは別に「對校記」「批語輯錄」及び「關於紅豆齋抄本」復社姓氏目錄前卷の三篇を送付して下さった。恐縮の至りというしかない。樊教授の説明(「關於……」)の一部を以下に記しておく。

一、北京圖書館所藏清惠氏紅豆齋抄本(復社姓氏目錄前卷一冊、正文共三十二葉、前有復社姓氏錄序一篇(計二葉、即貴池本)復社姓氏序、文字有異同)。卷端題「復社姓氏目錄前卷」、書衣與正文版心上方則均題「復社姓氏錄前卷」。該抄本每半葉十行、大黑口、單魚尾、烏絲欄、四周雙邊。每葉邊欄外左下角均刻有「紅豆齋藏書鈔本」七字。書中鈐有「元祐黨人之後」等印。

一、該抄本正文起訖與貴池本完全相同、即均始於「南直蘇州府 顧夢麟麟士」、訖於「雲南 阮階天生」、並亦闕山東膠州至河南歸德府諸條。

一、該抄本除於「玄」、「弘」二字未因避諱改爲「元」、「宏」外、於

“玄”、“鉉”等字、亦未因避諱而缺筆爲“玄”、“鉉”等、於“胤”字等、亦未避改爲“允”等。

一、該抄本字體頗不規範、俗體、或體等異體字甚多。而且、同一字在該抄本中的寫法也每每前後相異。

以上の説明に一二つけ加えておけば、この一本は巻端に康熙五十一年の吳孟堅序があり、崇禎中に刊行されたという初刻本ではなく、康熙重刊本を傳鈔したものである。従って玄字を避けていないのは、鈔本の避諱は往々にして嚴格ではない、ということの一例なわけである。その鈔寫年代は、弘字を「弘」に作っていることから恐らく乾隆中であり、よって「惠氏紅豆齋」とは惠棟のことだと考えられる。なお德州の翟胤璽をこの本は他本『姓氏』と同じく翟應璽としているが、これも傳録の底本が胤字を避けていたからかもしれない。胤字を避ける場合、一般的には允に作るのであるが、しかし孕、引、應などに改める場合も時にはあるからである。さて肝腎の本文であるが、これは後述する北平圖書館藏本『復社姓氏』（吳翮撰）と往々一致することからして、原本の面目をかなり留めていると考えられる。もっともこの本は刊本を直接傳録したのではなく、何度かの傳鈔を経たものではあろう。このことは前に述べた翟胤璽の例からも推定しうるが、更にこの本が山東膠州より河南歸德府までの諸條を闕していることも、そのかなり有力な證據となしうる。というのも、この闕略は康熙刊本には無かったと考えられるからである。三卷本『姓氏』の補録は吳翮の書にのみ見える者を輯めて一

卷としたもので、遺漏はごく少数、大半の府州縣には見られないし、ある場合もまず一府州縣につき一人である。ところが商丘縣と歸德府についてのみは、前者が十人、後者が六人と異常に多いのである。この様なことは、補録を輯めた段階では前卷に闕略は無かった、と考えねば説明できぬであらう。この本に訛誤が頗る多いのも、鈔手の問題も固よりながら、傳鈔の必然的結果ということもあるに違いない。以上を要するに、この一本は『姓氏』本来の面目をかなり留める舊本として重視するに足るが、しかし必ずしも必要として據ることとは出來ず、この本独自の文字についてはよほど慎重でなければならぬ、ということになるのである。なおこの本を以下では惠本と略稱する。

『復社姓氏』二卷補録一卷 鈔本 繆荃孫藏北京圖書館見藏

繆荃孫が藏した『姓氏』は一本のみではなかったらしく、『藝風藏書記』四には「明吳應箕撰、舊鈔本」の『復社姓氏錄』一卷が著録され「宋氏手跋曰、雍正十年桂秋、借徐伯吹表伯刻本姓氏錄、鄧尉山朱時潛手錄竟並書」とある。「徐伯吹刻本」とは徐氏の藏する刻本という意味であるか、或いは、「藏」「鈔」といった字を「刻」に誤ったかのどちらかであらうが、一卷本という点からすれば、後者である可能性の方が高いと思われる。とはいえ刻本から直接傳録された本であるやもしれず、出來ればぜひ見たい所であるが、この本はその存否さえ明らかでなく、利用することなど固りかなわない。本録に用いたのは『藏書記』著録のものとは異なる一本で、

毎半葉八行、行二十字、字蹟は頗る精、繆氏の藏印三種の外、國立北平圖書館の藏印があり、『續修四庫全書提要』『增訂晚明史籍考』著録の一本であるに違いない。避諱について言えば、玄、胤、弘は全て元、允、宏に改められる一方、琰字は末筆を缺かず、淳も本字のままである。なお寧は俗字を用いているため、避諱の有無を斷定し難い。以上からして、もし避諱が嚴格に行なわれたと考えるなら、この本は乾隆中に鈔寫されたもの、と一應はなる。但し書景を見るにさほど舊いものとは思われず、或いは道咸以後、避諱の例が緩んでから舊本を傳録したものかもしれない。内容は惠本と貴池先哲遺書本の間在ると謂つてよく、前者にかなり一致するものの、後者に一致する場合も少なくはなく、更に独自の文字も相當ある。惠本と一致せぬ場合、その訛誤を免れていると判斷される文字、或いは例外的ながら意識的に改めたと思われる文字も固よりあるが、それよりはむしろ新たな訛誤の増加と考えられる方が多い。前卷膠州より歸德府にかけての闕略は惠本と同じ。この點からすれば惠本と同系統の本とも謂えるが、但しその關係は直接的なものではなく、同一の祖本より分れたものと考えた方がよいだろう。というのも二本の異同には、すでに述べた如く、惠本が非でこの本が是という部分もままあるからである。この本の取るべき點は、何より補録を含め三卷すべて完存している舊本だ、ということ、後卷について言えば、今の所この本でしか現存刊本以前の面目を窺うすべはない。また前卷についても、惠本とこの本が一致し、他本は異なるという

場合など、それは『姓氏』原本の面目を傳えている可能性が頗る高く、やはり參校本として相當の價值をもつ。最後になったが、この一本は小野和子教授が北京圖書館と連絡をとり、その寫眞を入手されたもので、教授の盡力が無ければ到底目睹はかなわなかつたであろう。このことを特に記し、厚くお禮を述べておきたい。なおこの本を以下では繆本と略稱する。

#### 『復社姓氏』二卷補録一卷 貴池先哲遺書本

吳應箕『姓氏』の通行本であり、現存諸本の中では恐らく唯一の刊本、そしてこのこと故に本録の底本とした。なお吳翮『復社姓氏錄』にも道光刊本があるが、『姓氏』は補録によつて『姓氏錄』をもほぼその中に含む一方、『姓氏錄』では『姓氏』を覆うことが出来ず、よつて『姓氏』を採つたのである。この本は前にも述べた如く、繆本にやや近く、膠州至歸德府の闕略も惠繆一本と同様なのであるが、但まま惠繆二本とは異なる一方、吳翮『姓氏錄』、とりわけ道光刊本に一致する文字が見られる。つまりこの本は時代が降るとともに不可避的に増加する訛誤以外、意識的な「校改」もあるわけ、『姓氏』本來の面目からは益々遠ざかつている、と謂うことが出来よう。この「校改」を成績と認めぬのは、まずそれが決して全面的なものではなく、いわば偶發的に、無原則に行なわれていること、またそれは無批判なものでもあるが故に、時に道光本の誤りを『姓氏』にもち込んでいること、のためである。要するに、この一本は『姓氏』を廣く世に傳えるという點で大きな役割を果したの

であるが、しかし決してよい本ではないのである。なおこの本を以下では劉本と略稱する。また校記において「原作某」とある場合の「原」とはこの劉本を指す。

『姓氏』各本についての説明は以上で終るが、『姓氏』の流傳その他につき、もう少し述べておく。すでに言及した通り、『姓氏』には崇禎、康熙の二刊本があったといい、傳鈔本も吳翽『姓氏錄』よりずっと多かつたらしい。現存する本について見れば、『中國古籍善本書目』に吳翽の書は刊本しか著録されぬ一方、吳應箕の書は惠本の外、上海圖書館藏『復社姓氏』不分卷、錢大昕、趙之謙批注というのが著録されている。また過去においても、常熟の人王應奎『柳南隨筆』二に述べられるのは三卷本『姓氏』、章學誠『湖北通志檢存稿』復社名士傳に引かれるのも同様、嘉慶『涇縣志』十八萬應隆傳引『復社錄』もやはり三卷本『姓氏』である。『湖北通志』編纂のため志局に收められた『姓氏』は胡虔によって傳録され、それをまた秦瀛が傳録している。(秦氏『小硯山人文集』三、復社姓氏錄序)或いは光緒『武昌縣志』十七劉日襄傳、同二十李楚生傳に引く『復社姓氏錄』も吳應箕の書で、恐らく志局藏本かその傳鈔本であろう。かく吳應箕『姓氏』は頗る通行したのであるが、しかし『板本久佚、傳鈔者益多錯謬』(道光刊本『復社姓氏錄』吳山嘉序)という通り、傳鈔がくり返されることで、『姓氏』の訛誤は却って『姓氏錄』より甚しくなったのである。またこれは些か不審を感じることなのだが、康熙刊本に闕略が無かつたという推定が正しいと

すれば、なぜ右に述べた三本が三本とも、揃って同じ部分を闕いているのか。初印本は完全であったが、何かの理由で早くに書板が闕け、通行する印本には概ね闕葉があることとなったのであろうか。たとえそうだとしても、初印の完本から出た傳鈔本はないのであるうか。康熙刊本にもとから闕略があつたとは、補録の様相よりしてちよつと信じ難いのであるが。上海圖書館藏本はこの點どうなっているのか。今は全て存疑としておくしかない。

『復社姓氏』一卷 鈔本 北平圖書館藏中央圖書館見藏

書名は同じ『姓氏』だが、これは吳翽の輯。この一本は美國國會圖書館が撮影した北平圖書館善本の寫眞に入っており、私が得たのはその寫眞からの復印件、もとの寫眞でないのは遺憾だが、請求した先の機關の事情でやむを得なかつた。さてこの一本は每半葉八行、鈔手は頗る舊く、「雪苑宋氏蘭揮藏書記」(宋筠)の藏印、また「藏眞精舍偶得」「延古堂李氏珍藏」等四種の藏印(うち二印は印景不全)及び北平圖書館の印が鈐されている。卷末には曹寅の跋を過録、その文は『增訂晚明史籍考』に引く「掃花人記」と同じである。また朱希祖(『明季史料題跋』鈔吳翽本復社姓氏跋)は「北平圖書館所藏上元梅曾亮舊鈔本復社姓氏」としてこの本に言及しているが、所謂「梅曾亮舊鈔本」とはその意頗る曖昧で、誤解を生じやすい。なるほど梅氏『柏硯山房文集』四、復社人姓氏書後(辛未、即ち道光元年の作)には「右復社人姓氏一卷、朱氏彝尊得之、而藏於曹氏寅者」と云い、梅氏がこの本と同系統の本を見ていたことは確實で

ある。しかしこの本は曹寅藏本ではないし、また梅氏の傳録したものででもない。更に梅氏舊藏本であったということも、藏印がはつきりしないので断定はしにくい、甚だ疑わしいのである。避諱その他について言えば、玄字は全て末筆を抜き、また道光刊本では「崇徳」とあるのがこの本では「石門縣」となっている。即ち明代より順治までの名「崇徳」を康熙元年以後の名「石門」に改めているのである。しかも胤、弘以下は全く避けていない。このことよりして、また宋筠舊藏ということをも勘案すれば、その鈔寫年代はまず康熙中として間違いない。また本文だが、字蹟はあまりよくないものの、何といても舊本であり、その文字は相當に尊重されねばならぬ。とりわけ惠本繆本と一致して刊本と一致せぬ場合など、一般的にはまず刊本を疑うべきである。固より鈔本であるが故に訛誤もかなりあるが、それは言わば當然のこと、特に缺點というほどのこともあるまい。なおこの本を以下では北本と略稱する。

『復社姓氏錄』一卷 道光十二年南陔堂刊本

道光原刊本は傳存かなり少なく、必ずしも見やすいものではなかったが、一九九〇年に中國書店より景印本が出て、今では容易に利用できる様になった。この本は吳翽の五世從孫吳山嘉が刊行したもので、その序に「公（吳翽）本藏弄有年、茲特詳校、用廣其傳」と云い、傳來から言っても「詳校」という點から言っても、信賴できる本の如くである。ところが問題は正にこの「詳校」に在り、誇張し  
て言えば、「校書而書」といった現象も一部には見られるのである。

る。吳氏は復社同人の身價をなるべく高く見ようとし、方志その他に見える人物を姓氏中の人物に當て、頗る安易に舊本の文字を改めた。その實例は校記中に見てもらうとして、ともかくこの様な態度が、せつかくの「詳校」を功罪相半ばするものとしたのである。また「詳校」とはいつてもやはり無意の訛誤は免れえず、單純な誤りがまま見うけられもする。固より吳氏が校勘に務めたことは事實で、その積極的成果は十分に評價さるべきだし、とりわけこの本と北本が一致する場合、その信賴性は吳應箕『姓氏』諸本より明らかに高い。よって『姓氏』と『姓氏錄』に異同があり、その異同が一字のみ、或いは形音の相似た文字の場合、本録は概ね後者に従っているのである。なおこの本を以下では吳本と略稱する。

凡例

一、本録における府州縣の排列は全て劉本に従い、その府州縣に繋がられた姓氏は前卷、後卷、補録の順に一條にまとめた。

一、この際、前卷、後卷、補録の第一人には各々Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの字をその右上に記した。また吳翽『姓氏錄』のみに見える人物はその後に排列してⅣと記し、『復社紀略』のみに見える人物は更にその後排列し、Ⅴと記した。前後卷等の別を記したのは、それによってその人物が惠繆劉三本に見える者か、繆劉二本のみに見える者かの區別をつけるためである。

一、『姓氏』前卷において惠繆劉三本が一致する場合、校記におい

ては單に「前卷」と稱し、同様にして後卷、補録において繆劉二本が一致する場合は各々「後卷」「補録」と稱した。また北本と吳本が一致する場合は「姓氏録」と稱した。

一、明代において舉人、進士となつた者はこれを注記した。その場合、萬曆、天啓は上一字、崇禎については數字のみ、また進士、舉人も上一字のみで記した。即ち「萬四六舉」とは萬曆四六年舉人、「四進」とは崇禎四年進士の謂である。科第を注記するのであれば、清代に入つてからのそれも注記した方がよかつたのであるが、これは止めた。その調査が不十分で遺漏の多きを恐れたからである。科第の調査は復社同人の科舉合格率を知るためにしたこと、本録本來の目的からすれば、その注記は省略してもよい。但、去年に發表した拙稿「樸學の背景」(『東方學報』第六四冊)の論述を裏づける資料として、これを省略することは出来かねたのである。

一、刊本の文字を改める場合は全て出校したが、鈔本の異同については必ずしも全てを出校したわけではない。筆畫の誤りによって字を成さぬ場合、補録において繆本のみ異なっている場合などがある。これである。

一、校記において本府州縣の方志を引く場合、二度目からは年號、地名を省略した。例えば康熙『蘇州府志』を蘇州府屬の諸條で引く場合、二度目からは單に「府志」と略稱する、等である。なお康熙と乾隆の縣志を兩つながら引く場合などは、年號を省略しな

い等の處置をとり、混淆せぬようにした。

一、名や字に缺略がある場合、それが一本だけのことであれば注記しなかつた。それは單なる偶脫に過ぎぬと考えられるからである。しかし複數の本に共通した缺略がある場合は注記した。例えば惠本繆本がともに字號を缺く場合、それは『姓氏』原本に字號の記載が無かつたことを示唆するなど、その缺略に意味があると考えられるからである。

一、字號は姓名の下に( )で示されている。なお『姓氏』『姓氏録』には字號の記載なく、他書に據つてこれを補つた者があるが、その場合は「」を用い、且つその據つた所を注記した。

一、校記において「惠本作某」「繆本作某」とのみある場合、それは『姓氏』だけに見える人物に關する異同である。『姓氏録』にも見える人物につき、惠本繆本のみに異同がある場合は「原作某 姓氏録同、惠本作某」の如くに記した。後者の場合、その異同は單なる訛誤である可能性が高いのに對し、前者の場合は相對的に言つて、その異同の意味が重いからである。

一、但しある人物が『姓氏録』に見えるかどうか、本録によっては必ずしも確認できない。これを明らかにするためには更に注記を増さねばならず、あまりに繁瑣になり、且つ紙幅も問題となつたからである。

一、本録の校記は中國語で記した。繁を避け簡に就くためである。表現として可笑しな所、語法の誤り、甚しきは意味の通じない所

さえあるに違いないが、諒とされたい。校記の大半は「某本作某」「據某本改」といった型通りのものに過ぎず、これを一々和文で記すことは、徒らに篇幅を増すのみで、利よりも害の方が大きいと考えたのである。

南直蘇州府

顧夢麟<sup>1</sup>(麟士) 王啓榮(惠常) 姚宗典(文初) 陳新芝(徵靈)<sup>2</sup>  
張誼(孺高) 陸坦(履常)<sup>3</sup> 鄭敷教(士敬)<sup>4</sup> 周肅(其章)<sup>5</sup>  
費元鼎(君求) 顧晉瓚(流玉)<sup>6</sup> 吳麟趾(瑞生) 孫琅(示亮)<sup>7</sup>  
袁徵(公白) 唐開虞(五臣) 王家禎(子來)<sup>8</sup> 祝升吉(允升)  
周羣(子達) 胡寅(序九)<sup>9</sup> 陸夢熊(熊占)<sup>10</sup> 吳世培(無念)  
許元楨(伯贊) 周崇階(六階)<sup>11</sup> 施澤綏(子長)<sup>12</sup> 顧宇土(宣美)<sup>13</sup>  
時載杲(旭如) 施其象(子象)<sup>14</sup> 許士斌(懋全)<sup>15</sup> 徐樹丕(武子)  
黃鼎吉(新侯) 韓馨(幼明) 顧李蹊(雲翼) 王節(貞明)<sup>16</sup>  
王一經(字傳)<sup>17</sup> 張德滋(來宗)<sup>18</sup> 楊飛(征九) 朱坤(順卿)  
顧韡(鄂生) 李可衛(爾公) 李文煥(有章) 張儁(非仲)<sup>19</sup>  
沈介立(石文)<sup>20</sup> 黃晉昌(錫侯) 王景元(殿先) 王宏緒(長生)  
許振光(起文)<sup>21</sup> 顧王祥(瑞典)<sup>22</sup> 吳中柱(柱石)<sup>23</sup> 徐宗器  
盛符升(珍示) 凌必正(聖功)<sup>24</sup> 顧荅(云美) 黃胤奇<sup>25</sup>  
陳鴻寶(若山)<sup>26</sup>

(1) 十五舉 (2) 前卷誤陳薪芝徵雪、據姓氏錄改、案、康熙蘇州

府志三四、乾隆常昭合志九、十七皆與姓氏錄同(3) 三舉、案、履常、康熙嘉定縣志十一、卓爾堪遺民詩十五俱作履長、而縣志十六本傳謂字履常、吳應箕樓山堂集二四、二五亦作履常、與姓氏錄合、從之(4) 三舉(5) 六舉、十三進、周肅、紀略作胡周肅、案、崇禎太倉州志六云、本姓胡、府志三十二云、周肅、復姓名胡周肅(6) 顧、吳本誤吳、北本及紀略與姓氏同、案、潘鳴鳳崑山見存石刻錄三著錄明末諸碑、多有顧晉某之名、且末一字概從玉(7) 琅、北本作娘(8) 予、北本誤子、案、光緒太倉州志稿王家祥傳云、弟家禎、字子來(9) 寅、吳本作演(10) 夢熊、北本作夢飛(11) 崇階、吳本誤崇階、六階、後卷作元階、吳本作六階、據北本改、案、傳略與北本同、又府志三二亦作崇階(12) 澤綏、北本作綿澤(13) 宇土、原作宇玉、據繆本吳本改、北本作于立、又宣作寧(14) 兩象字、繆本俱作家、北本脫上象字(15) 全、吳本作金(16) 十二舉(17) 宇、原作字、據北本改、案、吳本作子、繆本不易辨識、似作字、字字形近、予字音同、蓋因形音相似而誤(18) 滋、北本作宏(19) 儁、北本作雋、案、遺民詩十二、黃虞稷千頃堂書目二八作儁(20) 文、北本作大(21) 光、北本誤先、案、顧夢麟四書說約(明刻本) 較閱姓氏云、許振光啓文、蘇州、啓文、當即起文(22) 王、北本作五(23) 中柱、北本作中砥(24) 三舉、四進、功、補錄誤公、據姓氏錄改、案、府志三十作功(25) 胤、補錄及吳本作允、據北本改(26) 若山、補錄脫、據吳本補、北本作君山

太倉州

王家穎(處卿) 管士琬(君售) 趙自新(我完) 徐繼善(志衍)  
 張溥(天如) 張濬(禹疏) 吳克孝(人撫) 何南春(梅先)  
 張王治(無近) 張達孝(孚先) 蔡伸(伯引) 李登雲(縉黃)  
 孫以敬(令修) 朱明鎬(昭芑) 許煥(堯文) 吳國杰(純祐)  
 吳偉節(清臣) 王瑞國(子彥) 周南(二爲) 穆雲桂(苑先)  
 周肇(子椒) 沈京應(洛尹) 周祚(逸休) 王瀚(原達)  
 袁賁(幼白) 金達盛(道賓) 蘇震(震亨) 許洄(孝酌)  
 王洵 王日新(鑑明) 王啓棠(永君) 王御(欽仲)  
 王家祥(止吉) 吳縣祚(燕餘) 徐煜興 李樽(子厚)  
 王啓棻(天路) 王聖涯(泳臣) 管文瀾(止觀) 王宗華  
 錢源(天來) 浦荃(瞻叔) 呂雲章(石菴) 張璜  
 徐徵仕(公遠) 曾五典(子敘) 吳維藩(方侯) 張源(來宗)  
 周航(仙渡) 張宿(朗文) 周家藩(价人) 何如玉(謂聖)  
 許燻(雙平) 張妃(孝瞻) 王會荃(星宰) 王會滢(如毅)  
 陶鑛(涪水) 吳養玄(頤仲) 浦岷(君遷) 王宗遠  
 曾紹唯(韶季) 周縣存(淑常) 范質(也文) 張肅  
 趙晟(方旭) 陸世儀(道威) 江士毅 郁棠(青南)  
 呂國植(王芳) 程靖獻(伯昭) 周遵成(叔行) 王純  
 周如珍(九獲) 呂挺儒(乾士) 呂鼎吉(玉士) 吳偉業(駿公)  
 周鞏(子豐) 周楨(子方) 王挺(周臣) 歸默靜(公書)  
 吳偉光(孚令) 王洄(宛仲) 王揆(端士) 陳瑚(言夏)

程允基(救功) 黃與堅(庭表) 王發祥(登善) 曹中龍  
 周同升 趙新(賓日) 計榮 王宗遠  
 張泳(幼濤)

(1) 十二舉 (2) 三舉、十進、徐、原作吳、繆本吳本同、據惠本  
 北本改、案、北本有注云、復姓吳、崇禎太倉州志六云、徐繼善、本  
 姓吳(3) 三舉、四進(4) 三舉、十進(5) 天四舉(6) 天七舉  
 (7) 三舉、縉黃、前卷誤縉黃、北本誤緒黃、據吳本改、案、州志  
 六、字晉黃、府志三四、字縉黃(8) 九舉、十進、敬、前卷誤慈、  
 據姓氏錄紀略改、案、州志六作敬(9) 九舉、十六進、吳、惠本原  
 作許、校改爲吳、祐、前卷作祐、北本作佑、據吳本改、案、杜登春  
 社事始末作祐、前卷似是、然宋徵璧(存補) 皇明經世文編凡例作祐  
 府志三十同、從之、州志六謂許國杰、字人暇、本姓吳、繼善弟(10)  
 清、吳本誤青、案、顧師軾梅村先生年譜崇禎四年條作清(11) 天元  
 舉(12) 子、社事始末作止(13) 九舉(14) 止吉、北本誤止言、繆  
 本作正吉、惠本同、而校改爲止吉、案、光緒太倉州志稿作止吉(15)  
 李樽、吳本作李誠、北本作張樽(16) 錢、前卷作顧、據姓氏錄改  
 (17) 呂雲章、原作李雲章、繆本同、吳本作呂雲奇、據惠本北本改、  
 裁、繆本作載、吳本作英、北本作儀、案、惠北二本俱作呂雲章、原  
 本當已如此、呂雲奇字石英、事蹟見府志十七、志稿、傳略引太倉州  
 志、疑即吳本所據改、非仍舊本也、雲章與雲奇雲孚、似爲同輩族人、  
 至於裁儀兩字、不知孰是、但前卷原本之作裁、則無可疑、姑從之

(18) 仕、後卷作士、據姓氏錄改(19) 六舉、十六進(20) 方侯、後卷作价人、吳本同、據北本改、案、下有周家藩价人、北本同、吳本謂字方侯、疑與吳維藩互錯(21) 仙、吳本作化(22) 价人、吳本作方侯、疑誤、說見上(23) 謂、吳本作渭(24) 會、吳本作令、當即會字之訛(25) 會蒞、後卷作向、吳本作令蒞、北本作會蒞、今改、案、令乃會字之訛、向、疑亦形訛、而脫下一字、蒞乃蒞字之訛、蒞即蒞(26) 鑛、吳本作鑛、涪、原作溶、據繆本及姓氏錄改(27) 玄、後卷及吳本作元、據北本改、頤、後卷作順、據姓氏錄改(28) 嶮、北本作涵、遷、吳本作達(29) 案、後卷謂字計榮、而姓氏錄以計榮為另一人、補錄據補、蓋後卷誤以下一人姓氏為上一人字、因刪此計榮二字、而仍從補錄(30) 紹唯、後卷作維唯、北本作招唯、紹季、後卷及北本皆缺、據吳本改補、案、志稿有曾紹唯傳、謂子韶季(31) 道威、繆本北本俱缺(32) 毅、後卷作表、北本作彥、據吳本改、案志稿有江德璜傳、謂子士毅、與父同死難、據此、士毅確有其人、且毅字左旁、與彥相似、因從吳本(33) 青南、據四書說約較閱姓氏補(34) 如、北本作餘(35) 三舉、四進(36) 默靜、補錄作功默、據姓氏錄改、書、北本作壽(37) 孚令、繆本北本俱缺(38) 宛仲、繆本北本俱缺(39) 十二舉(40) 十五舉(41) 功、補錄作公、據姓氏錄改(42) 庭、吳本作廷、案、康熙嘉定縣志十一亦作廷、而府志三三、三四、社事始末、王應奎柳南隨筆五皆作庭、與諸本合、從之(43) 九舉(44) 同、補錄作日、據姓氏錄改(45) 泳、北本作淋、繆本同、幼濤、補錄及北本缺、據吳本補、案、繆本所據與北本合、

當有淵源、而不可謂無誤、泳、溥仲兄、紀略徐懷丹檄所謂十常侍之一、志稿有傳、其在社中、事理所宜然、姑從吳本

長洲縣

朱<sup>1</sup> 隗(雲子) 許元溥(孟宏)<sup>1</sup> 姚宗昌(瑞初)<sup>2</sup> 劉曙(公旦)<sup>3</sup>  
 李楷(仲木)<sup>4</sup> 張奕(綏子) 韓燦(宣子)<sup>5</sup> 魏風(德甫)  
 戴之傑(石房) 薛宗廉(伯清) 陳性(身之) 盧源材(河生)<sup>6</sup>  
 沈明倫(伯敘)<sup>7</sup> 劉暘(公夏) 戴之儁(務公) 王宋(東尹)  
 楊肇社(昌孟) 陳宗之(玉立)<sup>8</sup> 文秉(孫符)<sup>9</sup> 申繹受(維思)<sup>10</sup>  
 陳邁(孝寬)<sup>11</sup> 朱陵(望子)<sup>12</sup> 劉蕃(曲翰) 趙承鼎(啓新)<sup>13</sup>  
 嵇山材(天因) 黃卷(萬公) 姚宗甲(豆初)<sup>14</sup> 徐汧(九一)<sup>15</sup>  
 陳羽(用儀) 顧予升(南徵) 郭兆驥(天行) 楊廷楫(舟之)  
 徐煜輿 嵇山明(高也) 吳邁(二洪) 吳适(幼洪)<sup>16</sup>  
 郭兆金(九來) 薛天佑(申之) 金魚(水廷) 宋秉貞(元起)  
 宋獻玉(元一) 姚淳(堯容) 姚燦采 吳濤(長源)  
 吳鑑(自觚) 趙炳(仲闡) 宋繩玉(楚材) 王啓洪(而仕)  
 徐元聲(士希) 徐廷選(爾掄) 王上齡(嵩友) 彭祖述(敏季)  
 鄒誠之(緝明) 鄒存之 丘樵 蔣衍(宛然)<sup>17</sup>  
 高翼雲(九閔) 嚴懿(柔克) 姚儼(鈞裳) 施虹繞(公毅)  
 姚錡(祖廷) 沈幾(去疑)<sup>18</sup> 顧企宗(燕胤)<sup>19</sup> 錢位坤(興立)<sup>20</sup>  
 管正傳(元心)<sup>21</sup> 薛宗孝(孝仲)<sup>22</sup> 顧延周(孝侯) 顧之俊(仲容)<sup>23</sup>  
 徐枋(昭法)<sup>24</sup> 俞粲(受子)<sup>25</sup>

(1) 三舉 (2) 瑞、北本誤遂、案、遺民詩十三、千頃堂書目二八俱作瑞、又皇明經世文編凡例亦有姚瑞初、但誤以宗典為其名、宗典見本錄蘇州府條 (3) 十五舉、十六進 (4) 十五舉 (5) 燦、前卷作燦、據姓氏錄改、宣子、北本作晏生、吳本脫 (6) 案、紀略有盧涇材、似即源材、此不別出、府志三三崇禎貢生有盧源材、字河生 (7) 敘、前卷作序、據姓氏錄改、倫、紀略諸本有作掄者、案、康熙長洲縣志十五作沈明掄、字伯敘、府志三三同、作掄似是、然姓氏錄俱作倫、原本當已如此、姑仍舊不改 (8) 六舉 (9) 秉、吳本作乘、孫、惠本校改為孫、吳本作應、案、秉、震孟長子、字孫符、一作孫符、事蹟見汪琬鈍翁前後類稿四四墓誌銘、乘、字應符、秉弟、南都亡後、被逮就戮、疑吳本以其烈士、故改為乘、留都防亂公揭繆本劉本有秉、而吳本作乘、似亦非是 (10) 受、吳本作芳、案、周亮工賴古堂尺牘新鈔二選藏弄集九申繹芳條注、謂字霖臣、用嘉子、時行孫、著有靜成齋集、傳略引吳門補乘、與之符合、而謂字維思、疑吳本妄以繹受為繹芳、字則仍舊、此從惠北諸本 (11) 邁、前卷作邁、據姓氏錄改 (12) 陵、前卷作陵、吳本同、據北本改、子、吳本誤之、北本誤千、案、樓山堂集三三五謂朱望子陵 (13) 啓新、前卷缺、據姓氏錄補 (14) 案、此為前卷之宗甲、後卷複出、而脫其字、存此刪彼 (15) 天七舉、元進 (16) 九舉、十進 (17) 然、繆本作點 (18) 天七舉、四進 (19) 企、原作啓、吳本同、據北本繆本及紀略改、燕胤、繆本脫下一字、吳本作公遠 (20) 三舉、四進 (21) 三舉、四進 (22) 孝仲、補錄及北本皆缺、據吳本補 (23) 十五舉、十六進、俊、補錄

及北本作儁、容、原作雍、北本同、繆本作雍、當即雍字之訛、據吳本改、案、縣志十五、府志三十俱與吳本同、俊、題名碑錄亦同、北本雖舊、訛誤不少、此從吳本 (24) 十五舉 (25) 子、乾隆長洲縣志二四作之、遺民詩七、千頃堂書目二八與補錄同、從之、案、俞察一人、不見姓氏錄、而為補錄所收、頗為可疑、或北本吳本之有脫、亦未可知

吳縣

楊廷樞 (維斗) 徐鳴時 (君和) 錢禧 (吉士) 袁良弼 (星況) 許元弼 (仲良) 章美 (拙生) 朱鎰 (彥兼) 華渚 (方雷) 周茂蘭 (子佩) 周茂藻 (子潔) 丘民瞻 (天民) 楊廷楷 (正則) 徐籀 (亦史) 楊右烈 (亦文) 陳遷 (照隣) 許元愷 (德先) 許元功 (無功) 施之朝 (羽聖) 陸世廉 (起頑) 丁觀韶 (又儀) 衛激 (神清) 錢祐 (良士) 張邕 (羽民) 吳迪 (長康) 孫喬 (子長) 周肇祺 (公齡) 何兆清 (聖徵) 盧倫 (五惇) 簡捷 (帝錫) 袁衡 (公清) 鄒民毅 (仲武) 楊耀南 (暉吉) 徐徵 (念庶) 沈磐 (君碩) 陸在鼎 (赤文) 凌一梓 (公木) 章奏可 (彥葵) 朱衰 (九章) 施學先 (爾達) 周泰階 (君平) 吳神漢 (乘高) 邱象春 (幼白) 宋堯年 (在賓) 孫奇玉 (荊生) 陳璉 (四珍) 張人夏 (興公) 吳導 (長洪) 徐夢得 (君錫) 吳煒 (叔文) 金之彥 (聖思) 胡以鉉

(1) 三舉 (2) 天七舉 (3) 正則、吳本互錯 (4) 六舉 (5) 隣原作鄰、據惠本繆本及姓氏錄改 (6) 又、吳本作九 (7) 激、原作徵、繆本北本同、惠本亦同、而改爲激、與吳本同、據改、案、激、清也、名字相關、神清、前卷作清清、據姓氏錄改、案、惠本亦改爲神清 (8) 祐、原作枯、繆本同、據惠本吳本改、北本不易辨識、右旁之爲古爲右、未可遽定 (9) 長、吳本作良 (10) 肇祺、後卷作兆麒、據姓氏錄改 (11) 簡、吳本作管、案、府志三四、順治十七年舉人、十八年貢士有管捷、字庸公、傳略云進士、非是、疑吳本乃據此誤改 (12) 此爲後卷之徐徵、前卷復出、而脫其字、存此刪彼 (13) 君碩、吳本作石均 (14) 朱、繆本作金、案、朱袞本姓金、見葉昌熾藏書紀事詩三引魏禧朱參軍家傳

吳江縣

吳昌時(來之)<sup>1</sup> 吳有涯(茂申)<sup>2</sup> 呂雲孚(石香) 吳翹(扶九)  
 沈應瑞(聖符)<sup>3</sup> 沈初馨(青芝) 沈自炳(君晦)<sup>4</sup> 葉襄(聖野)  
 張澤(草臣) 包捷(驚幾)<sup>5</sup> 張堯(山堯) 吳昌壽(眉之)<sup>6</sup>  
 吳昌迪(迪之) 俞允懷(懷茲)<sup>7</sup> 吳易(日生)<sup>8</sup> 周廷祚(長生)<sup>9</sup>  
 龐承源(生一) 顧祖奎(玄度)<sup>10</sup> 陳紹祉(孝將) 潘凱(豈凡)<sup>11</sup>  
 趙庚(大庚)<sup>12</sup> 吳允夏(去盈) 周振孫(麟伯) 沈學閔(孝甫)  
 吳晉錫(茲受)<sup>13</sup> 李世芳(凌凡) 湯三俊(俊民)<sup>14</sup> 周永言(安仁)  
 孫楫(泳舟) 蔣岸(文岸) 吳翹(羽三)<sup>15</sup> 吳祖錫(佩遠)<sup>16</sup>  
 吳兆寬(弘人)<sup>17</sup> 沈初昇(曉芝) 包掄(尚賢) 周履祥(茂先)

費元恒(久仲) 徐洲(來石) 包振(朗威)<sup>18</sup> 沈初榮(滋先)<sup>19</sup>  
 趙甫田 顧誠(賓日) 顧謨(明子) 戚左千(右侯)<sup>20</sup>  
 陳紹武(克三) 沈致原(貞開) 趙席(公珍) 閔仍(彥雲)  
 沈自然(君服)<sup>21</sup> 孫兆奎(君昌)<sup>22</sup> 孫聚奎(君祥)<sup>23</sup> 沈必選  
 董之垣(介夫) 宋虹璧(明玉) 張龍翰(翰潭) 顧寅(若彝)  
 孫璘(崑玉) 董二酉(誦孫) 計爾玉(幼堅) 楊禹祁(天社)  
 沈之匯(東引) 孫梅(九和) 孫霖(雨若) 吳旦(海序)  
 徐白(介白) 蔣自遠(退之) 俞南史(無殊) 沈照(休仲)  
 許宗煜(鯤生) 吳鑑(水若) 費元晉(季明) 顧伯宿(鍾生)  
 費日章(闡然) 葉世偁(雲期)<sup>24</sup> 計名(青鱗)<sup>25</sup> 沈初晉(方平)  
 史宗邠(古公) 沈永隆(治佐)<sup>26</sup> 徐墀 盧煒(赤文)<sup>27</sup>  
 沈虬(次雪)<sup>28</sup> 吳昌(海曙)<sup>29</sup> 周燦(光甫)<sup>30</sup>

(1) 三舉、七進 (2) 天七舉 (3) 符、北本作扶 (4) 自、原誤日、繆本同、據惠本及姓氏錄紀略改、案、譚元春譚友夏合集(明刻本)二十評閱姓氏有松陵沈自炳君晦、自炳之名、又見康熙吳江縣志三五沈自南傳 (5) 幾、北本誤翼、案、參閱縣志二八、遺民詩十四朱彝尊靜志居詩話十九 (6) 昌壽、原互錯、繆本同、據惠本及姓氏錄乙改 (7) 懷茲、原作襄茲、惠本同、繆本作懷之、據姓氏錄改 (8) 九舉、十六進、易、原作易、惠本北本同、據繆本吳本改、案、題名碑錄、靜志居詩話二一作易、又顧炎武亭林詩集一有上吳侍郎暘、一作陽 (9) 廷、原誤延、據惠本繆本及姓氏錄改、案、陳濟生天啓

崇禎兩朝遺詩周宗建小傳作廷(10) 天元舉、玄、原作元、繆本與本

同、據惠本北本改(11) 豈凡、吳本作仲和、案、朱彝尊曝書亭集七

六墓誌銘云、字仲和、一字豈凡、別字貽令(12) 三舉、十六進、大

庾、吳本作渙之、北本誤漁之、案、府志三十、字渙之、遺民詩十五

字大庾、天啓崇禎兩朝遺詩小傳云、字渙之、號大庾(13) 十二舉、

十三進(14) 民、繆本誤明、案、縣志三五卜舜年傳作民(15) 十五

舉(16) 佩遠、前卷缺、據姓氏錄嘉善條補錄同縣條補、其補錄嘉善

之吳氏、乃複出、存此刪彼、案、吳祖錫父昌時、嗣父昌期並居嘉興、

故祖錫為嘉興貢生、見陳忠裕公全集附年譜(王澐續編) 順治三年條

引吳江縣志(17) 弘、原作宏、繆本同、據惠本改(18) 十五舉、朗

威、原誤朗威、惠本同、繆本脫、據姓氏錄改、案、縣志二八作朗威

(19) 奶、前卷作初、滋先、前卷缺、據姓氏錄吳縣條改補、案、本

縣有沈奶晉、當是族人、傳略於兩人俱引沈氏家乘(20) 左千、北本

作祖千、吳本作千一字、侯、姓氏錄作朱、疑即侯字之訛(21) 服、

原誤碩、據繆本改、案、遺民詩十二、千頃堂書目二八、靜志居詩話

二二皆與繆本同(22) 九舉(23) 奎、後卷作魁、據姓氏錄紀略改

(24) 僂、吳本作佺(25) 鱗、原作鱗、吳本同、繆本作鱗、據北本

改、案、王暉今世說四作鱗(26) 治佐、補錄及北本皆缺、據吳本補

(27) 煒、補錄作赤文、北本脫、赤文、補錄脫、據吳本改補、案、

補錄所據疑與北本同、而誤以字為名(28) 次雪、補錄及北本皆缺、

據吳本補、案、縣志一九、字次雪(29) 昌、吳本作旦(30) 光甫、

吳本作闈昭、案、縣志二八、字光甫、遺民詩十二同、府志三十、字

闈昭

常熟縣

楊彝(子常) 許重熙(子洽) 徐濟忠(良夫) 許士驥(德生)

許瑤(文玉) 王政(正文) 蔣葦(晚仙) 魏冲(叔子)

趙士春(景之) 王日俞(喜慶) 彭和(元發) 許重達(子兼)

祝謙吉(尊光) 朱鏞(右服) 陶世濟(子齊) 祝泰吉(彙征)

史從直(叔魚) 戴草(仲繁) 顧娘先(令徵) 許棐(輔公)

史雲縉(希仲) 孫穀(文石) 許瑄(宣玉) 顧茂志(以寧)

凌翰(霄客) 孫濤(虬仲) 孫永祚(子長) 邵世茂(羽萬)

瞿玄錫(伯申) 錢璆賢(元玉) 王亮(開度) 錢弘(毅生)

許琪(嘉生) 時穆(靜府) 王師臣(子學) 王賓臣(子敬)

錢安修(行安) 朱一鳴(廣源) 朱禎 朱天伸(立俗)

瞿經 周應登 錢龍惕(夕公) 陶輔(子友)

陶衡(平侯) 桑林(子立) 李燁(實甫) 黃士吉(上吉)

仲侯孝(羹嚴) 仲侯友(鳴嚶) 陶階(元符) 朱時鼎(顯卿)

吳世陞(襄明) 張翻(開甫) 石瑛(孚公) 高拂雲(雲領)

張大維(節臣) 謝廷泰(允開) 王諤(禪卿) 范鐘(伯容)

沈士福(昌甫) 許瑞生 徐質(野玉) 陳鶴徵(羽卿)

孫朝讓(光甫) 時載祖 楊靜(定夫)

(1) 玉、姓氏錄同、繆本作生、惠本原作王、校改為生、案、乾隆

常昭合志九謂字文玉(2)正文、吳本作以正、案、府志三四、字以正、四書說約較閱姓氏同(3)三舉、十進(4)三舉(5)天七舉十進(6)天七舉、十六進、廣、惠本繆本誤慶、案、府志三十、合志九、字喜廣(7)重達、原作仲達、繆本同、吳本作重遠、據惠本北本改、案、本縣有許重熙、又合志七崇禎貢生有許重明、似其族人(8)光、前卷誤先、據姓氏錄改、案、張澤旨齋詩草(明刻本)有祝序、署曰祝謙吉尊光、他如府志三一、柳南隨筆三等皆同(9)子齊、姓氏錄作仁育、蓋又一字(10)從、原作遺、吳本同、惠本作榮繆本作崇、據北本改、案、從崇音近、崇榮形近、蓋形音相似而滑、雖不知孰是、北本最舊、姑從之、至於遺字、始見吳本、當非舊本面目、遺直、天啓四年舉人、疑吳本因其舉人妄改(11)草、原作萃、吳本同、據北本改、案、惠本繆本俱作草、不知何字、惟與草字形近、又舊本皆不作萃、因從北本(12)煊、紀略作琅、徵、吳本誤徵、案、四書說約較閱姓氏云、顧朗先令徵(13)輔、北本誤務、案、四書說約較閱姓氏云、許斐輔公(14)雲縉、北本誤倒、案、四書說約較閱姓氏云、史雲縉希仲(15)九舉(16)十五舉、玄、後卷及吳本作元、據北本改、申、吳本作聲、北本作仲、案、府志三一、瞿玄錫、字伯聲、合志七、字伯申、柳南隨筆二引姓氏同、疑仲乃伸字之訛(17)弘、後卷及吳本作宏、據北本改(18)嘉生、據合志八許子柔傳補(19)修、後卷作循、據姓氏錄改(20)夕公、據合志九本傳補(21)子、繆本作平(22)燁、吳本作暉、案、燁即康熙帝諱、他本皆缺末筆、吳本則避改從日、蓋非字之誤也(23)陞、北本作陞(24)卿、

府志三四作先(25)三舉、四進(26)昶、原作杲、北本作泉、據繆本改、又字旭如、此刪、吳本名字俱缺、案、後卷蘇州府條姓氏錄同府條有時載杲、字旭如、蓋吳本以為複出、刪此存彼、而繆本二舊本俱有載昶或載泉、未可遽刪、疑泉乃泉字之訛、而實有時載昶其人、至於旭如、當是載杲字、詩云杲杲日出、可證

崑山縣

王志慶(與游)周錫成(我成)陳言先(敷功)王志長(平仲)  
 歸奉世(文若)顧絳(忠清)曹開遠(彝伯)陳用皋(子來)  
 顧鏊(諱明)陸世塗(彥修)張次琦(玉賢)金珩(白公)  
 周本宏(元祐)李軒(子昂)朱志熹(司選)張立平(邇求)  
 張立常(鴻一)沈元愷(今預)孫元凱(若士)徐開遠(仲舒)  
 陸遜之(子敏)張維芑(誕嘉)顧晉瑣 陳璧(崑良)  
 支萬春(彙昭)朱德洋(光甫)陳從先(是古)陸和祐(德先)  
 薛宗孝(君彰)張元炳(漢章)顧漢良(光倩)王向明(元白)  
 楊天培 馬千里 黃虞 陸之球(休孺)  
 周銘(鼎叔)葉天愷 葛於 陸禎  
 歸莊(恒軒)葉奕佺(元暉)葛雲芝(瑞五)周鈿(子圓)  
 歸繼登(爾復)歸錫詹 朱集璜(以發)陶琰(稚士)  
 陸嘉胤[錫其]

(1)天七舉(2)三舉(3)若、前卷作君、據姓氏錄改(4)絳

紀略作繼紳、忠清、吳本作寧人、北本有注云、今名炎武、卽寧人先生、案、絳、繼紳、忠清、皆炎武早歲名字也(5)十二舉、鑾、惠本繆本誤鑾、案、府志三一、乾隆崑新合志十六作鑾(6)琦、前卷作奇、據姓氏錄改(7)子昂、姓氏錄作昂侯、似又一字(8)九舉、常、原作廉、吳本同、據惠本繆本北本改、案、府志三一崇禎九年舉人有張立廉、字鴻一、合志十六亦作立廉、而舊本皆作常、蓋原本已如此、立常與立廉、其字既同、當非兩人、或曾改名、亦未可知(9)愷、吳本誤凱、四書說約較閱姓氏云、沈元愷今預(10)凱、北本作愷(11)十二舉、開、後卷誤聞、據姓氏錄改、案、府志三一與姓氏錄同、又合志二二有傳(12)敏、合志十七作敏、疑誤(13)彙昭、後卷作凝生、此從姓氏錄、案、府志三一、合志二七俱謂字彙昭(14)陳、吳本作陸(15)孺、繆本作儒(16)案、歸莊一條、原注云補繆本缺、蓋姓氏原本所無也(17)鈿、原作佃、吳本同、據繆本北本改(18)六舉(19)詹、吳本作侯、案、侯卽侯、疑侯乃詹字之形訛(20)案、陶琰一人、不見姓氏錄、而爲補錄所收、或北本吳本之有脫、或補錄之有誤、俱未可知、又、合志二六謂字圭穉(21)十五舉、錫其、據府志三一補

嘉定縣

侯岐曾(雍瞻) 朱之尙(合古) 陶士彥(啓聖)<sup>1</sup> 施鳳儀(孟翔)<sup>2</sup>  
徐時勉(克勤) 婁復聞(思修) 侯玄沄(彥道)<sup>3</sup> 沈宏祖(彥深)  
龔用圓(智淵)<sup>4</sup> 曹 訥(忍生)<sup>5</sup> 黃淳耀(韞生)<sup>6</sup> 申 艇(虛舟)

施鳳鳴(曠岡) 沈懷祖(公述) 陳舒徵(應之)<sup>7</sup> 夏雲蛟(啓霖)  
侯玄洵(文允)<sup>8</sup> 李杭之(僧筏)<sup>9</sup> 陳奇徵(寶臣)<sup>10</sup> 唐懋儒(子雅)  
李 縉(紳卿) 支啓泰(伯祥) 潘 瀾(雨臣) 金繼懋(爾勉)  
朱廷選(楷生)<sup>11</sup> 汪彥升(子虛) 黃鴻儒(魯容) 唐 培(自因)  
傅凝之(令融)<sup>12</sup> 毛一楨(爾嘉)<sup>13</sup> 許自俊(子位)<sup>14</sup> 汪貞泰(大來)<sup>15</sup>  
張國濬(在公)<sup>16</sup> 顧飛先 朱 珽 鄭 燦  
侯玄泓(研德)<sup>17</sup> 李 拱(舜良)

(1) 案、啓、康熙嘉定縣志十六作豈(2) 三舉、十進、孟翔、北本作侶蕭、案、縣志十一、府志三十俱謂字孟翔、傳略引寶山志云、號侶蕭(3) 玄、原作元、繆本同、據惠本北本改、吳本脫、案、玄沄一名沄、參見本縣侯玄泓條校記(4) 天元舉、智、吳本誤知、案、縣志十一、十六、靜志居詩話二十皆作智、傳略亦作智(5) 六舉(6) 十五舉、十六進、淳、北本作金、韞、吳本作蘊、案、題名碑錄有注云、初名黃金耀、韞蘊通用、縣志十一、十六作蘊、明史本傳同、府志三十作韞(7) 陳舒徵、吳本作馬舒、案、傳略引太倉州志述其事蹟、而紀略、前卷及北本皆作陳舒徵、不知吳本何據而改(8) 玄、原作元、繆本同、據惠本北本改、吳本脫、文允、原互錯、繆本同、據惠本乙改、吳本作文中、北本脫、案、玄洵一名洵、參見本縣侯玄泓條校記(9) 僧、北本誤增、案、縣志十六作僧(10) 奇、原作琦、吳本同、據繆本北本改、實、吳本作保、案、縣志十一、府志三四與吳本同、然終非舊本面目、不從(11) 案、楷、縣志十一作掄

(12) 六舉、令、後卷誤定、據姓氏錄改、案、縣志十一、府志三、皇明經世文編凡例皆與姓氏錄同(13) 案、楨、縣志十一作楨(14) 六舉(15) 汪、姓氏錄同、紀略作江(16) 濬、後卷作濬、據姓氏錄改(17) 玄泓、原作元泓、繆本吳本作法、據北本改、案、縣志十六侯澗傳謂原名泓、字研德、沆、洵弟、吳本與之合、而姓氏及北本、概有玄字在其上、又社事始末亦作元沆、元泓、其單名者、當非原名

崇明縣

宋龍「子猶」黃玄(九輪)<sup>2</sup>

(1) 子猶、據光緒太倉州志稿本傳補(2) 玄、補錄及吳本作元、據北本改

松江府

夏允彝(彝仲)<sup>1</sup> 李雯(舒章) 朱灝(宗遠) 徐方廣(思曠) 周室勳(辰臣) 朱積(蘊古)<sup>2</sup> 張寬(子服) 徐鳳彩(聖期) 周希文(范若) 鞠履僂(子先)<sup>3</sup> 唐允諧(尹季)<sup>4</sup> 郁繼垣(選士)<sup>5</sup> 夏鼎(九象)<sup>6</sup> 林希灝(敬生)<sup>7</sup> 薛已鼎(義琰)<sup>8</sup> 沈漢冲 唐正 宋家楨(瑞生) 翁起鵬(扶九)<sup>10</sup> 蔡秉謙 喬基(公定) 朱履吉<sup>11</sup> 宋元鼎

(1) 萬四六舉、十進(2) 三舉、十六進、蘊古、姓氏錄作元蘊(3) 鞠、紀略作陶、僂、前卷作稱、據姓氏錄紀略改、案、康熙松江府志三七天啓元年恩貢有鞠履儀、當是同輩族人、末一字從人、陶稱二字疑俱誤(4) 天四舉、尹季、原誤倒、繆本同、惠本誤李尹、今改、案、府志三六、光緒華亭縣志十二、皇明經世文編凡例、社事始末皆作尹季(5) 九舉(6) 象、北本誤輝、案、府志三七作家、乾隆金山衛志十一謂字象九、誤倒(7) 敬生、姓氏錄作贊明(8) 琰、吳本省玉、以避帝諱、案、後卷華亭有薛靖、字義琰、頗疑復出、而其名不同、姑仍之(9) 漢、北本作翰、補錄誤以下一人唐正為漢冲字、據姓氏錄分為兩人(10) 起、補錄及北本作一、扶九、缺、據吳本改補、案、傳略云、起鵬、字扶九、見王澐贈詩、又華亭有翁起鵬、傳略亦引王澐贈詩、蓋其兄弟也(11) 朱履吉一人、吳本脫

華亭縣

周立勳(勅卣) 徐宇遠(闇公)<sup>1</sup> 彭賓(燕又)<sup>2</sup> 顧開雍(偉男)<sup>3</sup> 俞廷諤(彥直)<sup>4</sup> 徐期生(無爽)<sup>5</sup> 盛慶遠(靈飛) 張密(子退) 吳沂(中水)<sup>6</sup> 王家福(聖臣) 徐桓鑿(惠朗)<sup>7</sup> 嚴龍(子猶) 俞國杰 徐煒(元宣) 徐致遠(武靜) 周季勳(成子) 張安茂(子美)<sup>8</sup> 楊時琦 唐醇(去疵)<sup>9</sup> 錢穀(內史) 翁起鵬(子上)<sup>10</sup> 張文源(古潢) 陸慶裕(文鏡) 夏完德(在明) 夏完愚(明古)<sup>11</sup> 彭容(愚若)<sup>12</sup> 王溥(勝時)<sup>13</sup> 陸慶滋 姜爾珏(兩玉)<sup>14</sup> 王宗熙(孟衍)<sup>15</sup> 徐纘高(孝若)<sup>16</sup> 錢士璠(魯玉)

張壽孫(詒汝)<sup>17</sup> 李棟(素心)<sup>18</sup> 薛靖(義琰)<sup>19</sup> 董宏修(千家)<sup>20</sup>  
 林萼(古繁) 姚綸(惠言) 章晏(次清) 楊時儼  
 蔡文瀛(季海)<sup>21</sup> 顧倚位<sup>22</sup> 章闡(子章)<sup>23</sup> 陸慶臻(集生)<sup>24</sup>  
 盛重輝(孝潔)<sup>25</sup> 吳單桂(仙令) 陸洵(才水) 董士酉(佑甲)<sup>26</sup>  
 董士餘(姚申) 楊枝起(我旗)<sup>27</sup> 盛重建 徐紹  
 周序勳 陸慶衍(孝長)<sup>28</sup> 王健<sup>29</sup> 莊儉  
 宋元身(履潔)<sup>30</sup> 章簡(次弓)<sup>31</sup> 章曉 王之翰  
 彭彥卿 陸慶紹[孟聞]<sup>32</sup> 吳中楫(問濱) 盛重禧(孝來)  
 郁汝持(子衡)<sup>33</sup> 徐元喆(吉人)<sup>34</sup> 沈汝淇<sup>35</sup>

(1) 十五舉 (2) 三舉、又、前卷誤生、據姓氏錄改、案、府志三  
 六、光緒華亭縣志十六、皇明經世文編凡例皆作又 (3) 男、吳本作  
 南、案、社事始末、縣志十三、李延是南吳舊話錄二三皆與吳本同、  
 作南固有所據、而前卷及北本作男、又宋徵璧(存楠) 左氏兵法測要  
 (明刻本) 同郡參定友人姓氏有顧開雅偉男、兩吳書原本之作男、無  
 可疑矣 (4) 天四舉、俞、紀略誤余、案、彥直之姓俞、有府志三六、  
 社事始末可證、而始末云、俞彥直先生竑、則彥直亦名竑 (5) 三舉  
 (6) 沂、姓氏錄同、紀略作忻 (7) 桓、紀略誤恒、案、皇明  
 經世文編凡例、社事始末俱作桓 (8) 子美、前卷及北本缺、據吳本  
 補 (9) 醇、北本誤醒、案、社事始末云、唐服西先生醇 (10) 上、  
 原誤止、繆本同、惠本誤丘、據姓氏錄改、案、社事始末云、翁子上  
 先生起鶚 (11) 愚、吳本誤淳、明古、前卷缺、據姓氏錄嘉善條補、

案、完淳、允彝子、生於崇禎四年、張溥在日、復社三舉大會、至十  
 五年、即溥沒後一年、又大會於虎丘、乃社集尾聲、是時完淳年僅十  
 二歲、又其姓氏唯見吳本、他本皆不錄、蓋吳本因其名人妄改、不可  
 從也、北本於本縣錄完愚、而缺其字、又錄於嘉善、謂字明古、當即  
 復出、其字據補、上一人完德、姓氏錄亦錄於嘉善 (12) 愚若、前卷  
 缺、據姓氏錄補 (13) 勝時、前卷缺、據姓氏錄補、案、社事始末云  
 王大來先生溥、即改字勝時、名溥 (14) 兩、後卷誤兩、據姓氏錄改  
 案、府志三七、縣志十三作兩 (15) 九舉、十六進、宗、後卷誤崇、  
 據姓氏錄改、孟衍、後卷及北本皆缺、據吳本補、案、府志三五謂王  
 宗熙、字孟衍、宗字題名碑錄同 (16) 九舉、案、紀略華亭有徐纘若  
 似即是人、此不別出 (17) 六舉、孫、繆本誤生、詒汝、繆本誤詒女  
 姓氏錄作詒女、案、左氏兵法測要同郡參定友人姓氏有張壽孫詒汝  
 (18) 六舉 (19) 琰、吳本省玉、以避帝諱 (20) 于、北本作子 (21)  
 案、傳略引松風餘韻云、文瀛後改名縱、更字季直、而姓氏錄青浦又  
 錄蔡縱、補錄同、乃複出也、因文瀛錄於後卷、縱在補錄、存此刪彼  
 (22) 倚、原無、據繆本補、案、孰有衍脫未詳、姑從舊本 (23) 案、  
 社事始末謂字少章 (24) 十五舉、集、後卷誤藥、據姓氏錄改、案、  
 府志三六、乾隆青浦縣志二二、社事始末皆作集 (25) 重、姓氏錄氏  
 錄同、紀略作仲、案、本縣有盛重建、盛重禧、仲字疑誤 (26) 案、  
 皇明經世文編凡例有董雲申、字士開、據此、後卷名字似互錯、而凡  
 例實有名字互錯之例、如蘇州姚宗昌、長洲姚宗昌、因不據改、下同  
 (27) 三舉、七進、旗、後卷作初、今改、案、府志三五謂字我旗、

疑初乃旗字之形訛，此從方志(28)十五舉、十六進(29)健、北本作健(30)案、社事始末云、宋轅文先生徵輿、原名元身、因其原名不通行、特引此文、著其改名(31)天四舉(32)十五舉、孟聞、據府志三六、社事始末補、案、乾隆青浦縣志二謂字孟聞、疑誤(33)六舉、十六進(34)詰、補錄作吉、據姓氏錄改、元、吳本脫(35)淇、補錄作洪、吳本作祺、據北本改

上海縣

潘<sup>1</sup>桓(殿虎)<sup>1</sup>包爾庚(長明)<sup>2</sup>馬元調(巽甫)宋存標(子建)朱在鎬(遷公)<sup>3</sup>李待問(存我)<sup>4</sup>何厚(愨人)<sup>5</sup>喬世植(子方)潘<sup>6</sup>敞(九閔)潘堯納(弗迷)<sup>7</sup>閔陳堯(中開)王有孚(尹玉)范<sup>8</sup>螯弧(貳師)范彤弧(細侯)范<sup>9</sup>螯弧(冠軍)喬鼎臣(殿卿)徐天麟(陵如)<sup>10</sup>潘<sup>v</sup>劍奇

(1)天七舉(2)九舉、十進(3)十五舉(4)三舉、十六進(5)三舉、厚、姓氏錄作剛、案、府志三六云、何厚、改名剛、乾隆上海縣志九同(6)植、吳本作植、惠本誤梅、案、府志三七順治歲貢有喬世植、字子方、縣志九同、吳本似是、惟繆北二本既同、惠本亦從木、其植字未可遽改(7)弗、前卷作勿、據姓氏錄改(8)北本謂螯弧字冠軍、螯弧字貳師(9)卿、吳本作史(10)天四舉、四進、陵、原作凌、吳本同、據繆本北本改、案、府志三五作凌、縣志九作陵

青浦縣

<sup>1</sup>陳子龍(臥子)<sup>1</sup>宋存楠(養木)<sup>2</sup>杜駿徵(徠西)王元玄(默公)<sup>3</sup>杜甲春(端成)<sup>4</sup>翁德璋(德生)<sup>5</sup>趙伺如(人孩)<sup>6</sup>曹鳳苞(夏士)湯<sup>7</sup>琢(公瑾)鐸古洵(生三)曹嘉(魯元)李是楫(原煥)<sup>8</sup>杜麟徵(仁趾)<sup>9</sup>

(1)三舉、十進(2)天七舉、十六進、奏、前卷作讓、吳本作向、據北本改、案、府志三五云、宋徵璧尚木、原名存楠、同三六謂字奉木、蓋存楠改名後、更字尚木、篆篆形義俱近、此從北本(3)玄、原作圓、吳本同、繆本作元、據惠本北本及紀略改(4)成、北本誤臣、案、社事始末云、余兄甲春、字端成(5)德璋、北本作爾璋(6)如、北本誤人、案、社事始末云、趙人孩先生伺如(7)琢、後卷作啣、據姓氏錄改、案、社事始末云、湯公瑾先生涵、又有異同、不知孰是(8)原煥、後卷及北本皆缺、據吳本補、案、府志三七謂字原煥、乾隆青浦縣志二同、而皇明經世文編凡例作原煥、疑誤(9)天元舉、四進、案、紀略有杜麟琪、疑即麟徵、或即金山衛杜駿徵、亦未可知、紀略訛誤頗多、不可為典要、此不別出

金山衛

<sup>1</sup>盛翼進(麟汝)<sup>1</sup>杜駿徵(罔思)<sup>2</sup>宋與琦(有韓)<sup>3</sup>陸慶會(文孫)趙<sup>4</sup>佺(聲侗)翁元益(象九)<sup>5</sup>宋卓(立萬)董象祖(視烈)董象功(見樂)<sup>6</sup>陳宗倫(秉生)<sup>7</sup>姜爾珠(慈授)董宏學(非究)

董勳(鄂生) 陳乘教<sup>8</sup>  
陳爾振(永和)<sup>9</sup>

王輔世(德一) 王烈(名世)

趙梅鼎(調玉) 趙燭遠(晉允)<sup>20</sup> 江南春(掌垣) 江南秀(令則)<sup>21</sup>  
蔣演生(寅伯) 張祖吳(伯郡)<sup>22</sup> 許之漸(儀吉) 顧澹生

(1) 隣汝、前卷作鄰女、據姓氏錄改、案、社事始末云、盛隣汝先生翼進(2) 騏、北本作驥、罔、吳本作罔、繆本誤回、案、社事始末云、余叔回思先生、諱騏徵、吳本似是、而惠北兩舊本既同、不敢遽改(3) 與、北本誤典、有、吳本誤又、案、社事始末云、宋又韓先生與琦、吳本似是、而左氏兵法測要同郡參定友人姓氏云、侄與琦有韓、作又非是(4) 孩、北本作孩、聲作齊、案、紀略華亭條有趙孩、當即是人(5) 萬四六舉、七進、案、劉本復出於後卷華亭、繆本則唯錄於此、又劉本後卷字缺、存此刪彼(6) 見、惠本作是(7) 秉生、前卷缺、據姓氏錄補(8) 乘、紀略作秉(9) 振、補錄誤徵、和、繆本誤如、據姓氏錄改、案、社事始末云、陳子威先生爾振

常州府 武進縣

劉憲章(端甫) 徐法(式之) 徐洽(浹之) 鄭郿<sup>2</sup>  
龔九鼎(禹疇)<sup>3</sup> 譚志(中孚)<sup>4</sup> 吳方思(方之)<sup>5</sup> 劉曉(旭來)<sup>6</sup>  
鄭珏 龔九疇(禹錫)<sup>7</sup> 曹司文(在茲)<sup>8</sup> 馮斐道(成簡)<sup>9</sup>  
張龍文(掌霖)<sup>10</sup> 鄒嘉穀(庭若)<sup>11</sup> 毛念恃(爾依) 黃章[含仲]<sup>12</sup>  
陳震生(青雷)<sup>13</sup> 周午(仲然) 王之佐(尚卿) 王之賓(客卿)  
韓鍾勳(不挾)<sup>14</sup> 陸自嶽(岱瞻)<sup>15</sup> 陳組綬(伯玉)<sup>16</sup> 鄒氏穀  
陳咨稷(子育)<sup>17</sup> 許遂(仁百)<sup>18</sup> 惲本初(道生) 惲鵬士(古卿)<sup>19</sup>

(1) 天四舉、十進、甫、惠本繆本誤可、案、道光武進陽湖合志二四有傳(2) 郿、吳本作邨、案、康熙常州府志十六、順治十五年歲貢有鄭邨、而疑為另一人(3) 三舉、禹疇、惠本脫(4) 中孚、惠本繆本北本皆缺(5) 六舉、十三進(6) 十二舉、來、原作東、惠本繆本作宋、據姓氏錄改(7) 十二舉、十六進、禹錫、惠本作錫疇、繆本脫(8) 在茲、惠本繆本俱缺(9) 成簡、前卷及北本皆缺、據吳本補(10) 張、後卷誤章、霖、繆本誤林、據姓氏錄改、案、合志二二三有張龍文傳、謂字掌麟(11) 六舉(12) 黃、繆本作玉、吳本同、後卷及吳本謂字漢臣、北本則缺、案、王章、字漢臣、武進人、崇禎元年進士、官至陝西道御史、贈大理卿、諡節愍、事蹟見府志二四、合志二二三等、而合志二八有黃章傳、謂字含仲、邑諸生、師吳鍾繼、晚與薛柔友善、北本之黃章、當即是人、其字據補、王章則自登第後、丁內艱歸里外、始終在官、當非社中人、諸本之或作王、或謂字漢臣者、皆由後人妄改、不可從也(13) 十二舉、十六進(14) 天四舉、四進、挾、補錄作扶、據姓氏錄改(15) 三舉、四進、瞻、北本作詹(16) 天元舉、七進(17) 十五舉、咨、補錄及北本作士、據吳本改、案、傳略引常州府志云、咨稷、字子育、睿護子、所引府志雖未檢得、而似可信、從之(18) 百、吳本作伯(19) 士、補錄作生、據姓氏錄改(20) 允、吳本作引(21) 令則、補錄脫、北本作引口、據吳本補

(22) 郡、補錄作卿、據姓氏錄改

無錫縣

馬世名(君闇)<sup>1</sup> 秦鏞(洪甫)<sup>2</sup> 王孫蕙(晚季)<sup>3</sup> 顧杲(子方)  
 高廣(遠度) 華廷獻(修伯) 黃家舒(漢臣)<sup>4</sup> 華時亨(仲通)  
 王孫芝(房孟) 王延禧(錫卿) 王玉汝(元琳)<sup>5</sup> 黃鍾亮(彥寅)  
 秦鏞(亮甫) 馬瑞(爾采)<sup>6</sup> 吳維藩(岳立)<sup>7</sup> 李廷燦(若星)  
 侯長源(伯遠) 侯宗源(伯源) 秦德滋(以翼) 華廷賓(嘉仲)<sup>8</sup>  
 浦廷卿(汝弼) 周如璽(鴻章)<sup>9</sup> 楊廷棟(元吉) 楊廷柱(介石)  
 楊之傑(英仲) 呂陽(瞻望)<sup>10</sup> 唐德亮(采臣)<sup>11</sup> 馬世奇(君常)<sup>12</sup>  
 張德滋 黃元瑞 許梅(用調) 華赤(全兢)<sup>13</sup>  
 許王儼(孝酌)<sup>14</sup> 秦楠 王孫蘭(晚仲)<sup>15</sup>

(1) 天元舉 (2) 三舉、十進、洪、原作宏、惠本作弘、據姓氏錄  
 改 (3) 三舉、七進、晚、北本作晦、吳本作晦、案、本縣有王孫蘭  
 字晚仲、晦晦疑俱誤 (4) 漢、北本誤漢、案、康熙無錫縣志二十、  
 錫金識小錄四俱作漢 (5) 琳、北本誤隣、案、明刻譚友夏合集十四  
 評閱姓氏署款作琳、縣志二同 (6) 十二舉、十六進、瑞、前卷誤  
 端、采誤來、據姓氏錄改、案、縣志二十、錫金識小錄四俱與姓氏錄  
 同 (7) 藩、吳本作蕃、案、維藩又見補錄、謂字道勝、傳略以維藩  
 維蕃俱列入、而無傳、蓋維藩一字道勝、非別有維蕃其人也、今定為  
 複出、存此刪彼 (8) 廷、後卷作延、疑誤、據姓氏錄改、案、前卷

有華廷獻(9) 鴻、北本作洪(10) 十二舉、十三進(11) 十五舉  
 (12) 天四舉、四進(13) 全、吳本作金(14) 許、北本繆本俱脫、  
 案、孝酌、傳略無傳、則其許字、當非據他書而補、吳本原已如此也、  
 又錫金識小錄四、聽社十七子有許孝酌王儼、因從吳本(15) 天四舉、  
 四進

江陰縣

黃毓祺(介子)<sup>1</sup> 徐時進(元修)<sup>2</sup> 徐遵湯(仲昭) 袁珍(元聲)  
 夏寶忠(孝琛)<sup>3</sup> 吳幼學(敏仲) 鄧林楨(克生)<sup>3</sup> 沈鼎科(鉉臣)<sup>3</sup>  
 黃大湛 黃大洪

(1) 祺、紀略誤奇、案、明史侯峒曾傳作祺 (2) 時、原誤士、據  
 惠本及姓氏錄改、案、康熙江陰縣志十四、府志二五有傳 (3) 忠、  
 北本誤志、案、縣志十三有傳 (4) 楨、吳本作楨 (5) 三舉、四進  
 (6) 大洪、補錄及北本作六湛、據吳本改、案、北本雖舊、訛誤不  
 少、補錄所據與北本合、僅可證其有淵源、不可謂無誤、明史侯峒曾  
 傳謂黃毓祺子有大湛、大洪、吳本之作大洪、或原本即如此、抑據他  
 書而改、雖不得而知、然似可信、姑從之

宜興縣

陳貞慧(定生) 徐懋賢(位甫)<sup>1</sup> 許啓洪(任宇)<sup>2</sup> 路之陞(子臨)<sup>3</sup>  
 楊湛露(燕侯) 吳繼文(西仍) 吳守琦(蘭生) 吳守玠

堵道南(南枝)王求(信之)徐懋曙(復生)<sup>4</sup>周奕封(如公)<sup>5</sup>  
周肖儒<sup>6</sup> 萬謙<sup>7</sup>

(1)懋、原誤相、繆本同、惠本誤想、據姓氏錄紀略改、位、前卷  
作立、據姓氏錄改、案、府志十六作懋、雍正增修宜興縣志七同  
(2)天四舉(3)陞、北本誤陞、子、後卷作足、據姓氏錄改、案、  
府志十六、縣志七作陞(4)三舉、四進(5)十五舉、茹公、補錄  
及北本缺、據吳本補(6)天七舉、十三進、肖、吳本作正、案、縣  
志八有周正儒傳、謂原名肖儒、延儒弟

鎮江府

賀王醇(魯縫)賀儒瑜(美斯)于鼎(子巨)<sup>1</sup>周銓(簡臣)<sup>2</sup>  
于繼藩(翰明)陳璠(重玉)<sup>3</sup>談兆隆(伯棟)<sup>4</sup>縉湘(沅水)<sup>5</sup>  
王重(有三)<sup>6</sup>

(1)巨、惠本作臣(2)九舉、十進(3)案、康熙金壇縣志九、  
順治貢生有陳蕃、字仲育、疑卽是人(4)後卷作譚兆龍伯棟、譚字  
吳本同、紀略作談兆龍、據北本改、案、康熙丹徒縣志七、康熙鎮江  
府志三一俱與北本同(5)三舉、四進

丹徒縣

殷宜中(義卿)<sup>1</sup>潘一桂(木公)錢邦芑(開少)徐學古(信之)

陳謙陽(吉之)張美中(孟文)劉孟震(長公)<sup>2</sup>鄒繼曾(二魯)<sup>3</sup>  
孫時傑(季人)<sup>4</sup>錢邦駿(馭少)<sup>5</sup>潘陸(江如)<sup>6</sup>王家藩(國屏)  
馬應瑞(芝生)王允升(廣明)吳覲宸<sup>7</sup> 吳拱宸(襄宗)  
周鉞<sup>8</sup> 王士寧

(1)三舉、七進(2)劉、後卷作縉、據姓氏錄改、孟、後卷及北  
本皆作夢、據吳本改、案、康熙丹徒縣志八下本傳作夢、而天啓崇禎  
兩朝遺詩小傳作孟、有注云、俗訛爲夢、從之(3)鄒、吳本誤郭、  
案、縣志七皇清貢生有鄒繼白、同八有鄒繼思傳、蓋其族人(4)人、  
吳本作少(5)案、縣志八有錢邦寅傳、謂字馭少、邦芑弟、未詳孰  
是孰非(6)江、繆本誤汪、案、縣志八下、府志三七有傳(7)宸  
補錄及北本誤辰、據吳本改、說見下(8)九舉、宸、補錄及北本誤  
辰、襄宗、缺、據吳本改補、案、縣志七、府志三十、遺民詩十四皆  
與吳本同、補錄二吳名下一字、當從吳本

金壇縣

周鏞(仲馭)<sup>1</sup>周鍾(介生)<sup>2</sup>周鉉(遠侯)史弘謨(文若)<sup>3</sup>  
周鎔(我容)周金(伯玉)<sup>4</sup>王錫蘭(紉佩)<sup>5</sup>蔣鳴玉(楚珍)<sup>6</sup>  
楊良弼(巖公)<sup>7</sup>段憲(有常)劉蘇(玉生)<sup>8</sup>高遇(冬侯)<sup>9</sup>  
武際飛(九羽)<sup>10</sup>劉國欽(叙生)<sup>11</sup>馮篁(我最)張化(麟聖)  
蔣煥(聞然)周而沛<sup>12</sup> 繆琚(我式)江潢(慶生)<sup>13</sup>  
張大心(天放)<sup>14</sup>張遠心(無宥)<sup>15</sup>于琚(君玉)<sup>16</sup>于琳(雍來)<sup>17</sup>

史諫筆(獻可) 孫可顯<sup>18</sup>

史默

張琪旭<sup>19</sup>

繆瑾(我佩) 馮堂(民瞻) 楊鉉(君玉) 史旭

馮邁(捷先) 臧廉(靜生) 王士鏞(元治)<sup>20</sup> 史麟孫<sup>21</sup>

張明弼(公亮)<sup>22</sup>

(1) 天四舉、元進(2) 十二舉、十六進(3) 弘、原作宏、繆本

吳本同、據惠本北本及紀略改(4) 金、紀略誤欽、案、康熙金壇縣

志九作金(5) 初佩、前卷缺、據姓氏錄補(6) 三舉、十進(7)

三舉、巖、原作岩、繆本同、惠本作崑、據姓氏錄改、案、縣志九、

府志三十俱作巖(8) 生、吳本誤立、案、縣志九、府志三一俱作生

(9) 九舉、冬侯、前卷作君徵、此從姓氏錄、案、縣志九、府志三

十俱謂字冬侯(10) 三舉(11) 十二舉、欽、前卷誤卿、據姓氏錄紀

略改、案、縣志九、府志三十、題名碑錄皆作欽(12) 沛、吳本作衍

謂字東會、案、諸本及紀略皆作沛、周而衍即有其人、似為另一人、

其字不補(13) 三舉、十六進、慶、前卷及吳本作度、據北本改、案

府志二九作慶(14) 天放、前卷及北本皆缺、據吳本補(15) 無石、

前卷及北本皆缺、吳本作無巖、今改補、案、傳略引金壇志、而縣志

九作石、蓋吳本以宕訛岩、又改作巖、字之誤也(16) 君、吳本作居

(17) 雍來、據縣志九、府志三一補(18) 可、繆本作奇(19) 琪、

後卷作祺、據姓氏錄改(20) 三舉、四進、冶、補錄誤治、據姓氏錄

改、案、縣志九士作仕、同十二本傳同、而題名碑錄作士、與諸本合

從之(21) 孫、補錄作生、據姓氏錄改(22) 六舉、十進

丹陽縣

荆良(石兄)<sup>1</sup> 荆廷實(實君)<sup>2</sup> 荆廷璧(君佩) 荆康胤(燕孫)<sup>3</sup>

荆本澈(大澈)<sup>4</sup> 盛順(順伯) 賀燕徵(玄生)<sup>5</sup> 荆樹明(雨若)

荆洞明(靜生)<sup>6</sup> 荆湘(湘芷)<sup>7</sup> 荆衍毅(爾戩)<sup>8</sup> 賀鏗(子展)<sup>9</sup>

賀璘(瑞如)<sup>10</sup> 荆笈(還咨) 荆何<sup>11</sup> 賀瑄(獻虞)

賀達 賀焯(秩東) 賀儒珍(悟希)<sup>12</sup> 賀裳(黃裳)<sup>13</sup>

馬安陽 賀在位(孫膚)<sup>14</sup> 束紱(素兮)<sup>15</sup> 馬宇陽(夢白)

賀敷治(堯臣) 賀黃(公期)

(1) 兄、北本作元(2) 天四舉、十六進、實君、原作寔君、繆本

同、據惠本及姓氏錄改、案、府志二九、皇明經世文編凡例俱作實君

(3) 胤、原作肩、繆本吳本同、據惠本北本改、孫、原作生、繆本

吳本同、北本脫下一字、據惠本改(4) 天四舉、七進、兩澈字、前

卷俱作徹、今改、案、府志二九、乾隆丹陽縣志十七俱謂名本澈、字

大澈、題名碑錄亦作本澈(5) 玄、原作元、繆本吳本同、據惠本北

本改(6) 洞、吳本作澗、北本作澗、不知孰是、姑從前卷(7) 莖、姓

氏錄同、繆本作生(8) 爾戩、前卷缺、據姓氏錄補(9) 鏗、姓

氏錄同、惠本作錄(10) 璘如、惠本繆本俱缺、北本作瑞如、案、揚

雄甘泉賦云、璧馬犀之璘璘、作璘似是(11) 案、府志二九順治十二

年進士有荆柯、字公近、丹陽人、疑即是人(12) 天元舉、四進、珍、

吳本作修、紀略誤琛、案、道光武進陽湖合志十七云、儒珍、後改儒

修、又紀略金壇有賀瑜珍、疑即儒珍、或淆以鎮江賀儒瑜、亦未可知、

此不別出(13)黃裳、原作黃公、吳本同、據北本繆本改、案、府志三七、縣志十七有傳、謂字黃公、而明刻旨齋詩草有賀序、署曰練水友弟賀裳黃裳氏(14)孫膚、補錄作遜膚、吳本作孫齊、據北本改(15)束紱、吳本作吳來紱

應天府

張一儒(彥先)王潢(元倬)陳丹衷(涉江)王亦臨(穆如)  
徐張吳(天岩)劉服膺(膺服)王櫓(室藩)許鏘(韻遠)  
周景濂(仍叔)史彖(誠儒)何宏保 張韡(啓棠)  
邢師(同寅)楊士尤(異子)魏台(非仲)楊維空(羅有)  
孫臣(个臣)黃基(應厚)伍之義(從甫)胡寧(伯純)  
朱尙雲「槐里」伍之璧 吳古懷(弗如)曾魯  
徐時霖(澤商)伍以弘

(1)九舉(2)十二舉、十六進、涉江、北本作旻昭、吳本作敏昭、案、傳略據上元志、無聲詩史謂字敏昭、號涉江、敏、姜紹書無聲詩史四作旻、劉城嶧桐詩集二、八同、敏字疑誤、此從前卷(3)十二舉(4)岩、吳本作巖(5)服、繆本作股、北本作起(6)十二舉(7)臣、吳本作石、个、繆本作介、吳本作介、案、賴古堂尺牘新鈔二選藏弄集六標目云、孫石、介臣、江南江寧人、孫石確有其人、而終非舊本面目、疑吳本妄改(8)厚、吳本作存(9)义、補錄作儀、北本作義、從甫、補錄及北本缺、據吳本改補、案、義俗字义、

與义形近、义义之孰為形訛、雖未可知、而傳略引上元志、似有所據姑從之(10)槐里、據何楷詩經世本古義(日本覆明刻本)較正門人姓氏補(11)弗如、補錄及北本缺、據吳本補、案、溫睿臨南疆逸史四五有傳、謂字弗如(12)弘、補錄及吳本作宏、據北本改

溧陽縣

陳名夏(百史)吳穎(見末)史燧(子佩)彭旭(旦兮)  
鍾鼎(玉鉉)  
(1)六舉、十六進(2)十五舉、末、前卷誤木、北本誤末、據吳本改、案、施閏章學餘文集二十有墓誌銘(3)兮、北本作子(4)鉉、北本作鉉、此從吳本、案、吳本有傳略可參、似較確

揚州府江都縣

鄭元勳(超宗)李元介(龍侯)顧問(所陳)李樞(汝居)  
湯中允(空生)呂尚綱 李元柱 鄭元弼(廷直)  
任旋乾(以清)梁于浚(飲光)

(1)天四舉、十六進(2)李、北本作季、案、紀略作李、與諸本同(3)中允、姓氏錄同、紀略互錯(4)綱、北本作綱、吳本作炯、紀略作綱、案、康熙揚州府志十六天啓四年貢生有呂尚綱、炯即炯、吳本似是、而他本皆從糸、又雍正江都縣志三作綱、與後卷合、從之

(5) 三舉、十六進、涖、北本誤侯、于、紀略作於、案、縣志三、十五、府志十五、題名碑錄皆作于涖

儀真縣

鄭之綸(經武)<sup>1</sup> 鄭元禧(玄錫)<sup>2</sup>

(1) 經武、後卷缺、據姓氏錄補(2) 天七舉、四進、玄、補錄及吳本作元、據北本改

高郵州

楊先春(方振) 陳象曙(拂扶)<sup>1</sup>

(1) 象、繆本誤家、扶、原誤扶、繆本誤挾、今改、案、康熙高郵州志九有傳、謂字拂扶、淮南子天文訓云、日出于暘谷、拂於扶桑、是謂晨明

寶應縣

成明義(喻仲) 成明善(元夫) 成周璧(崑侯) 成周璜(潛侯) 成周鼎(世侯) 胥文儒(孟醇)<sup>1</sup>

(1) 孟醇、繆本北本俱缺、案、康熙寶應縣志九謂字孟醇

興化縣

許坦 解詵(豐羽)<sup>1</sup> 王允士 王之棠(仙尹)<sup>2</sup> 李信(吾斯)<sup>3</sup> 張文毅(子入)<sup>1</sup> 許同詵

(1) 豐羽、繆本北本俱缺、案、康熙興化縣志九有傳、謂字豐羽(2) 尹、繆本誤丑、案、縣志十作尹(3) 吾斯、繆本北本俱缺、案、縣志十有傳、謂字吾斯(4) 三舉、毅、後卷誤毅、據姓氏錄改、案、縣志七、府志十五俱作毅

泰州

季來之(大來)<sup>1</sup> 楊芳 傅應鸞 潘懋德(麟甫)<sup>2</sup> 夏光弼(夢求) 夏光彝(季夏) 沈繼曾(克纘) 王沂(再沂) 董元龍(掌霖) 張憲屏(樹侯) 宮偉鏐(紫玄)<sup>3</sup>

(1) 十五舉、季、繆本誤李、大作六、案、府志十五作季(2) 麟甫、吳本作景公、北本名字俱脫、僅有潘一字(3) 十五舉、十六進、玄、補錄及吳本作元、據北本改

通州

王傲維(鹿柴)<sup>1</sup> 王孫錦(黼明) 顧諤(天目)<sup>2</sup> 白燦(闡卿) 錢岳(五長) 包壯行(穉修)<sup>3</sup> 王毓科(俊求)<sup>4</sup> 張鵬鳴(于南)<sup>3</sup> 李培因(篤侯)<sup>5</sup> 王奎光(聚此) 顧楷(再思)

(1) 傲、北本誤傲、案、康熙通州志六作傲 (2) 天目、吳本作更日 (3) 萬四三舉、十六進、修、補錄作脩、據姓氏錄改 (4) 求、北本作成 (5) 于、補錄作子、據姓氏錄改 (6) 篤、補錄作駕、據姓氏錄改

如皋縣

宗振祚

冒襄 (辟疆) 蔣國儔

石兆璜 (夏宗)

吳素五 (優公) 李鼎 (吾鼎) 吳素貴 (白耳)

(1) 兆、吳本無、案、康熙如皋縣志三十有石璜傳、謂字夏宗、吳本似是、而後卷及北本皆有兆字、正如嘉定侯玄方兄弟例、其兆字不可遽刪 (2) 素貴、補錄誤質素、據姓氏錄改、案、縣志三十有傳

海門縣

崔思唯 (解一) 成友謙 (石生) 成弘志

濮陽至 (子半)

張璵若 (瑜公) 崔明獻 (闡公) 易象先 (秋濤) 崔大韶 (元聲)

(1) 思、後卷誤師、解一、缺、據姓氏錄改補、案、康熙通州志六順治二年歲貢有崔思唯、府志十六同、當即是人 (2) 天七舉、七進 (3) 弘、後卷作宏、康熙通州志六作弘、據改

淮安府

張奕桓 程甲 盧鴻秋 (衷素) 杜芝 (九莖) 程達 (內申) 白受麗 (類潔) 方能權 (巽若)

(1) 甲、原作申、據惠本繆本改 (2) 申、繆本作中、北本作甲 (3) 權、北本作枚、疑卽枚字之形訛

山陽縣

郭爲瑄 (岱興) 郭宗文 (維新) 蘇國美 (又東) 龐永祺 (萃玉) 夏曰瑚 (膚公) 白受藻 (素先) 韓應奎 (西履) 盧鴻齋 (修翎) 張致中 (性符)

(1) 興、吳本作興 (2) 天七舉、四進、膚、補錄誤脊、據姓氏錄改、案、同治山陽縣志十二有傳 (3) 齋、原誤齋、據繆本及姓氏錄改、案、縣志九作齋

鹽城縣

許文明 (郁然) 王應秋 (仲實) 蔣啓道 (開之) 王應 (沂安) 王廷佐 (羽聖) 許文祚 (二酉) 張樹屏 (建侯) 唐臣翹 (蓋侯)

(1) 六舉

安東縣

王緒(君述) 朱家琬 王啓運(馭六)<sup>1</sup> 劉符赤(凝玄)<sup>2</sup> 齊日盛(戒午)<sup>3</sup>

(1) 十二舉、馭、北本誤取、案、康熙安東縣志六、康熙淮安府志十一有傳 (2) 符赤、吳本誤倒、玄、補錄及吳本作元、據北本改、案、紀略亦作符赤、縣志五、府志十同 (3) 午、原作平、吳本同、據繆本北本改

桃源縣

王家麟(孟仁) 張奎光(治生) 王家鳳(羽宗) 鄭正國(四也) 王立身(不辱)<sup>1</sup>

(1) 王、繆本誤壬、案、康熙桃源縣志二順治五年貢生有王立身、當卽是人

邳州

朱士表(彬居)

宿遷縣

姚命禹(亦之)<sup>1</sup> 陸奮武(乃文) 陸奮揚 陸奮飛(九萬)<sup>3</sup>

陳弘謨(獻良)<sup>2</sup>

(1) 命禹、紀略誤倒、案、康熙宿遷縣志六、府志十俱作命禹 (2) 陳弘謨一條、繆本脫、弘、原作宏、縣志六作弘、據改 (3) 萬四六舉、四進

徐州

萬壽祺(年少)<sup>1</sup>

(1) 三舉

蕭縣

朱震(一侯) 張維賢(希聖)

沛縣

閻爾梅(古古)<sup>1</sup>

(1) 三舉、古古、姓氏錄作用卿、案、閻古古全集一、文節公白奪山人家傳云、字用卿、一字古古

徽州府

吳德鑑(于氏)<sup>1</sup> 程允晉(衆允)<sup>2</sup> 吳馡(衆香) 朱泰陽(開之) 黃鼎(卜周)<sup>3</sup> 殷周祚(長統)<sup>4</sup> 汪調鼎(士變)<sup>5</sup> 汪瑛(楷儔)<sup>6</sup>

汪知默(聞增)<sup>7</sup> 陳希昌(秉文) 吳聞禮(去非)<sup>3</sup> 吳文英(子含)<sup>5</sup>  
 潘夢桂(月生) 汪靜(常符) 汪作霖(雨若)<sup>9</sup> 吳承中(弘嗣)<sup>10</sup>  
 汪靈承(于旅) 陳所蘊(辰子) 程一礎(楚石)<sup>11</sup> 鮑太庚(幼白)<sup>12</sup>  
 洪德生(生甫) 洪德吉(吉甫) 黃振藻(幼白) 洪德常(常伯)  
 殷光湯(湯孫)<sup>13</sup> 殷光旦(滄旭) 鮑元直(于生)<sup>14</sup> 程鉉(玉鉉)  
 方雲鶚(在秋) 程新元(浣日) 程天直(若雲) 程天翔(漢集)<sup>15</sup>  
 楊春華 許奉章(來干) 許起麟(招公) 汪灝(文石)<sup>16</sup>  
 汪瀾(君一) 鮑可久 黃汝瑚(殷大) 潘陳志(求仲)  
 王仕雲(望如) 楊徵奇(正子) 汪澤飛 吳尊樸(未雕)  
 吳聖楫(仲濟) 吳霖(東三) 項時琦 吳尊古(與稽)  
 吳名世(時可) 胡士升(孟階)<sup>17</sup> 程一藩(介士) 汪沐日(扶光)<sup>18</sup>  
 鮑秉善(繼之) 方處冲(太冲) 汪遠(靜致) 汪漱予  
 程畊(闇仙)<sup>19</sup> 李廷獻(公可)<sup>20</sup> 洪琮(瑞玉)<sup>21</sup> 蔡羽亭(南涉)  
 江天一(文石) 凌紫氛(香史) 許楚(芳城)<sup>22</sup> 程起鳳(翥雲)<sup>23</sup>

(1) 于、繆本北本誤子、案、康熙歙縣志七作于(2) 衆允、原作象晉、繆本同、惠本作衆晉、據姓氏錄改(3) 天四舉(4) 三舉、統、北本誤饒、案、歙縣志七、康熙徽州府志九作統(5) 汪、紀略誤江、案、康熙休寧縣志五作汪(6) 瑛、北本作靜、案、本府有汪靜、字常符、北本謂常符名瑛、疑誤、此從前卷及吳本、汪靜條不再出校(7) 汪、紀略作江、知、前卷作如、據姓氏錄紀略改、增、原作憎、惠本同、繆本作憊、據姓氏錄改(8) 十五舉、十六進、案、

府志九謂崇禎十二年舉人、此從休寧縣志五(9) 十五舉(10) 承、後卷脫、據姓氏錄紀略補、弘、後卷及吳本作宏、據北本改(11) 案、沈國元二十一史論贊(明刻本) 金史目錄參閱姓氏有新安程礎礎石、疑卽是人(12) 六舉(13) 孫、繆本作生(14) 直、繆本作宜(15) 翔、北本作祥(16) 汪灝、後卷作江顯、據姓氏錄改(17) 階、北本作階(18) 六舉(19) 畊、吳本作畊、闇作篆(20) 天四舉(21) 十五舉(22) 楚、補錄誤芝、據姓氏錄改、芳、補錄誤方、北本同、據吳本改、案、閔爾昌碑傳集補三六有傳、謂字芳城、鄧之誠清詩紀事初編一、傳略引歙縣志同(23) 雲、補錄誤翼、北本同、據吳本改、案、歙縣志七作雲

祁門縣 莊熊 葉正春

黟縣

舒家爵(我貴) 史士偉(公廉)<sup>1</sup> 史士偉(子奇)

(1) 士、繆本作仕、下史士偉同

寧國府

沈壽國(治先) 梅朗中(朗三)<sup>1</sup> 麻三衡(孟璇)<sup>2</sup>

(1) 三、惠本誤玉、案、樓山堂集二四、嶧桐文集十、黃宗羲思舊錄皆作三(2) 璇、原作璿、繆本同、據惠本及姓氏錄改、案、思舊錄作璇、陳貞慧山陽錄作璿、或璇或璿、諸書不一、且璇璿通用、定其是非殊難、惟惠北兩舊本俱作璇、從之

宣城縣

沈壽民(眉生) 徐律時(乾若)<sup>1</sup> 徐貞一(叔子)<sup>2</sup> 陳士驄(龍媒)<sup>3</sup>  
梅士生 顏紹庭(庭生)<sup>3</sup> 徐新時(聖銘) 孫支煌(其星)<sup>4</sup>  
鍾震陽(百里)<sup>5</sup> 徐珍明<sup>6</sup> 徐襄時 鄭慄(在中)<sup>7</sup>

(1) 三舉、十三進 (2) 一、惠本北本作乙、叔、吳本作淑、案、乙卽一、非有異同也 (3) 顏、後卷誤顧、據姓氏錄改、案、詩經世本古義較正門人姓氏有顏紹庭庭生 (4) 支、補錄作友、吳本作文、紀略同、據北本改、其星、補錄脫、據姓氏錄補、案、康熙寧國府志十二順治貢生有孫支璋、似卽同輩族人、因從北本 (5) 三舉、四進 (6) 珍、北本作貞 (7) 慄、北本作懷、不知何字

涇縣

萬應隆(道吉)<sup>1</sup> 趙初沅(雪度) 王徽(慎五) 萬麒(道祥)<sup>2</sup>  
文啓元(佑人) 文敦元(良吉) 邵璜(其馨)<sup>3</sup> 邵錦(廷皓)  
邵鏗(曾撰)<sup>4</sup> 趙司直(維生) 邵晃(日生) 鄭汝敏(魯生)<sup>5</sup>  
王雲龍(雲從)<sup>6</sup> 趙如璉 沈澳(內景)<sup>7</sup> 文簡臣

陳良琛(淮生) 趙璋「太璞」<sup>8</sup> 趙瑄(漢奉) 鄭廷任「明衡」<sup>9</sup>  
鄭廷佐(明時) 朱苞(以九)<sup>10</sup>

(1) 十二舉 (2) 麒、前卷作麟、吳本同、紀略作祺、據北本改、案、嘉慶涇縣志十七有萬麒傳、謂字道祥、應隆弟、同志十八萬應隆傳云、其前後與復社之會者、爲……萬麟……(以上二十二人、並據復社錄採入)、麟卽應隆弟、字道瑞、志所據復社錄、卽吳應箕輯吳銘道補三卷本姓氏、固有萬麟其人、而志云字道瑞、與姓氏不合、由此考之、雖麟似曾入社、而非姓氏錄之萬道祥、唯北本無誤、從之 (3) 璜、姓氏錄作鑽、案、上引萬應隆傳云、邵璜邵鑑見太平志、疑俱太平人、據此、太平志確有邵璜其人、而邵鑽正列於姓氏錄太平條、疑鑽乃璜字之訛、此從前卷 (4) 鏗、前卷作鑑、據姓氏錄改、曾撰、惠本作會模、疑誤、案、邵鑑乃太平人、說見上、補錄太平條有邵鑑、字冰徽、卽此人也、本縣邵鑑、謂字會撰、而姓氏錄寧國府條亦有邵會撰、名鏗、此則可信、從之 (5) 汝、吳本誤時、魯生、後卷缺、據姓氏錄補、案、縣志十八有傳、但謂字魯若、則與姓氏錄不同、未詳孰是 (6) 六舉 (7) 澳、後卷作煥、內景、缺、據姓氏錄改補、案、上引萬應隆傳據所見姓氏作澳、則姓氏亦有作澳者、從火疑誤 (8) 太璞、縣志十七本傳云、字太璞、號韞山、瑄兄、據補 (9) 明衡、據縣志十八本傳補 (10) 案、北本僅有朱一字、以下缺

寧國縣

洪啓權(玉衡)<sup>1</sup> 沈蓮生

黃一彥

吳廷幹(禎卿)<sup>8</sup> 胡躍龍

姜可久(又久)<sup>9</sup> 劉廷鏊(幼濟)<sup>9</sup>

胡士昌(進也)<sup>10</sup> 詹政

(1) 九舉

太平縣

邵鑑(冰徽) 王枚(吉士) 王新賢(承周)<sup>1</sup>

(1) 周、吳本作問

池州府

劉城(伯宗) 丁煜(介之)<sup>1</sup> 吳履嘉(元禮) 吳應纂(緒倩)<sup>2</sup>  
李愨(敬仲) 胡士瑾(鍾郎)<sup>3</sup> 金學重(任夫)

(1) 丁、惠本誤下、案、樓山堂集二五作丁 (2) 倩、前卷誤修、據姓氏錄改、案、嶧桐詩集八作倩 (3) 九舉、十三進

濟、北本脫 (10) 天七舉、元進

青陽縣

孫象壯(子輓) 吳鍾(空之)<sup>1</sup> 羅尙甲(季先)<sup>2</sup> 羅朗士(玉朗)<sup>3</sup>  
吳中英(在茲)<sup>4</sup> 吳介(于石)<sup>5</sup> 張國救(公晉) 羅雲達(遠伯)  
姜寅(汝亮) 江士栻(小張) 孫象震(子修) 施承覺(寐生)

貴池縣

吳應箕(次尾) 李愨(源常)<sup>1</sup> 吳應筍(玉班)<sup>2</sup> 劉廷鑾(在公)  
吳應奎(荐元)<sup>3</sup> 吳應筵(席之) 吳遇(元章)<sup>4</sup> 王心介(吉先)  
吳希孟(孟醇) 李達(行季)<sup>5</sup> 吳文炳(虎承)<sup>6</sup> 吳應夢(發若)  
胡士邵(美輝)<sup>7</sup> 胡士表(宏中) 李緄(寅公) 王心睿(公儼)

(1) 空、北本誤定、案、嶧桐詩集九作空 (2) 甲、北本誤申、案、樓山堂集二五、嶧桐詩集十俱作甲 (3) 玉、前卷作王、據姓氏錄改 (4) 茲、後卷作英、據姓氏錄改、案、紀略青陽有吳中美、疑卽中英、此不別出 (5) 于、後卷作子、據姓氏錄改、案、易云、介于石、作于似是

石埭縣

唐一沂(魯生) 唐一漸 蘇學會(魯如)<sup>1</sup> 唐望之(伯膺)<sup>2</sup>

唐昌之(期吉)<sup>3</sup>

(1) 曾、惠本誤會、案、康熙石埭縣志六作曾 (2) 望之、補錄及北本互錯、據吳本乙改、膺、北本作鷹、繆本作雁、案、乾隆池州府志三三作望之 (3) 昌之、補錄及北本互錯、據吳本乙改

建德縣

胡奇(常之)<sup>1</sup> 鄭三謨(都甫)<sup>2</sup> 孔尙豫(仲石)<sup>3</sup> 江桓(武子)

(1) 六舉 (2) 天四舉、都甫、惠本繆本俱缺 (3) 案、康熙建德縣志八有傳、謂更名尙鋪、尙鋪之名見嶧桐詩集九

東流縣

檀明易(無過)

太平府

宋汝鵬(天來)<sup>1</sup> 韋人駮(□雲)<sup>2</sup>

(1) 來、北本作水 (2) 韋、吳本作章、駮、北本作駮、□雲、補錄及吳本缺、據北本補

當塗縣

曹在臺 吳更生(叔向) 王運泰(開孺)<sup>1</sup>

(1) 開孺、補錄及北本缺、據吳本補、案、康熙當塗縣志二四有傳

蕪湖縣

沈士柱(崑銅) 張明象(玄湛)<sup>1</sup> 朱家禾(穎立) 朱長澤(祖潤)<sup>2</sup>

朱有章(西離) 潘延年(右枚)<sup>3</sup> 杜時舉(直卿)<sup>3</sup> 彭述古(幼官)<sup>3</sup>

蕭雲倩(小曼)<sup>4</sup> 蕭雲從(尺木) 湯紹自 葛綏(福履)<sup>7</sup>

施天植(立先)<sup>5</sup> 施可憐(子原) 施可遇(元孚) 施天孫(元培)

張一如(來初)<sup>6</sup> 羅世繡(繡銘)<sup>10</sup> 葛天裔(仍氏)<sup>11</sup> 朱長履(祖放)<sup>12</sup>

羅世摺(摺笏) 羅世藻(真明)<sup>13</sup>

(1) 玄、原作元、繆本吳本同、據惠本北本改 (2) 九舉、朱長源一條、吳本脫 (3) 延、前卷作廷、據姓氏錄改、右、姓氏錄同、惠本作在 (4) 舉、繆本吳本誤舉、案、民國蕪湖縣志四五、五十作舉 (5) 幼官、前卷缺、縣志五十本傳謂字幼官、據補 (6) 十二舉 (7) 綏、繆本誤綏、福履、後卷缺、據姓氏錄補、案、縣志四五與姓氏錄同 (8) 立、姓氏錄同、繆本作亥 (9) 三舉、四進 (10) 繡銘、補錄作綉銘、據姓氏錄改、案、縣志四五、五十作繡銘 (11) 氏、補錄及吳本誤民、據北本改、案、縣志四九作氏 (12) 祖、原在、吳本同、據繆本北本改 (13) 明、吳本作期

安慶府

蔣臣(二) 方以智(密之) 雷衍祚(審歸) 倪天樞(臣北)  
方都韓(大方) 方孔文(爾識) 方啓曾(聖羽) 趙相如(又漢)  
范世鑑(子明) 朱樾(素公) 王國瞻(碩慰) 左毅(又弘)  
白瑜(瑕仲) 潘映婁(次魯) 田有年(資生) 葉珠(瓊玉)

(1) 十二舉、十三進 (2) 三舉、衍、惠本誤演、案、康熙安慶府志七作衍 (3) 方孔文一條、吳本脫、識、北本誤式、案、譚友夏合集二評閱姓氏作識 (4) 曾、紀略誤魯、案、道光桐城續修縣志十六有傳 (5) 公、吳本誤衣、案、縣志十六有傳 (6) 碩、北本作顧、吳本作願 (7) 弘、原作宏、繆本吳本同、據惠本北本改 (8) 十三進、中舉年未詳

桐城縣

左國柱(碩人) 方文(爾止) 汪應洛(人文) 王彭年(幼公)  
周岐(農父) 白筠(子皮) 方穀(子桓) 吳道凝(子遠)  
倪天弼(右臣) 吳道新(湯日) 錢秉鐙(飲光) 方禹甸(奕子)  
范熙和(汝揆) 張秉哲(濬之) 吳德操(鑑在) 孫臨(克成)  
許元復(扶一) 吳道濟(汝楫) 楊日蕃(君衍) 吳過

(1) 十二舉 (2) 十二舉 (3) 天七舉 (4) 飲、繆本作幼、案、靜志居詩話二三、錢秉鐙、字幼光、後更名澄之、字飲光、馬其昶

桐城耆舊傳七同 (5) 子、吳本作于 (6) 鑑在、補錄及北本誤倒、

據吳本乙改、案、詩經世本古義較正門人姓氏、縣志十二俱作鑑在 (7) 咸、北本誤成、案、皇明經世文編凡例、遺民詩十五、縣志九皆作成

潛山縣

袁學知(非生) 方豫立(子建)

和州

魯可藻(孺發)

廣德州

楊昂(駒若) 夏儀(長卿) 戈簡(行可)

(1) 萬四三舉、四進 (2) 萬四六舉、四進、戈、北本誤戈、案、題名碑錄、光緒廣德州志三四俱作戈

廬州府合肥縣

程以懋(智求) 程以德(驥稱) 龔鼎孳(孝升) 王溥大(幼章)  
張子(鏢子) 孫昌裔(秋我) 龔鼎蕃(木公) 王絲  
董史(計先) 席前士(虛左) 龔允肅  
孫昌緒 徐嘉聘 吳士奇(在簡) 趙觀齊

楊燦(象文)<sup>12</sup> 顏同稷(復子)<sup>13</sup>

(1) 智、吳本誤知、案、二十一史論贊南齊書參閱姓氏作智 (2) 六舉 (3) 三舉、十進 (4) 秋、後卷作秘、北本右旁不可辨識、據吳本改、案、康熙舒城縣志十九作秋 (5) 王氏一條、吳本脫、絲、補錄作孫、據北本改、案、康熙廬州府志十九順治五年舉人有王絲、似即是人 (6) 計先、補錄及北本缺、據吳本補 (7) 虛左、補錄及北本缺、據吳本補 (8) 龔、補錄作戴、據姓氏錄改 (9) 嘉、吳本作家 (10) 在簡、補錄脫、據姓氏錄補 (11) 趙觀齊一條、吳本脫 (12) 楊氏一條、吳本脫、燦、補錄作燦、不知何字、據北本改 (13) 顏同稷一條、吳本脫

舒城縣

郭士豪(蝶公)<sup>1</sup> 江之水(靈舟)<sup>2</sup> 胡守欽(君若) 胡永基(肇美)<sup>3</sup>  
濮中璋(怪若)<sup>4</sup>

(1) 蝶公、原誤蝶求、惠本同、繆本誤蝶求、吳本作蝶公、據北本改、案、雍正舒城縣志十四、十八俱謂號蝶公 (2) 之水、吳本作必永、靈、前卷作雪、據姓氏錄改、案、府志二十、縣志十四萬曆貢生有江必永、謂任瓊州通判、似不應在社中、疑吳本妄改 (3) 基、吳本作亨、肇、北本作兆、案、胡永亨、順治十一年舉人、康熙九年進士、縣志十六有傳、謂字肇美、其字與前卷合、則永亨似即永基、或

曾改名、亦未可知、此從惠北繆諸舊本 (4) 濮中璋一條、北本脫、若、繆本作石

鳳陽府 天長縣

曹文木(孟昭) 王明選(吉士) 袁元(元夫)<sup>1</sup> 王景雲(漢卿)<sup>2</sup>  
鍾允獻(履素)<sup>3</sup> 袁以化(六息) 張振先(君似) 戴纓(元長)<sup>4</sup>  
王景玄(玄玉)<sup>5</sup> 鍾元玉(玉生)<sup>6</sup> 王性(尊生) 柳成賦(亥初)<sup>7</sup>  
陳一新(又新)<sup>8</sup>

(1) 九舉 (2) 天七舉、十進、案、漢卿、諸本皆同、康熙天長縣志三、康熙鳳陽府志二七俱謂字漢翹、似另一字、各有其是 (3) 三舉 (4) 萬三一舉 (5) 兩玄字、後卷及吳本俱作元、據北本改 (6) 九舉、玉、北本作王 (7) 亥、吳本作立 (8) 天七舉

泗州

謝煥(闇如)

六安州

吳鳴鳳(醒蟬)<sup>1</sup>

(1) 醒蟬、姓氏錄作儀之

北直順天府

范邦瞻(若侯) 王世約(次重) 王崇簡(敬哉)<sup>1</sup> 張永禎(仲燦)<sup>2</sup>  
 王章(闇然)<sup>3</sup> 王谷(大含)<sup>4</sup> 王以約(敬止) 溫良璞(仲青)<sup>5</sup>  
 張希契 崔丹(道母)<sup>6</sup> 黃鼎(惟梅) 梁以樟(公狄)<sup>7</sup>  
 周宗(本卿)<sup>8</sup> 韓四科(十甫)<sup>9</sup> 房之範<sup>10</sup> 李茂才  
 于奕正(司直)<sup>11</sup> 史可程(赤豹)<sup>12</sup> 梁以桂(析木) 梁以枏(仲木)  
 米壽都(吉士)<sup>13</sup> 傅作鼎 李經國 牛裕範(式之)  
 李耿(毅侯)<sup>14</sup> 孫嗣烈(繩甫) 陳聖學(心王) 方士淳  
 薛穀 孫鎰(咸若)<sup>15</sup> 孫鑰(虞維)<sup>16</sup> 孫銓  
 金之皋 周曉 孫通(無疑)<sup>17</sup> 倫之楮(百式)  
 孫奇逢(鍾元) 李仲熊(非熊)<sup>18</sup> 李子和 蕭生娘(伯闇)<sup>20</sup>  
 蕭升(允之)<sup>21</sup> 韓四維(張甫)<sup>22</sup>

(1) 天七舉、十六進 (2) 天七舉、禎、北本誤禎、案、朱彝尊明詩綜六六作禎 (3) 闇然、惠本繆本缺 (4) 天七舉、含、惠本誤含、案、皇明經世文編凡例作含 (5) 璞、前卷作樸、據姓氏錄改、青、北本作音 (6) 丹、惠本誤世、案、丹、一名子忠、字開予、其名字亦見補錄姓氏錄、乃復出也、子、北本誤于、光緒順天府志九八據王崇簡撰都門三字傳云、崔子忠、字青蚨、一名旦、字道母、遺民詩十同、靜志居詩話二二云、崔丹、字道母、更名子忠、字開予、又字青蚨、皇明經世文編凡例則云、崔道母子忠 (7) 十二舉、十三進、狄、原作逃、繆本同、據惠本及姓氏錄改、案、全祖望續甬上蒼舊詩集三

二、遺民詩一俱作狄 (8) 宗、北本作棕 (9) 十五舉、十甫、惠本繆本缺 (10) 範、吳本作屏、案、之屏、崇禎六年舉人、見康熙畿輔通志十七、疑之屏之範各有其人、而吳本之錄之屏、似非舊本面目、不從 (11) 司直、前卷缺、據姓氏錄補 (12) 十二舉、十六進、程、繆本誤成、北本名字互錯、案、亭林詩集四有酬史庶常可程詩、又沈岱瞻同志贈言錄其詩若干首 (13) 米、繆本誤采、土誤士、北本同、案、二十一史論贊後漢書參閱姓氏有米壽都吉士、社事始末同 (14) 十二舉、十三進、毅侯、繆本北本缺 (15) 鎰、北本誤鎰、案、明史孫承宗傳作鎰 (16) 虞維、繆本作虞稚、北本脫 (17) 三舉 (18) 天七舉、四進、仲熊、補錄及北本作仲容、據吳本改、案、北本例注科第、此有辛未二字、謂崇禎四年進士也、而題名碑錄、通志十七、崇禎辛未科止有李仲熊、北本疑誤 (19) 十二舉 (20) 生、補錄作非、據姓氏錄改 (21) 升、補錄作叔、據姓氏錄改 (22) 三舉、四進

故城縣

沈嘉客(無謀)<sup>1</sup> 周同文(畫一) 李秀(皆人) 周承祚(毓文)  
 王國鼎(慎之) 周承錄(介夫) 秘應奇(以庸)<sup>2</sup> 秘元煜(以含)  
 周承芳(燦文)<sup>3</sup> 秘元錫(蕃錫) 刁鼎鉉(公輔) 李長蔭(茂繩)  
 劉儀(羽吉)

(1) 无、繆本作無 (2) 天七舉 (3) 三舉

浙江杭州府

張玄(天生)<sup>1</sup> 虞宗瑤(仲皞)<sup>2</sup> 邵洽(玄淡)<sup>3</sup> 虞宗政(大赤)<sup>4</sup>  
 聞啓楨(子有) 凌元徵(巨先)<sup>5</sup> 鄭鉉(玄子)<sup>6</sup> 沈繼震(子起)<sup>7</sup>  
 鄭塤(宜伯) 徐邦佐(孟超)<sup>8</sup> 趙德遜(公銓) 聞啓祥(子將)<sup>9</sup>  
 查繼佐(伊璜)<sup>10</sup> 范驥(文白) 朱廷策(君翊) 盧應熊(文夢)<sup>11</sup>  
 屠以寧(多若) 嚴調御(印持) 錢可

(1) 玄、原作元、繆本與本同、據惠本北本及紀略改(2) 皞、惠本誤編、繆本誤鎬、案、康熙錢塘縣志二二有傳(3) 玄、原作元、繆本與本同、據惠本北本改(4) 玫、原誤玖、惠本與本同、據繆本北本改、大、惠本誤夫、案、錢塘縣志二二虞宗瑤傳云、兄宗玫、字大赤、說文云、玖、石之次玉黑色者、玫、玫瑰、火齊珠、段注云、吳都賦注曰、火齊、色黃赤似金、玫即玖、據此、作玫是(5) 巨、姓氏錄同、惠本作叵(6) 玄、原作元、繆本與本同、據惠本北本改(7) 案、紀略杭州府有沈受震、疑即繼震、此不別出、錢塘縣志二二有沈繼震傳(8) 超、後卷作起、據姓氏錄改(9) 六舉

錢塘縣

陸運昌(夢鶴)<sup>1</sup> 吳思穆(靜腑) 憑延年(千秋)<sup>2</sup> 錢朝彥(殷求)<sup>3</sup>  
 陸鳴時(夢明)<sup>4</sup> 陸鳴燿(夢文)<sup>5</sup> 繆沅(湘正)<sup>6</sup> 鄒質士(孝直)  
 俞時篤(企延)<sup>7</sup> 憑融(首川)<sup>8</sup> 陸圻(麗京)<sup>9</sup> 吳百朋(錦雯)<sup>10</sup>  
 吳錫朋<sup>11</sup> 任蕙臣 俞龍見(且塾)<sup>12</sup> 朱大典(翼行)<sup>13</sup>

金驊(雨三)<sup>14</sup> 嚴李榮(元聞)<sup>15</sup> 金時觀(孔賓) 翁與立<sup>16</sup>  
 魏介(如石) 蔣庸(不易) 裘昌言(國珍) 張綱孫(祖眉)<sup>17</sup>  
 江旦 吳大冲(默實)<sup>18</sup> 沈堯章(佩彝)<sup>19</sup> 趙明鑣(珍流)  
 潘廷國<sup>20</sup> 張垓(幼青) 謝森 朱錫玄<sup>21</sup>  
 丁元毓(生白)

(1) 萬四六舉、七進、運昌、姓氏錄作鳴勳、鶴、惠本作雀、即俗鶴字、案、康熙錢塘縣志十云、鳴勳、改名運昌(2) 千、惠本誤十、案、樓山堂集二一、靜志居詩話二一、遺民詩十五皆作千(3) 三舉、十進(4) 九舉、鳴、惠本誤為、夢、吳本誤善、案、縣志十、康熙杭州府志二四俱謂名鳴時、二十一史論贊後漢參閱姓氏謂字夢明(5) 三舉、鳴燿、紀略誤明奎、案、縣志十、府志二四俱作鳴燿(6) 三舉、十進(7) 篤、姓氏錄同、繆本作薦、企、惠本作金(8) 首、原誤百、惠本同、據繆本及姓氏錄改、案、明詩綜七七、千頃堂書目二八作首(9) 麗京、惠本缺、姓氏錄作景宣、案、靜志居詩話二二云、字麗京、一字景宣(10) 十五舉、錦雯、惠本北本缺(11) 朋、繆本作明(12) 且、後卷作長、據姓氏錄改(13) 天七舉、大典、繆本誤大點、北本誤六點、案、康熙海寧縣志七謂字遜行(14) 驊、北本作鐘、雨三、原作羽三、繆本脫、據姓氏錄改(15) 李、紀略作季、聞、繆本作開(16) 案、後卷謂字謝森、姓氏錄字缺、而別有謝森其人、亦見補錄、蓋後卷誤以下一人姓氏為上一人字、今刪(17) 綱、後卷作絡、吳本作綱、北本作網、網即綱、據改、眉、吳本作望、案

靜志居詩話二有張綱孫、字祖望、陳康祺郎潛紀聞十四謂張綱孫與陸圻、吳百朋等為西冷十子、而綱孫之名、僅見吳本、又他本皆謂字祖眉、疑吳本妄改、此從北本(18)天七舉、四進(19)九舉、佩彝、補錄及北本缺、據吳本補、案、康熙仁和縣志十九有傳(20)國、吳本作章、謂字美含、案、傳略引破川續志、疑吳本據以改舊本、非吳本所據原已如此也、此從補錄及北本(21)玄、補錄及吳本作元、據北本改

仁和縣

孟應春(長民)<sup>1</sup> 沈澹思(子羽) 林泰業(階平)<sup>2</sup> 馮 悰(儼公)<sup>3</sup>  
江 浩(道闡) 卓人月(珂月) 張岐然(秀初) 閻 焞(叔夏)  
李 寰 吳元价(開之) 沈 獅(調象)<sup>4</sup> 徐 翻(野君)  
陳 濬(行無)<sup>5</sup> 卓霜回(寒氏)<sup>6</sup> 潘曾綬(子若) 秦之珍(數家)  
何 晉 潘汝棟(樹白) 陸 燾(文垓)<sup>7</sup> 沈孟諸(季辰)  
顧光前 孫如溥(天若) 陳 曦(維燠) 李 宗(安之)  
江之浙(禹甸) 凌萃徵(聚吉)<sup>8</sup> 黃光壽(嚮先) 陳家珍(宗器)  
沈堯年(庚長) 沈僑如 胡萬鉉<sup>9</sup> 郭 信(有駕)<sup>10</sup>  
周養健 錢 泮(于斯)<sup>11</sup> 郭子平

(1) 三舉、十六進、民、姓氏錄同、繆本作明(2) 階、吳本作培  
(3) 悰、惠本誤悰、繆本同、而繆本公揭作悰、案、思舊錄作悰  
(4) 十二舉(5) 九舉、十進(6) 氏、原作民、吳本同、據繆本

北本改(7) 垓、姓氏錄同、繆本作核(8) 徵、補錄誤徵、據姓氏錄改、聚吉、繆本北本缺、案、康熙錢塘縣志二五有傳(9) 鉉、補錄作鉉、據姓氏錄改(10) 信、補錄及吳本作瑄、據北本改、案、詩云、命彼信人、星言夙駕、有駕之字、蓋取於此(11) 九舉

海寧縣

徐元察(豹奴)<sup>1</sup> 曹元方(介皇)<sup>2</sup> 徐永平(子奇)<sup>3</sup> 陳許廷(靈茂)  
祝文襄(天孫) 徐元旂(次京)<sup>4</sup> 徐林宗(道晉) 徐林祥(止仲)<sup>5</sup>  
徐林賢(無務) 俞元良(仲驥)<sup>6</sup> 朱士恆(聖真) 徐元倬(爲章)  
朱一是(近修)<sup>7</sup> 查詩繼(二南) 葛定遠(辰嬰)<sup>8</sup> 張 華(書乘)  
查嗣馨(魯生)<sup>9</sup> 葛定辰(爰三)<sup>10</sup> 查繼甲(只卯)<sup>11</sup> 朱 昇(方菴)<sup>12</sup>  
張如龍(延年) 祝洵之<sup>13</sup> 徐元鑣(子駿) 徐元鑣(亞威)  
沈兆昌(聞大)<sup>14</sup> 許不棹(效翁)<sup>15</sup> 袁 株(丹路)<sup>16</sup>

(1) 十二舉、察、原作燦、繆本同、據惠本及姓氏錄紀略改、案、康熙海寧縣志七、十一、題名碑錄作察、府志二四作燦、察燦雖通用而惠北兩舊本俱作察、從之(2) 十五舉(3) 平、原作年、吳本同、據惠本繆本北本及紀略改(4) 旂、原誤圻、姓氏錄同、據惠本繆本改、京、原誤象、吳本同、據惠本繆本北本改、案、縣志七崇禎十七年歲貢有徐元旂、字次□、次下一字漫漶不清、似京或宗、而決非象字(5) 止、繆本作子(6) 十五舉、十六進、案、縣志七謂字仲襄(7) 十五舉(8) 十二舉、辰嬰、補錄及北本缺、據吳本補、案、

縣志七謂字辰嬰(9)十五舉、魯生、繆本誤晉生、北本誤晉王、案

縣志七作魯生、沈起查東山先生年譜天啓二年條注(張濤、查穀同纂)

亦云查魯生、名嗣馨(10)十二舉(11)十五舉(12)十五舉(13)

之、原作文、謂字眉老、吳本同、據繆本北本改刪、案、祝洵文實有

其人、見遺民詩十四、千頃堂書目二八、而繆北二本俱作洵之、字缺

似爲另一人、疑劉吳二本非原本面目、不從(14)九舉、十三進(15)

不棹、原作不焯、吳本同、繆本作不棹、據北本改、效、原作放、吳

本同、據繆本北本改(16)略、吳本作六

餘杭縣

嚴渡(子岸)顧有斐(斐公)<sup>1</sup>嚴津(子問)王祺(社叔)

嚴沆(子餐)<sup>2</sup>王福貞(子嚴)<sup>3</sup>顧默<sup>4</sup>

(1)兩斐字、北本俱作斐、有斐、紀略同(2)十二舉(3)貞、

原誤禎、據惠本繆本改、案、康熙餘杭縣新志六有傳云、王福貞、字

子嚴

於潛縣

張允修(恂孺)<sup>1</sup>

(1)恂孺、繆本誤洵孺、吳本同、北本誤詢、案、康熙於潛縣志

六有傳、謂字恂孺

富陽縣

邵光胤(吳如)<sup>1</sup>

(1)三舉、胤、原作允、繆本吳本同、據惠本北本改、吳、惠本作

吳、吳本作吳、案、康熙富陽縣志八謂字旭如、此從劉本繆本北本

嘉興府

孫淳(孟樸)陳恂(子木)<sup>1</sup>徐郴臣(亦于)<sup>2</sup>趙汝璧(子玉)

張次柳(幼緒)蔣芬(去華)<sup>3</sup>程定國(鴻安)<sup>4</sup>朱茂暘(子葑)<sup>5</sup>

盛際斯(于斯)<sup>6</sup>陸束(子瞻)項聲國(仲展)<sup>7</sup>金維恭(仁長)<sup>8</sup>

曹禎驥(子溼)<sup>9</sup>吳鈞(仲玉)<sup>10</sup>黃子錫(復仲)徐肇彬(忠可)<sup>11</sup>

陸清原(嗣白)<sup>12</sup>譚吉彭(右長)<sup>13</sup>鄭雪昉(駕師)<sup>14</sup>陸淪原(嗣暢)<sup>15</sup>

(1)十五舉(2)九舉、郴、北本誤柳、于、惠本繆本北本皆誤于、

案、于之訛子、諸舊本皆同、當有淵源、然張溥七錄齋集(明刻六卷

本)二房稿香却敵序云、吾友徐亦于、康熙秀水縣志六本傳亦謂字亦

于、千頃堂書目二八同、惠北諸本之有誤、無可疑矣(3)芬、前卷

及北本作葑、據吳本改、案、惠北諸本皆作葑、似可從、而康熙嘉善

縣志八有蔣芬傳、紀略亦作芬、因從吳本(4)程、繆本誤陳、案、

二十一史論贊北齊參閱姓氏有程定國鴻安(5)葑、後卷作蒭、據姓

氏錄改、案、朱茂暘一條、補錄秀水復出、存此刪彼(6)于、吳本

作於(7)三舉、七進、展、繆本誤辰、案、秀水縣志六有傳(8)

維、吳本作惟、案、紀略作維(9)涇、原作渥、吳本同、據繆本北  
本改(10)鈞、補錄作鈞、據姓氏錄改(11)肇、吳本無、案、秀水  
縣志五有徐彬傳、吳本似是、而傳云、世淳第三子、世淳罵賊死、仲  
子肇探抱父屍以殉、其兄既名肇樑、則此肇字、當亦非衍、又本錄秀  
水有徐肇森、似卽同輩族人(12)六舉、七進、原、補錄誤源、據姓  
氏錄改、案、康熙平湖縣志六、七、康熙嘉興府志十三皆作原(13)  
右、吳本作有(14)翼、吳本作濯(15)、淪、原誤濯、據繆本及姓  
氏錄改、原、補錄誤源、據姓氏錄改、案、平湖縣志六、府志十三作  
淪原

嘉興縣

沈嗣選(仁舉) 陳恪(威如) 馬玄錫(雲房) 錢嘉徵(孚子)  
孫耀祖(爾繩) 譚貞良(元孩) 葉燦(君素) 姚恂(仙期)  
沈嗣貞(紀常) 張三省(鄰曾) 岳洵 孫宗一(君貞)  
沈兆元(仲國) 盛九鼎(子夏) 施璘(父陳) 項睿元(黃中)  
姚澣(北若) 錢士馨(穉拙) 高陽(廷堅) 許友(仁伯)  
徐榮(啓期) 吳輅(幼輿) 黃鼎(平立) 張廣奏(道柯)  
李明整(山顏) 黃濤(觀只) 黃孟瀾(波仙)

(1) 玄、原作元、繆本吳本同、據惠本北本及紀略改(2) 于、惠  
本誤子、案、嶧桐詩集九、靜志居詩話十八作于(3) 繩、惠本繆本  
作純(4) 十五舉、十六進(5) 燦、北本作璨、案、陸紹圻醉古堂

劍掃(明刻本) 參閱姓氏有葉璨、字玉華、嘉禾、疑卽是人、璨字未  
必誤(6) 貞、紀略誤徵、紀、繆本誤繼、案、明詩綜七二謂名嗣貞  
字紀常(7) 曾、繆本作曹(8) 案、紀略嘉興府有張宗一、疑卽是  
人、此不別出(9) 夏、吳本作約、案、光緒海鹽縣志十七有傳、謂  
字子約、吳本似是、而繆北二本既同、當有所據、不敢遽改(10) 璘  
後卷作璘、據姓氏錄改(11) 睿、原作濬、吳本同、據繆本北本改、  
元、補錄作源、北本作謨、據吳本改(12) 澣、吳本誤瀚、北本誤幹  
案、康熙嘉興縣志七、康熙秀水縣志五有傳、俱作澣、嶧桐詩集十、  
靜志居詩話二一同(13) 拙、吳本作農、案、康熙平湖縣志七有傳、  
謂字穉拙、後名只、字穉農、詩經世本古義較正門人姓氏有錢士馨穉  
拙、據此、士馨字當非穉農、所云後名只、千頃堂書目二八作軹、疑  
俱誤、通行本甲申傳信錄自序、署曰穉農錢軹、靜志居詩話二二、遺  
民詩十四亦作軹、軹與馨通、作軹是(14) 廷堅、補錄及北本缺、據  
吳本補(15) 仁伯、補錄互錯、據姓氏錄乙改(16) 十二舉(17) 平  
立、補錄作中立、北本脫、據吳本改(18) 整、繆本北本誤整、案、  
本錄秀水有李明變、傳略引兩浙輶軒錄謂明整兄、又有李明嶽、疑亦  
族人、末一字俱從山、李明整、清史列傳七十有傳(19) 十五舉(20)  
案、黃孟瀾一條僅見吳本、補錄及北本脫

秀水縣

吳翔(振六) 李明嶽(青來) 常舜(千雉) 朱茂暉(子若)  
徐天俊(俊人) 金黃(耳臣) 包鴻達(仲舉) 卜升(允伯)

李明巒(石友) 錢昌(季升)<sup>4</sup> 謝澗(源宗) 周禹錫(玄成)<sup>5</sup>  
張明絃(弦木) 李寅(寅生) 顧燦(仲宣) 鍾欽立(雪園)  
姚澄(平伯)<sup>6</sup> 徐肇森(質可) 俞汝言(右吉)<sup>7</sup> 孫一驪(天卿)<sup>8</sup>  
盛漣(頴濱)<sup>9</sup> 錢江(珥信)<sup>10</sup>

(1) 千雉、原作千雄、繆本作千雉、吳本作千雄、據惠本北本改  
(2) 達、諸本皆誤達、惟惠本原作達、校改爲達、據惠本原字及紀  
略改、案、鴻達、字儀甫、萬曆三十八年進士、康熙秀水縣志五、康熙  
嘉興縣志七鄉達有傳、而嘉興縣志七行誼又有包鴻達傳、謂字仲舉、  
高尚不仕、遯跡隴畝、沈國元兩朝從信錄(明刻本)較訂姓氏有包鴻  
達、當即此人、嘉興志之作達、乃字之訛也(3) 升、姓氏錄同、紀  
略作昇(4) 季、繆本誤季、吳本作繼、案、康熙吳江縣志二九作季、  
陳乃乾清代碑傳文通檢據張士元嘉樹山房集十二謂字繼升、又傳略引  
錢氏家乘、則吳本似亦非誤、然舊本俱作季、與吳江志合、從之(5)  
玄、原作元、吳本同、繆本字脫、據惠本北本改(6) 十五舉(7)  
吉、北本誤言、案、縣志六本傳、亭林文集三、靜志居詩話二一皆作  
吉(8) 驪、繆本誤驪、案、千頃堂書目二八作驪(9) 頴、繆本北  
本作頴、疑誤(10) 珥、補錄作爾、北本同、據吳本改、案、珥爾音  
同、改珥爲爾或可有、而改爾爲珥似少有、此從吳本

嘉善縣

錢旃(彥林)<sup>1</sup> 錢繼章(爾斐)<sup>2</sup> 錢棻(仲芳)<sup>3</sup> 魏學濂(子一)<sup>4</sup>

呂三錫(命禹)<sup>5</sup> 錢格(去非)<sup>6</sup> 蔣蒔(若滋)<sup>7</sup> 顧潛(幼陶)<sup>8</sup>  
夏緇(雪子) 錢繼振(爾玉)<sup>9</sup> 錢繼禧(爾凝)<sup>9</sup> 郁素(繪先)<sup>10</sup>  
陳舒(明荃)<sup>11</sup> 魏學洙(子淑)<sup>12</sup> 楊元有(天生) 呂鼎(太羹)  
蔣玉衡(爾齊)<sup>13</sup> 蔣玉立(亭彥)<sup>14</sup> 盛清臣 劉芳(墨仙)<sup>15</sup>  
支如增(小白)<sup>16</sup> 戈用忠(蓋臣) 錢棠(子甘) 錢棻(子輔)<sup>16</sup>  
王時傑(百凡)<sup>17</sup> 姚治(元師)<sup>18</sup> 丁之煦(子葵) 沈馨(鹿生)  
王佐(佐之)<sup>19</sup> 潘存樸(大文) 郁之章(光伯)<sup>20</sup> 錢默(不識)<sup>21</sup>  
錢熙(漱廣) 袁炳(宗彝) 袁崧(四履)<sup>22</sup> 魏學渠(子存)  
孫纘祖(昭令) 沈泓(臨秋)<sup>23</sup> 陳增遠(鶴朋)<sup>24</sup> 陶悒(冰修)<sup>25</sup>  
張黃(撰鈴) 曹爾堪(子顧)

(1) 旃、吳本作梅、惠本原作旃、而校改爲梅、案、譚友夏合集十  
五評閱姓氏、皇明經世文編凡例作梅、康熙嘉善縣志七同、據縣志七、  
八、其兄弟從兄弟名皆從木、而惠北諸本及紀略皆作旃、又諸書間有  
作旃者、如張岱石匱書後集三四本傳、南疆逸史三六本傳、千頃堂書  
目十三城守要略條等、則其旃字、亦非傳鈔之誤、而確有所據、此仍  
舊本不改(2) 九舉(3) 十五舉、芳、北本誤棻、案、縣志七、八  
作芳(4) 十五舉、十六進(5) 呂、紀略誤吳、禹、吳本作予、案  
縣志七、八作予、而惠北諸本皆作禹、不敢遽改(6) 三舉(7) 若  
惠本誤者、滋、吳本作子、案、縣志七、八謂字若子(8) 繼、原誤  
維、繆本同、據惠本及姓氏錄略改、案、縣志九有傳(9) 繼、原  
誤維、繆本同、據惠本及姓氏錄略改、爾凝、據縣志七補(10) 素、

惠本誤景、案、縣志八有傳(11)六舉、荃、姓氏錄同、惠本繆本作荃(12)洙、惠本誤洙、淑、北本作叙、吳本作聞、案、縣志八本傳作聞、吳本似是、然終非舊本面目、不從、淑叙兩字、未詳孰是、顧姓氏諸本皆同、姑從之(13)齊、惠本作衡、疑因上衡字而誤(14)亭彥、據縣志七、九補(15)增、原誤增、吳本同、據惠本繆本北本及紀略改、案、縣志九作增、而醉古堂劍掃參閱姓氏、兩朝從信錄較訂姓氏俱作增、縣志非是(16)十五舉(17)案、縣志九有傳、傑作杰(18)補錄有原注云、一作帥(19)三舉、四進(20)十二舉(21)十五舉、十六進(22)崧、補錄作之崧二字、據姓氏錄刪上一字(23)六舉、十六進、泓、補錄作滋、據姓氏錄改(24)遠、北本誤遠、案、縣志七作遠(25)冰修、補錄及北本缺、據吳本補、案、縣志七謂字冰修、又光緒華亭縣志十六有傳

平湖縣

趙韓(退之)陸又機(衡如)徐鴻祚(儀仲)過銘璽(叔寅)  
孫振(羽說)陸濬原(嗣哲)陸上瀾(狂生)施洪烈(仲芳)  
陸洽原(嗣開)陸遜思 俞介(子方)賀冲然(伯醇)  
于琳(貞瑕)于璦(非玉)屠象美(幼繩)馬嘉植(培原)  
張膽(識兼)陳鳴謙(玄少)陳國政(憲生)陸之泓(我上)  
施鉉(公遠)郭襄圖(皋旭)

(1)又、紀略誤文、案、康熙平湖縣志七有傳(2)銘、紀略誤舒

案、縣志七有傳(3)詵、姓氏錄同、惠本作說(4)原、北本誤源案、府志十三作原(5)九舉、上、原誤士、繆本同、據惠本及姓氏錄紀略改、案、縣志七有傳、皇明經世文編凡例亦作上(6)洪、原作宏、繆本同、惠本作弘、據姓氏錄紀略改、案、縣志七有施洪烈傳、而傳中又稱弘烈、姓氏之作宏、弘、似亦非誤(7)天元舉、四進(8)天七舉、七進、原、補錄誤元、據姓氏錄改、案、縣志七有傳(9)玄、補錄及吳本作元、據北本改(10)泓、補錄及吳本作滋、據北本改

海鹽縣

張奇齡(符九)馮振宗(宗之)張瞻韓(子瞻)蔡士奎(聚五)  
馮景裕(贊皇)胡昭(鮮如)陳梁(則梁)朱學章(樞翰)  
劉王才(明臣)陳光緯(緯度)

(1)聚、惠本誤張、案、光緒海鹽縣志十七有傳(2)案、馮景裕一條、後卷復出、存此刪彼(3)樞翰、北本作樞改、繆本脫(4)緯、補錄作緯、北本脫、緯度、補錄及北本缺、據吳本改補

桐鄉縣

朱萬錡(爾調)盛洙(坎奇)朱萬欽(伯欽)錢九鼎(帖瞻)  
盛涑(來之)盛方涵(二水)周延濂(茂若)錢本一(子木)  
吳旭(既白)

(1) 九舉 (2) 坎、惠本作次 (3) 天元舉、萬欽、惠本原誤萬欽、校改為萬敘、仍誤、康熙桐鄉縣志二、府志十三俱作萬欽 (4) 九鼎、吳本作鼎一字、岫、後卷作紫、據姓氏錄改、案、縣志二順治五年歲貢有錢九式、似其族人、疑竄乃九鼎二字之訛 (5) 木、北本作本

崇德縣

吳玉 (豐占) 吳夢白 (可黃) 郁起麟 (振公) 朱元輔 (伯揆) 譚翼 (羽侯) 徐肇梁 (文可)

(1) 三舉、占、惠本繆本作古、此從劉本及姓氏錄 (2) 九舉、十六進 (3) 天元舉 (4) 元、吳本無、案、康熙石門縣志六有朱輔傳、謂字伯揆、即此人也、雖然、補錄及北本俱有元字、似原本即如此、元輔或後改名輔、亦未可知、此從舊本 (5) 梁、姓氏錄同、繆本作樑、案、樑、梁或字、明史徐世淳傳作梁、康熙秀水縣志五徐彬傳作樑

湖州府

嚴啓隆 (爾泰) 臧基嶧 (子孟) 閔正中 (襄子) 閔倬 (仲蘭) 章平 (正則) 茅元銘 (鼎叔) 章美周 (成甫) 潘基依 (瞻匪) 沈善圻 (元長) 嚴名世 (遠生) 韓昌箕 (仲弓) 沈中台 (贊君) 嚴或 (令延) 盧肇階 (可階) 錢之琦 (二韓) 朱紳 (公紳) 沈鍾兆 (孟長) 閔聲 (襄子) 俞澆 (浸天) 朱運華 (實公)

潘章 (端伯) 陳永祚 (若元) 林翔鳳 (翮羽) 葉雲初 (上予)

(1) 嶧、姓氏錄作繹、子、惠本繆本作于、案、嶧、山名、一作繹、在鄒縣、鄒縣即孟子鄉貫 (2) 正中、繆本互錯、襄、惠本作裴、案、紀略作正中 (3) 叔、惠本繆本作升、此從劉本及姓氏錄 (4) 基、原作堂、吳本同、據惠本繆本北本及紀略改、案、康熙烏程縣志八崇禎貢生有潘堂依、字瞻匪、劉本吳本似是、而舊本皆作基、亦當有所據、又本錄安吉州有潘基某四人、疑其族人、此從舊本 (5) 弓、惠本誤號、案、烏程縣志九有傳 (6) 君、吳本作之、案、烏程縣志八順治貢生有沈中台、字贊之、吳本似是、而惠北諸本皆作君、未可遽改 (7) 或、惠本繆本北本皆作或、令、惠本繆本作介、案、烏程縣志八崇禎貢生有嚴或、字令延、紀略亦作或、從之 (8) 階、紀略作塔 (9) 琦、繆本作奇 (10) 兆、後卷作晁、吳本作元、據北本及紀略改、長、後卷作常、據姓氏錄改、案、康熙歸安縣志三天啓貢生有沈鍾元、疑是別人 (11) 六舉 (12) 端伯、繆本北本缺 (13) 翔、補錄作朔、據姓氏錄改

歸安縣

章上奏 (諤臣) 陳騶 (閻仙) 沈緒奎 (令升) 陸熙運 (開雍) 沈緒來 (天以) 鍾鏡如 (止若) 凌爾翰 (樞遠) 丘志灵 (彥昭) 閔自寅 (人生) 吳振鯤 (鵬先) 施之桓 (武仲) 嚴鏞 (恭甫) 韓曾駒 (人毅) 閔元京 (子京) 尹衡 (平之) 尹任 (聖之)

凌森發(子羽) 陳子奇(問仙) 陸元京(明兩)<sup>⑤</sup> 閔廣生  
朱鍾瑞(吉人) 徐行(周道) 陸象衡(與可) 沈胤培(君厚)<sup>⑥</sup>  
茅鑛(子弁)<sup>⑦</sup> 顧澄(孟澈)<sup>⑧</sup> 沈體(正居) 陸象言(辰生)  
費光周 鍾鑑如(子若)<sup>⑨</sup> 鍾錦如

(1) 閔仙、前卷作古嗣、吳本誤閔僊、據北本改、案、乾隆湖州府志三三謂字閔仙、而康熙烏程縣志九本傳作閔僊、康熙歸安縣志三本傳亦作閔仙、嶧桐詩集十同、閔乃閔字之訛、其云古嗣、前卷諸本皆同、蓋亦非誤、而不見諸書、姑不從(2) 六舉(3) 凌爾翰、劉本後卷復出、繆本則否、存此刪彼、稗遠、原誤程遠、吳本同、劉本後卷誤稗遠、據惠本繆本北本改、案、縣志五有傳(4) 三舉(5) 明兩、原作子京、繆本缺、據姓氏錄改、案、本縣有閔元京、字子京、已見前、疑姓氏原本缺其字、劉本因其同名而誤增(6) 天七舉、四進、胤、補錄及吳本作允、據北本改、案、紀略本縣有沈維顯、卽胤培也、縣志三云、沈維顯、改名胤培(7) 子弁、北本作于行(8) 孟澈、繆本北本缺(9) 鑑、北本作鏡、鍾鏡如已見前、字止若、此從吳本、紀略又有鍾錦如、不知其爲三人、或一人、抑或一人、今皆別出

烏程縣

屠弘僂(禹若)<sup>①</sup> 王一虬(雲青) 姚延啓(季迪)<sup>②</sup> 沈蒨(曼倩)  
錢瀛選(東渤)<sup>③</sup> 溫以介(子石)<sup>④</sup> 黎樹聲(仲實)<sup>⑤</sup> 費景煊(韞生)<sup>⑥</sup>

閔考生(令名)<sup>⑦</sup> 顧翰(翰生)<sup>⑧</sup> 姚延著(象懸)<sup>⑨</sup> 沈鈞(宮聞)  
錢鶴(聲野) 韓繹祖(茂胎)<sup>⑩</sup> 潘國瓚(宗玉) 陶鑄(子固)<sup>⑪</sup>  
陸樹本(道生)<sup>⑫</sup> 沈果(因生) 張彬(素若) 丁傅元(汝器)  
沈光胤(嗣宗)<sup>⑬</sup> 張真卿(潞公) 嚴永寧(寧人) 凌森美(君寔)  
沈榮(仁叔)<sup>⑭</sup> 嚴忠鏐(存甫)<sup>⑮</sup> 朱國俊(良甫) 張紹載(原儒)  
施之圻(不圻)<sup>⑯</sup> 范雱(聖則) 嚴有毅(既方)<sup>⑰</sup> 閔峻(山紆)<sup>⑱</sup>  
周士芳(茂先) 張璘(稗編)<sup>⑲</sup> 嚴紳

(1) 三舉、弘、原作宏、繆本吳本同、據惠本北本改(2) 十五舉、案、姚延啓一條、又見補錄長興縣、而姓氏錄同縣不錄、補錄誤、存此刪彼(3) 三舉、七進(4) 九舉、十六進、案、康熙烏程縣志八云、改名璜、卽以此名登進士第(5) 天七舉(6) 三舉、十六進、煊、惠本誤燒、紀略誤沅、韞、前卷作蘊、據姓氏錄改、案、縣志八有費景煊傳、謂字韞生(7) 天四舉、閔、惠本誤閔、令、惠本繆本誤介、案、縣志八與姓氏錄同(8) 顧翰、紀略同、吳本作顧瀚(9) 三舉、著、北本作燿、不知何字、懸、吳本誤縣、案、縣志八有傳(10) 繹、紀略誤奕、案、遺民詩十三、千頃堂書目二八作繹(11) 天四舉、固、前卷誤同、據姓氏錄改、案、縣志八作固(12) 天元舉(13) 胤、繆本作胤、吳本作允(14) 榮、紀略作策(15) 忠、紀略作思(16) 六舉(17) 既方、補錄及北本缺、據吳本補、案、縣志九謂字既方、二十一史論費宋史參閱姓氏作季方(18) 山紆、原作仲開、北本作中開、據吳本改、案、縣志八謂字山紆、仲開或中開、蓋又一

字、而仲中未詳孰是、此從吳本(19)璘、吳本作嶙、編、繆本誤編、北本左旁難辨、似從示、案、縣志八順治貢生有張璘、府志三三作張嶙、謂字穉編

長興縣

金<sup>1</sup>鏡(金心)<sup>①</sup> 李令哲(端木)<sup>②</sup> 韓千秋(聖開) 朱升(日如)<sup>③</sup>  
周伯琳(夢生)<sup>④</sup> 周仲璉(彝仲)<sup>⑤</sup> 周廷玉(孟堅)

(1) 金心、惠本繆本缺 (2) 天四舉、十三進、哲、惠本原作哲

校改爲哲、繆本誤哲、紀略作哲、案、題名碑錄作哲、康熙歸安縣志三作哲、與劉本惠校及姓氏錄同、從之 (3) 日如、繆本誤倒、案、康熙長興縣志八有傳 (4) 夢生、原作楚玉、吳本同、據繆本北本改案、夢生與楚玉、似俱非誤、此從舊本 (5) 三舉、七進

德清縣

胡麟生 章美珪(月如)<sup>①</sup> 章美瑾(公瑾)<sup>②</sup> 嵇元燾(公冶)<sup>③</sup>  
陳元望(玉仍)<sup>④</sup> 陳錦鴻(綱章)<sup>⑤</sup> 胡璉(辰生)<sup>⑥</sup> 陳後方[萃生]<sup>⑥</sup>  
戴超

(1) 珪、姓氏錄同、紀略諸本或作理、或作埤、或作瑜、疑皆誤、或乃別人、亦未可知、此不別出、案、民國石印康熙德清縣志六順治貢生有章美珪、府志三三崇禎貢生同 (2) 天七舉、公瑾、原作公美

吳本同、據惠本繆本北本改、案、縣志六作公美、府志三三同、而舊本皆作公瑾、從之 (3) 仍、繆本北本作儒、案、縣志七本傳作仍、府志三三同 (4) 綱、繆本作綱、北本作綱 (5) 十二舉、十三進 (6) 後方、繆本誤后芳、北本作后芳、萃生、據縣志八本傳補

安吉州

潘基慶(良起)<sup>①</sup> 潘基祉(右安)<sup>②</sup> 潘基初(介履)<sup>③</sup> 潘基禎(穉生)  
沈建英(文玉)<sup>④</sup> 錢圭(如仲)<sup>⑤</sup> 潘基衍

(1) 潘基慶一條、又見劉本補錄烏程、繆本不復出、唯錄於此、存此刪彼 (2) 基、吳本作嘉、案、康熙烏程縣志八崇禎貢生有潘嘉祉字右安、安吉籍、當即此人、然一人之名、往往有异名謂名等之不同、又縣志不必無誤、今無他書可證、仍從舊本 (3) 初、紀略同、惠本繆本作仍、公履、姓氏錄作履將 (4) 英、姓氏錄同、繆本作吳、紀略同、惠本作五

武康縣

駱弘珪(仲如)<sup>①</sup> 卓漢貞 韓孔將(月生)

(1) 天七舉、弘、原作宏、繆本吳本同、據惠本北本及紀略改

紹興府山陰縣

祁彞佳<sup>1</sup> (止祥<sup>1</sup>) 余增遠 (日新)<sup>2</sup> 何弘仁 (仲淵)<sup>3</sup> 俞而介 (道辨)<sup>4</sup>  
 吳應修 (爾常)<sup>5</sup> 吳應芳 (佩茲)<sup>6</sup> 李宗 (伯因) 呂福生 (吉士)<sup>7</sup>  
 張 尊 (燕客)<sup>8</sup> 張維基 (平子) 金 鏞 (聲始)<sup>9</sup> 周懋宗 (因仲)  
 周懋毅 (戡伯)<sup>10</sup> 孫虞生 顧 初 (南金) 羅映中 (六標)  
 陳堯典 (素生) 劉 洵 (伯繩) 祁鴻孫 (奕遠) 祁駿佳 (季超)  
 許志陞 (君重)<sup>11</sup> 陳宏中 (湛若) 李宗銘<sup>v</sup>

(1) 天七舉 (2) 天七舉、十六進、日新、吳本作謙貞、惠本北本  
 缺、案、遺民詩八謂字日新、靜志居詩話十九謂字爾德、一字謙貞  
 (3) 三舉、十進、弘、原作宏、繆本吳本同、據惠本北本改 (4)  
 道辨、姓氏錄作不同、案、遺民詩十二謂字不全 (5) 應、北本作維  
 紀略同、爾、原作蘭、吳本同、據惠本繆本北本改 (6) 天七舉、芳  
 紀略誤芬、案、康熙縣志十有傳 (7) 吉、姓氏錄同、惠本作言  
 (8) 客、北本作容 (9) 鏞、北本作鏞、不知何字、紀略作停 (10)  
 天元舉、伯、吳本誤國、案、乾隆紹興府志五四有傳 (11) 君、吳本  
 作若

會稽縣

章 重 (爰發)<sup>1</sup> 孟稱舜 (子塞) 王 馨 (升之)<sup>2</sup> 孟稱堯 (子安)<sup>3</sup>  
 趙之蘭 (介臣)<sup>4</sup> 李 賓 (仲王) 王業洵 (士美)<sup>5</sup> 王資治 (予安)  
 王光瀛 (子仙)<sup>6</sup> 任大任 (任之) 王 璽 (予安)<sup>7</sup> 陶履卓 (岸生)<sup>8</sup>

倪元瓚 (朗齋)<sup>9</sup>

(1) 萬四六舉、十進、章、北本誤張、案、康熙會稽縣志二四有傳  
 (2) 馨、吳本如此、北本作燕、他本字形稍異、皆不見字書、蓋馨  
 字之俗訛、升、北本作昇 (3) 天七舉 (4) 介、姓氏錄作个、案、  
 介个相通、此仍前卷不改 (5) 士、惠本繆本誤上、案、劉宗周劉子  
 全書 (道光刻本) 卷首載山弟子譜作士 (6) 王光瀛一條、補錄紹興  
 府復出、惟瀛作瀛、仙作宜、疑宜乃宣字之訛、存此刪彼、光、吳本  
 作觀、仙、北本作宣、案、王觀瀛、山陰人、崇禎十五年舉人、十六  
 年進士、而觀瀛與光瀛、疑非一人、吳本未可遽從 (7) 六舉、璽、  
 補錄誤璽、案、縣志二十、康熙府志三五、載山弟子譜皆作璽 (8)  
 十五舉、十六進 (9) 朗齋、補錄及北本缺、據吳本補、案、傳略引  
 全祖望倪文正祠堂碑銘、文見鮑琦亭集二四、謂元璐弟朗齋、名元瓚

餘姚縣

趙 貞 (汝度)<sup>1</sup> 邵之簪 (思遠)<sup>2</sup> 呂嗣成 (册生)<sup>3</sup> 呂章成 (裁之)<sup>4</sup>  
 蔣而康<sup>5</sup> 黃宗羲 (太冲) 馮文昌 (硯祥) 鄒侯周 (子容)

(1) 汝、姓氏錄同、惠本繆本作女 (2) 六舉 (3) 册、姓氏錄同、  
 惠本作勑、似卽册字之訛、繆本作瓶 (4) 呂、北本誤員、案、乾隆  
 餘姚縣志三一有傳 (5) 康、北本作靡

上虞縣

徐騰<sup>1</sup> (以息) 顏綸揆 (敘伯)<sup>1</sup> 陳芹 (辟生) 李銓  
謝僑 (潤之)

(1) 天四舉、顏、前卷誤顧、紀略同、據姓氏錄改、敘伯、吳本誤  
伯揆、北本誤伯敘、案、嘉慶上虞縣志十有傳

蕭山縣

徐芳聲 (徽之)<sup>1</sup> 曹振龍 (木上)<sup>3</sup>

(1) 聲、吳本誤馨、案、毛奇齡西河合集墓誌銘八有徐徵君墓誌銘  
(2) 三舉、曹振龍一條、補錄姓氏錄錢塘復出、補錄振誤從、吳本  
同、木誤水、存此刪彼、案、民國蕭山縣志稿十五有傳

嵊縣

袁師孔 (則學)<sup>1</sup>

(1) 學、惠本繆本誤孔、案、樓山堂集二、康熙嵊縣志十俱作學

寧波府

董守諭 (次公)<sup>1</sup> 陸符 (文虎)<sup>2</sup> 馮京第 (躋仲)<sup>3</sup> 馮帽 (山眉)<sup>1</sup>  
馮文偉 (玄度)<sup>5</sup> 費而隱 (弗聞)<sup>6</sup> 錢玄錫<sup>7</sup> 馮巍 (天生)

宋高 (檀白)<sup>8</sup> 沈天生 (素生) 周日愷 (碩生)<sup>9</sup> 徐家麟 (石客)<sup>10</sup>

黃鼎籍 (元公) 馮晉舒 (自昭) 陳裕 (廣生) 陳 (天生)<sup>11</sup>

管韓 (快明) 秦竑經 (范仲)<sup>12</sup> 朱金芝 (漢生)<sup>13</sup> 劉應期 (瑞堂)<sup>14</sup>

俞穎濱<sup>15</sup> 管遜元 周汝昌 劉與郊

縉尹聘 姚元台 (子雲) 王玉書 (水公)<sup>16</sup>

(1) 天四舉 (2) 十五舉 (3) 京、惠本繆本脫、案、翁洲老民海  
東逸史八有傳 (4) 帽、紀略作涓、吳本作眉、北本作山眉二字、而  
缺其字 (5) 九舉、十五進、玄、原作元、繆本吳本同、據惠本北本  
改 (6) 萬四六舉、而、紀略脫、弗聞、前卷及北本缺、據吳本補  
案、雍正寧波府志十七有而字 (7) 玄、原作元、繆本同、據惠本及  
紀略改 (8) 檀白、原誤檀自、惠本同、繆本誤檀自、據姓氏錄改、  
案、續甬上耆舊詩集五作檀白 (9) 碩生、繆本作顧生、北本脫 (10)  
六舉、十六進、石客、惠本繆本缺 (11) 天生、原以為名、字缺、繆  
本僅有陳一字、名字俱缺、惠本謂名裕、字天生、案、陳裕已見前、  
裕字疑誤、而謂字天生、則似可信、今以天生為字、而缺其名 (12)  
九舉、范仲、繆本脫、北本作苞仲 (13) 芝、繆本誤之、案、鮚埼亭  
集十四忍辱道人些詞作芝 (14) 當、北本誤雷、案、陳乃乾編黃梨洲  
文集有墓誌銘、思舊錄、府志二六本傳等亦皆作當 (15) 六舉、穎、  
繆本作穎、府志十七同、疑誤 (16) 公、續甬上耆舊詩集二六、府志  
二八本傳俱作功

鄞縣

錢肅樂(希聲)<sup>1</sup> 萬泰(履安)<sup>2</sup> 韓一臣(儀仲)<sup>3</sup> 徐兆選(季英)  
姚世亮(公因) 陸宇燁(周明)<sup>1</sup> 周士元 周元來<sup>3</sup>  
周元初(立之)<sup>6</sup>

(1) 九舉、十進 (2) 九舉、泰、北本誤奏、履安作奐瞻、案、諸書皆謂字履安、北本之作奐瞻、不知何據 (3) 天四舉 (4) 周、補錄及北本誤調、據吳本改、案、黃梨洲文集有墓誌銘 (5) 來、補錄及吳本作彩、疑誤、據北本改、案、乾隆鄞縣志十順治十七年歲貢有周元來 (6) 立之、繆本北本缺

象山縣

應純仁(暢贊)<sup>1</sup> 錢繼榮<sup>2</sup>  
錢益忠(謙仲)<sup>3</sup>

錢繼煜 應純佐

(1) 六舉 (2) 案、康熙象山縣志二順治十一年歲貢有錢繼燦、當即是人、榮或本作燦、亦未可知 (3) 謙仲、補錄及北本缺、據吳本補

慈溪縣

葉仍華(西若)<sup>1</sup> 沈震揆<sup>2</sup>  
高逢泰(履安)<sup>1</sup> 徐景宣

林弘珪(用圭)<sup>3</sup> 毛世儀

(1) 仍、補錄作成、據姓氏錄改 (2) 揆、繆本作葵、北本似同、但形訛而不成字 (3) 弘、補錄及吳本作宏、據北本改 (4) 逢、吳本作宇、履安作虞尊、案、高子泰、字虞尊、鄞縣人、結埼亭集十四有墓石表、乾隆鄞縣志十六亦有傳、然逢泰錄於慈溪、似非鄞縣人、又字逢形音迥異、不易混淆、終疑吳本妄改、不從

金華府

傳巖(野倩)<sup>1</sup> 葉幹(伯貞)<sup>2</sup> 倪仁禎(心開)<sup>3</sup> 盧懋繡

(1) 天四舉、七進 (2) 萬四六舉 (3) 萬四六舉、十進、禎、紀略誤禎、案、康熙金華府志十八、題名碑錄俱作禎

衢州府

翁祚(子長) 徐應世(子貞)<sup>1</sup> 徐泰徵(吉旋)<sup>2</sup> 余一鳳(孟威)<sup>3</sup>  
葉榮(君仁) 張式(維蕃) 王之璽(漢先) 徐國珩(鳴玉)  
徐國璋(含貞) 徐應瑜(尹若) 余鈺(式如)<sup>4</sup> 祝啓元(繼貞)  
徐兆禴(乃孚)<sup>5</sup> 蔣鴻翊(孟頌)<sup>6</sup>

(1) 子貞、繆本作子自、吳本作子員、北本脫 (2) 天元舉 (3) 天四舉 (4) 余、繆本誤金、鈺、補錄誤珪、據姓氏錄改、案、康熙西安縣志十有傳 (5) 兆、補錄作堯、據姓氏錄改、案、姓氏錄常山有徐堯鑰、北本謂字乃孚、吳本則缺、依北本、堯鑰似即兆禴、乃爲

復出、而姓氏錄既有堯鑰兆禴二人、未可輕刪其一、姑從吳本、各為錄出、其常山徐堯鑰、不別為校記(6)鴻、吳本誤鳴、翊、北本作翌、頡、繆本誤翌、北本誤詡、案、西安縣志十有傳、惟翊作翼

常山縣

徐岳(山英)徐明保(保士)葉姓(生三)徐堯鑰

開化縣

汪爾敬<sup>1</sup>方晟(仲弢)<sup>2</sup>

(1)十五舉(2)晟、補錄姓氏錄皆誤曰成、今改、案、方晟、順治十四年舉人、十八年進士、康熙開化縣志五有傳、謂字仲弢、曰成乃晟字之訛

處州府

鄭孕唐(而名)<sup>3</sup>

(1)孕、原作賡、吳本同、據惠本繆本北本改、唐、北本作庚、案鄭賡唐、字寶水、縉雲人、天啓七年舉人、康熙處州府志九有傳、而舊本皆作孕、不敢舍舊從新、惟北本有注云丁卯、即謂天啓七年舉人、此注如確、則作賡似亦有據

江西南昌府

萬時華(茂先)<sup>1</sup>劉斯陞(士雲)鄧履右(左之)<sup>2</sup>羅大猷(翊辰)<sup>3</sup>萬搏(風后)羅高倬(中魯)袁崇熹(晦若)<sup>4</sup>章士鴻(凌九)喻周(京孟)葉典學(當時)吳奇杰(令平)徐元朗(詣仲)徐適(無適)謝益(聖虞)<sup>5</sup>萬六吉(次謙)羅儀則(無美)<sup>6</sup>饒明府(鼎伯)周象成(默而)吳廷猷(君徽)鄒度端(士相)羅海康(五緯)羅衛明羅日崇(元目)<sup>7</sup>饒元璠(魯生)<sup>8</sup>張琦(汝錫)周宗元(廣宇)黃維藩(价夫)<sup>9</sup>熊文學(公遠)<sup>10</sup>黎元宗(宗之)<sup>11</sup>涂南極鍾掄芳(叔學)<sup>12</sup>萬思彭(斯年)<sup>13</sup>劉斯裕(深公)<sup>14</sup>衷崇安(元定)<sup>15</sup>甘汝其(衢上)<sup>16</sup>丁仁宜(時之)<sup>17</sup>楊昌楊耆喻士錦

(1)時、紀略誤士、案、思舊錄、經義考一一七、乾隆南昌縣志三本傳等皆作時(2)十五舉、右、吳本誤古、北本誤石、案、柴德賡史學叢考收明季留都防亂諸人事蹟考上引徐世溥榆溪逸稿六云、鄧履石、字左之、壬午改名履中、是年中式(3)九舉、羅、姓氏錄誤俞、猷、繆本誤鄭、辰、吳本作宸、案、南昌縣志十六、乾隆南昌府志三七、三九皆作羅大猷(4)天七舉(5)聖、吳本作舜(6)三特用進士、無、後卷作元、據姓氏錄改、案、無別體无、與元字形近、特不知孰是、姑從舊本、又特賜出身之舉、方志皆謂事在十三年、而題名碑錄繫諸十五年、頗為可疑、本錄概從方志(7)崇、繆本作宗(8)三舉、魯生、據康熙進賢縣志十一補(9)价夫、補錄脫、

據姓氏錄補(10)三舉、四進(11)十五舉(12)六舉、十六進(13)思彭、補錄及北本無思字、疑脫、據吳本補、案、傳略引詩逸、謂時華從子、吳本似較確、從之(14)裕、北本作格(15)崇、補錄誤宗、據姓氏錄改、案、本府有衷崇熹、又、府志三九萬曆四六年舉人有衷崇寅、蓋其族人、宗乃崇字之訛(16)上、補錄作仁、據姓氏錄改、案、康熙豐城縣志三崇禎十五年舉人有甘汝亨、字衢上、此謂汝其字衢上、似誤、而姓氏錄既作如此、未可輕從補錄、或志有誤、亦未可知

南昌縣

余正垣(小星) 劉斯陸(漸于) 仇 鑽(聲之) 王猷定(于二) 黃國鑄(武功) 熊齊耀(穆子) 吳廷獻(用修) 鄒度竑(士可) 喻士鐸(寧孺) 劉斯隍(季和) 徐思爵(修仲) (1) 于、北本作子 (2) 天四舉、鑽、北本誤鑄、案、紀略作鑽、乾隆南昌縣志十六同 (3) 天四舉 (4) 三舉 (5) 廷獻、前卷及吳本互錯、據北本及紀略乙改、案、本錄南昌府有吳廷猷、似其同輩族人 (6) 喻、前卷作俞、據姓氏錄改、鑄、吳本作寧、孺、繆本作儒、案、紀略本府有喻士錦、又縣志十六崇禎六年舉人有喻士欽、俱姓喻、名上一字士、下一字從金

新建縣

陳弘緒(士業) 徐世溥(巨源) 李 奇(平叔) 甘元鼎(禹符) 丁此昌(維熙) 舒忠謙(魯直) 歐陽斌元(憲萬) 萬思恭(士安) 熊啓堂(伯陽) 徐世清(念孺) 徐應芳(子其) 劉不息(長源) 程元極(隆之) 鄧允憲(君則) 熊啓竣(仲平) 吳 銓(仲衡) 熊文登(公岸) 朱明珣 萬時徽 萬邦憲(思日) 張 陞(君納) 蘇 桓(武子) 毛文之(有質) 萬日佳(美叔) 陳弘綸(士言) 鄧履可 徐應葵(二其) 劉元健(異叔) 黃 禾(武功) 龔雲珠 張爾祐 楊正桐(巽叔) 鄧之麟 姜之祥 郝忠謙

(1) 弘、繆本與本作宏 (2) 禹、北本作萬 (3) 三舉 (4) 三舉 (5) 陽、惠本誤禹、萬、北本作万、案、康熙新建縣志二八有傳 (6) 六舉 (7) 九舉、啓、吳本誤起、案、縣志五作啓 (8) 九舉、隆、吳本作陸 (9) 峻、北本作峻 (10) 案、縣志二八本傳謂字于岸 (11) 思日、後卷缺、吳本作師尹、據北本補、案、北與二本之不同、未詳孰是、姑從舊本 (12) 天元舉 (13) 陳、北本作張、弘、補錄及吳本作宏、據北本及紀略改 (14) 可、吳本作中、案、履中即履右、已見南昌府、履可與履中、似為兩人、此從補錄及北本、分別錄出 (15) 葵、姓氏錄同、紀略作芬 (16) 健、北本作鍵 (17) 武功、補錄脫、北本作武切、據吳本補 (18) 雲、北本作曇、珠右旁作來、竟不成字 (19) 案、鄧之麟下、吳本更有劉之麟、補錄及北本則無、疑

鄧劉乃一人、而吳本衍訛、鄧之麟確有其人、見縣志五、存鄧刪劉

進賢縣

朱健(子強)<sup>1</sup> 陳維謙(仲容)<sup>2</sup> 陳維恭(仲來)<sup>3</sup> 李光倬(仲章)<sup>4</sup>  
熊人霖(伯甘)<sup>5</sup> 饒有政(子正) 李應南(見仲) 顏峻(方平)  
饒有致(子至) 謝鳳毛(英伯) 易道泰(寅初)<sup>6</sup> 陶文疇(中衍)<sup>7</sup>  
陳時懋(伯揆)<sup>8</sup> 熊霽(孟雨)<sup>9</sup> 朱徽(子美)<sup>10</sup> 劉元鎬(西京)  
劉斯戴 劉斯明(自誠)<sup>11</sup> 陶開中(堯生)<sup>12</sup>

李覲(揆之)<sup>3</sup> 李荃(允佩) 胡允恒(桓二) 羅大任(小遜)<sup>4</sup>  
羅大德

(1) 天四舉 (2) 天四舉 (3) 揆、後卷作葵、據姓氏錄改 (4)  
三舉、四進

奉新縣

涂日章(大章)

撫州府

(1) 天元舉 (2) 萬三四舉、容、惠本誤客、案、康熙進賢縣志十  
五有傳 (3) 萬四三舉 (4) 萬四三舉、李光倬、惠本誤季先倬、章  
姓氏錄同、惠本作草、案、縣志十一作李光倬 (5) 六舉、十進 (6)  
天七舉 (7) 衍、前卷誤行、據姓氏錄改、案、縣志十五有傳 (8)  
陳、吳本誤陸、案、縣志十二順治貢生有陳時懋、字百揆、佰百相通、  
當即是人 (9) 孟、吳本作子、案、吳本似存孟字上半、而缺下半、  
疑子乃孟字之殘 (10) 天元舉、四進 (11) 明、補錄誤羽、據姓氏錄  
改、案、府志四四作明 (12) 中、補錄姓氏錄皆誤甲、今改、案、二  
十一史論贊宋史參閱姓氏有陶開中堯生、縣志十二亦謂陶開中、字堯  
生、此二書俱係舊刊、較姓氏錄為可信、從之

陳際泰(大士)<sup>1</sup> 羅萬藻(文止)<sup>2</sup> 章宣岳(季詢)<sup>3</sup> 曾亨應(子嘉)<sup>4</sup>  
湯大耆(尊宿)<sup>5</sup> 湯開遠(叔寧)<sup>6</sup> 傅占衡(平叔)<sup>7</sup> 章宏岳(小石)<sup>8</sup>  
曾枋(季子)<sup>9</sup> 曾益(叔子)<sup>10</sup> 謝廷簡(闕臣) 許程  
陳士驥(孝逸) 吳誠

豐城縣

胡學浹(悅之) 胡縫(五石) 雷穀(孟嘉)<sup>1</sup> 李煒(明初)<sup>2</sup>

(1) 三舉、七進 (2) 天七舉、止、北本誤正、案、康熙臨川縣志  
十九有傳 (2) 天七舉 (3) 季詢、前卷互錯、據吳本乙改、北本作  
李詢 (4) 天七舉、七進、亨應、原誤應享、繆本同、據惠本及姓氏  
錄紀略改、案、明史二七八有傳 (5) 尊、前卷作直、據姓氏錄改  
(6) 萬四三舉 (7) 平、原作鈞、繆本同、惠本原作鈞、校改為鈞、  
北本作鈞、據吳本改、案、舊本作鈞或鈞、作鈞似是、而賴古堂尺牘  
新鈔二選藏弄集十標目云、傅占衡、平叔、江西臨川人、鄭仲夔耳新

五亦云臨川傅平叔占衡、清詩紀事初編二同、皆不謂字鈞叔、吳本雖與舊本不同、而與諸書合、確有所據、從之(8)天四舉(9)棧、前卷及紀略誤拭、據姓氏錄改、季、北本作李、案、棧即益弟、其名見明史曾亨應傳(10)十三特用進士

臨川縣

章世純(大力<sup>1</sup>) 章世謙(哀侯<sup>2</sup>) 揭重熙(萬年<sup>3</sup>) 湯開先(季雲)  
 王秉乾(以翼<sup>4</sup>) 甘鳴鳳(伯聲<sup>5</sup>) 黃恢弘(毅中<sup>6</sup>) 吳程(先民)  
 章登岸<sup>7</sup> 何玄中(官玄<sup>8</sup>) 謝賚王(觀臣) 游爲光(公大)  
 游爲龍(晉錫) 舒嘉桂(紫芬) 郟光曙(六交<sup>9</sup>) 曾有矩(上平)  
 管士默(子敬<sup>10</sup>) 萬象春(貞一) 陳奇才(平生<sup>11</sup>) 陳士鳳(孝威)  
 李閔(友之<sup>12</sup>) 劉鍾秀(文伯) 李玠(玉尺<sup>13</sup>) 徐朝式(萬生)  
 吳之堅(石生<sup>14</sup>) 金維藩(介士<sup>15</sup>) 陳奇(上茂) 傅雲鵬(空甫)  
 劉銘彝(尊玉<sup>17</sup>) 俞 郇(仲閑<sup>18</sup>) 封誥(命施) 傅雲龍(蒸甫)  
 丘而景(子旦<sup>20</sup>) 謝應宸(孟玉<sup>21</sup>) 熊廷賢(佐之) 李 上(元甫)  
 舒家擗(不食) 黃應震(木石<sup>22</sup>) 鄒萬備(孟口<sup>23</sup>) 口口晉(子進)  
 伍 毅(祈年) 唐熙之(百揆) 徐朝均<sup>23</sup> 丘光祖(乃武)  
 許可權(無可) 鄒毓才(吉士) 許 緒(子新<sup>25</sup>) 王彥之(吉士)  
 傅家春(萬子) 徐朝嘉(百會) 張履端 傅雲鸞  
 張履方 陳所有 喻中明<sup>m</sup> 吳劍光<sup>27</sup>  
 饒 奎 徐朝幹(彥卿<sup>28</sup>) 丁朝棟(潤生<sup>29</sup>) 陳 畫(惟易)  
 俞 郇(仲閑<sup>31</sup>) 丘而旭

(1) 天元舉(2) 哀、北本作袞(3) 九舉、十進、萬年、吳本作祝萬、案、明史本傳謂字祝萬、而康熙臨川縣志二本傳、靜志居詩話二俱謂字萬年、從之(4) 天七舉(5) 聲、前卷作升、據姓氏錄改(6) 三舉、弘、原作宏、繆本吳本同、據惠本北本改(7) 九舉(8) 玄中、原作元中、繆本吳本同、官玄、原作官元、繆本同、吳本作官立、據惠本北本改(9) 郟、北本及紀略作郟、案、郟即郟郟、而後世不復辨別、兩字通用(10) 管、吳本作簡、敬作敏(11) 奇才、紀略誤倒、案、縣志十七縣學貢生有陳奇才、康熙撫州府志十五同(12) 友、原作左、姓氏錄同、據惠本繆本改、案、友左形近易訛、不知孰是、而閔字從友、名閔、字友之、似爲得之(13) 玠、姓氏錄作玠、玉、惠本作王、案、爾雅云、珪大尺二寸、謂之玠、玠、王似俱誤(14) 生、前卷作卿、據姓氏錄改(15) 藩、姓氏錄同、惠本作藩(16) 雲、前卷作云、據姓氏錄改、空、吳本作真、參見傅雲龍條(17) 銘、北本作民、玉作生(18) 閑、姓氏錄同、惠本作閉(19) 萬四六舉、七進、雲、前卷作云、今改、案、康熙金谿縣志八本傳作雲、題名碑錄同、云乃雲字之略、本縣有傅雲鵬、雲、前卷作云、已據姓氏錄改、又有傅云鸞、云字亦當依此例作雲、雲鸞條徑改、不復出校(20) 景、繆本作泉、北本及紀略作昶、子旦、後卷及吳本缺、據北本補(21) 謝、紀略同、吳本作劉、宸、紀略同、北本作震(22) 石、北本作若(23) 九舉(24) 後卷謂子彥卿、今刪、案、姓氏錄無朝均、而有朝幹、亦謂子彥卿、似復出、然均幹二人實有其人、見縣志十六、十七、不可遽刪其一、今據後卷及補錄、分別錄出、至

於彥卿、姑從舊本爲朝幹字(25)緒、吳本作儒、子新、姓氏錄缺(26)靜生、原脫、據繆本及姓氏錄補(27)劍、吳本作斂(28)六舉(29)萬四六舉(30)畫、補錄及北本作畫、據吳本改、案、畫有爻義、與其字惟易相關、又傳略引西江志、似較確、從之(31)邠、北本作邠、案、兪邠已見前、北本複出、而字仲閱則不同、此邠字疑誤、姑從吳本

宜黃縣

涂柏(伯子)<sup>1</sup>涂國盟[文石]<sup>2</sup>羅仲(繡仲)<sup>3</sup>羅應曉  
涂世瑄[若水]<sup>4</sup>

(1)柏、北本作栢、即栢或字、子、前卷作生、據姓氏錄改、案、耳新五謂傳占衡曾評涂伯子云云、伯子當即栢(2)文石、道光宜黃縣志二十二、涂國盟、字文石、號獅池、崇禎元年拔貢、據補(3)羅仲、前卷誤羅伸、吳本誤羅紳、據北本改、繡、前卷作綉、即繡俗字、據姓氏錄改、案、府志十五宜黃學貢生有羅仲、縣志二十同、謂字繡仲(4)若水、據縣志三二本傳補

金谿縣

鄭邑僑(英萬)<sup>1</sup>鄭萬齡  
吳堂(仲升)<sup>3</sup>鄭昌齡  
胡依光<sup>2</sup>  
連城璧(璧如)<sup>5</sup>  
蔡國藩(价夫)<sup>3</sup>

(1)僑、前卷作僑、即僑字、吳本作僑、案、康熙金谿縣志四亦作僑、僑僑通用、此從北本(2)光、北本誤先、案、縣志十五作光(3)藩、姓氏錄同、惠本作藩(4)九舉、吳、前卷誤胡、仲升缺、據姓氏錄改補、案、縣志八有傳(5)天四舉、十三特用進士

建昌府南城縣

余浣(季澄)<sup>1</sup>吳兆(逢因)<sup>2</sup>丘時行(靈裕)<sup>3</sup>兪一經[子常]<sup>4</sup>  
丘時憲(誕章)<sup>5</sup>鄧尙(拱寅)黃士弘(伯仁)<sup>6</sup>吳觀之  
吳用<sup>7</sup>丘維塗(子泗)<sup>8</sup>劉名品(實賓)<sup>9</sup>葉應暄(憲中)<sup>10</sup>  
陶繼之(志如)吳之瑜 余彥章(兆開)<sup>11</sup>鄭僑(東里)  
傅光賓(季良)<sup>12</sup>丁萬(春善)<sup>13</sup>王萬達(鴻卿)<sup>14</sup>姚光遠<sup>15</sup>  
鄭之玄<sup>16</sup> 何士元(長白)

(1)三舉、澄、姓氏錄同、繆本作英(2)十二舉、因、姓氏錄同、繆本作英(3)天七舉、靈、北本作吳(4)子常、據康熙南城縣志十一本傳補(5)天七舉、誕、前卷作幼、據姓氏錄改(6)弘、原作宏、繆本吳本同、據惠本北本改、伯仁、前卷缺、據姓氏錄補(7)用、原作丹、吳本同、北本作舟、據惠本繆本改、案、丹、舟、疑俱用字之訛(8)塗、惠本作矜、繆本誤從示、北本作徐、于、繆本作子、案、維下一字、不知何本爲是、姑從刊本(9)品、吳本作器(10)天四舉、中、姓氏錄同、繆本作之(11)余、後卷誤兪、據姓氏錄改、案、縣志十作余(12)三舉(13)春、後卷作喜、據姓氏錄

改(14)三舉(15)光、後卷誤元、吳本誤志、據北本及紀略改、案  
縣志十作光(16)玄、後卷及吳本作元、據北本及紀略改

新城縣

涂伯昌(子期)張之奇(平子)過周屏(仲憲)余日登(岸少)  
楊居理(公望)楊思本(因之)魯汝亨(洽然)黃曆(敬授)  
王尊(公憲)羅鳴(孟驚)江雁卿(遠公)孔胤冠(玄子)  
孔胤興(巨源)鄧鼎(調元)鄧觀(君進)陳詩(觀民)  
黃龍元(元士)鄧篆(文始)過魯生(宗尼)鄧植喬(君遷)  
楊居台(調輔)過雲生(雲將)鄧植舉(叔遠)江以碩(公孫)  
涂世琳(石文)黃士宏(伯任)黃士奇(石子)涂大申(仲儒)  
黃金聲(子先)潘一謀(庸成)余光裕(昆垂)過周托(君宰)  
劉賢(願無)裘鏞(上馭)過應運(興公)余鼎(鼎介)  
王定遠(譯來)孔胤綬(章甫)王嗣德(嗣殷)涂大鼎(長孺)  
江士望(伯文)江士祥(伯旋)孔胤末(湯孫)王定求  
黃之香 孔胤楠(秀水)吳之才(孫靈)孔胤鄴(仲邑)

(1)三舉、涂、原誤徐、繆本吳本同、據惠本北本改、案、康熙新  
城縣志九謂涂伯昌、字子期、耳新一同、南疆逸史三四有傳(2)天  
七舉、十三進(3)天四舉、周、惠本誤問、繆本誤開、案、縣志九  
作周、又本縣有過周托、蓋其族人(4)三舉(5)三舉、望、姓氏  
錄誤理、案、縣志九作望(6)天七舉、魯、紀略誤曾、洽、原誤洽

姓氏錄同、惠本誤冷、據繆本改、案、縣志九謂字嘉甫、號洽然(7)

十二舉、案、縣志九憲作獻(8)雁、原誤鷹、吳本同、繆本誤鷹、

據惠本北本改、案、縣志九作鴈、鴈雁通用、音義已不分(9)胤、

原作允、玄作元、繆本吳本同、據惠本北本改(10)胤、原作允、繆

本吳本同、據惠本北本改(11)宗、北本不易辨識、似作宋、尼、惠

本作泥(12)調輔、惠本繆本作謂黼、案、調輔與謂黼、不知孰是、

惟北本最舊、姑從之(13)碩、繆本誤石、案、縣志九作碩、又孫作

遜(14)琳、吳本作名、石作在、案、縣志九天啓七年舉人有涂世名、

字仲嘉、似即別人、疑吳本妄改(15)九舉(16)先、繆本作文(17)

昆、北本作品(18)胤、原作允、繆本吳本同、據北本改(19)孺、

繆本作儒(20)士、紀略作之、案、下有江士祥、姓氏錄皆無異

同、蓋其族人、作士似是(21)士、紀略作世(22)胤、原作允、繆

本吳本同、據北本改(23)求、繆本作來(24)胤、原作允、繆本吳

本同、據北本改、水、吳本作夫、北本作矢(25)案、縣志九謂字孫

膚(26)三舉、胤、原作允、繆本吳本同、據北本改、案、縣志九邑  
作易

廣昌縣

劉大千(廣生)揭希朋(來遠)劉大鞏(定生)劉大常(吉生)  
劉大年(赤生)黃立隆(極叔)劉邦棠 何三省(日唯)

(1)九舉(2)朋、前卷及吳本作鵬、據北本及紀略改、遠、惠本

誤違、案、同治廣昌縣志五有揭希朋傳、謂字來遠(3) 天七舉、七進(4) 吉、惠本誤言、案、縣志五有傳(5) 天四舉、十進(6) 立、繆本誤之、案、縣志四作立(7) 邦、繆本作卯、惠本似作卯、而右旁從邑、遂不成字、俱誤、縣志四作邦(8) 天七舉、四進

南豐縣

曾<sup>1</sup>升(升伯) 湯來肇(汝開) 李芳林(長卿) 饒升[雲將]<sup>4</sup>

(1) 升伯、姓氏錄同、繆本互錯(2) 三舉、十三進、肇、繆本作賀、汝開、原作佐平、繆本同、惠本及姓氏錄缺、今改、案、康熙南豐縣志五舉人項云、湯來肇、字汝開、改名來賀、字佐平、進士項則徑作來賀、字佐平、據此、繆本最妥、而來賀非原名、舊本不錄、因改佐平為汝開、以稱名字(3) 林、吳本作麟(4) 饒、吳本誤邵、案、縣志五崇禎三年舉人有邵升、字子上、號貞吉、而同志八有饒陞傳、謂字雲將、當即是人、其字據補

廣信府上饒縣

徐自定(慧後)<sup>1</sup> 徐自寧(孝穆) 鄭仲夔(龍如)<sup>2</sup>

(1) 慧後、惠本繆本缺(2) 仲、原誤中、繆本同、據惠本及姓氏錄改、如、惠本繆本作女、案、鄭氏著有耳新八卷、署曰鄭仲夔醫師、他如康熙廣信府志十五、千頃堂書目二八皆作仲

永豐縣

俞墨華(君翰)<sup>1</sup> 程士鯤(天修)<sup>2</sup>

(1) 天元舉、七進、君翰、惠本繆本北本缺(2) 鯤、吳本作鵬

玉山縣

董思王(求母)<sup>1</sup> 姜曰臺(心如) 詹求福<sup>m</sup>

(1) 王、姓氏錄同、紀略作玉

弋陽縣

朱萬祚(道徵)<sup>1</sup> 李調鼎(章尹)<sup>2</sup> 周師範 賀貽孫(子翼)<sup>3</sup>

(1) 三舉(2) 萬四十舉、章、吳本作莘(3) 貽、吳本作諒、案清史列傳七十本傳作貽、其著激書、水田居文集署款同、本條惠本復出於永豐、惟貽誤貽、又補錄復出於永新、子翼之字從此而補、貽孫永新人、而前卷既錄於此、從之

臨江府清江縣

龔士烈(我正)<sup>1</sup> 彭立節(介臣)<sup>2</sup> 龔善選(大生)<sup>3</sup> 鄒應璋(石生)<sup>4</sup> 楊廷鴻(伯衍) 楊世榮(霜茹)<sup>5</sup> 鄒汝郁(文在) 曾應文(純甫) 蕭弘緒(子羽)<sup>6</sup> 蕭鼎璧(世珍) 鄒希孟(淑甫)<sup>7</sup> 陳士志

楊標 王貞復 錢謙亨(尊生)<sup>③</sup> 楊廷麟(伯祥)<sup>③</sup>

(1) 烈、吳本作立(2) 節、北本誤尹、臣、惠本作生、案、道光清江縣志十崇禎三年選貢有彭立節(3) 三舉、十三特用進士、選、原誤遷、繆本同、據惠本及姓氏錄改、案、縣志十五有傳(4) 三舉、璋、惠本繆本誤章、案、縣志十五有傳云、鄒瑄、一名應璋(5) 萬四六舉、十三特用進士、霜茹、惠本作霜如、繆本作霞如、北本作霞茹、不知孰是、姑從刊本(6) 十二舉、弘、原作宏、繆本吳本同、據惠本北本改(7) 十二舉(8) 十二舉(9) 三舉、四進

袁州府 宜春縣

張自烈(爾公) 易嗣重(又尹)<sup>①</sup> 何山(叔子)<sup>②</sup> 錢經濟(駿伯)<sup>③</sup>

(1) 尹、北本作日(2) 十二舉、叔子、惠本繆本北本缺、案、乾隆袁州府志二五有傳(3) 天四舉、經、北本誤徑、駿伯、惠本北本缺、案、府志二一作經

分宜縣

袁繼升(以時) 陳重

萍鄉縣

簡元錫<sup>①</sup> 簡元嘉<sup>②</sup> [申公]<sup>③</sup>

(1) 姓氏錄謂字申公、今刪、說見後(2) 案、康熙萍鄉縣志五簡奪傳云、元名元嘉、字申公、姓氏錄謂元錫字、疑誤、其字據縣志移於此

饒州府

羅伏龍(佐才)<sup>①</sup>

(1) 三舉、才、北本作材、案、康熙饒州府志二五有傳、謂字佐才

瑞州府

李之漑[青蓮]<sup>①</sup> 舒弘緒(芑孫)<sup>②</sup> 黃國琦(石公)<sup>③</sup> 鄔崇昇[客林]<sup>④</sup>

(1) 青蓮、據康熙新昌縣志三補(2) 弘、前卷誤仲、吳本作宏、據北本改、芑、原誤苞、繆本同、據惠本及姓氏錄改、案、康熙高安縣志八有傳(3) 九舉、十進、石公、惠本繆本缺(4) 客林、據新昌縣志四本傳補

新昌縣

漆嘉祉(受百)<sup>①</sup> 吳家儀[桂子]<sup>②</sup> 商安 陳岱

(1) 天四舉、四進、百、繆本作伯、吳本作耳(2) 桂子、據康熙

新昌縣志四補

贛州府

鍾嘉鳳(三文)<sup>1</sup> 符檄(懋行)<sup>2</sup>

(1) 案、乾隆贛州府志三二有鍾家鳳傳、謂字山文、疑卽是人(2) 懋、姓氏錄同、惠本作想

寧都縣

謝述玄(晉人)<sup>1</sup> 陳魏階(石君)<sup>2</sup> 楊兆年[爾逢]<sup>3</sup> 彭大(方若)<sup>1</sup>

(1) 玄、補錄誤立、吳本作元、據北本改(2) 階、吳本作階(3) 爾逢、據康熙瑞金縣志七補(4) 方、北本作文

瑞金縣

楊以任(維節)<sup>1</sup> 甘大綬(紫墟)<sup>2</sup>

(1) 萬四六舉、四進、維節、北本誤節侯、案、康熙瑞金縣志七謂字惟節(2) 三舉

鉛山縣

費兆甲(先子)<sup>1</sup> 費映環(大武)<sup>2</sup> 胡夢泰(天際)<sup>3</sup> 費山仰(敬仲)<sup>4</sup>

(1) 子、前卷作民、據姓氏錄改(2) 萬三四舉(3) 天七舉、十進

九江府

文德翼(用昭)<sup>1</sup> 黃雲師(非雲)<sup>2</sup>

(1) 三舉、七進(2) 三舉、十三進

吉安府 泰和縣

曾文饒(堯臣)<sup>1</sup> 劉捷(師貞)<sup>2</sup> 楊學愿(內美)<sup>3</sup> 楊嘉珩(仲嘉)<sup>4</sup>

陳家禎(興公)<sup>5</sup> 蕭令升(茂遠)<sup>6</sup> 曾世冲(子冲)<sup>7</sup> 梁天爵(世臣)<sup>8</sup>

康穀(甫田)<sup>9</sup> 郭承瑚(忠子)<sup>10</sup> 劉徵孝(孝若)<sup>11</sup> 曾東昇<sup>12</sup>

龍嘉燿<sup>13</sup> 龍嘉震(起也)<sup>14</sup> 周士遠(淳之)<sup>15</sup> 蕭秉鎮(爾聖)<sup>16</sup>

楊大昌 蕭子建(鼎甫)<sup>17</sup> 龍起泓(重儒)<sup>18</sup> 曾士熊

朱之瑤(石者)<sup>19</sup> 蕭秉錡(爾器)<sup>20</sup>

(1) 六舉、七進、案、順治吉安府志七舉人云、更名仁愿、同志八進士徑作仁愿、題名碑錄同(2) 天四舉、禎、北本誤禎、案、府志七作禎(3) 升、吳本作申、紀略作甲(4) 穀、前卷誤穀、據姓氏錄紀略改、甫、惠本誤前、案、府志九崇禎貢生有唐穀、又乾隆泰和縣志三二有傳、謂字甫田(5) 孝若、前卷缺、據姓氏錄補(6) 三舉(7) 天四舉(8) 十五舉(9) 萬四六舉、四進、泓、補錄及吳本作法、紀略作弘、據北本改、案、府志六、七、縣志十三作弘、題名碑錄同、與紀略合(10) 者、吳本誤香、案、同治安福縣志十有傳、謂字石者(11) 爾、吳本作國

廬陵縣

黃震象(交侯)<sup>1</sup> 趙爾圻(千里)<sup>2</sup> 馬猶龍(季房)<sup>3</sup>

(1) 三舉 (2) 圻、惠本誤圻、案、府志九作圻、天啓崇禎兩朝遺詩小傳同 (3) 季、惠本誤秀、案、乾隆泰和縣志三三有傳

吉水縣

劉同升(孝則)<sup>1</sup> 陳玉書(玉郎)<sup>2</sup> 王維藩(价人)<sup>3</sup> 周祖謨(九吉)  
劉孟欽(安期)<sup>4</sup> 劉仲醇(安子)<sup>5</sup> 劉叔鍼(安道)<sup>6</sup>

(1) 天元舉、十進 (2) 陳玉書、惠本誤陳王善、紀略作李陳玉、郎、原作朗、吳本同、據惠本繆本北本改、案、光緒吉水縣志三三有傳云、李陳玉、字石守、號謙菴、天啓甲子舉於鄉、榜名陳玉書、改今名、中崇禎甲戌進士、題名碑錄即作李陳玉 (3) 維、前卷誤繼、據姓氏錄改、案、府志九作維、詩云、价人維藩 (4) 欽、姓氏錄紀略同、惠本繆本作卿 (5) 安子、惠本繆本缺 (6) 叔、繆本作仲、鍼、原作鍼、吳本同、北本右旁從戌、據惠本繆本改、安道、惠本繆本缺、案、舊本無作鍼者、北本不成字、似即鍼字之訛、姑從惠繆二本

安福縣

傅鼎臣(玉生)<sup>1</sup> 伍以竑(弱生)<sup>2</sup> 鄒世祚(瑞侯)<sup>3</sup> 周鼎涑(八如)<sup>3</sup>

康范生(小范)<sup>3</sup> 王曾昇(旭永) 劉濟(元度) 王嘉魁(天樞)<sup>6</sup>

(1) 萬四六舉 (2) 天七舉 (3) 三舉 (4) 涑、原作采、吳本同、惠本繆本作涑、據北本改、案、舊本皆從水、當有所據、而北本最舊、姑從之 (5) 十二舉 (6) 三舉、十三特用進士、天、北本誤夫、案、同治安福縣志十一有傳、謂更名辰、字斗初、府志八舉人仍用原名、而有注云、更名辰、庚辰特用刑部主事、題名碑錄即作辰

萬安縣

劉肇升(南征)<sup>1</sup> 劉肇泰(通子)<sup>1</sup> 劉肇臨(大也) 劉肇履(坦如)<sup>2</sup>  
劉肇謙(尊而)<sup>3</sup> 張之綱 楊文彬(去勝)<sup>3</sup> 楊文彩(治文)  
曾應遜(文擇)<sup>5</sup>

(1) 案、同治萬安縣志十三有傳、謂字通之 (2) 坦如、據縣志十四本傳補 (3) 尊而、據縣志十三本傳補 (4) 天四舉 (5) 三舉、七進、案、乾隆贛州府志三十有傳、謂字無擇、或文乃无字之訛、亦未可知、惟前卷皆同、仍而不改

永新縣

賀吳生

福建福州府

陳元綸(道掌) 陳可楠(若木) 羅以旌(鴻吉) 張綸(道羽)  
 葉履春(端卿) 邵伯胤 林英(雲夫) 王叔穎(渾之)  
 崔士楚 趙爾榮 吳鏘(仙韻) 趙鏡(哲夫)  
 林兆清 林正立(參夫) 李時成(陰六) 林驄  
 翁鏞(範之) 吳又尹(任子) 趙沂(其義) 陳須勵(孔偲)  
 張經業(子駿) 林化熙(阿暉) 劉如雷(希震) 余颺(廣之)  
 董謙吉(能受) 蔡秋卿(子威) 陳鼎鼎 謝良心(真子)  
 王鼎儁(懋甘) 周之夔(章甫)

(1) 天元舉 (2) 胤、原作允、繆本吳本同、據惠本北本改 (3)  
 萬四三舉 (4) 九舉 (5) 立、後卷作志、據姓氏錄紀略改、夫、吳  
 本作天 (6) 六、北本作大、疑誤、案、易云、大明終始、六位時成、  
 又陽爻稱九、陰爻稱六 (7) 六舉、十進 (8) 三舉、四進、案、乾  
 隆福州府志三九謂字德受 (9) 三舉、四進 (10) 天四舉、四進

閩縣

董養河(叔會) 韓廷錫(晉之) 鄧壽朋(戒從) 邵景文(長倩)  
 鄭羽儀(鴻伯) 梁昌祚 黃長采 林慎(尊默)  
 周溥(子通) 陳須純(純孔) 朱可久(有親) 陳金鉉(翊皇)  
 董養泓(仲理) 鄭梓(五文) 李廷燮(汝理) 王仇(我子)  
 林維毅(汝升) 馮夷(輯平) 陳公喜(子肩) 陳須立(孔端)

陳須勛(孔成) 林上錦(常綱)

(1) 十三特用進士、河、惠本繆本誤湖、案、康熙福建通志四五本  
 傳作河、題名碑錄同 (2) 十二舉、朋、繆本誤明、紀略脫、從、北  
 本作位、案、通志三九舉人有鄧壽朋 (3) 倩、吳本作源 (4) 十五  
 舉、十六進 (5) 三舉 (6) 十五舉、純孔、惠本繆本缺、案、本府  
 錄陳須某者五人、而須純外、皆字孔某、獨此云純孔為異 (7) 久、  
 北本作大 (8) 翊、北本作翌、吳本作翼 (9) 泓、原作滋、繆本吳  
 本同、據惠本北本改、仲、惠本繆本作叫、即俗叫字 (10) 五、姓氏  
 錄同、惠本繆本作立 (11) 綱、原誤網、據繆本改、案、中庸引詩云、  
 衣錦尚綱

侯官縣

陳燕翼(仲謀) 曾異撰(弗人) 周恂(子立) 陳世昌  
 張利民(能因) 齊莊(望子) 莫爾佳(既題) 陳穀(君推)  
 陳昕(伯吹) 林際開(子先) 陳必昌(伯期) 林叔學(懋理)  
 王之徽(米仙) 趙聚卿(子方) 張國卿(爾姿) 姚瑞徵(兆聖)  
 黃閣(子臺) 李郁(子晉) 趙振鐸(懋覺) 吳雋凱(庸公)  
 王尹(有巢) 陳京(君鑄) 朱鳳儀(子緯) 張自修(今式)  
 朱緣(玉藻) 方喬植(仲漑) 馬莊(既同) 許彥(玉史)

(1) 天四舉、七進、翼、前卷誤貽、據姓氏錄紀略改、案、題名碑

錄作翼、通志四五有傳(2)十二舉(3)天元舉、十三進(4)齊  
 吳本誤高、案、府志六十有傳云、齊莊、字望子、閩縣人、齊子草體  
 與高相似、吳本之作高、蓋形近而誤(5)穀、原作穀、據惠本繆本  
 及姓氏錄改、案、漢書馮唐傳云、王者推穀、君所推者非穀也、劉本  
 似是、而他本皆作穀、劉本雖頗有理、然未有他書可證、姑從舊本  
 (6)陳、吳本及紀略作林(7)天元舉、先、惠本誤光、案、府志  
 四十作先(8)昌、姓氏錄同、繆本作先(9)理、前卷作禮、據姓  
 氏錄改(10)郁當二字、繆本互移(11)天四舉、四進、豸上紀略衍  
 一字、玉史、補錄作玉斧、北本誤王史、據吳本改、案、通志四五有  
 傳、謂字玉史、千頃堂書目二八、明詩綜六八俱謂字玉斧、補錄亦非  
 誤、但補錄與姓氏錄有所不同、當以後者為據

長樂縣

陳肇曾(昌箕)<sup>1</sup> 陳奎輝(克韞)<sup>2</sup> 李還春 林逢經(守一)<sup>3</sup>  
 曾人翰(明克)<sup>4</sup> 李允中 陳兆相(克理)<sup>5</sup> 葉有祿(學中)  
 陳兆藩(衛公)<sup>6</sup>

(1)天元舉、箕、北本誤基、案、社事始末云、陳昌箕先生肇曾、  
 經義考二百七同(2)天元舉、韞、姓氏錄作纒、案、府志四十作韞  
 (3)經、北本誤徑、案、南疆逸史十七有傳、又林逢經一條、後卷  
 福州府複出、因姓氏錄與前卷俱錄於此、存此刪彼(4)克、吳本誤  
 堯、案、民國福建通志四一作克(5)天七舉、十六進、案、通志三

九云、改名翔、題名碑錄即作翔(6)十二舉、藩、補錄誤茲、據姓  
 氏錄改、案、通志三九作藩

福清縣

陳知章(子含) 張翰(克張) 陳世濬(學玄)<sup>1</sup> 卓震(伯良)  
 林兆齡(甲侯) 游騰(朝霖) 林繼焮(叔夜)<sup>2</sup> 高如參(弘度)<sup>3</sup>  
 陳須飭(孔修) 鄭象坤(閒順) 林際明(五周)<sup>4</sup>  
 (1)萬四六舉、十三進、玄、原作元、繆本吳本同、據惠本北本改  
 (2)林、繆本作凌(3)天四舉、弘、原作宏、繆本吳本同、據惠  
 本北本改(4)五周、補錄脫、據姓氏錄補

永福縣

黃文揆(維一)<sup>1</sup> 鄢正畿(德都)<sup>2</sup> 黃國琪

(1)一、前卷作之、據吳本改、北本作乙、案、乙卽一、疑之乃乙  
 字之訛(2)畿、前卷誤幾、據姓氏錄改、案、通志四五本傳作畿、  
 乾隆永福縣志八本傳同

寧德縣

薛大志(道果)<sup>1</sup> 崔崧(殿生)

(1) 志、惠本作海

興化府

曾世衮(長修)<sup>1</sup> 周普 許兆進[國相]<sup>2</sup> 楊人龍(而獻)<sup>3</sup>  
 方祖玄(翼祚)<sup>4</sup> 黃虞(俞伯) 林尊賓(燕公)<sup>5</sup> 黃夢吉(三卿)  
 林衍培 柯賡 陳于庭 方孝先  
 林奎(子野)<sup>6</sup>

(1) 天四舉 (2) 三舉、十三特用進士、國相、據乾隆莆田縣志十  
 三補 (3) 獻、姓氏錄作獻、案、誤省偏旁間有之、誤增則較少、因  
 從前卷 (4) 玄、原作元、繆本吳本同、據惠本北本改、翼、北本作  
 翌、祚、惠本繆本作祥 (5) 十五舉、燕公、前卷缺、據姓氏錄補  
 (6) 六舉、十六進

莆田縣

周吉(吉人)<sup>1</sup> 彭汝亨(伯貞)<sup>2</sup> 武胤邵<sup>3</sup> 曾世爵(叔斬)<sup>4</sup>  
 朱泰禎(馮仲)<sup>5</sup> 徐胤鉉(羽鼎)<sup>6</sup> 方元會(澹人)<sup>7</sup> 鄭擎柱[耀如]<sup>8</sup>  
 翁灝<sup>9</sup> 翁灝 翁顯

(1) 六舉、十三進、周吉、紀略誤周言、吉人、姓氏錄作朝吉、案  
 乾隆莆田縣志十三謂字吉人 (2) 三舉、十三特用進士 (3) 胤、原  
 作允、繆本同、據惠本改 (4) 祈、前卷作祖、據姓氏錄改 (5) 天

元舉、案、縣志十三謂字平仲 (6) 胤、原作允、吳本同、繆本脫、  
 據惠本北本及紀略改、羽鼎、姓氏錄作玄生、惟吳本避玄作元、似亦  
 一字 (7) 三舉、十六進、會、惠本繆本誤會、案、通志三七、三九  
 題名碑錄皆作會 (8) 天七舉、耀如、據縣志十三補 (9) 灝、惠本  
 繆本頻作穎、不知何字、案、翁灝上、前卷有平海二字、蓋非人名、  
 而謂平海衛、原為標目、錯入正文耳、今刪、但平海衛在莆田縣、又  
 補錄紀略各有翁姓之人、亦錄於本縣、其翁灝一人、仍錄於此、不為  
 別出

泉州府

陳鍾璵(石丈)<sup>1</sup> 徐澧(雨海) 黃拔俊(造夫)<sup>2</sup> 盧洪聲(元穆)<sup>3</sup>  
 郭煒[閩生]<sup>4</sup> 林鼎照<sup>5</sup> 王龍化<sup>6</sup> 黃景明(可文)<sup>7</sup>  
 林應龍<sup>8</sup> 唐朝詒<sup>9</sup> 林明琅(爾圭)<sup>10</sup> 黃元高(穉谷)

(1) 丈、姓氏錄皆作文、今改、案、通志四六有傳、謂字石丈、  
 乾隆晉江縣志十二本傳同 (2) 拔俊、原互錯、繆本吳本同、惠本作  
 拔俊、據北本改 (3) 天七舉、穆、吳本作修 (4) 三舉、閩生、據  
 晉江縣志十一本傳補 (5) 照、北本作始 (6) 化、吳本作震、案、  
 王龍震、字長甫、南安籍、晉江人、天啓元年舉人、崇禎元年進士、  
 晉江縣志十有傳、蓋與龍化非一人、疑吳本妄改、又劉本後卷晉江復  
 出、繆本則唯錄於此、存此刪彼 (7) 六舉、七進 (8) 三舉 (9)  
 三舉 (10) 爾圭、原作雨珪、繆本同、惠本作兩珪、據姓氏錄改、案、

通志三七、三九、崇禎十五年舉人、十六年進士有楊明琅、晉江人、姓雖不同、或即是人、俟考

晉江縣

黃景暉(可發) 吳韓起(宣伯) 林維遷<sup>2</sup> 謝敬(孺時)  
葉奇(無奇) 黃景昭(可中)<sup>3</sup> 張希聖(五有) 周天達<sup>4</sup>  
張若(伯美) 黃起雒(應禧)<sup>5</sup> 周廷鑛(元暉)<sup>6</sup> 莊廷獻(叔鼎)  
蘇文昌(龍華)<sup>7</sup> 張朝筌<sup>8</sup> 李光龍(時卿)<sup>9</sup> 翁吉燦  
蘇奇昆(潤甫) 黃之龍(四長) 王士騏(子驪)<sup>10</sup> 陳子昌(子默)  
龔元登(培美) 黃美中(增彥) 王之驥<sup>11</sup> 陳燠(潛夫)<sup>12</sup>  
陳洪謐(龍甫)<sup>13</sup> 丘金聲(懋旦)<sup>14</sup> 謝廷鏘(耽韻)

(1) 九舉、十三進 (2) 三舉、遷、北本誤近、案、通志三九作遷  
(3) 中、北本作冲 (4) 三舉 (5) 天四舉、雒、前卷誤雄、案、  
乾隆莆田縣志十三云、黃起雒、字應禧、通志三九亦作雒 (6) 鑛、  
與本作鑛 (7) 十五舉 (8) 天七舉 (9) 十五舉、十六進、案、乾  
隆泉州府志四五有傳、謂字蟠卿 (10) 三舉 (11) 萬四三舉 (12) 三  
舉 (13) 天七舉、四進 (14) 天四舉、旦、吳本作思

同安縣

楊期演(則龍)<sup>1</sup> 池顯方(直夫)<sup>2</sup> 范方(介卿)<sup>3</sup> 盧若騰(牧洲)<sup>4</sup>  
林志遠(致子)<sup>5</sup> 莊鰲獻(任公)<sup>6</sup> 吳之奇(元圭)<sup>7</sup> 葉后詔<sup>14</sup>

(1) 三舉 (2) 天四舉、方、北本誤芳、直、原誤卓、惠本繆本誤  
眞、據姓氏錄改、案、府志五四有池顯方傳、謂字直夫、千頃堂書目  
二七同 (3) 天元舉 (4) 九舉、十三進、牧洲、前卷及北本缺、據  
吳本補、案、通志四六本傳謂字牧洲、民國同安縣志三本傳謂字閑  
之、號牧州 (5) 萬四六舉、十六進、林、北本誤材、致子、前卷缺  
據姓氏錄補、案、府志六二有傳、謂字致子、而縣志三本傳據舊志  
謂字致子、與姓氏錄合 (6) 三舉、四進、鰲、補錄誤鰲、據姓氏錄  
改、案、通志三九作鰲、題名碑錄同 (7) 六舉、十進、奇、吳本作  
琦、案、之奇之琦俱有其人、中學及進士登第年亦同、之奇、晉江人、  
籍龍巖、之琦、晉江人、未詳孰爲吳元圭、姑從舊本

惠安縣

劉華(不注) 曾璟(小平)<sup>1</sup> 陳夢巖<sup>2</sup> 劉藿(非藜)<sup>3</sup>  
陳夢說[弼卿]<sup>4</sup>

(1) 三舉 (2) 巖、原作岩、繆本同、惠本作崑、據姓氏錄改、案、  
通志四十作品 (3) 藜、前卷誤黎、據姓氏錄改、案、史記大史公自  
序云、藜藿之羹、正義、藜、似藿而表赤 (4) 天七舉、弼卿、據府  
志七六本傳補

漳州府

顏茂猷(伯子)<sup>1</sup> 李于蕃(得晉)<sup>2</sup> 張瑄<sup>3</sup> 郭萬安(子苞)<sup>4</sup>

(1) 天四舉、七進、伯子、北本作衷白、吳本作衷白 (2) 六舉、李、前卷誤葉、得音缺、據姓氏錄改補、案、通志三九作李 (3) 案、張瑄、劉本後卷平和複出、繆本唯錄於此、存此刪彼 (4) 三舉

龍溪縣

洪京榜 (尊光) 鄒遷 謝應璠 王廷璧 (穀子)  
王百朋 (錫喜) 林夢官 (杭玉) 蔡而范 (樞圖) 楊翔鸞 (明箕)  
黃士權 (九變) 詹士墀 (君策) 林雲高 (君履) 黃中履 (楨卿)  
蔡一瑞 呂子熙 (潛中) 吳廷贊 潘從龍  
潘亮新 呂士坊 楊世寶 潘雲登  
侯世淮 謝宸楫 (爾剡) 楊觀民 蔡而申 (稚文)

(1) 尊光、前卷及北本缺、據吳本補、案、民國通志三五謂字尊光、康熙漳州府志十五龍溪縣崇禎貢生有洪尊光、蓋以字行 (2) 應、吳本作廷、案、府志十四舉人有謝應昌、謝應璋、謝應祿、蓋其族人、吳本疑誤 (3) 十二舉 (4) 三舉 (5) 天七舉、七進 (6) 天四舉 (7) 天七舉 (8) 天四舉、墀、惠本繆本誤禪、案、通志三九、府志十四俱作墀 (9) 案、府志十四、天啓七年舉人有黃中李、或即是人、亦未可知 (10) 十二舉 (11) 十五舉 (12) 宸、後卷誤家、剡誤鄉、今改、案、張鑑冬青館甲集六黃石齋三近堂記跋謂記以家作宸、鄉作剡、當以記爲正、從之、易云、剡木爲舟、剡木爲楫、上古穴居而野處、後世聖人易之以宮室、說文云、宸、屋宇也

漳浦縣  
薛夢江

南靖縣

黃湯 孫天祿 (續侯) 郭世敷 黃光  
林鑾 李宸  
黃甲 蘇民淳 盧道敏 何模 [侗子]  
海澄縣

(1) 案、海澄二字、後卷以爲人名、緊接南靖縣李宸條下、蓋誤以標目錯入正文、今改、縣字依例補 (2) 六舉、侗子、據詩經世本古義校正姓氏補

鎮海衛

何樾 (平子) 何橙 郭毓樞 何樞  
何燾 游漢龍 何縱 [聲子]

(1) 樾、北本誤魁、案、詩經世本古義校正姓氏云、弟樾平子 (2) 燾、原誤燾、據惠本及姓氏錄改、案、詩經世本古義卷首云、男燾注 (3) 十五舉、案、本條及下一人何樾、惠本脫 (4) 縱、原作從、聲子缺、繆本同、今改補、案、詩經世本古義校正姓氏云、弟縱聲子、

當卽是人

長泰縣

楊鴻綸(秩徽)<sup>①</sup> 薛鴻譽

(1) 天元舉

平和縣

李開芳<sup>①</sup> 曾居曹(奎次)<sup>②</sup> 張瑞鐘[勛之]<sup>③</sup>

(1) 三舉、十三進、案、通志二七、府志十四、光緒重刻康熙平和

縣志八皆謂庚辰進士、而其姓氏不見題名碑錄、不知何故、此從方志

(2) 天元舉 (3) 鐘、後卷作鍾、勛之缺、今改補、案、冬青館甲

集六黃石齋三近堂記跋謂記以鍾作鐘、字勛之、從之

延平府

俞日升(寅初)<sup>①</sup> 鄧宗蓋<sup>②</sup>

蕭夢瑚<sup>③</sup>

余端聞(聲先)

羅明祖(宣明)<sup>④</sup> 甯永齡(鶴徵)<sup>⑤</sup>

(1) 日、北本脫 (2) 三舉、十三特用進士 (3) 天七舉 (4) 天

七舉、四進、明、吳本誤承、案、順治延平府志十五有傳 (5) 天七

舉

永安縣

李啓鑰(開先) 林鳴球(小玉)

建寧府建安縣

謝電宇<sup>①</sup> 徐卽昌(魯一)<sup>②</sup> 李蔚(白藥)<sup>③</sup> 徐銳(猶魯)

黃慧男(蓮生) 徐必昌(心一) 滕之宋(見孟)

(1) 三舉 (2) 三舉 (3) 藥、原作蕊、繆本作蕊、吳本作正、據

惠本北本改、案、蕊葢同藥、疑吳本以葢訛正

甌寧縣

黃繼登<sup>①</sup>

(1) 天七舉

政和縣

吳朱基(靖卿)<sup>①</sup>

(1) 三舉

邵武府建寧縣

張能恭(禮言)<sup>①</sup> 曾光弼(復生) 徐中恆(叔亨) 廖元迪

謝禧昌(君永)<sup>2</sup>

(1) 三舉、言、前卷誤吉、據姓氏錄改、案、乾隆邵武府志十七有

傳(2) 三舉、十三進

泰寧縣

陳九疇(洪仲) 陳天工(人其) 江恆(用亨) 江孕奇(應彰)<sup>1</sup>

(1) 孕、北本作應、彰、前卷作彩、據姓氏錄改

汀州府長汀縣

陰正隸(宜中)<sup>1</sup>

(1) 隸、吳本誤隸、案、乾隆汀州府志二作隸

寧化縣

黎有綱(振三)<sup>1</sup> 李世熊(元仲)

(1) 綱、惠本誤綱、案、府志三一有傳

清流縣

裴養清(聖之)<sup>1</sup> 廖淳(淳之) 裴汝宰(可變)<sup>2</sup> 伍安之

(1) 天元舉、清、前卷誤親、據姓氏錄紀略改、案、府志二作清

(2) 十二舉、汝宰、繆本誤世奇、變、姓氏錄同、惠本作變、案、通志三九、府志二崇禎十二年舉人有裴汝宰

上杭縣

詹彌高(卓爾)<sup>1</sup> 羅世儒

(1) 三舉

湖廣武昌府江夏縣

劉敷仁(濟甫)<sup>1</sup> 胡自牧(用涉)<sup>2</sup> 陳冉(小有)<sup>3</sup> 陳實(白石)<sup>1</sup>

湯尙聘(任卿) 湯尙選(簡予) 詹謹之(仲庸)<sup>5</sup> 張仲庶(庶仲)

顏掄鼎(若虛)<sup>6</sup> 詹大有(冕尊)<sup>7</sup> 楊洪譽(無名) 喬振元

戴墳 陳沂(沂公)<sup>8</sup> 甘梅元(仁甫)<sup>9</sup> 孟易吉(天友)

孟道一(萬生)<sup>10</sup>

(1) 十五舉 (2) 自、諸本皆同、紀略作有、案、補錄黃州府黃岡縣復出、北本同、吳本唯錄於此、存此刪彼 (3) 冉、姓氏錄誤丹、

案、同治江夏縣志四作冉 (4) 實、吳本作寶 (5) 九舉、庸、惠本

誤滿、案、康熙武昌府志七有傳 (6) 掄鼎、惠本互錯、案、章學誠

湖北通志檢存稿二復社名士傳人名別錄作掄鼎 (7) 三舉、有、吳本

誤衢、尊、原作遵、繆本同、北本字脫、據惠本吳本改、案、府志五

崇禎三年舉人有詹大有(8) 天元舉(9) 天七舉(10) 生、補錄作公、吳本作一、據北本改、案、復社名士傳謂字天生、一字萬公、未詳孰是、姑從北本

嘉魚縣

任弘震(雪柯)<sup>1</sup> 張鳴鸞(和卿)<sup>2</sup> 任喬年(仙孟)<sup>3</sup> 游明哲(魯生)<sup>4</sup>  
熊升元(玄義)<sup>1</sup> 游明時(孟侯)<sup>3</sup> 游士僕(子靜)<sup>4</sup> 蕭頤吉(觀目)<sup>5</sup>  
尹民方 蕭為龍(孺應)<sup>6</sup> 任祺年<sup>7</sup> 蕭為光(孺充)<sup>8</sup>

(1) 三舉、十三進、弘、原作宏、繆本吳本同、據惠本北本改(2) 卿、前卷作仲、據姓氏錄改(3) 三舉、十三特用進士(4) 玄、原作元、繆本吳本同、據惠本北本改(5) 時、姓氏錄同、惠本作明、侯、前卷作俠、據姓氏錄改(6) 孺應、補錄脫、據姓氏錄補(7) 祺、補錄誤祖、據姓氏錄改、案、同治嘉魚縣志四作祺(8) 孺充、補錄脫、據姓氏錄補

武昌縣

孟登(誕先)<sup>1</sup> 唐有成(方平) 李楚生(善水)<sup>2</sup> 劉日襄(天孫)<sup>3</sup>  
蔡仕(士田)<sup>1</sup> 唐其冉(小白)<sup>3</sup>

(1) 萬三七舉、誕、姓氏錄同、惠本作設(2) 生、惠本誤主、水、前卷作小、據姓氏錄改、案、復社名士傳謂號善子、光緒武昌縣志二

十本傳同、有注云、復社姓氏錄作善小(3) 天孫、吳本作天成、北本脫(4) 天七舉(5) 冉、姓氏錄同、惠本作冉

咸寧縣

余應科

大冶縣  
余順明(麗生)<sup>1</sup>

(1) 余、補錄誤金、據姓氏錄改、麗、北本作兩、即古麗字、案、復社名士傳作余、同治大冶縣志十本傳同

漢陽府

熊鳴盛(彥升)<sup>1</sup> 羅天錦(繩成)<sup>2</sup> 謝淳培(應侯)<sup>3</sup> 謝正培(篤生)<sup>4</sup>  
李登龍 李昌祚(文孫)<sup>4</sup>

(1) 天元舉、彥升、前卷及北本缺、據吳本補、案、乾隆漢陽縣志二五有傳(2) 繩成、前卷作純成、吳本作繩來、據北本改(3) 天四舉(4) 十五舉、文孫、補錄及北本缺、據吳本補、案、縣志二一有傳

黃州府黃岡縣

易道運(曦侯) 王一翥(子雲)<sup>1</sup> 龍 塤(夢先)<sup>2</sup> 陳師泰(交甫)<sup>3</sup>  
 劉子壯(克猷)<sup>4</sup> 汪三奇(亦常) 易道旦(旭父) 朱奎宰(白石)<sup>5</sup>  
 李敷榮(先木) 曹之棟(喜王)<sup>6</sup> 何昌祚(子安) 馮雲路(漸卿)<sup>7</sup>  
 胡世忠(仲思) 王追駿(御之)<sup>8</sup> 陳世臣(君卿) 何履順(元方)  
 易爲鼎(用王)<sup>9</sup> 杜詔先(子皇)<sup>10</sup> 曹大夏(蕤生) 劉文運(孟成)<sup>11</sup>  
 胡熾虞 熊文簡(淡如) 江國華(石師)<sup>12</sup> 丁應明(仲庸)  
 易道三(象生)<sup>13</sup> 易爲瑞(子羣)<sup>14</sup> 李維藩(玄根)<sup>15</sup> 姚 彥(無聖)  
 易爲瑚(伯賜)<sup>16</sup> 易爲珽(君摺)<sup>17</sup> 杜 玉(子堅) 易爲璉(叔賜)<sup>18</sup>  
 易爲文(生生) 曹大濩(弱生) 易時昇(簡生) 汪煉南(冶夫)<sup>19</sup>  
 韋克振(子寅)<sup>20</sup> 曹大聲(子先)<sup>21</sup> 陳雲龍(天御)<sup>22</sup> 程性學(心生)  
 何履吉(秀方)<sup>23</sup> 何履貞(仲堅) 黃嗣韓(介公) 何履士  
 鄭光黃(爾孝)

(1) 三舉、子、北本誤付、案、乾隆黃州府志十四本傳作子、王正  
 常續修乾隆黃岡縣志十一本傳同(2) 塤、惠本北本及紀略作墳、案  
 墳字不見字書、而舊本皆如此、不知何故、此從刊本(3) 三舉(4)  
 三舉(5) 荃、惠本誤筌、石、姓氏錄誤生、案、嶧桐詩集八云、朱  
 白石荃宰(6) 王、北本誤五、案、北本麻城縣複出、謂字喜王、此  
 作五者非是、府志十二、縣志八本傳俱作玉、疑誤(7) 路、惠本誤  
 恪、案、府志十四、縣志十一有傳(8) 三舉、十進、駿、北本誤駿  
 案、府志九、題名碑錄俱作駿(9) 王、吳本誤玉、案、府志十四、

縣志十一有傳(10) 詔、北本作紹、于、惠本繆本誤子、案、杜詔先  
 卽杜濬、清史列傳七十等有傳、其詔字、縣志十一本傳、復社名士傳、  
 顏氏家藏尺牘姓氏考皆同、而清詩紀事初編二作紹、又遺民詩十三云、  
 杜岑、一名紹凱、與兄茶村(濬) 齊名、據此、紹字似亦非誤、俟考  
 (11) 成、前卷作臣、據姓氏錄改(12) 師、前卷作卿、據姓氏錄改  
 (13) 象、吳本作京(14) 子、北本作于(15) 濬、前卷作蕃、據姓  
 氏錄改、玄、原作元、繆本吳本同、據惠本北本改(16) 伯賜、姓氏  
 錄作夏氏、案、縣志十與前卷同(17) 珽、惠本北本作挺、案、舊本  
 既如此、似可從、而玉藻云、天子摺珽、珽、玉笏也、卽君所摺、又  
 本縣易姓之人、其名下一字無從手者、作挺非是(18) 叔賜、姓氏錄  
 作殷人(19) 六舉(20) 子、原誤可、姓氏錄同、據繆本改、案、縣  
 志九本傳、復社名士傳作子(21) 子先、據府志十本傳補、案、復社  
 名士傳亦謂字子先(22) 雲、北本作振(23) 秀、原作季、吳本同、  
 據繆本北本改、案、復社名士傳人名別錄作秀

麻城縣

梅之煊(惠連)<sup>1</sup> 王都俞(在明) 劉 侗(同人)<sup>2</sup> 王都命(在新)  
 楊 魯(得之)<sup>3</sup> 劉 燁(聖初)<sup>4</sup> 李春江(公楫)<sup>5</sup> 鮑子知(心貴)  
 周世建(仲寧) 周 損(若度)<sup>6</sup> 王士弘(任之)<sup>7</sup> 劉啓初(佩環)  
 曹 允 梅之炅(玄嗣)<sup>8</sup> 魯宗禮(君讓)<sup>9</sup> 毛元暉(無忌)<sup>10</sup>  
 李春猷(升于)<sup>11</sup> 方 舟(玄首)<sup>12</sup> 周 棠(邵思)<sup>13</sup> 余士璋(季美)<sup>14</sup>  
 周應華(西九)<sup>15</sup> 周邦炳 李中孚(子魚)<sup>16</sup> 梅山城

周 棕(石墨) 楊 會(濟之)

(1) 煥、北本及紀略誤填、案、馮夢龍古今譚概(明刻本)卷首有梅序、署曰梅之煥惠連、府志十四本傳、樓山堂集二四亦作煥(2)六舉、七進(3)天四舉(4)輝、前卷誤耀、姓氏錄紀略作輝、今改、案、馮夢龍麟經指月(明刻本)參閱姓氏有劉輝聖初、詩經世本古義較正門人姓氏亦有劉輝日華、當即是人、輝輝音義雖同、然究作輝為愈(5)江、紀略同、吳本作旺、案、春江春旺二人、俱見光緒麻城縣志十六國朝貢生、疑吳本誤以春江為春旺、徑改舊本、非是(6)十二舉、若度、北本作于牧、吳本作子牧、案、縣志二十有傳、謂號迂叔、似即于牧之訛、吳本之作子、疑誤(7)弘、原作宏、繆本與本同、據惠本北本改(8)玄嗣、原缺、繆本同、惠本上一人曹允至毛元暉共四人名字皆脫、據姓氏錄補、惟吳本避玄作元(9)禮、北本作孔、當即札字之訛(10)九舉(11)春、吳本作吾、于、前卷作子、據姓氏錄改、案、本縣有李春江、又有李春旺、見縣志十六、吾字疑誤(12)舟、前卷作周、據姓氏錄改、玄、原作元、繆本同、吳本作立、當即玄字之訛、據惠本北本改、案、前卷蕪州復出、周作舟、與姓氏錄同(13)邵、原作召、吳本同、據惠本繆本北本改、案、詩云、蔽芾甘棠、召伯所茇、據此、作召似是、而古時召與邵一氏、邵姓據云召公之後、諸舊本既作邵、不敢舍舊從新(14)天四舉、十進、季、北本誤李、案、府志十三、乾隆黃岡縣志十有傳、璋、題名碑錄作璋、縣志十九同、不知何故、或係榜名、亦未可知(15)天四

舉(16)孚、北本作李、繆本作孝、復社名士傳人名別錄作素、不知孰是、姑從刊本

黃安縣

耿應衡(玉齊) 耿汝恣(克勵)<sup>1</sup> 吳光龍(荀長) 吳光寅(彥陝) 耿汝思「九二」<sup>2</sup> 丁士美(美公)

(1) 汝、前卷誤應、紀略誤如、據姓氏錄改、恣、吳本及紀略誤志、案、麟經指月參閱姓氏有耿汝恣克勵(2) 萬四六舉、汝、紀略誤如、九一、據麟經指月參閱姓氏補

蕪水縣

黃正色(美中)<sup>1</sup> 金 甌(卜公)<sup>2</sup> 丘之宗(景庭)<sup>3</sup> 瞿 然(瞿夫) 官撫邦(綏之)<sup>4</sup> 周之篆(孚初)<sup>5</sup> 官撫極(建之)<sup>6</sup> 謝天知(達生)<sup>7</sup> 王三知(五岳) 官撫辰(凝之)<sup>8</sup> 黃耳鼎(以實)<sup>9</sup> 周健行(弘玉)<sup>10</sup> 何民蘇(會宗) 高思謙 周廷廉(古矜)<sup>11</sup> 桂啓芳(叔開)<sup>12</sup> 蔡 煦 蔡 扶(孔瞻) 蔡 鈺(觀婁) 楊繼柱<sup>13</sup> 辜 鶴(羽先)

(1) 九舉(2) 十五舉(3) 三舉、景、吳本作學(4) 之、惠本繆本誤子、案、康熙續修蕪水縣志二有傳(5) 孚、前卷作字、據姓氏錄改(6) 之、惠本誤子、案、高舉修乾隆蕪水縣志九有傳、復社

名士傳謂字進之、府志十二本傳同、疑名士傳因府志而誤(7)十五舉、達、北本作遠(8)擬、北本誤居、案、縣志十一本傳作擬、千頃堂書目二八同(9)九舉、十進、鼎、北本誤居、案、順治蘄水縣志十三、府志十二有傳(10)弘、原作宏、繆本吳本同、據惠本北本改、案、康熙續修縣志二本傳作弦、疑誤(11)廷、惠本作延、廉、北本作濂(12)萬四六舉、四進(13)案、康熙續修縣志二有楊繼柱傳、謂字文升、疑即是人

蘄州

陳<sup>1</sup>宰(孺子)張宿(謫宿)袁素亮(公廖)<sup>1</sup>王可象(山公)  
周弘德(叔毅)<sup>2</sup>孫麟(伯駁)<sup>3</sup>

(1) 廖、北本作寥、案、復社名士傳亦作寥(2) 弘、原作宏、繆本吳本同、據惠本北本改(3) 四進、中舉年未詳、伯、補錄及北本作釋、據吳本改、案、同治鍾祥縣志十一本傳作伯、復社名士傳同、而有注云、復社姓名錄字釋叔、其釋字似亦有據、顧未有他書可證、不從

黃梅縣  
石煒然<sup>1</sup> 吳士甲<sup>2</sup>

(1) 煒然、前卷作煒公、北本脫煒字、據吳本改、案、府志十明貢

生有石煒然(2) 甲、姓氏錄同、繆本作申、復社名士傳人名別錄同

廣濟縣

趙家演(錢石)<sup>1</sup>吳亮思[幼齋]<sup>2</sup>陳敬中 劉復元(貞子)<sup>3</sup>  
陳文濤[濤生]<sup>4</sup>

(1) 演、北本作衍、錢石、前卷及吳本缺、據北本補(2) 幼齋、據同治廣濟縣志七本傳補、案、復社名士傳與縣志同(3) 貞子、前卷缺、據姓氏錄補(4) 文、原誤之、據繆本及姓氏錄改、濤生、據縣志七本傳補

德安府孝感縣

黃文旦(赤子)<sup>1</sup>黃文星(子威)夏煒(爾振)<sup>2</sup>辛昂(子良)<sup>3</sup>  
程良規(豹林)<sup>4</sup>劉康(瞿若)<sup>5</sup>王應亨(子修)黃文炳(含美)<sup>6</sup>  
楊弘才(拙生)<sup>7</sup>黃文暹(子晉)程正揆(端伯)<sup>8</sup>劉祺(以介)<sup>9</sup>

(1) 九舉、旦、北本誤思、案、康熙孝感縣志十三、孫奇逢孫徵君日譜錄存十二有傳(2) 十五舉(3) 良、原作昂、吳本同、北本作良、據惠本繆本及復社名士傳人名別錄改(4) 三舉(5) 三舉(6) 含、姓氏錄同、惠本繆本作公、復社名士傳人名別錄同(7) 弘、原作宏、繆本同、吳本作洪、據惠本北本改(8) 天四舉、四進(9) 以介、補錄及北本缺、據吳本補、案、縣志十三有傳

應山縣

陳愚(元朴)<sup>1</sup> 劉申錫(爾受)<sup>2</sup>

(1) 朴、吳本作樸(2) 天四舉

姓氏錄改

荊門州

方麟時(劔子)<sup>1</sup> 方鳳時(悟先)

承天府 竟陵縣

譚元春(友夏)<sup>1</sup> 譚元聲(遠韻) 別仲茂<sup>2</sup>

譚元禮(服膺)<sup>3</sup>

譚元方(隱林)<sup>4</sup> 譚元亮(擬陶) 趙家棟<sup>v</sup>

(1) 三舉、麟、惠本作鱗、案、康熙安陸府志十三崇禎三年舉人有方麟時、同治荊門州志八同、而州志九之八有方麟時傳、謂字劔子、鳳時弟、崇禎三年舉人、疑麟乃麟字之訛

(1) 天七舉 (2) 三舉、別、吳本誤劉、茂、惠本誤茂、案、乾隆天門縣志七崇禎三年舉人有別仲茂 (3) 三舉、四進 (4) 天四舉

潛江縣

京山縣

譚如絲(素臣) 譚如繡<sup>1</sup> 周卜澗(大東)<sup>2</sup> 方士叔(宣城)<sup>3</sup>

楊文薦(又如)<sup>1</sup> 王偶亶(明勗)<sup>3</sup> 祝士元

荊州府 江陵縣

王泰徵(嘉生)<sup>1</sup> 王文南(季豹)<sup>2</sup> 夏如金(礪如)<sup>3</sup> 傅汝爲[於宣]<sup>4</sup>

尤上達 傳選 鄧巖忠<sup>3</sup> 楊世熙

(1) 繡、吳本作綸、案、譚如綸、天啓四年貢生、見康熙京山縣志六、又康熙安陸府志三三有傳、謂字有秩、傳略引通志、疑吳本據此妄改、似不可從 (2) 東、姓氏錄同、惠本作束 (3) 宣城、原作寶成、惠本作寶城、繆本脫、據姓氏錄改、案、寶俗字宝、與宣形近、疑寶乃宣字之訛 (4) 九舉、十六進、又如、吳本誤幼字、案、縣志七有傳 (5) 亶、紀略作豐、明勗、原作陽最、惠本同、繆本脫、據

徐養心(玄白)<sup>6</sup> 王南國(道南)<sup>7</sup> 金先聲(玉鐘)<sup>8</sup> 曹國樸(樞之)<sup>9</sup>  
郭占春(用梅) 曹國楓(宸青) 李世恪(元夫) 陸(仲麟)<sup>9</sup>  
陶(尹調) 郭(心培) 朱(德一) 周(君寧)  
師(我瞻) 姚(崧侯) 何(聽山) 金(明玉)  
蔡(殿聲)

(1) 三舉、十進、泰、前卷作太、據姓氏錄改、嘉、北本誤玉、案

乾隆荊州府志三九有王泰徵傳、謂字嘉生、乾隆江陵縣志二七同(2)

三舉、季、惠本繆本誤李、案、府志四五有傳(3)如、吳本誤兩

案、康熙徽州府志十四有夏雨金傳、謂休寧城人、江陵籍、崇禎三年

舉人、七年進士、初字漢雲、改字韓雲、明亡不仕、改字寒雲、據此

如金當非雨金、吳本非是(4)三舉、七進、於宣、據府志四三本傳

補、縣志二八本傳於作于(5)九舉、巖、繆本誤巖、案、府志三一

作巖(6)天七舉、四進、玄、補錄作元、吳本同、北本作亥、今改

案、晉書夏侯湛傳錄其抵疑云、保重齋神、獨善其身、玄白冲虛、乞

爾養真、蓋亥乃玄字之形訛、元則避玄而改也(7)天四舉(8)玉

北本作王(9)案、姓氏錄有注、謂陸仲麟以下皆記字失名

石首縣

<sup>1</sup>夏雲鼎(四雲)<sup>1</sup>劉長慶(子修)<sup>2</sup>劉咸慶[子虛]<sup>3</sup>夏曙<sup>4</sup>

劉志蓋

(1) 天四舉、四雲、惠本繆本缺(2) 天七舉、慶、原誤卿、繆本

同、據惠本及姓氏錄紀略改、子、惠本作于、案、同治石首縣志五天

啓七年舉人有劉長慶(3)子虛、據縣志六上本傳、復社名士傳補

(4) 三舉

公安縣

<sup>1</sup>王從龍[卜卿]<sup>1</sup>袁岳年

袁嵩年<sup>2</sup>

張問明(公遠)<sup>3</sup>

袁祈年(未央)<sup>4</sup>袁彭年(介眉)<sup>5</sup>

(1) 卜卿、據同治公安縣志六本傳補(2) 十二舉(3) 三舉(4)

天四舉、祈、前卷誤新、北本誤祁、據吳本改、未央、姓氏錄作田祖

案、補錄又有袁祈年、字田祖、蓋前卷作袁新年、字亦不同、因謂別

人而誤補、實則復出、今刪、錢謙益牧齋初學集二六有袁祈年字田祖

說、謂祈年字未央、更字田祖、據此、未央與田祖、俱為祈年字、非

有誤也(5) 天四舉、七進、介眉、原誤田祖、惠本同、繆本缺、據

姓氏錄改、案、王夫之永曆實錄十九本傳謂字介眉、與姓氏錄合、田

祖乃祈年字、已見上

襄陽府

<sup>1</sup>歐陽化(北來)<sup>1</sup>

(1) 北來、前卷缺、據姓氏錄補

岳州府華容縣

<sup>1</sup>張希斗(高若)孫毅[子雙]<sup>1</sup>張斯搏(公遠)<sup>2</sup>嚴首昇(平子)<sup>3</sup>

<sup>v</sup>黎志陞[子方]<sup>3</sup>

(1) 穀、諸本皆作穀、子雙、原作子穰、吳本同、惠本繆本北本缺

今改、案、孫穀、字子嵩(即穰古字)、萬曆二八年舉人、三五年進

士、崇禎四年、代丘禾嘉為遼東巡撫、未至而罷、事見康熙華容縣志

七、明史丘禾嘉傳、據此、孫氏早得科第、歷官巡撫、而又入社、有

是理乎、明季華容人有孫穀、字子雙、著有古微書、錄於四庫、社中

之孫氏、當即是人、諸本皆誤(2) 九舉、搏、繆本北本誤搏、案、

康熙岳州府志十八、縣志七補俱作搏(3) 平子、惠本繆本缺(4)

六舉、七進、子方、據北京師範大學藏本復社紀略批語補

慈利縣

鄧可嘉

長沙府湘潭縣

周聖楷(伯孔)江有溶(谷尚)<sup>1</sup>

(1) 谷尚、惠本繆本北本缺

善化縣

周生文(西人)<sup>1</sup>

(1) 九舉、生文、繆本誤倒、西人、惠本北本缺、案、康熙長沙府

志十二有傳

瀏陽縣

況元(貞)<sup>1</sup>

(1) 況、北本誤沅、案、沅為水名、未有姓之

益陽縣

張澹(澹士)<sup>1</sup>

安化縣

周士弘<sup>1</sup>

(1) 弘、原作宏、繆本吳本同、據惠本北本改

湘鄉縣

簡徐芳(在雍)<sup>1</sup>

(1) 在雍、補錄及北本缺、據吳本補

常德府武陵縣

易貞吉<sup>1</sup>

桃源縣

關士琦(褐公)<sup>①</sup> 羅其鼎(耳臣)<sup>②</sup> 向一驥 羅錦(伯綱)<sup>③</sup>

(1) 天四舉、七進、闕、惠本誤闕、褐、北本誤褐、案、康熙常德府志八有傳(2) 三舉、十三進(3) 六舉、伯綱、惠本繆本缺、案、府志七綱作罔、誤、中庸云、衣錦尚綱

辰州府

金麟祥<sup>①</sup>

(1) 祥、前卷作祚、據姓氏錄改

山東濟南府新城縣

王與麟(瑞里)<sup>①</sup> 王與朋(壽三)<sup>②</sup> 王士瞻(封崑) 王與敕(鳳來)<sup>③</sup>  
王士熊(非雄)<sup>④</sup> 王士和(允協)<sup>⑤</sup> 王士鵠(志干) 鄭問玄(寓庸)<sup>⑥</sup>  
艾馥[蘭如]<sup>⑦</sup> 王淳(藝人) 于重微 王與夔(風虞)<sup>⑧</sup>  
王衮(補之)

(1) 麟、北本作齡(2) 朋、北本誤明、壽三、原缺下一字、繆本同、惠本北本二字俱缺、據吳本補、案、天啓崇禎兩朝遺詩王與胤胤小傳云、王與朋、字壽三(3) 鳳來、吳本作欽文、案、康熙濟南府志四五、康熙新城縣志七有傳、俱謂字欽文、傳略引曝書亭集七十墓碑

同、蓋吳本據此而改、非舊本面目也(4) 十五舉(5) 協、惠本誤

海、案、靜志居詩話二十作協、府志三八本傳同(6) 天四舉、十三進、玄、原作元、繆本吳本同、據惠本北本改、寓庸、前卷缺、據姓氏錄補(7) 蘭如、據府志四一本傳補(8) 萬四十舉

平原縣

趙見紳(帶存)<sup>①</sup>

(1) 帶存、前卷缺、據姓氏錄補

德州

馬世龍(漢水)<sup>①</sup> 翟胤璽(孟介)<sup>②</sup> 馬元驟(六和)<sup>③</sup> 呂獻策(君俞)<sup>④</sup>  
程先貞(正夫)<sup>⑤</sup> 呂獻章(席之)<sup>⑥</sup>

(1) 天四舉(2) 天四舉、胤、前卷作應、吳本作允、據北本改、案、府志二八作胤(3) 和、原作如、據惠本繆本及姓氏錄改(4) 君俞、前卷及吳本作席之、據北本改、參呂獻章條(5) 正夫、補錄及北本缺、據吳本補(6) 席、吳本作廣、案、上有呂獻策、北本謂字君喻、吳本謂字席之、君喻與席之、顯然不同、而席廣形近易訛、且北本最舊、因從北本

滕縣

黃家瑞(禎臻)<sup>1</sup> 孫念祖(侗甫)<sup>2</sup>

(1) 天七舉、七進 (2) 三舉

郟城縣

張懋猷<sup>III</sup> 劉世才<sup>IV</sup>

萊陽縣

宋繼澄(澄嵐)<sup>1</sup> 左懋泰(大來)<sup>2</sup> 宋理(呈玉) 趙士驥(黃澤)<sup>3</sup>  
 姜瀾(貝水)<sup>4</sup> 宋瑚(子夏)<sup>5</sup> 宋璜(玉仲)<sup>6</sup> 宋瑛(赤崖)<sup>7</sup>  
 孫鳳毛(紫庭)<sup>8</sup> 宋璿(白水) 趙爾汲(紫水) 楊維櫛<sup>9</sup>  
 鍾四達(曉聞)<sup>10</sup> 沈時升<sup>11</sup> 遲龍躍(霖伯) 楊曇(士古)<sup>12</sup>  
 楊景<sup>13</sup> 姜圻(紫翰) 姜垓(梯生)<sup>14</sup> 孫長祚(性如)  
 咸應擢(穉升)<sup>15</sup> 咸應召(受也)<sup>16</sup> 耿光(子烈) 趙金鼎(伯肅)  
 趙金鼎<sup>17</sup> 左懋桂(天木)<sup>18</sup> 左球(淡若)<sup>19</sup> 宋繼芳(茂溪)<sup>20</sup>  
 宋璉(殷玉)<sup>21</sup> 宋琬(玉叔)<sup>22</sup> 宋正伯(專菴)<sup>23</sup> 孫耀祚(晦生)<sup>24</sup>  
 于起泗(陪尾)<sup>25</sup> 姜植(仲木) 王旒鳳(思岐)<sup>26</sup> 劉起蛟(文琢)<sup>27</sup>  
 遲龍肅(雨若) 陳廷蘊(玉筍)<sup>28</sup> 宋才緒(敦復) 沈迓(羽弟)<sup>29</sup>  
 馮振先(麟昆) 姜楷(子木)<sup>30</sup> 任夢麟 左良輔(太平)<sup>31</sup>  
 趙際昌(夢白) 任口 姜剛(子柔) 趙臨遠  
 左懋芬(學海)<sup>32</sup> 遲龍衡 張允捷(仲白)<sup>33</sup> 左懋第(仲及)<sup>34</sup>

宋瑀(淮南) 沈迅(捷郎)<sup>35</sup> 宋璠(公玉) 姜塚(如農)<sup>36</sup>  
 孫一脈<sup>37</sup> 趙隆(次公) 孫揚烈(集六)<sup>38</sup> 鍾還  
 孫揚聲(靜來)<sup>39</sup> 宋瑤<sup>V</sup>

(1) 天七舉 (2) 天元舉、七進 (3) 天元舉、十進 (4) 具、姓氏錄同、惠本作其 (5) 十二舉、瑚、繆本誤湖、子夏、姓氏錄作夏玉、案、二十一史論贊漢書參閱姓氏有宋瑚子夏 (6) 九舉、十三進 (7) 崖、惠本作盧 (8) 天四舉、十三進 (9) 櫛、姓氏錄同、紀略作價 (10) 萬四六舉 (11) 三舉 (12) 古、北本作占 (13) 景、原作昶、繆本同、據惠本及姓氏錄紀略改、案、景即昶字、但舊本作景、順治登州府志十五同、從之 (14) 九舉、十三進、梯生、原作梯生、吳本作如須、據惠本繆本北本改、案、明史本傳等諸書皆謂字如須、其云梯生、僅見於此、然姓氏錄舊本既同、當有所據、蓋吳本據他書而改、非原本面目也 (15) 擢、北本作權、穉作程 (16) 召、北本誤呂、案、康熙萊陽縣志六作召 (17) 案、金鼎後改名鑰、順治十一年中舉、十五年登進士第、見府志十四 (18) 木、姓氏錄同、繆本作水 (19) 淡、前卷作澹、據姓氏錄改 (20) 芳、北本作芬 (21) 十二舉 (22) 九舉、玉、北本誤王、案、宋氏安雅堂詩(順治刻本) 卷首署曰萊陽宋琬玉叔著、他如清史列傳本傳等皆同 (23) 專、北本作專 (24) 晦、北本作臨 (25) 起、北本作越 (26) 旒、北本作毓 (27) 起、北本作啓、文作玉 (28) 蘊、北本脫、玉、繆本作王、筍、惠本作筍 (29) 羽、北本作爲、弟、惠本與本作第、案、傳略謂兄迅、號

羽兄、爲第二字疑俱誤(30)子、北本作可(31)太平、前卷缺、據

膠州

姓氏錄補(32)懋、姓氏錄同、惠本作想、案、本縣有左懋某若干人、

法若眞(黃石)<sup>v</sup>

惠本疑誤(33)九舉、十進、允、前卷誤久、仲白缺、今改補、案、

府志十四進士有張允掄、張允捷、允久字形相近、蓋久乃允字之訛、

其字仲白、見縣志八本傳(34)三舉、四進、仲、補錄及北本誤次、

案、靜志居詩話二十作仲、府志十六本傳同(35)天四舉、三進、郎

補錄作師、據姓氏錄改(36)三舉、四進(37)三舉、十三進(38)

揚、北本誤揚、案、傳略謂揚烈與揚聲、俱係鳳毛從子、揚聲上一字、

從手爲是、則揚烈亦當同(39)九舉、揚、北本誤揚、案、縣志八有

傳

(1)封、姓氏錄同、繆本作卦

萊州府

趙士喆(伯濬)<sup>1</sup>

河南

雷恂<sup>1</sup>

王調鼎<sup>2</sup>

蘇宇

鄭觀光(君聘)<sup>3</sup>

吳從周(憲章)秦昇(石城)張光世(函三)梁爲虹<sup>4</sup>

張正誼(誼父)<sup>5</sup>陳衷一(靖丹)<sup>6</sup>方鼎 方廣明

周亮工(元亮)<sup>7</sup>方耀明 葉蕢(君實)葉藻(宗衮)

(1)喆、原作哲、繆本同、據惠本改、案、喆同哲、但靜志居詩話

二一、遺民詩八、乾隆掖縣志四本傳皆作喆、從之

掖縣

郝晉(孟晉)<sup>1</sup>

(1)雷、繆本北本作雪、案、雪姓甚罕、繆北二本疑誤、此從刊本

(2)鼎、後卷作鼎、據姓氏錄改(3)君聘、後卷缺、據姓氏錄補

(4)虹、姓氏錄同、繆本作鴻(5)父、繆本作文、吳本作之(6)

天七舉、靖、後卷作情、據姓氏錄改(7)十二舉、十三進

(1)案、崇禎元年進士有郝晉、掖霞人、似非是人、俟考

開封府

張天機(緯霞<sup>①</sup>)王 斤(春腳<sup>②</sup>)朱國翰

(1) 三舉、四進、張、補錄誤錢、緯誤偉、據姓氏錄改、案、康熙蘭陽縣志六云、張天機、字緯霞(2) 四進、中舉年未詳、斤、補錄作岸、據姓氏錄改、案、康熙開封府志三三、靜志居詩話十九、柳南續筆二皆作斤、題名碑錄作斤

祥符縣

何胤光<sup>①</sup>

(1) 十二舉、十六進、胤、吳本作允、繆本脫、據北本改

鄆陵縣

韓則愈(聖秋<sup>①</sup>)梁爲舟

鄭 蕃(大生)<sup>iv</sup>

(1) 則、吳本作法、聖秋、北本缺、案、韓法愈、天啓七年舉人、崇禎元年進士、又有韓景愈、萬曆四六年舉人、韓紹愈、崇禎六年舉人、見府志三三、法愈等三人、似與則愈同輩、而法愈非則愈、疑吳本妄改舊本、非有據也

歸德府

劉憲生(侗城)侯方域(朝宗)劉<sup>iv</sup> 桃(季楨)解 曠(无隅<sup>①</sup>)徐世琛(來玉)曹房明(旭甫)侯方來(利賓)周業熙(重洽<sup>②</sup>)

(1) 本條吳本脫、唯北本有之(2) 十二舉

商丘縣

曹<sup>ii</sup> 心明(五衍<sup>①</sup>)曹 穆(熙孟)賈<sup>iv</sup> 開宗(靜子)侯方鎮(大華<sup>②</sup>)劉伯愚(千之<sup>③</sup>)侯方岳(仲衡)侯方夏(赤社<sup>④</sup>)徐作霖(霖管<sup>⑤</sup>)吳伯裔(讓伯<sup>⑥</sup>)吳伯胤(延仲<sup>⑦</sup>)張 渭(伊人)張 涇(清漪)

(1) 三舉、四進(2) 案、康熙商丘縣志八有傳、謂字長華(3) 千、北本作干、此從吳本(4) 六舉(5) 三舉、案、縣志九有傳、謂字霖蒼(6) 九舉(7) 胤、吳本作允、此從北本

永城縣

喬明梅(貝林<sup>①</sup>)

(1) 天元舉、四進、梅、北本誤梅、案、乾隆歸德府志六、題名碑錄作梅

光州

孟俊<sup>1</sup>〔岳卿〕<sup>1</sup> 劉昉 胡延年〔胡之〕

(1) 九舉、案、二十一史論贊魏書參閱姓氏有孟俊樂卿、光緒光州志五本傳謂字顓卿、樂岳音同、顓亦音近、雖有異同、似皆非誤、繆本以岳卿為下一人劉昉字、誤

光山縣

蔡琮<sup>1</sup>〔伯宗〕<sup>1</sup> 蔡埏〔仲延〕 鄒式玉〔襲之〕 陳伯昌〔云文〕 劉允升〔以時〕

(1) 宗、姓氏錄誤子、案、二十一史論贊隋書參閱姓氏作宗、乾隆光山縣志二七本傳同

唐縣

曹鳳禎〔丹元〕<sup>1</sup>

(1) 明季舉人、案、康熙南陽府志四有明舉人科分無考者一款、唐縣人凡二十一人、末即曹鳳禎、其中舉年似在崇禎中

廣東廣州府

李厚生〔向子〕<sup>1</sup> 葉日濟〔巨源〕<sup>2</sup> 葉左衮<sup>3</sup> 尹象魁

何如斌〔栢友〕<sup>4</sup> 曹萬成<sup>5</sup>

王開泰 何琛

林逢春〔孟育〕<sup>6</sup> 鍾光斗

吳龍禎〔雲御〕<sup>7</sup> 陸茂桂〔文挺〕<sup>8</sup>

許汝都〔令喜〕 羅如綺<sup>9</sup>

胡平運〔明卿〕<sup>10</sup> 梁志勤〔勵修〕<sup>11</sup>

胡珽高

盧之城〔履金〕<sup>12</sup>

陳子賈 莫揚<sup>13</sup>

許國佐〔欽翼〕<sup>14</sup> 陳子相<sup>15</sup>

陳象明〔麗南〕<sup>16</sup>

(1) 厚生、惠本互錯 (2) 日、北本作自、巨源、惠本繆本缺 (3) 左、惠本作佐 (4) 栢友、據康熙東莞縣志十二之六本傳補 (5) 案、劉本後卷南海複出、繆本唯錄於此、存此刪彼 (6) 九舉、十進、孟育、據康熙南海縣志十二本傳補 (7) 十五舉、雲御、據南海縣志十二本傳補 (8) 茂桂、惠本互錯 (9) 三舉、十三特用進士 (10) 三舉、四進 (11) 勵修、補錄及北本缺、據吳本補、案、東莞縣志十二之二有傳 (12) 三舉、城、補錄誤誠、據姓氏錄改、履金、據東莞縣志八之三補 (13) 揚、補錄作楊、據姓氏錄改 (14) 天七舉、四進 (15) 子、吳本作之、案、本府有陳子賈、南海縣有陳子升、似其族人、之字疑誤 (16) 天七舉、元進、麗南、據東莞縣志十二之二本傳補

南海縣

黃聖年〔逢永〕<sup>1</sup> 陳子升〔喬生〕 關捷元〔子興〕<sup>2</sup> 王應莘〔崇道〕<sup>3</sup> 周鉉〔玉生〕<sup>4</sup> 蘇夢祥〔元兆〕 黃夢賚〔帝卜〕<sup>5</sup> 麥懋藻〔去華〕<sup>6</sup> 霍得之〔叔求〕<sup>7</sup> 陳日錫〔仲明〕 蕭嗣立〔而權〕<sup>8</sup> 李漸〔先陽〕

黃葵日<sup>③</sup> 何沛然(季台) 周騰龍(伯躍) 梁克載(聖德)  
葉之彩(鳳來) 黃元仲(師魯)<sup>④</sup> 葉士賢(君懋) 呂非熊<sup>①</sup>  
黃朝克<sup>⑫</sup> 林彥龍 曾哲後(季狂) 陳上庸[登甫]<sup>⑬</sup>

(1) 萬四六舉 (2) 天元舉、七進、案、康熙南海縣志五云、關捷先、原名捷元、甲戌進士、題名碑錄卽以此名著錄 (3) 崇、前卷誤索、今改、案、康熙東莞縣志八之四云、王應莘、字崇道、應華弟、應華、字崇闇、崇禎元年進士、姓氏之作索、乃崇字之訛 (4) 九舉、十三特用進士 (5) 六舉 (6) 十二舉 (7) 天四舉 (8) 萬四六舉 (9) 九舉、十三進 (10) 魯、吳本作黃 (11) 非、原不成字、誤以非字左半爲三點水、竟似非字、據繆本改、案、康熙番禺縣志十九錄呂非熊詩 (12) 案、番禺縣志十崇禎六年舉人有黃朝客、似卽是人、特未可證、俟考 (13) 登甫、據千頃堂書目二八補

番禺縣

王俞賡(日康)<sup>①</sup> 詹炎<sup>②</sup> 黎遂球(美周)<sup>③</sup> 陸應驥(爾昂)<sup>④</sup>  
梁兆陽(明卿)<sup>⑤</sup> 何天華(克函)<sup>⑥</sup> 梁朝鐘(未央)<sup>⑦</sup> 鄭洪照(而明)<sup>⑧</sup>  
華震藻(闇先) 凌騰龍(羲御)<sup>⑨</sup> 陳圖南(君佩)<sup>⑩</sup> 彭昌翰(飛仲)<sup>⑪</sup>  
衛璫(璧仲) 岑漢猗(克圖)<sup>⑫</sup> 趙良震(初倩) 周姓(韻子)<sup>⑬</sup>  
衛應鍾(付凱) 周夢桐(說仲) 何磐 鄭琬  
梁若衡(簡臣)<sup>⑭</sup> 梁寓庸(鴛霄) 梁濛 胡杭(化溥)<sup>⑮</sup>  
麥或<sup>⑯</sup> 衛思泰(其旋)<sup>⑰</sup> 衛思韶(其九)

(1) 三舉、日、惠本誤日、案、康熙番禺縣志十有傳 (2) 天七舉 (3) 天七舉 (4) 三舉 (5) 天四舉、元進 (6) 萬四三舉 (7) 十五舉 (8) 天四舉 (9) 羲、繆本作義 (10) 三舉 (11) 昌、繆本作自 (12) 案、康熙順德縣志五錄明季乙酉科、岑漢猗乃中此科 (13) 十二舉、姓、繆本誤生、顛、姓氏錄作崙、案、縣志十、康熙南海縣志五崇禎十二年舉人有周姓 (14) 三舉、十三特用進士、衡、補錄誤簡、據姓氏錄改、案、順德縣志八有傳 (15) 溥、繆本作薄、北本作簿 (16) 或、北本作或 (17) 泰、補錄作恭、旋作施、據姓氏錄改

順德縣

麥克勤(肇將) 何廷賓 李燕及 嚴鑑(曙海)  
羅文漢(文昭) 梁國楹(襄明)<sup>①</sup> 梁繼善(木公)<sup>②</sup> 歐必元(子建)<sup>③</sup>  
陳邦彥(會斌)<sup>④</sup>

(1) 天四舉 (2) 萬四六舉、木、後卷誤水、今改、案、康熙順德縣志九有傳、謂字子才、別號木公、水乃木字之訛 (3) 元、補錄誤先、建作達、據姓氏錄改、案、縣志六明季貢生有歐必元 (4) 會斌、北本作會彬、吳本誤令彬、案、縣志九有傳、謂字會斌、靜志居詩話二一同、令乃會字之訛、此從補錄、又補錄有陳邦秀、字令彬、而邦秀不見姓氏錄、當卽復出、今刪、邦彥明季乙酉科舉人、見縣志五

東莞縣

鍾<sup>1</sup>復(見甫) 鍾新(自甫)<sup>1</sup> 熊配龍 張二果[穉復]<sup>3</sup>  
 陳長如 余運元[調仲]<sup>3</sup> 盧宏孝 林楠[叔隆]<sup>4</sup>  
 尹自選[彥尤]<sup>5</sup> 黃成章[德成]<sup>6</sup> 何朝江 何漢叔

(1) 三舉、新、前卷誤行、今改、案、康熙東莞縣志八之三崇禎三年舉人有鍾新、字自甫、姓氏錄廣州府錄鍾新、當即是人、補錄廣州府因而誤增、以致復出、存此刪彼(2) 天七舉、穉復、據縣志十二之本傳補、案、縣志八之三謂字勃公、此從本傳(3) 九舉、調仲、據縣志八之三補(4) 十五舉、叔隆、據縣志八之三補(5) 十二舉、彥尤、據縣志八之三補(6) 三舉、德成、據縣志八之三補、案、縣志十二之四有傳

香山縣

伍瑞隆(國開)<sup>1</sup> 李果奇(仲常) 何子朗(明公)<sup>2</sup> 何源道(開萬)<sup>m</sup>

(1) 天元舉(2) 公、姓氏錄誤上、案、道光香山縣志四謂字明公

增城縣

劉在源(思渭)<sup>m</sup>

新會縣

戴大受(淵穆) 林堯徽(啓人) 鍾鼎臣(彝公)<sup>1</sup> 黃篤臨(似元)  
 胡其彥(非熊)

(1) 六舉、七進

新安縣

衛思任(其目)<sup>m</sup>

韶州府

凌雲(澹兮)<sup>1</sup>

(1) 天七舉、案、同治韶州府志三三有傳、謂字澹臞

潮州府海陽縣

蔡承瑚(華夫)<sup>1</sup> 王學(學道)<sup>2</sup> 陳衍真(伯宗)<sup>3</sup> 鄒雲會(若龍)<sup>4</sup>

(1) 天七舉、十三進(2) 天七舉、學道、前卷作道堅、據姓氏錄改、案、雍正海陽縣志七有傳、謂字學道、號道肩、前卷謂字道堅、疑堅乃肩字之訛(3) 十五舉、伯宗、前卷作賡陶、案、縣志七本傳謂字伯宗、別字口公、與姓氏錄合、從之(4) 案、順治潮州府志五天啓七年舉人有鄭雲會、疑即是人、但其字未詳、不敢遽改

大埔縣

楊州彥(人彥) 林于達(信卿)

澄海縣

蔡廷銓(人鏡) 謝宗鎰(儒美) 莊珩(有異) 林佳相「子枝」

(1) 十二舉、鎰、前卷誤瑄、今改、案、府志六有傳云、謝宗鎰、字儒美、嘉慶澄海縣志十七亦作鎰(2) 十二舉、佳、惠本誤伍、子枝、據府志六本傳補、案、縣志十九亦有傳

饒平縣

吳道坤(毓上)

(1) 天七舉、毓上、北本作閱甫、吳本作閱府

連州青遠縣

龔善薦(茲綬) 鍾自德(升中) 廖良棟(壯公)

(1) 天四舉 (2) 三舉、壯、繆本作杜

從化縣

黎恂(恂如) 趙龍(時乘) 廖申(直上)

(1) 天七舉、四進

南雄府保昌縣

朱運泰(際明)

肇慶府四會縣

譚明察(精一) 羅應奎(侯仕)

(1) 三舉

新興縣

伍啓泰(見符) 黃守誼(配依) 李瑄(仲璧) 鄭有光(星如)

蘇應暉(貞運)

(1) 符、繆本作符

惠州府博羅縣

韓如璜(姬命) 劉起泰(瑞烟)

(1) 天四舉 (2) 泰、惠本作奉

歸善縣  
王章(晦如)

海豐縣  
葉維陽(必泰)<sup>1</sup> 陳敏(仲求)

(1) 陽、繆本誤楊、必泰、北本脫、案、補錄有葉維揚、而維揚不見姓氏錄、蓋揚乃陽字之訛、已爲後卷所錄、今刪、民國翻印乾隆海豐縣志卷上明貢生有葉維陽、謂字必恭、泰恭二字、未詳孰是、此從姓氏錄

高州府茂名縣  
卓錫(飛聲)<sup>1</sup> 蔣國紳(瓦立)<sup>2</sup> 陳禮(亦古)<sup>3</sup>

(1) 天四舉 (2) 天七舉 (3) 三舉、十三特用進士

東安縣  
羅洪基(伯圖)<sup>1</sup> 鄧研聰(魯生)<sup>2</sup> 蕭啓

(1) 洪、繆本作鴻 (2) 研、繆本作硯

雷州府遂溪縣  
李樹芳(駿甫)

廉州府靈山縣  
陳碧(玉成)

瓊州府定安縣  
吳翼(啓而) 丁有守(以貞)

山西

韓霖(雨公)<sup>1</sup> 韓居觀<sup>2</sup> 韓文鏡<sup>3</sup> 胡守德<sup>4</sup>  
陶世徵 吳來貢 韓垵<sup>5</sup> 張元輔(明翼)<sup>6</sup>  
韓文銓 楊世美 李應兆(夢白) 因二卿(圭副)<sup>7</sup>  
趙嗣美<sup>8</sup> 王采[拱垣]<sup>9</sup> 賈伏第(爾忠)<sup>10</sup> 王予珪(文釐)<sup>11</sup>

(1) 天元舉、公、姓氏錄誤伯、案、韓氏守圍全書(明刻本)卷首署曰晉絳韓霖雨公輯、康熙平陽府志三本傳同 (2) 天七舉 (3) 三舉、四進 (4) 三舉 (5) 案、康熙沁州志六崇禎十二年舉人有胡來貢、似卽是人 (6) 六舉、垵、紀略誤均、案、平陽府志二作垵 (7) 萬四六舉、十進 (8) 天七舉、七進 (9) 天四舉、因、原誤田、繆本同、據惠本及姓氏錄改、案、康熙曲沃縣志十七作因、光緒曲沃縣志二七有傳 (10) 六舉 (11) 六舉、十進、拱垣、據雍正澤州

府志二七本傳補(12)賈、北本作虞、案、北本爲舊、吳本爲刊、各有長短、姑從刊本、下同(13)文、北本作尔

陝西

田而腴(上則) 田而甲(幹元) 劉湘客(客生)<sup>①</sup> 翟運高  
李楷(叔則)<sup>②</sup>

(1) 客生、前卷誤三生、今改、案、永曆實錄十七本傳謂字客生、王弘撰砥齋集八、十二同、疑原本作劉湘客、生、因而致誤(2) 天四舉

四川

張尙(若人) 莊祖誼(宜禪)<sup>①</sup> 雷 鎔(榮余)<sup>②</sup> 陳宇柱(天石)  
韋 鉉(玉鉉) 劉堯夔(九一) 劉鼎(新止)<sup>③</sup> 雷 珙  
簡元嘉<sup>④</sup>

(1) 誼、原誤瑄、繆本同、據惠本及姓氏錄紀略改、案、靜志居詩話二、遺民詩十五作誼(2) 余、姓氏錄同、惠本作命(3) 三舉、四進

廣西全州

趙三薦<sup>①</sup>

(1) 三舉

貴州

楊文聰(龍友)<sup>①</sup> 吳 鉉  
何兆柳(星待)<sup>②</sup> 楊鼎卿(愛生)<sup>③</sup>  
(1) 萬四六舉(2) 三舉(3) 愛、北本作受

雲南

阮階(天升)

附 復社紀略

復社について何かを語ろうとするならば、『復社紀略』という書は必ず読んでおくべきものである。ところがこの書の通行する者はただ國粹叢書本あるのみで、しかもこれが「錯字過多、安得重獲善本爲校正之」(謝國楨『增訂晚明史籍考』)という嘆を發せしめる底のものなのである。「錯字過多」というのがいかに眞實であるか、それは國粹本を一讀すれば誰でも納得できるに違いない。實際、「安得重獲善本爲校正之」とは私の望みでもあったが、恐らく奢望に過ぎまい、と思っていたのである。今ここに讀むに堪える一本を提供しえたのは文字通り望外のこと、大時代な言い様をすれば、轉た感慨にたえぬ、といった所である。以下にここで用いた諸本の概要を記しておく。

## 中央圖書館藏鈔本 二卷

『國立中央圖書館善本書目』著録の一本で、本校の底本。この本は漢學研究中心の劉顯叔先生が特にその寫眞を複印し、わざわざ送って下さったものである。劉先生の御好意に對し、心よりお禮を申し上げたい。さて、この本は每半葉十行、行三十字、卷端に「研經樓藏」白文印と中央圖書館の藏印がある。卷末には范開基の識語（「吾婁」の文字あり）があるが、その字蹟は本文と同じで鈐印もなく、まず過録したものに違いない。避諱はというと、玄、胤以下すべて本文のまま、但し鈔手はさほど舊いとも見えず、むしろ避諱のないことがこの本の新しさを示しているのではないか。且つつぶさに見ていくと、各一例だけはあるが、弘字末筆を缺いている所と「虎丘」を「虎邱」に作っている所がある。恐らく傳録の底本に牽かれたのであろう。本文は斷句してあり、また多くはないが朱校も見られる。その内容、特徴等については、他本と比較する中でおいおい述べるが、ここで言うべきは、今次用いた諸本のうち、他本は全て校本であるのに對し、唯一この本のみは舊本の面目そのまま、ということである。校本というのは國粹本に異同を録したものとという意味で、それ以上のことではないのだが、とにかく自校にせよ代校にせよ、もとの本を見られないというのには何かしらの不安がつきまとう。その點、この本は安心して用いることができ、この安定感の故に、本校ではこれを底本としたのである。なおこの本を以下では中本と略稱する。また校記中に「原」とあるのはこの中本である。

## 北京大學圖書館藏雍正中程穆衡鈔本 二卷

私が始めて見た舊本『紀略』で、八三年十二月、北大圖書館で國粹本と對校したその校本である。當時の覺え書きを頼りに概要を述べれば、この本は每半葉十一行、ままた十行、行三十二字、行草で書かれているにもかかわらず、毎行字數は完全に一致している。或いは傳録の底本が行三十二字であったのか。後ろには西土文致その他の原稿若干葉が附録されており、文致序末には「雍正甲寅陽月中澣鶴市程穆衡惟惇甫題於南汀廣廈」と署される。その字蹟は『紀略』と同じで、文致その他が手稿であるなら『紀略』もその手鈔ということになろう。鈔寫年代について言えば、これも原稿と同じ雍正中に違はなく、玄、胤字は几帳面に末筆を缺く一方、弘字以下は本文のままである。朱筆の斷句あり。手元の校本によってその本文の特徴を述べると、まず第一に他本と異なる独自の字がかなりあるという。これらはいわば孤立したもので、確かな根據をもつとは考えにくい。また多くはないが、明らかな脱文もいくらか存在する。もう一點は後に述べる北京師範大學藏本とのみ一致する文字が見られることで、こうした所は中本よりも舊い面目を留めている可能性が高い。結局、この本は年代から言っても傳來から言っても確かに善本たるを失しないのであるが、但しその文字は必ずしも十分には信頼できぬ所、つまり無意の訛誤ではない改字があるらしいのである。なおこの本を以下では程本と略稱する。

## 北京大學圖書館藏江陰繆氏藕香鈔本 二卷

八三年冬、程本と一緒に見たもので李盛鐸舊藏の繆荃孫鈔本。每半葉十行行廿二字、楷字の精鈔でまゝ朱校あり。繆氏の母校本はこの後いくつか見ていて、もう一度見ればこれが繆氏の手校であるかどうか言えると思うのだが、今は何とも言えない。但、手校である可能性はかなり高いと思う。本文について言うと、これは程本と殆ど完全に一致し、恐らく程本から直接傳録されたのであろう。従つて別本としての興味は殆どないが、但、程本は行草で書かれているため、その判讀には大いに役立った。またその朱校であるが、量も少なく内容もさほどのことなく、まず對校によつたものとは考えられない。しかし中には必ずしも無視できぬ、何らかの根據をもつと考えられる者も一二あり、それら若干條は繆校として校記にとりあげた。

## 復旦大學藏鈔本 二卷

この一本は小野和子教授が親しく對校された本を借して下さつたもので、『復社姓氏』の一件と併せ、教授には全く一方ならぬお世話になつた。重ねてお禮を申し上げたい。校異の結果から見ると、この本は中本と甚だ近く、また卷末にはやはり范開基識語がある。よつて二本は同系統の本に違ひなく、しかもこの本は中本から出たものではないか、と推定される。というのも、中本が朱校で文字を改めている場合、この本は必ずと言ってよいほどその改められた文字に一致するし、また諸本に共通してある卷末二條の識語のうち、

張溥の著述について述べた一條がこの本には無い。實を言えば、中

本のこの一條には眉批があつて「刪」と記されているのである。つまり、識語一條の缺略は中本の指示に直接よつて刪去したか、或いはその指示にもとづいた本を傳録したか、どちらかの結果だろう、と考えられるわけである。傳來について言うと、この本は復旦大學教授であつた王欣夫舊藏、その前は教授の友人、太倉の人王保謙の藏本だつた、ということが兩王氏の跋より知れるが、それ以上は分らない。王保謙は『甲戌叢編』等の書を校輯した人で、この本の校勘にも相當意を用いた。その證據は跋文に「近得排印本、互校一過」とあること、また「錢君誦三近得一本、係徐質齋手抄、雖非足本、亦可據以互校」という一條が貼附されていることで、實際、この本には中本と異なる文字が相當ある。即ちこの本は中本と近い關係に在るにもかかわらず、他本の文字をも含んでおり、よつて時に參校に資すべき點が認められるのである。なおこの本を以下では且本と略稱する。

## 北京師範大學藏鈔本 三卷

この一本はこれまた小野教授が北京師範大學の魏繼東先生に依頼され、人を雇つて代校してもらつたもので、輔仁大學藏本であるという。その校本を見るに、この本は以上に述べてきた諸本と全く異なる別系統の一本で、本文に甚しい差異がある。その差異とは、固より個別の文字についてもかなり多く認められるが、何よりも量的な違いが著しく、中本以下の諸本が節録している奏疏等を、恐らく

全文そのまま採録しているのである。このことは例えば二卷本上巻とこの三卷本巻一に引く艾南英の書簡、或いは二卷本下巻と三卷本巻三に引く詹爾選の奏疏につき、各々艾氏『天慵子集』の文、孫承澤『山書』卷九陳言求進條引詹氏疏と比較すれば尤も明らかとなる。以上の様な状況よりして、北師大藏本は繁本、中本以下の諸本は簡本と呼ぶことがひとまず可能となるが、ではこの繁本と簡本の関係は如何なるものであろう。それは足本と節本の関係なのであろうか。その可能性は極めて高い。というのも、『紀略』に見える國表初集、姓氏のうち、國粹本にはある徽州府一條が簡本には見えないのである。この缺略が何か根據のある、故意のものだということはまず考えられない。というのも、簡本ではやはり國粹本にある延平府二人の姓氏と「汀州府」という標目三字が脱けていて、延平府の下に汀州府の姓氏を繋げているからである。これは明らかに單純な脱文で、故意の刪改といったものではありえない。また簡本下巻に引く章正宸の疏は最後が「至輔臣溫體仁云云」となっているのだが、繁本巻三ではこの「云云」を「須録完」とする。「須録完」とは恐らく撰者の按語であって、ここは稿本の面目そのままなのではないか、と考えられよう。繁本こそが本來の面目、という見方は巻末の識語二條からも支持される。この二條は程穆衡も指摘する如く撰者自身の筆ではありえないのだが、その識語が繁本にも簡本にもともに見られるのは何故か。簡本が節本ではなく、撰者自らの整理により、獨自に成立したものだとするなら、繁本と簡本に共通して、同じ識語

があるのはおかしくないか。固よりそれは過録の結果だといった解釋も不可能ではないが、しかし前に述べた姓氏の脱文等を併せ考えれば、その様な説は恐らく成立しえまい。とすれば、本校でもこの本を底本とすべきではなかったか、という疑問は當然起つてこようが、それをなす条件は無かつたし、また無理にそうすれば、結果はあまり芳しいものとならなかつたであろう。なぜなら私が得た北師大本はその面目を傳えた校本に過ぎず、また完全な繁本はこの一本しか得られなかつたからである。北師大本のみに見える異文は驚くべき量で、この校本は校本とは言い條、半ばは傳鈔本であるかの如き様相を呈している。この様な本を細部まで、十分に信賴することはとても出来ないし、また別本が無い以上、そうした異文につき對校を行なうのは不可能である。それに前にも述べた如く、繁簡二本の差は奏疏等を全録するか節録するかといった違いが主であり、讀本としては簡本でも一通り間に合うのである。固より條件があれば、即ち中國で『紀略』の整理をすれば、當然繁本による校訂を行なうべきである。なおこの本を以下では師本と略稱する。

#### 北京圖書館藏鈔本 三卷

この一本は卷首「總綱」三葉と本文のはじめ九葉半の書景、甚だうつりの悪いもの、を見たのみで、詳しいことは分らない。確かなのはこの本が繁本に屬する舊鈔で、每半葉十行、行三十二字といったことくらいである。舊鈔と言つたのは見た目にもそうだし、玄字以下を避けぬ一方、明帝諡號の上は一格を空け、「太祖高皇帝」に

ついでには二格を空けている、という点からもそう考えられる。恐らく遺民のなご生きていた清初の鈔本なのであろう。僅か十葉ばかりから内容の一端を窺うに、師本と異なる文字がかなりあり、以て師本が必ずしも本来の面目に忠實でないことを推定させる。せつかく瞥見できた善本であるので、巻首「總綱」についてはその面目を備さに傳え、本文についてもやや詳しくその異同を出校した。校記において北本と稱するのがこの本である。

なお餘談になるが、この書の撰者について少し述べておく。この書は一般に陸世儀の撰とされているが、實の所それは不確かであつて、積極的な證據があるわけではない。實際、程穆衡にしても、卷末識語につけた注の中でこの書の撰者を特定しえておらず、少し慎重に言えば撰者未詳とするしかないのである。但し吳山嘉『復社姓氏傳略』の例言には「陸道威復社紀略」と云い、顧師軾『梅村先生年譜』にも「陸世儀復社紀略」としてこの書が引用されている。即ち晚くとも道光頃からは陸氏を撰者とする説が有力となっていたわけ、そこにはやはり何らかの根據があるのであろう。

最後に凡例的なことをいくらか。前にも述べた通り底本としたのは中本で、分巻、分段も中本のままである。また編纂、常言といった異體字や通用字についても、その多くは底本のままとした。但しこれは嚴密ではなく、例えば襍、悞は各々禍、誤に統一している。いい加減と言えは確かにそうだが、しかし重大な問題ではあるまい。更に斷句であるが、これは無論底本のままでない。中本の斷句に

はまま誤りが見うけられ、固より参考にはなつたが、むしろその誤りに牽かれた所があるのでと恐れる。これについては、程本の斷句を参照できるとよかつたのだが、手元の校本は點まで逐録しておらず、それはかなわなかつた。誤りの多からざるを祈るのみである。上卷の國表初集姓氏については、たとえ明らかでない誤りでも、各本に異同が無ければそのままとした。姓氏の検討は「校録」に譲つたためである。但し「校録」と『紀略』の整理は別々に行なわれたため、「校録」において「紀略作某」とありながら、この本の本文ではそうなっていない、といった不一致が出現した。お粗末な話であるが、もはや追改がきかぬ所に來てしまつており、放置するしかなかつた。ここに不敏を謝しておきたい。底本の文字を改める場合は全て出校したが、その他については部分的な出校に止めた。とりわけ師本と他本は系統を異にするものであり、出校はほぼ他本と關係する個別文字についてのみに止めた。この様な方法はかなり主觀的なものであるが、全ての異同を出校することなど事實上不可能であり、また底本以外が全て校本であるという事情もあり、やむを得なかつた。

大方の諒解を乞いたい。また底本が必ずしも舊い本ではなかつたため、字を改めるか否かの判断に揺れが生じている所がある。目についた所は努めて調整したが、しかし期限にせまられて十分な検討が出来ず、恐らく妥當を欠く點がかなり残っているであろう。また僅かではあるが、注記を加えた所がある。それは『紀略』の誤りや明末の掌故に關すること、何かの参考になれば、と考へてしたこと

である。

以上に述べた如く、本校は「校」と稱するのにも氣恥しいものなのだが、少なくとも國粹本と比較すれば、實用的には相當役に立ちえよう。この本が復社史ないし明末史の研究にとって、なにがしかの積極的作用を果すことを願っている。

復社紀略總綱<sup>①</sup>

戊辰崇禎元年

上年丁卯<sup>②</sup>、張采中式經魁 張溥恩貢 周鍾選社十三子文 成均大  
會 二月、會試、黎元寬、張采、徐汧、蔣德璟、周鏞、金聲皆中  
式 張溥廷試高等 十一月、溫體仁訐錢謙益、召對廷辨、錢謙益  
削籍 蔣德璟殿試探花 枚卜閣臣、欽點成基命、周延儒

(1) 紀略、北本師本作局、總綱、程本作年表、下有注云、原書之  
首有復社總綱一篇、舛略殊甚、余爲增所未備、括成此表、庶事之有  
關於社局、而書不及載者、循覽此表、得攷其始末云、鶴市遊亭氏識  
案、程氏年表分記事爲三項、曰時事、復社、浙黨、此仍總綱不復分  
又程氏謂總綱草略殊甚、而其所增僅有一條、崇禎二年時事所云三月  
欽定逆案、頒行天下十字是也、今別記於此、不入正文(2) 上年、  
北本師本作前、丁卯下有應天鄉試四字(3) 周鍾上、北本師本有正  
月二字、文下有行世二字(4) 以下諸條原無、且本程本同、據北本  
師本補

己巳二年

尹山大會 溫體仁入閣<sup>①</sup> 用內臣 蔣德璟授編修 黎元寬、周鏞俱  
禮部主事(周南主)<sup>②</sup> 張采授臨川知縣 徐汧、金聲庶吉士

(1) 案、溫體仁一條當繫於三年六月、事見明史辛補年表(2) 周  
南主、北本師本作鑣南禮部

庚午三年

鄉試、楊廷樞中解元 張溥、吳偉業並經魁 吳昌時、陳子龍並  
式 金陵大會

(1) 鄉試上、北本師本有八月應天四字(2) 並、北本師本作皆、  
經魁、師本作魁選

辛未四年

會試、主考周延儒、會元吳偉業 會魁張溥 楊以任、馬世奇、成  
德、管正傳、周之夔、劉士斗並中式 殿試、吳偉業榜眼、張溥庶  
吉士、周之夔授蘇州府推官、劉士斗授太倉州知州 錢龍錫戊定海  
衛 吳偉業疏參蔡奕琛<sup>③</sup>

(1) 會試上、北本師本有二月二字、主考一句作首輔周延儒爲主考  
(2) 會元一句、北本師本作吳偉業中會元(3) 會魁二字、北本師

本無、張溥接下(4)殿試上、北本師本有三月二字(5)奕琛下、程本有體仁怒三字

申五年

張溥給假葬親歸 虎丘大會、張溥爲盟主、合諸社爲一、定名復社、刊國表社集行世<sup>②</sup> 十二月、周鑣疏諫用內臣、奉旨削籍

(1)案、虎丘大會、當繫於六年春、事見本書卷上(2)案、張溥至行世數句、當繫於二年尹山大會下、事見本書卷上、又參張采知畏堂文存一具陳復社本末疏、張溥七錄齋集三國表序(代張受先)

酉六年

六月、周延儒馳驛歸 溫體仁爲首輔 行磨勘<sup>②</sup> 鄉試<sup>③</sup> 姜曰廣爲主考、陳名夏、胡周鼎、歸繼登並中式、劉侗在北闈中式<sup>①</sup>

(1)驛、北本師本作駟(2)行磨勘一條原無、程本且本同、據北本師本補(3)鄉試上、北本師本有八月二字(4)胡周鼎至北闈四字、師本脫、北本作陳名夏中式、劉侗在北闈中式、胡周鼎、歸繼登皆中式

甲七年

二月、會試、陳際泰、吳昌時、光時亨、黎志陞、周仲璉皆中式、

仲璉授太倉州知州

(1)甲戌年一條原無、程本且本同、據北本師本補、師本陞誤陞

乙八年

行保舉 七月、文震孟拜大學士<sup>①</sup> 徹回內臣 召起劉宗周、惠世揚、黃道周 十月、文震孟閑住 何吾騶致仕

(1)拜下、北本師本有東閣二字、學士下有入閣辦事四字

丙九年

二月、三科武舉陳啓新建言、授吏科<sup>①</sup> 張漢儒疏計錢謙益、瞿式耜奉旨逮問<sup>②</sup> 五月、監生陸文聲疏論復社<sup>③</sup> 奪情起楊嗣昌爲兵部尚書<sup>④</sup> 八月、孫以敬、周家玉並中式

(1)授吏科、北本師本作授吏科給事中(2)案、張漢儒一條、當繫於十年正月、事見談遷國權十年正月甲辰、錢謙益初學集二五丁丑獄志、陳子龍年譜(3)復社下、北本有學臣倪元珙回覆復社疏十字、師本同、惟珙誤璿、且脫復字、又上文聲誤彥、案、陸文聲一條、當繫於十年、事見謝國楨明清之際黨社運動考引楊彝復社事實、國權十年三月庚子朔、陳子龍年譜(4)起下、北本師本有守制二字、尙書下有嗣昌具四正六隅疏及均輸事例疏十四字(5)八月下、北本師本

程本有鄉試二字、並、北本無、師本作俱

丁丑十年

會試、孫以敬中式

(1) 會試上、北本師本有二月二字

戊寅十一年

吳昌時授行人、拜首輔薛國觀門下 薛國觀疏題監生王陞彥爲中書

舍人

(1) 授行人、北本師本作赴行人任 (2) 題下、北本師本有歷事二字

己卯十二年

三月、考選、吳昌時考授科、欽改禮部主事<sup>①</sup> 鄉試、趙自新、張若義、吳晉錫並中式 楊嗣昌督師討賊

(1) 科上、北本師本有北一字、改下有北部授三字 (2) 鄉試上、

北本師本有八月二字、下有周鍾二字 (3) 楊嗣昌一條原無、程本且

本同、據北本師本補

庚辰十三年

會試、胡周肅中式 四月、黃道周、解學龍下獄 六月、給事中袁愷疏參貪官受賄、首輔薛國觀回籍、冢臣傅永淳、少司寇蔡奕琛俱下獄、葉有聲亦下獄 薛國觀卽訊 十二月、吳昌時給假歸

(1) 會試上、北本師本有二月二字 (2) 下獄、北本師本作逮下詔

獄 (3) 俱、北本師本作並逮 (4) 亦、北本師本作逮 (5) 給、北

本師本作告、又十二月以下、北本師本在葉有聲云々上

辛巳十四年

二月、黃道周戊辰州衛 三月、楊嗣昌自縊於軍 四月、召起閣臣周延儒、賀逢聖、張至發、至發辭不起、延儒、逢聖應命 五月、張溥卒 六月、薛國觀賜死、中書王陞彥棄市、各籍其家

(1) 衛、師本脫 (2) 閣臣、北本師本作原任大學士 (3) 下至發

二字、唯北本有之、據補、起、北本師本作赴 (4) 卒上、北本師本有病字

壬午十五年

三月、吳昌時起官禮部主事、尋改文選司郎中 黃道周復職 皇極門粘貼二十四氣 欽點吳姓、陳演、黃景昉入閣 下冢臣李日宣於獄、併及司官

(1) 尋、北本師本作未幾、改下有吏部二字、又下有一條云、八月鄉試、因未述及社局、不補(2) 欽點上、北本師本有枚下閣臣四字、而下文無入閣二字、案、陳演之入閣在十三年、是年六月、與吳黃同入閣者蔣德璟也

癸十六年

四月、周延儒視師 五月、周延儒放歸 九月、會試、會元陳名夏 吳易、張若羲、黃淳耀、周鍾、朱積皆中式、時賊勢孔迫、故改試期 十二月、周延儒賜縊 吳昌時棄市

(1) 五月云々一條原無、程本且本同、據北本師本補(2) 易、程本師本誤易、北本不易辨識、似作易(3) 改試、北本師本作移會(4) 十二月以下、北本師本無

復社紀略上卷

眉史曰、自令甲以科目取人、而制藝始重、士既重於事、咸思厚自濯磨、以求副功令、因其尊師取友、互相砥礪、多者數十人、少者數人、謂之文社、此即以文會友、以友輔仁之遺則也、好修之士、以是為學問之地、馳騫之徒、亦以是為功名之門、所從來舊矣、粵稽三吳文社、最盛者莫如顧文康公(鼎臣)之邑社、社友十一人、如方奉常(鵬)魏恭簡(校)輩、後皆為名臣、可謂彬彬者矣、嗣後歸熙甫(有光)

為南北二社、一時文學之士、霞布雲蒸、若李廉甫(憲卿)方思曾(元儒)吳秀夫(中英)、今文步古文之脈、實自鹿城始、

(1) 事上、北本師本有其字(2) 此段夾注、唯程本有之、據補、後不一出校(3) 奉、原誤舉、且本同、據程本北本師本改、案、鵬官至南京太常卿(4) 自、原誤是、他本皆不誤、據改

章皇帝(隆慶)初元、有詔限字、陳晉卿(允升)許公旦(承周)顧茂善(充元)改為短調、王伯欽(炳衡)顧實甫(紹芳)王幼文(炳璿)繼之、後先增美、後稍中衰、王淑士(志堅)張宗曉(魯唯)遂起其靡、遺清堂稿出、顧九疇(錫疇)為海內所宗、次之則推豫章郝仲輿(敬)丘毛伯(兆麟)稱作家、陳大士(際泰)費無學(而隱)為一時文雄、吳門文文起(震孟)姚孟長(希孟)彙丘陳行卷暨艾千子(南英)羅文止(萬藻)諸稿為一帙、謂之江右奇文、由是天下皆推豫章、同時中州吳巒禪(鍾巒)梁溪馬君常(世奇)武陵宋羽皇(鳳翔)並號文章宗匠、已而撫州章大力(世純)以善會南豐、湯若士之學顯、其時月旦、謂之陳文章羅、海內業制舉家、爭延致之、以致千子與萊陽宋九青(玫)、大力與景陵譚服膺(元禮)同視席、天下羨之如神仙焉、哲宗立、大力舉於鄉、墨義出、遐邇奉為法程、迨甲子、艾得雋、而以策論譏訕時政、與主司同受罰、天下不惟重其文、兼重其人、於是司清議者易其稱、又謂之艾羅陳章云、四子之學、各有短長、大士優於時藝、五經義能補牋註所未備、而拙於古文詞、然

其時藝即古文，亦其才然也，章羅皆法晉魏，而大力用意勝，時失之俚，文止擗詞勝，或流於靡，兩人相師而不能相通，亦限於才耳，千子進取秦漢唐宋諸大家，講開闢變化首尾起伏之法，卓絕一世，獨於制藝，斤斤格套，不出前人窠臼，但以善於訓詁，切於脈理，選義出舉世群然師之，吳越齊魯咸奉為準的云、

(1) 此段夾注、隆慶至兆麟十二則、及震孟、希孟二則、唯程本有之、據補(2) 欽、原誤卿、且本同、據程本北本師本改(3) 丘、原脫、且本同、據程本北本師本補(4) 陵、程本且本北本作林、案宋鳳翔、秀水人、下文有云、武陵苕雪之間、則武陵似謂嘉興、而武林即杭州、林字疑誤(5) 以致、北本師本作以故、程本無此二字(6) 玫下、北本師本有大士與新安金正希(聲)、文止與麻城梅連連(之填)十九字、案、連連乃惠連之誤(7) 神仙焉、北本師本作郭泰仙舟(8) 宗、北本作皇帝(9) 主司、北本師本作兩主試(10) 搆、程本作擅、非是、北本師本作摛

周介生(鍾)金沙望族、神廟時<sup>①</sup>、鍾祖於德登進士、為貴官、伯應秋以解元聯第、維持秦峙<sup>②</sup>踵發一時、鍾父紹詩、困於諸生、有子四人、長銓(字簡臣)、仲即鍾、叔鎔(字我容)、季鉞(字我成)、讀書尺木居、昆弟相師友、簡臣少魯、而攻苦力學、惟介生敏穎絕倫、角巾時、五車萬卷無留牘矣、詩文纏纏萬言、有倚馬之目、諸昆仲皆莫及也、房選華鋒出、好尚一新、天下競稱之、由是向日推豫章者、相率

而推金沙矣、艾千子乃作書於介生曰<sup>⑤</sup>、今日制藝一道、賴兄主持、真如日之中天、萬物皆覩、但文之通經學古者、必以秦漢之氣、行六經語孟之理、卽降而出入於歐蘇韓曾、非出入數子也、曰是數子者、固秦漢之的派也、今也不然、為詞章者、不知古文為何物、而獵舟洲于鱗之古以為足、為制藝者、不知古文為何物、而襲大力大士輕俊詭異之語為足、甚至造為一種似子非子、似晉魏非晉魏、鑿空杜撰之言、沾沾然以為真大力大士矣、夫文之古者、高也、樸也、疏也、拙也、典也、重也、文之卑而為六朝者、輕也、渺也、詭也、俊也、巧也、排也、此宜有識者所共知矣、弟杜門山居、兄於郵中以選目見示、互相參訂、必有不刊者、介生得書、以成弘諸選封緘相質、至慶曆而後、仍任己意、閒涉時趨<sup>⑦</sup>、選本出、千子大不悅、復書致介生、力為致辨、介生以為過於夸汰、嗣是江左聲氣、稍與江右別、而介生所評隲古今文藝、亦不復與千子參訂、介生謂兄簡臣曰、鄙儒不知時變、從此亦不復通問矣、先是貴池吳次尾(應箕)與吳門徐君和(鳴時)合七郡十三子之文為匡社、行世已久、至是共推金沙主盟、介生乃益擴而廣之、上江之徽寧池太、及淮揚廬鳳、與越之寧紹金衢諸名士、咸以文郵致焉、因名其社為應社、與萊陽宋氏、桐城方氏、楚黃梅氏、遙相應和、於是應社之名聞於天下、

(1) 神廟時、北本師本作顯皇之世(2) 於德、北本師本作于德、案、於德或于德、其名不見題名碑錄、康熙金壇縣志選舉亦不錄、此云登進士為貴官、當有誤(3) 峙、原作時、程本且本北本同、師本

作時、今改、案、應秋、萬曆三年進士、其弟登第者有三、廷侍、三年進士、秦時、三五年進士、維持、四七年進士、見康熙金壇縣志、據此、時時俱誤、乃峙字之訛(4) 諸昆仲、師本作諸昆弟、北本作應秋子錄、維持子鑣(5) 案、千子之書、收於天慵子集五、題曰與周介生論文書、注云丙寅、即天啓六年(6) 介生上、北本師本有丙寅夏三字(7) 趨、原作趣、且本同、據程本北本師本改(8) 共、原脫、且本同、據程本北本師本補(9) 桐、原作侯、校改爲桐、程本日本北本師本作侯、繆校作桐、與原校合、從之

張溥、字天如、號西銘、太倉州人、父太學生翼之、翼之兄輔之、以進士由兵垣歷官大司空、翼之子十人、溥以婢出、不爲宗黨所重、輔之家人、遇之尤無禮、嘗造事傾陷翼之、溥洒血書壁曰、不報仇奴、非人子也、奴聞而笑曰、塌蒲履兒何能爲、溥飲泣、乃刻苦讀書、無分晝夜、嘗雪夜已就寢、復興、露頂坐向曉、因病軀、時三吳文社、人人自炫、溥一不之省、獨與張采訂交、采字受先、號南郭、以善戴氏學、有聲寰序、溥延爲館賓、讀書七錄齋、時妻文卑靡、兩人有志振起之、溥矯枉過正、取法樊宗師、劉幾、歲試乃躓、聞周介生倡教金沙、負笈造謁、三人一見、相得甚懽、辨難五晝夜、訂盟乃別、溥歸、盡棄所學、更尙經史、試乃冠軍、溥矜重名義、采尙節概、言論丰采、目光射人、兩人相砥灌自勵、時魏璫敗、鹿城顧秉謙爲邑人所逐、避處婁中、溥采率諸士驅之、檄文膾炙人口、郡中五人之墓成、溥乃爲誌鐫石、由是天下咸重天如受先兩人矣、始周介生定應社社目、

若茂苑楊維斗(廷樞) 徐九一(汧) 常郡荆石兄(良) 虞山楊子常(彝) 顧麟士(夢麟) 吳江吳茂申(有漚) 吳來之(昌時) 松郡夏彝仲(允彝) 陳臥子(子龍) 及閩中陳道掌(元綸) 蔣八公(德璟) 咸在列、而獨以凡例屬天如手定、蓋兩人相信、在語言文字之外、別有契合也、丁卯、受先、九一與介生之弟鑣皆鄉舉、而羅文止、蔣八公各舉於其鄉、明年戊辰、溥以覃恩選貢入京、會試、受先第三、九一、八公皆告捷、江西黎左巖(元寬) 已冠禮闈、爲主試所抑、置之第二、皆社中才傑也、溥廷對高等、諸貢士入太學者、俱願交權溥、爭識顏面、因集諸多士爲成均大會、是時字內名卿碩儒、前爲崔魏摧折投荒削逐者、崇禎新政、後先起用、聞溥名、皆願折節訂交、騷壇文酒、笈筐車騎、日不暇給、由是名滿京都、已而德璟授編修、汧考庶吉士、元寬授禮部主政、鑣授南禮、采授江西臨川縣知縣、采初期得館選、不意失之、及尹臨邑、轉懟爲愉曰、人臣致身、何官不可效、吾今入文學禮義之鄉、得挹羅一峯、鄒守益之高風、與聞良知宗旨、相與切劘道學也、遂與溥歸、偕同志揚挖社事、而後赴任、由是海內同人、翕然共宗天如矣、艾千子時客齊東、聞之遽蒞吳門、約同周介生與天如、參證文體、衡定是非、欲兩挫之、而獨伸其說、時陳臥子才氣方盛、首與之爭辨、扁舟造門、各持所是、語不合、日暮移影乃退、臥子復手書詰難、稱詞宗旨、崇重鳳洲空同、艾持其瑕而折之曰、向在婁江舟中、見足下談古文、輒詆毀歐曾諸大家、而守一李于鱗王元美以爲足、即評駭他文亦未當、蓋足下未嘗讀古人書、願足下讀書十年、學漸充、心漸細、而後可也、及足下行後、友人持足下悄心賦至、如

此文、乃昭明文選中之卑腐、歐曾大家力排之者、足下斤斤師法之、無怪乎哆口罵歐曾、罵宋景濂、罵震川荆川也、足下謂宋文最近、不足法、當求之古、其究竟則歸重王李二人耳、何足下志甚大、而所師甚卑也、足下謂宋之大家、未能超津筏而上、又謂歐曾蘇王而上、有左氏司馬氏、不當舍本而求末、夫足下不爲左氏司馬氏則已、若眞爲左氏司馬氏、則舍歐曾諸大家何由、夫秦漢去今遠矣、其名物器數、職官地里、方言里俗、皆與今殊、存其文以見於吾文、獨能存其神氣耳、役秦漢之神氣而御之者、舍歐韓亦何所由乎、由歐韓而能至於秦漢者、無他、歐韓得其神氣而御之耳、若僅取其名物器數、職官地里、方言里俗、而沾沾然自以爲秦漢、則足下之極賞於王李者耳、不佞方由歐韓以師法秦漢、足下乃謂不當舍秦漢而求歐韓、所見不亦左乎、足下又曰、宋文好新而法亡、好易而失雅、夫文之法最嚴、嚴孰有過於歐曾蘇王者、荆川有言曰、漢以前之文、未嘗無法、而未嘗有法、法寓於無法之中、故其爲法也、密而不可窺、唐與宋之文、不能無法、而能毫釐不失乎法、以有法爲法、故其爲法也、嚴而不可犯、閒嘗三復、以爲至言、宋之文由乎法、不至於有跡而太嚴者歐陽子也、故當推爲宋之第一人、不佞方以法太嚴病宋人、而足下謂其無法、足下讀古人書而潦草如是、不已過乎、乃若王李之文、徒見夫漢以前之文似乎無法也、竊而效之、決裂以爲體、鉅釘以爲詞、盡去夫開闢首尾經緯錯綜之法、而別爲一種臃腫窘澁浮蕩之文、其氣離而不屬、其意卑、其語滯、乃眞無法之至者、而足下以爲有法可乎、足下又痛詆昭代之推宋人者、如荆川、震川、遵巖三君子、嗟乎、古文至嘉隆間、壞亂

極矣、三君子當其時、天下之言不歸李則歸王、而三君子寂寞著書、受其詆訾、不少易志、古文一綫、得留天壤者、三君子之力也、其文縱不能及韓歐、乃遂不如王李耶、至于宋景濂、佐高祖定制、修前史、當時大文字、多出其手、國朝文章大家、自當首推、其文以應制故不甚暢、要皆師摹歐曾、不可誣也、足下試取其敘記傳讀之、可及乎、不可及乎、震川集願足下遲遲其論、足下未至震川、至震川駁之未晚、貴鄉有婁子柔、陳仲醇兩人、雖未得韓歐之深、然皆能言其本末、足下宜贊請爲師、得其一言、晝夜思之、思無越畔、然後十年讀書、與不佞論文、未爲晚也、臥子得書、甚甚、復作報書、彝仲懼其傷雅、手疏規千子、言兩人之書不必外傳、以滋物論<sup>(8)</sup>

(1) 官、原脫、日本同、據程本北本師本補 (2) 溥下、北本師本有口訥、言若不出口、而八字、師本訥作訥 (3) 常郡下、北本師本有蔣楚珍(鳴玉) 五字、似應據補 (4) 顧麟士上、原有太倉二字、據他四本刪、案、顧夢麟、太倉人、與楊彝交好莫逆、久居彝所(乾隆常昭合志九)、故有虞山楊顧之目(鄒漪啓禎野乘一集顧氏本傳)、太倉二字、當是後補、非原本面目也 (5) 會試、他四本皆無、而受先下、北本師本有聯第二字 (6) 巖、原作嚴、據他四本改 (7) 初下、北本師本有以同鄉先達推擇七字、下文不意作而以不時赴閣行揖 (8) 造、北本師本作逆之與 (9) 詞、原校改爲說、日本同、似是、而程本北本師本皆作詞、蓋原本如此、從之、繆校於詞下添章字、誤 (10) 案、以下云々、即答陳人中論文書、收於天慵子集五、注云、

戊辰（崇禎元年）冬寓嘉定作（11）獨、原誤猶、且本同、蓋形近而訛、據程本北本師本改（12）歐韓、原校乙改、且本及天備子集同、程本作歐曾、此仍原文、北本師本同、下做此（13）嘗、原作曾、據他四本改（14）文、原作法、程本且本同、據北本師本及天備子集改（15）高祖、北本師本作太祖高皇帝（16）甚、原作易、程本且本同、據北本師本及天備子集改（17）記、原誤紀、據他四本改（18）案、所得北本書景、至此而止

歲戊辰、諸家房選出、若馬君常、宋羽皇、吳繼禔、項仲展、荊石兄輩、各有選本、千子皆無譏焉、獨取天如所選表經詆毀之、其房書刪定序曰、今世舉業家所據以爲名者、曰經也、史也、子也、是三者、兩漢以後立言之士莫不由之、何獨於今而疑之、而有不然者、史自左丘明遷固止矣、然其職官氏族、戰攻治亂之跡、與舉業之文、既不相入、至其風度格韻、馳驟跌宕、變化離合之微、非得其神者、又無由而至、故爲盜於舉業者遍天下、而卒未有入左氏司馬氏之室者、力不能也、獨諸子之言、浩渺寬博、以無所附麗爲長、則文之誨盜者、無如是書、然在當時、已有黃老農墨、刑名縱橫之異、其大旨既悖謬於聖賢、學者未能考正古人、則雖晉魏隋唐、依託周秦諸子之目以自見、而亦爲其所欺、甚則以劇秦美新之揚雄、而群然尸祝之、習其書、効其辭、比於周孔、離朱罔兩之言盈天下、甚矣其不學也、若夫目不識諸子、而剽襲人言者、卽以是人爲諸子、及其不足、則雕飾僞辭以代之、其冒濫如是、固不足怪、於是有一點者出而悔之、於史不能、於子

不可、又逃而曰尊經、夫尊經之名立、而天下之奉之者、庶乎有詞矣、雖然、亦有以古之爲經者告之乎、古之爲經者曰、本之書以求其質、本之詩以求其恒、本之禮以求其宜、本之春秋以求其斷、本之易以求其動、未聞必襲譽若稽古而後爲書、乾坤九六而後爲易也、且夫聖人之言、各有所爲而發、蓋有前後不相襲者矣、今必贅經語以就題、復強吾意以就經、況夫專經而不能通其解、業一經而誤用其四、而號於人曰尊經、吾恐先聖有知、必以爲穢而吐之矣、嗚呼、今日制舉之弊、已至於此、一人倡之、人人和之、遂至臭腐而不可讀、吾以爲此皆空疏不學之故也、富人鎊萬鎰、臧獲萬計、無所不有、而若一無所有、三家之村、稍稍溫飽、得一金而張皇色動、又有婁人丐夫焉、飢寒迫之、不得已而爲盜、爲大盜、則剽富人之藏、不能爲大盜、則取大盜之所剽而負販之、遇水旱凶荒、則三家村之溫飽者、且將爲婁人丐夫矣、婁人之爲盜者、執而歸司敗、又將入於刑焉、今之爲文、何以異此、使其讀古人書、得其本末源流、無所不有、而又若一無所有、何至得一金而色喜、與夫剽富人之藏、又從大盜而爲之負販哉、救斯病也、莫若以今日之文、救今日之爲文者、此吾所以不得已而再有房選刪定之役也、嗚乎、與吾選者、其是非天下既得而見矣、不與吾選者、其是非天下尙未得而見也、今日制舉之弊、可勝道哉、

（1）案、此序收於天備子集一、注云、己巳（崇禎二年）春、富陽舟中作（2）氏、原作士、且本師本同、據程本改、案、天備子集與程本同（3）文、原誤人、且本同、據程本師本改（4）唐、諸本皆

作周、誤、據天備子集改、上文古人、本集作古文(5)揚、諸本皆作楊、案、漢書以下諸書皆作揚、據改(6)計、天備子集作指

天如貽書受先曰、閱艾千子房選、顯肆攻擊、大可駭異、吾輩何負於豫章、而竟爲反戈之舉、言之痛心、兄見之、須面責問其故、艾爲人貪利無恥、出其本性、又住武林最久、中間搆譽者不少、且往來俱銅臭之子、固宜與名教悖戾也、弟斷不能嘿無一言、特以聞之老兄、可與大士、大力、文止講明、弟與介生正特兄在臨川、豫章之交自固、不患一人之跳梁生事也、惟早圖之、弟意如此之人、斷不容其稍有出頭、須作一字與九青、先斷其根可也、吳江吳來之亦致書受先曰、天如介生負海內重望、與兄主盟周旋者非一日矣、而貴治子民、有心懷反側、倡議繚局、遂至指介生爲罪人、目天如爲黠惡者、兩兄當之、可付不校、吾輩聞之、恥辱莫甚於斯、且言論狂妄、視應社皆目不識丁、如吾兄何、如同社諸兄弟何、人非至愚、必能分別邪正、而一種未附聲氣、與外附而中懷觀望者、咸竊其說以爲談資、如吾鄉之金五貞、豈非門牆一大患哉、吾兄肩左提右挈之任、爲宗盟首、卽同社有主包容之說、亦有主力攻之說、弟則以爲有攻無容、吾黨門牆之峻、已非一日、往年卓生小叛、亦攻之至於盡、使叛逆如千子、竟以容之一字置之、則是小敵勇、大敵怯矣、且以吾輩爲大盜、爲婁人丐夫、爲司敗之刑人、不修一矢以加之、何以爲令於四方、又吾黨素爲名教主、乃有毀周孔而不問、毀吾明先賢而不問、何以爲名教主哉、弟不揣愚陋、伏祈深結豫章之在聲氣者、獨擯此叛道負友之小人、使鄉黨

棄之、天下嫉之、則鬼魅之術立破矣、受先得書、手疏婉規千子、言江左江右、並爲人文淵藪、在豫章向操海內衡文之柄、近日介生天如先後執牛耳、然皆聲氣相倚、未有不奉豫章者也、宜共遵尊經篤古之約、追大雅以挽頹靡、幸勿自開異同、爲世口實、千子答書曰、吾輩聲價、非謗者壞之、乃尊奉者壞之也、譬有人焉、遇周孔而知敬、及遇盜跖、亦以爲周孔、則周孔何地可以自容、此不特大士、大力、文止諸兄學問淵源、嘗爲評其品地、不可向鹽醋缸中埋殺、卽老父母文章經術、亦當有以自明、將來取鹽醋缸中物、同類而並稱之、老父母甘之乎、不肖備極苦心、獨救一人、正爲諸兄地、并爲老父母地也、其詞堅僻、人言不能入、未幾、四家摘謬出、其批抹豫章、卽詆訾金沙吳下、受先知不能合、始以天如來之書示羅章陳、而特函告之萊陽、時宋有答書甚秘、人莫得窺、於是三吳社長傳單各邑共絕之、某月日、偵千子來吳、謬約之面相參證、會於婁之弇山園、語不合、陳臥子及介生幼弟周我容共扶之、千子卽夜去、由是社集取其名削之、金沙婁東合詞布告同志云、

(1)爲、原無、程本同、據且本補、師本爲人作子一字、非是(2)林、師本作陵(3)正、程本師本作止(4)與、原誤以、程本且本同、據師本改(5)如、程本師本脫(6)擯、原脫、且本同、據師本補、程本作攻(7)小人、程本作鄙夫(8)案、此書收於天備子集五、題曰三與臨川張侯書、注云、己巳(崇禎二年)夏(9)嘗爲評、天備子集作當爲之明、文義較順、而紀略諸本並無異同、姑仍之

(10) 缸、原誤缸、師本同、據程本且本改、下同(11) 案、天備子集三有四家合作摘謬序、注云、庚午(崇禎三年)夏(12) 案、據本書、千子與復社諸人之面晤、似有兩次、一在崇禎元年、一即弁山園之會、而陳子龍年譜崇禎元年條云、秋、艾千子與余晤於婁江之弁園、則元年之晤即弁園之會也、又吳偉業復社紀事謂嘗燕集弁山園、臥子年十九、而千子爲其所毆、乃嘿而逃去、據此、弁園之會在天啓六年、其說不可信、而謂兩人面晤、唯有在弁園之一次、則與年譜合、又杜登春社事始末云、臥子年二十餘、會於七錄齋中與千子論辨、以手批千子頰、所云七錄齋、當係記誤、而兩人論辨之無兩次、亦據可證、此云社集取其名削之、而本書國表初集姓氏已無其名、事之在元年、亦可見焉

吳江合楚人熊魚山(開元)、以文章經術爲治、知人下士、慕天如名、迎致邑館、巨室吳氏沈氏諸弟子俱從之游學、於是爲尹山大會、苕霅之間、名彥畢至、未幾、臭味翕集、遠自楚之蘄黃、豫之梁宋、上江之宣城寧國、浙東之山陰四明、輪蹄日至、比年而後、秦晉廣閩多有以文郵致者、是時江北匡社、中州端社、松江幾社、萊陽邑社、浙東超社、浙西莊社、黃州質社、與江南應社、各分壇坫、天如乃合諸社爲一、而爲之立規條、定程課曰、自世教衰、士子不通經術、但剽耳儉目、幾倖弋獲於有司、登明堂不能致君、長郡邑不知澤民、人材日下、吏治日偷、皆由於此、溥不度德、不量力、期與庶方多士共興復古學、將使異日者務爲有用、因名曰復社、又申盟詞曰、毋從匪彝、

毋讀非聖賢書、毋違老成人、毋矜己長、毋形彼短、毋巧言亂政、毋干進辱身、嗣今以往、犯者小用諫、大則擯、既布天下、皆遵而守之、又於各郡邑中、推擇一人爲長、司糾彈要約、往來傳置、天如於是哀十五國之文而詮次之、目其集爲國表、受先作序冠弁首、集中詳列姓氏、以示門牆之峻、分注郡邑、以見聲氣之廣云、社目云、是社始於七郡、故原本先列七郡、首姑蘇、

(1) 吳氏沈氏、謂吳翺、吳允夏、沈應瑞諸人、見顧師軾梅村先生年譜引復社事實、又計東改亭集上上太倉吳祭酒書可參(2) 程課、程本且本互錯(3) 世、原作士、程本且本同、據師本改(4) 儉、程本且本師本作繪、案、復社紀事有云、剽耳儉目、倖弋獲於有司

太倉州

- |     |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 張 溥 | 趙自新 | 王家穎 | 張 誼 | 顧夢麟 | 管士琬 |
| 王瑞國 | 張達孝 | 何南春 | 吳偉業 | 孫以敬 | 胡周鼎 |
| 蔡 伸 | 張 濬 | 張王治 | 周 群 | 張 源 | 王啓榮 |
| 吳 縣 |     |     |     |     |     |
| 楊廷樞 | 徐鳴時 | 錢 禧 | 朱 鎰 | 袁良弼 | 章 美 |
| 朱 袞 | 丘民瞻 | 許元弼 | 許元愷 | 周茂蘭 |     |
| 長洲縣 |     |     |     |     |     |
| 許元溥 | 顧企宗 | 劉 曙 | 華 渚 | 沈明掄 | 王 宋 |
| 戴之傑 | 陳 性 | 管正傳 | 錢位坤 | 葉 襄 | 薛宗廉 |

戴之俊 盧涇材 徐籀 張邕

上海縣

吳江縣

吳有淮 吳昌時 沈初馨 呂雲孚 吳翮 沈自炳

張澤 吳昌迪 張堯 吳晉錫 周燦 孫兆奎

常熟縣

常熟縣

吳翮 龐承源 孫聚奎 許重熙 趙士春 王曰俞

楊彝 許士驥 蔣棻 許重熙 趙士春 王曰俞

許瑤 祝謙吉 顧琅先 祝升吉 祝泰吉 朱鑣

崑山縣

王志慶 陸世鑾 王志長 陳言先 顧繼紳 顧晉瓊

嘉定縣

曹開遠 歸奉世 陸嘉胤 顧言先 顧繼紳 顧晉瓊

朱之尚 曹訥 侯岐曾 徐時勉 陶士彥 沈宏祖

松江府

陳舒徵 江貞泰 侯岐曾 徐時勉 陶士彥 沈宏祖

夏允彝 朱灝 徐方廣 周室勳 周希文 陶履傳

華亭縣

徐鳳彩 夏鼎 張壽孫 周室勳 周希文 陶履傳

周立勳 徐孚遠 彭賈 余廷諤 顧開雍 盛慶遠

徐煒 徐桓鑿 徐致遠 徐纘若 周季勳 吳忻

盛仲輝 趙佺

淮安府

潘桓 馬元調 宋存標 朱在鎬 潘劍奇 范鑿弧

潘堯納 王元玄 陳子龍 宋存楠 杜麟徵 趙侗如

李雯 姜爾殊 宋與琦 陳秉教

金山衛

盛翼進 杜麟琪 姜爾殊 宋與琦 陳秉教

常州府 武進縣

韓鍾助 劉憲章 鄒嘉穀 徐法 徐洽 顧澹生

江陰縣

黃毓奇 徐時進 徐遵湯 袁珍

宜興縣

徐懋賢

鎮江府

周銓 王重 談兆龍 賀瑜珍 賀王醇

丹徒縣

周鍾 周鎔 周鉞 周鉉 張明弼 史弘謨

高遇 劉國欽 周欽 王士寧 蔣鳴玉 蔣煥

丹陽縣

周而沛 荆廷實 荆廷璧 賀儒琛 賀裳 盛順

荆良 荆廷實 荆廷璧 賀儒琛 賀裳 盛順

賀燕徵 賀燕徵 賀燕徵 賀燕徵 賀燕徵 賀燕徵

賀燕徵 賀燕徵 賀燕徵 賀燕徵 賀燕徵 賀燕徵

夏曰瑚 白受藻

鹽城縣

張樹屏

安東縣

王啓運

桃源縣

王立身

宿遷縣

陸奮飛

揚州府 江都縣

鄭元勳

湯允中

高郵州

楊先春

興化縣

許同詵

成明義

徐州

萬壽祺

徽州府各邑<sup>①</sup>

程允晉

江知默

朱泰陽

江調鼎

江靜

吳承中

安慶府

蔣臣

江之水

寧國府 宣城縣

沈壽民

涇縣

萬應隆

池州府 貴池縣

劉城

青陽縣

吳鍾

張國枚

太平府

邵錦

蕪湖縣

沈士柱

廬州府 合肥縣

程以懋

舒城縣

浙江 杭州府

張玄

虞宗瑤<sup>①</sup>

鄭垣

沈受震

徐邦佐

錢可

趙相如

吳過

徐貞一

孫文煌

王徽

萬祺

吳應箕

劉廷鑾

吳中美

吳介

孫象震

邵冕

邵鑑<sup>①</sup>

邵鑛

程以德

郭士豪

范世鑑

潘映婁

左毅

方啓魯

聞啓祥<sup>①</sup>

錢塘縣

陸運昌

吳思穆

吳大冲

馮延年

趙德遜

陸鳴奎

陸鳴時

俞時篤

蔣庸

嚴季榮<sup>②</sup>

魏介

仁和縣

沈澹思

林泰業

孟應春

卓人月

陳濬

徐翹

卓霜回

潘曾綬

海寧縣

徐元察

徐永平

餘杭縣

顧有棐

嘉興府

孫淳

陳恂

徐林臣<sup>③</sup>

趙汝璧<sup>④</sup>

項聲國

張次柳

孫振

蔣芬

金維恭

程定國

沈嗣選

錢嘉徵

陳恪

馬玄錫<sup>⑤</sup>

譚貞良

葉燦

孫耀祖<sup>⑥</sup>

沈嗣徵

秀水縣

徐白

張宗一

常彝

謝澗

朱茂陽

徐天俊

周禹錫

吳翹

錢昌

嘉善縣

錢旃

錢繼章

錢棻

魏學濂

吳三錫

顧潛

戈用忠

支如增

郁素

夏緇

魏學洙

蔣蒔

錢繼振

錢繼禧

錢格

陳舒

劉芳

呂鼎

趙韓

徐鴻祚

陸文機

過舒董<sup>⑦</sup>

陸上瀾

屠象美

海鹽縣

張奇齡

蔡士奎

陳梁<sup>⑧</sup>

張瞻韓

朱學章

馮景裕

桐鄉縣

盛涑

朱萬錡

盛方涵

朱萬欽

盛洵

湖州府

嚴啓隆

沈中台

閔正中

韓昌箕

盧肇塔<sup>⑨</sup>

潘基依

章平

嚴彧

沈鍾兆

歸安縣

沈緒奎

李令哲

陸熙運

丘志炅

陳駟<sup>⑩</sup>

沈緒來

韓曾駒

章上奏

閔自貢

沈維顯

閔元京

鍾錦如<sup>⑪</sup>

吳振鯤

尹任

凌爾翰

凌森美

尹衡

烏程縣

溫以介

姚延啓

黎樹聲

錢瀛選<sup>⑫</sup>

沈蒨

潘基慶

韓千秋

韓奕祖

錢鶴

顧翰

嚴永寧

嚴种

費景沅

沈光胤

陶鑄

沈鈞

嚴思鏐

沈策

德清縣

章美瑾

章美埕<sup>⑬</sup>

武康縣

駱弘珪

卓漢貞<sup>⑭</sup>

安吉州

潘基衍 潘基初<sup>86</sup> 沈建吳

寧波府

董守諭 陸符 錢玄錫 費隱 馮涓

紹興府

李宗銘 章重 徐騰 余增 孟稱堯 孟稱舜 顏綸揆

趙之蘭 吳應芬 金停 袁師孔 吳維修

金華府

傅巖 葉幹 倪仁楨

衢州府

翁祚 徐泰徵

江西 南昌府

劉斯陞 萬士華 余正垣<sup>84</sup> 仇鏞<sup>85</sup> 黃維藩 袁崇熹

黃國鎬 羅高俶<sup>86</sup> 徐元朗 楊昌 章士鴻 劉斯陸

楊耆 易道泰 喻周 喻士錦 熊文舉<sup>87</sup> 吳奇杰

吳廷獻

新建縣

陳弘緒 鄧履右<sup>88</sup> 萬日佳 徐世溥 甘元鼎 李奇

萬搏<sup>39</sup> 郝忠謙 姜之祥 徐世清 陳弘綸 徐應芬

豐城縣

胡學浹

進賢縣

李光倬 陳維謙 朱徽 饒有政 陳維恭 熊人霖

饒有致 陶文疇 朱健

饒州府

羅伏龍

廣信府 上饒縣

徐自定 鄭仲夔 徐自寧

玉山縣

董思玉

戈陽縣

李調鼎

鉛山縣

費兆甲 費映環

建昌府 南城縣

吳兆 俞一經 丘時憲 吳觀之 鄭之玄 姚光遠

新城縣

張之奇 曾汝亨 黃之香 江世祥 江之望

南豐縣

曾升

廣昌縣

何三省 揭希朋<sup>89</sup> 劉大年 劉大鞏 劉大常 劉大千

撫州府 臨川縣

陳際泰 羅萬藻 章世純 曾亨應 章世謙 傅占衡

湯大耆 湯開遠<sup>②</sup> 王秉乾<sup>③</sup> 章宏岳 丘而旭 揭重熙

謝寶王 游爲光 舒嘉桂 湯開先 陳士鳳 謝廷簡

曾拭 丘而昶 吳程 陳才奇 曾益 劉鍾秀

陳士驥 謝應宸 李上 封誥 郝光曙 游爲龍

宜黃縣

涂柏

吉安府 廬陵縣

趙爾圻 黃震象<sup>④</sup>

泰和縣

曾文饒 劉捷 龍起弘 楊嘉珩 楊學愿 蕭令甲

郭承瑚 曾世冲 蕭秉鎮 梁天爵 康毅

吉水縣

劉同升 李陳玉 劉孟欽

安福縣

傅鼎臣 伍以竑

永新縣

賀貽孫

瑞州府 新昌縣

李之漑<sup>⑤</sup> 潘嘉祉 黃國琦

袁州府

易嗣重

贛州府 寧都縣

楊文彬 楊文彩

湖廣 武昌府

劉敷仁 戴塤 孟登 陳沂 游明哲 李楚生

劉日襄 張仲庶 蔡仕

嘉魚縣

任弘震 任喬年 熊升元

漢陽府

謝淳培<sup>⑥</sup> 謝正培 易道暹 龍墳 易道三 程性學

易爲瑞 易爲鼎 易爲瑚 易爲璉 瞿然<sup>⑧</sup> 朱奎宰

劉文運 胡世忠 胡有牧 何履順 何履吉

安陸府 京山縣

王偶豐

景陵縣

譚元春 譚元禮 譚元方 趙家棟<sup>⑨</sup>

襄陽府

歐陽化

德安府 孝感縣

辛昂<sup>⑩</sup>

黃州府 蕪水縣

黃正色 馮雲路 金甌 官撫邦 官撫極 官撫辰

黃安縣

耿如志 耿如思

麻城縣

梅之垣 王都俞 楊魯 劉侗 李春江 周應華

劉輝 曹之棟 耿應衡 周邦炳

蘄州

張宿 丘之宗

荊州府 江陵縣

徐養心 王南國

公安縣

袁祈年

石首縣

劉長慶 夏雲鼎

岳州府 華容縣

張斯搏<sup>(61)</sup> 黎志陞

常德府 桃源縣

闕士琦

福建 福州府

陳肇曾 陳元綸 陳燕翼 周之夔 董養河 曾異撰

陳世濬 周恂 鄧壽 陳奎輝 韓廷錫 張利民

董謙吉 許一豸 卓震 齊莊 林昕 陳知章

林兆清 張綸 邵景文 葉有祿 曾人翰 陳金鉉

林逢經 莫爾佳 陳兆相 林正立 李時成

泉州府

顏茂猷

延平府 羅明祖<sup>(62)</sup> 甯永齡

汀州府 裴養清 李世熊

興化府

曾世袞 徐胤鉉 翁顯 林尊賓 周言 黃夢吉

山東 萊陽諸邑

宋繼澄<sup>(63)</sup> 宋理 左懋泰<sup>(64)</sup> 趙士驥 宋瑤<sup>(65)</sup> 孫鳳毛

宋璜 宋瑀 宋瑚 宋瓘 左懋第 左良輔

趙爾波 姜瀾 楊維價<sup>(66)</sup> 任夢麟 楊曇 楊泉

新城縣 王與夔 王袞

山西 太原府 韓霖 韓均 因<sup>(67)</sup>二卿 陶世徵<sup>(68)</sup>

河南 開封諸邑 陳衷一 曹心明<sup>(69)</sup> 賈開宗 吳從周 蔡琮 張光世

廣東 廣州諸邑 張正誼 鄭觀光 吳道坤 王學 黎遂球 麥克勤<sup>(70)</sup>

黃聖年<sup>(71)</sup> 蔡承瑚 陳子賁 陳象明 陳衍虞 林佳相

莊珩 韓如璜

梁志勤 鍾新 陳子賁 陳象明 陳衍虞 林佳相

莊珩 韓如璜

莊珩 韓如璜

莊珩 韓如璜

莊珩 韓如璜

莊珩 韓如璜

莊珩 韓如璜

陝西

田而腴

四川 成都諸邑

張尙 韋鉉 莊祖誼

貴州

楊文驄

- (1) 鑑、原作鑑、程本且本同、據師本改 (2) 掄、程本師本作倫  
 (3) 兆、原誤紹、程本且本同、據師本改 (4) 許、程本師本誤詩、  
 案、乾隆常昭合志八有許士驥傳 (5) 先、原誤光、且本同、據程本  
 師本改 (6) 灑下、師本衍生字、案、康熙松江府志三七錄其姓氏  
 (7) 方、師本誤德、案、光緒華亭縣志十五有傳 (8) 彩、程本且  
 本師本誤采、案、幾社壬申文選題識及閱文姓氏俱作彩 (9) 桓、原  
 誤恒、程本且本同、據師本改 (10) 若、且本作善 (11) 璧、原作壁、  
 程本且本同、據師本改 (12) 呂、程本誤吳 (13) 涘、程本誤溪 (14)  
 徽州府一條姓氏、原脫、程本且本同、據師本補 (15) 鑑、程本師本  
 作鑑 (16) 虞、紀略諸本皆屬上、誤、今改、宗、師本誤宋 (17) 祥  
 程本誤牂、案、錢謙益初學集五四閩子將墓誌銘、黃宗羲思舊錄俱作  
 祥 (18) 榮、師本作崇 (19) 柳、原誤彬、且本同、據程本師本改  
 (20) 璧、原作壁、據程本且本師本改 (21) 錫、程本作鉤 (22) 祖、  
 師本脫 (23) 達、程本師本誤達 (24) 簞、原誤篋、程本同、據師本  
 且本改 (25) 梁、原誤良、且本同、據程本師本改、案、黃虞稷千頃

- 堂書目二八作梁 (26) 肇、師本且本作兆、塔、程本作階 (27) 駟、  
 且本校改爲駟、誤 (28) 錦、且本作鏡 (29) 選、原誤遠、據程本且  
 本師本改 (30) 埤、且本同、程本作理、師本作瑜 (31) 貞、原作函、  
 且本同、師本作函、據程本改 (32) 初、原作初、且本同、據程本師  
 本改 (33) 顏、程本且本師本誤顧 (34) 垣、原誤桓、且本同、據程  
 本師本改、案、乾隆南昌縣志三三有傳 (35) 鑽、程本誤璜 (36) 高  
 俶、原誤萬俶、程本誤萬淑、據師本且本改、案、乾隆南昌縣志十七  
 作高俶 (37) 舉、程本誤峯 (38) 右、程本誤石 (39) 搏、原作搏、  
 且本同、師本作搏、據程本改 (40) 光、師本誤先 (41) 揭、原誤楊、  
 程本同、據師本且本改、朋、程本誤明 (42) 遠、原誤應、程本且本  
 同、據師本改 (43) 乾、原誤謙、據程本且本師本改 (44) 涂、原作  
 徐、據程本且本師本改 (45) 震象、原誤倒、程本且本同、據師本乙  
 改 (46) 李、原誤季、且本師本同、據程本改 (47) 淳、原誤諱、且  
 本師本同、據程本改 (48) 然、師本作龍 (49) 家、程本作宗 (50)  
 昂、程本且本作昂 (51) 搏、原誤搏、且本同、據程本師本改 (52)  
 羅明祖至汀州府九字、原脫、程本且本同、據師本補 (53) 澄、師本  
 誤登 (54) 左懋、原誤王茂、程本且本同、據師本改 (55) 瑤、師本  
 作琮 (56) 楊、師本作陳 (57) 因、程本誤國 (58) 徵、程本作激  
 (59) 曹心、原誤賈心、且本同、程本誤賈以、據師本改 (60) 聖、  
 原誤舜、程本且本同、據師本改 (61) 麥、原誤黎、程本且本同、據  
 師本改、案、康熙順德縣志六作麥

按目計之、得七百餘人、從來社籍、未有若是之衆者、計文二千五百餘首、從來社藝、亦未有如是之盛者、嗣後名魁多出其中、藝文俱斐然可觀、經生家莫不尚之、金閩書賈、由之致富云、

(1) 籍、師本作目(2) 名魁下、原有爭出二字、程本且本同、繆校以爭出改爲碩儒、似亦無據、據師本刪

崇禎庚午鄉試、諸賓興者咸集、天如又爲金陵大會、是科主裁爲江右姜居之(日廣)、榜發、解元爲楊廷樞、而張溥、吳偉業皆魁選、陳子龍、吳昌時俱入彀、其他省社中列薦者、復數十餘人、明春辛未會試、偉業中會元、溥與夏曰瑚又聯第、江西楊以任、武進馬世奇、成德、長洲管正傳、閩中周之夔、粵東劉士斗並中式、主試爲周延儒、首相也、舊例、會場主裁、以元老閣務爲重、應屬次輔、乃周以越例得之、大非次輔濫體仁意、是以會元幾掛吏議、蓋延儒諸生時、遊學四方、曾過婁東、與偉業之父吳琨(禹玉)相善、而偉業本房師乃南昌李明查、李昔年亦遊吳、館於大司馬王在晉家、曾與琨同事、是科延儒欲收羅名宿、密囑諸分房、於呈卷之前、取中式封號、竊相窺視、明查頭卷卽偉業也、延儒喜其爲禹玉之子、遂欲中式、明查亦知爲舊交之子、亦喜悅、取卷懷之、填榜時、至末而後出以壓卷、偉業由此得冠多士、烏程之黨薛國觀、洩其事於朝、御史袁鯨將具疏參論、延儒因以會元卷進呈御覽、烈皇帝親閱之、手書正大博雅、足式詭靡八字、而後人言始息、此溫周相軋之第一事也、故事、新進士刻稿、皆

房師作序、是時天如名噪甚、會元稿竟以天如鑒定出名、明查大怒、欲削偉業門人籍、同館徐汧率偉業負罪、因誘之書肆、執送五城懲示以解、當是時、明查所爭者體例、非仇溥也、而溥大不悅、兩人自此遂相隙、殿試、偉業得中榜眼、天如授庶吉士、初、延儒偕聞天如名未識其面、及榜發後、晉謁延儒、恨相見晚、恩禮倍至、天如由此得館選、翰苑規制、庶吉士居造就之列、遇館長如嚴師、見先達稱晚進公會隅坐、有命唯諾惟謹、溥任意臨事、輒相可否、有代天言作誥命者、文稿信口甲乙、同館皆忌之、有譖於內閣者、延儒猶委婉爲解、溫體仁則曰、是何足患、庶吉士有教讀成例、材則留、不材則去之法、彼亦何難去之、溥聞之甚甚、乃緝其通內結黨、援引同鄉諸事、繕成疏稿、授偉業參之、偉業立朝未久、於朝局未練習、中情怯、不之應、是時體仁之黨、主持門戶、操握線索者、德清蔡奕琛爲最、偉業難拒師命、乃取參體仁疏增損之、改坐奕琛、體仁大怒、將欲重處、延儒從中曲解之、體仁奕琛由此側目溥、明查又以刻稿事嘲溥、時時督過、溥不自安、壬申、告請葬親、給暇歸、

(1) 春、程本且本師本作年(2) 案、馬世奇、無錫人、此云武進不甚確、成德、本姓張、題名碑錄作張成德、順天懷柔籍、山西霍州人、事蹟見陳濟生天啓崇禎兩朝遺詩小傳、啓禎野乘十二、此不著籍貫、於例不合、又成德不隸名復社、下文劉士斗同(3) 場、原脫、程本且本同、據師本補、下以字、程本在閣務上(4) 後、原作復、且本同、據程本師本改(5) 作序下、師本有謂之本房鑒定六字、下

文天如下有先生二字(6)偉業至館選四十七字、師本全異、而述溥得館選之事由云、溥欲得館選、即丐偉業、請之延儒、是時延儒尚不識天如、問偉業曰、用何幣相酬、偉業曰、爲師請耳、不計幣也、延儒曰、師不同、有贊拜之師、有受業之師、偉業欲濟事、遂曰、是受業、延儒因許之、溥由此得爲庶吉士(7)不下、程本有成字、師本則作成材則留、不成材則去、又成例作舊例(8)是時體仁之黨、原作時溫之、程本且本同、據師本改

偉業以溥門人聯捷、會元鼎甲、欽賜歸娶、天下榮之、遠近謂士子出天如門者必速售、大江南北爭以爲然、以溥尚在京師、不及親炙、相率過婁、造庭陳幣、南面設位、四叩定師弟禮、謂之遙拜、洩掌籍者登名社錄而去、比溥告假歸、途中鶴首所至、挾策者無虛日、及抵里、四遠學徒群集、癸酉春、溥約社長爲虎丘大會、先期傳單四出、至日、山左、江右、晉、楚、閩、浙、以舟車至者數千餘人、大雄寶殿不能容、生公臺、千人石、鱗次布席皆滿、往來如織、遊人聚觀、無不詫嘆、以爲三百年來未嘗有也、其時與會者、爭以復社命名、列諸牌額、武陵茗嘗之閒爲澤國、士大夫家備餘餽、懸燈皆顏復社、一人用之、戚里交相借託、幾遍郡邑、久之、泖湖群盜多竊効之、官司捕獲、當事頗以此爲詬、天如病之、力請禁止而不能、而謗譏興矣

(1)庭、原誤廷、且本同、據程本師本改(2)如、程本師本作絲、中本原亦同、而校改爲如、且本徑作如、從之、案、梅村編年詩集一

哭志衍程穆衡箋引文、梅村先生年譜引文與程本師本同、作絲確有淵源、而往來如織、義甚通順、又此本以中本爲主、故未改回(3)陵、原作林、且本同、據程本師本改(4)湖、原作河、程本且本同、疑誤、據師本改(5)力、原作立、且本同、據程本改、師本天如至禁止作士紳力爲禁戒(6)案、師本卷一至此而終、卷二即起自下文復社聲氣云々

復社聲氣遍天下、俱以兩張爲宗、四方稱謂不敢以字、于天如曰西張、居近西也、于受先曰南張、居近南也、及門弟子則曰南張先生、西張先生、後則曰兩張夫子、溥亦頗以闕里自擬、於是好事者遂指社長趙自新、王家穎、張誼、蔡仲爲四配、門人呂雲孚、周肇、吳偉業、孫以敬、金達盛、許煥、周群、許國杰、穆雲桂、胡周鼎爲十哲、溥之昆弟十人、張濬、張源、張王治、張樽、張漣、張泳、張質先、張淮、張濤、張京應爲十常侍、又指依託門下、效奔走、展財幣者、若黃、若曹、若陳、若趙、若陶、則名五狗、而溥獎進門弟子、亦不遺餘力、每歲科兩試、有公薦、有轉薦、有獨薦、公薦者、某案領批、某科副榜、某院某道觀風首名、某郡某邑季考前列、次則門策、某係某公子、係某公弟、甚至某公孫、某公婿、某公甥、更次則門牆、某等天如門下、某等受先門下、轉薦者、江西學臣王應華視薦牘發案、撫州三學諸生鼓譟、生員黜革、應華奪官、自後學臣相戒、不受竿牘、三吳社長更開別徑、令京師權要專札投遞、如左都商周祚行文南直學憲、牒文直書仰提學當堂開拆、名爲公文、實私牘也、獨薦者、公薦雖已列

名、恐其泛常、或有得失、又投專割、爾時有張浦許三生卷、已經黜落、專割投進、督學倪元珙發三卷於蘇松道馮元颺達社長、另換騰進、仍列高等、於是局外者、值歲科兩試、輒私擬等第名數、及榜發、十不失一二、所以爲子弟者、爭欲入社、爲父兄者、亦莫不樂其子弟入社、迨至附麗者久、應求日廣、才備有文、個儻非常之士、雖入網羅、而嗜名躁進、逐臭慕羶之徒、亦多竄入於其中矣、

(1) 案、張濤非翼之子、所云溥之昆弟十人、與壬癸志稿七張翼之傳合、而溥亦在內、蔣逸雪張溥年譜世系表不錄張濤、或爲從兄弟、亦未可知

當天如之選國表也、湖州孫孟樸(淳)實司郵置、往來傳送、寒暑無間、凡天如介生遊跡所及、淳每爲前導、一時有孫舖司之目、兩越貴族子弟與素封家兒、因淳拜居周張門下者無數、諸人一執贄後、名流自負、趾高氣揚、目無前達、烏程溫育仁、相國介弟也、心鄙之、著綠牡丹傳奇謂之、一時爭相搬演、諸門生深以爲恥病、飛書兩張先生求爲洗刷、兩張因親蒞浙、言之學臣黎元寬、黎與兩張同盟也、因禁書肆、毀刊本、究作傳王名、執育仁家人下於獄、獄竟而後歸、當是時、越中致命社局者、爭誦兩張夫子不畏強禦、而婁江與烏程顯開大隙矣、未幾有蘇理申文一事、

(1) 導、原作道、日本同、據程本師本改(2) 案、舖司之目、出

自綠牡丹傳奇、事見張鑑冬青館甲集五復社姓氏傳略序、同六書綠牡丹傳奇後(3) 恥、程本無、師本此句作諸門生病之

蘇理刑周之夔、字章甫、福建莆田人、素與吳越聲氣通、崇禎辛未、天如同榜進士、官吳郡司理、與社局諸人雅相善也、時東粵劉瞻父、諱士斗、亦同籍、知太倉州事、下車後、每事諮之受先、及天如告假歸、亦與瞻父密相左右焉、舊例、邑吏分房、每有紀錄、故有司爭欲得之、以郡臨邑、縣房恒遜理官、癸酉南闈、之夔已謀定易三房矣、兩張爲州官地、臨期驟易士斗、之夔心恨三人特甚、是歲大風殺稼、斗米千錢、太倉漕無輸、士斗念切民瘼、與兩張謀救荒之策、采廣諮博訪、得府胥宋文傑言、吳郡屬邑八、而太倉鎮海兩衛獨隸婁、衛軍軍儲四萬九千石、分支長、吳、崑、嘉、吳江、太倉、常熟七邑、攷軍儲舊制、其初兩衛之軍、原在本地支銷、後來分支各邑、誠能使支獨歸太倉、軍儲越歲而收、又無贈耗、即可減漕糧十之七、此目前救荒之善策也、采大喜、即著軍儲說、甚言散徵各邑之苦、獨歸太倉之便、溥爲作跋語於其後、因共謁士斗而詳言之、會州民王延條陳荒政、亦以請復軍儲舊額爲言、太鎮兩指揮陳邦、王時濟申憲移州、士斗遂據以申文兩院、言婁民不幸、一歲兩災、風潮蟲蠹、斬我有秋、目擊心傷、殆有不忍言者、向因申報兩臺、會疏上叩、奈無倉廩之可賑也、茲就時艱而言、必得大賜蠲折、可慰重地窮黎、然九邊多警、度支告匱、則議蠲似不可得、至若漕糧、如遇災荒、例於八月以前、方許題折、乃今漕單久發、欽限愈嚴、則請折亦恐後時、夫以卑職菲材、濫

膺重任、若輸輓愆期、甘爲子民受過、獨念最爾一州、原割崑山、常熟、嘉定之邊隅、坐枕狂流、近海之田、滄桑不一、腹裏水旱多艱、植花者衆、栽禾者寡、卽大有之年、但以木棉變價易米、較諸各縣、大不相侔、況遍地不毛、米珠玉粒、從何貿易、且目前米價騰湧、白米一石、貴至一兩三錢、將來漕艘鱗集、價必愈昂、哀哀窮黎、卽售土竭廬以應兌、如何竣局、卑職夙夜焦思、寢食俱廢、多方存恤、自謂救援之無謀、展轉躊躇、孰是公私之兩便、適災民王延等、議以各縣額派太鎮軍儲、抵本州之漕兌、卑職反覆思維、此說似爲可行、何也、蓋州縣各有起運、各有存留、揆情度勢、不可更張、但畧之田地、較之各邑、低而且瘠、婁之風潮、因坐海濱倍災、且查徵賦冊載兩衛軍儲、原議派州不足、方以別縣補之、蓋因太鎮兩衛坐居本州、以本州之糧給本州之軍、彼此兩便、軍更樂從、若使婁之存留、量倍于各邑、亦不爲過、今計太倉、鎮海、劉河各衛所本色軍儲、共該四萬九千九十一石、內聽州額原編四千八百六十餘石、其餘向派長洲、吳縣、吳江、崑山、常熟、嘉定等縣、今以各該縣之儲米、歸之州原額、使本州兩衛軍官就近支領、仍以本州漕運扣還各縣、以足彼此之額糧、設法調劑、誠救荒之一着也、時之夔署府篆、職監兌、得士斗中文、欲借此陷士斗、併傾二張、乘溥公謁、謬言未知軍儲原委、欲得軍儲說一觀、溥信之、歸以語宋、采卽手疏封進之、之夔遂坐溥采悖違祖制、紊亂漕規、指士斗爲行媚鄉紳、六年十一月冬、揭之總漕及巡漕兩臺、士斗與兩張皆未之知也、十二月、士斗署崑山縣事、運丁勒加贈耗、軍民相讎、泗州衛指揮張景文、誣揭士斗減遠米腳價、致激軍

變、巡漕禹好善疏劾士斗、疏中追論之變前揭、言太倉州官不宜洒兌得旨、劉士斗違法干譽、紊亂漕規、該部從重議處、崑山兌糧鼓諫事情、卽着禹好善確議具奏、部覆、又得旨、劉士斗違紊漕規、致有囂變、何得復留地方、着降四級調用、士斗治婁、清廉而有惠政、士民惜其去、負石壘壘登國門以留之、傾國數十萬人、爲之罷市、兩張於公會日、面責之夔、之夔幾無所容、又走書都門聞人之仕於朝者、若黃石齋（道周）蔣八公（德璟）等、言之夔無端傾陷循吏、石齋諸公皆不直之夔、其房師許石門（士柔）書達之夔、囑其更弦改過、否則爲時賢所擯、仕途難自振矣、吳門文文起（震孟）亦言、蘇州兩廉吏俱被周章甫逐去、蓋同知晏日曙亦因計典見斥也、之夔知見訛公論、深自愧悔、具申臺司、自咎私揭士斗之非、不忍令賢牧獨去官、某今抱疴累旬、應與同罷等語、蓋欲假引咎之言、冀人原之、庶幾上臺留之也、乃兩張逐之之局已成、之夔無所用其計矣、

(1) 延、程本師本作廷、而下文俱作延、作延似是(2) 舊、原誤軍、且本同、據程本師本改(3) 劉、程本師本作瀏、案、讀史方輿紀要、明史地理志作劉、作瀏者從俗稱耳(4) 十一、師本有百字(5) 原、原誤縣、且本同、師本無、據程本改(6) 國、程本作四、師本負石至國門作關廂

紳士爲劉映陔祖餞、兩張舉杯酌地曰、異日使賢父母獨離地方者、有如此酒、因令門人製檄文驅逐之夔、粘布通衢、檄中言之夔受州同林

朝欽厚賄、欲薦署州篆、故揭去劉知州以遂其私、乃先逐朝欽去職、時崇禎七年也、先是生員科試、舊例、府州縣官錄送宗師、而後宗師試錄優者送院、之<sup>③</sup>夔署府篆考生童、惟憑請託、竟不閱文、案出、各邑孤寒、雖才高望重、俱落孫山、由是各學沸然、甚至擡城隍神像、坐府署詛之、則諸生即非復社中人、亦恨之深矣、至是年四月朔、乘之夔下學、諸生噪而逐之、之夔慚憤、申文兩臺、惟自劾、不敢及諸生、以爲首皆權要子弟故也、因杜門謝職、兩臺欲和解之、姑令署吳江篆以遠避焉、之夔至吳江、則復社生徒再聚沈初馨家、復噪逐如郡城、時之夔審勢不可留、乃始露章顯訐兩張、言己遵制爭漕、橫被誹逐、又致札文文起等白其事、復專札達兩張、與復社尋隙、

(1) 薇、程本誤微、師本映薇作公祖、案、微之爲訛、查崇禎太倉州志可證、又下文劉父母、師本劉下有映薇二字(2) 試、師本且本無(3) 之夔上、師本有五年間三字(4) 生童、原誤倒、據程本且本師本乙改(5) 乃、原重疊、衍文之誤也、據程本且日本師本刪一字受先覆書曰、日者劉父母昆山弁變一事、老公祖中懷不安、漸多遷怒、特創爭漕題目、督責不休、始僅言弟、今併及西銘兄、以兩杜門之人、闌入口語之內、清夜自思、不知其故、老公祖震電懾赫、弟寂無一言、誠以事關通國、無煩置辨、亦以子民誼當束身、知己情甘唾面、久當賤息也、不意近日申文、竟以向來仁孝之思、霜露之感、盡云弟罪、弟何人斯、敢爲造物受過哉、夫老公祖之屢請、各上臺之代題、非田

間人所與知、弟可默默、獨爭執漕儲四字、有不得不平心剖析者、敝州軍儲存留、本由祖制、關係海防、癸酉之秋、敝州風潮獨甚、太鎮兩衛官軍申復本地對支、州民隨亦繼請、劉父母遂於祁按臺公祖詢問救荒事宜、附進此議、既而州民公懇鄉紳、令出公函、敝州諸大老爲倡、弟與西銘兄不過隨例署名耳、未幾、復聚族而謀、謂時將臨兌、恐言之無益、即移書各臺、請息其議、嗣是絕口不復談矣、至軍儲說者、弟叨輯州志、因舊載記、向爲編成、要西銘跋語、適西銘入郡、老公祖向之索取、遂於公函中附進者、所以復台命也、事之顛末、昭昭耳目、老公祖亦歷歷在心、豈其一旦忘之、遂稱爭漕護漕、弟實不解、竊謂言護漕、則必有誤漕者、敝州獨先完運、未有誤也、言爭漕、則必有相與爭者、敝州紳士忘於無言、未有爭也、且軍儲之議、敝州人請之、即敝州人止之、無論老公祖未嘗出片詞爭執、且其事亦無所用其爭執也、兩番公啓、與老公祖兩番報劄、姓名詞指、斐然具在、乃干戈橫起、夢想不到、西銘生平隱惡揚善、老公祖亦稱其誠厚、因弟遷怒、今條首指、又何心乎、弟藥鹿性成、長臥林麓、成敗得喪、久付度外、何暇與人角口、但念老公祖十年交誼、甘出惡聲、委巷之子、猶不忍爲、又恐老公祖果病、忘其前事、敢書以相質、可告朋友、即可告君父、區區之懷、聊畢於此、若老公祖必欲借不合時宜之人、爲富貴顯達之地、弟惟義命自安而已、之夔得書、以詞直不能難、兩臺批申、不允請病、之夔乃於九月十六日、改告終養、兩院始爲准題、部覆謂周之夔爭執軍儲、奉公維法、肩勞任怨、至謂援引養親之說、親兄尚在、養例不合、得旨、照舊供職、之夔遂於八年二月初三日復

任、之夔蒞任匝月、郡中紳士無一投刺謁見者、之夔知人情不與、自春徂夏、強半謝事、屢文乞休、兩院具題、奉旨准致仕、七月去任、八月抵家、一日母隨沒、具報丁艱、之夔通計在任俸足三年一閱月、各院正薦十二次、提薦三次、紀錄一次、大計舉卓異一次、自此告致休職、不及考滿邀封父母、心甚恨之、瀕行艸復社或問一編、刊而傳送以去、

(1) 海防、師本日本互錯 (2) 官軍、程本互錯 案、上文劉士斗申文有云本州兩衛軍官、程本似亦有據 (3) 記、原作紀、據程本旦本師本改 (4) 索取、原誤倒、旦本同、據程本師本乙改 (5) 末、程本師本作究、中本原同、而校改爲末、旦本徑作末、此仍原校不改回 (6) 長、原作久、據程本旦本師本改、案、下文有久付度外之句、疑中本因此而誤 (7) 肩、原誤艱、旦本同、據程本師本改、案、本書下卷引此覆亦作肩

中州名宿吳鍾巒、字巒樞、宜興周挹齋諸生時授業之師、鍾巒爲之延譽于四方、宜興之登巍科、其獎借之功爲多、鍾巒狷介有守、宜興貴爲首揆、未嘗有所干請、癸酉春、鍾巒遊吳、謁文湛持、天如與之邂逅席次、言論丰采、迥異時流、天如心重之、詢及宜興、曰、挹齋坐客、皆聲色貨利之輩、絕無一名士、吾不樂近之、謝政後始往一見耳、天如益重其爲人、力爲引掖、得貢入北雍、復囑湛持言之選司、授宛平教諭、以便入場、是年、得膺順天鄉薦、明年甲戌會試、先是文湛

持赴職時、郡紳修餞於徐九一之止水、天如謂文曰、明年會場同考、公必壓簾、今海內舉子不愧會元者、惟陳大士暨楊維斗兩人耳、幸留意、湛持曰、天下士、讀大士文取巍科者、不知凡幾、而大士久困、吾此番當收之夾袋中、天如轉語項水心<sup>(2)</sup>曰、然則維斗乃公貴也、水心亦首肯、天如又言、吳巒樞久爲海內師範、此番不可不使之釋褐、兩人唯唯、比入闈、湛持壓簾、覓得大士卷、袖示水心曰、昔爲老社長、今作老門生矣、水心狡、欲會元出己房、乃持一卷示湛持曰、已得維斗卷矣、大士維斗與吾黨交情、無少軒輊、但冠冕天下、與其鄰省、毋寧吾鄉、湛持乃持卷細閱曰、誠維斗、焉得不讓、脫非維斗、奈何、水心曰、今場屋中誰能作此等文者、若非維斗、當扶吾眼、懸之國門、湛持見其真懇、遂許之、舊例、會元必讓壓簾、填榜在末後、時主司注視項卷、湛持反爲遜謝、出己卷先填、而讓項卷冠軍、及拆號、乃李青也、湛持志甚、然已無如之何矣、煜謬負罪、湛持止色曰、此舉不惟負大士、并負天如矣、榜發、鍾巒亦中式、同簾薛國觀出告體仁、具以國表姓氏查對、見中式者多出復社、體仁後欲廢科目、用保舉、因此、

(1) 案、據溫春臨南疆逸史三一本傳、黃宗義明儒學案六一吳氏小傳、鍾巒以貢生教諭光州、從河南鄉舉登第、此所云々、當非實事 (2) 水心、原誤倒、程本同、據師本旦本乙改、下同、案、下文袖示水心以下、中本亦有朱校乙改 (3) 天如上、原有張字、旦本同、據程本師本刪

社事以文章氣節爲重、又以獎進後輩爲務、其於先達所崇奉爲不王者、皆宇內名宿、南直則文震孟、姚希孟、顧錫疇、錢謙益、鄭三俊、瞿式耜、侯峒曾、金聲、陳仁錫、吳姓等、兩浙則劉宗周、錢士升、徐石麟、倪元璐、祁彪佳等、河南則侯恂、侯恪、喬允升、呂維祺等、江西則姜曰廣、李邦華、熊明遇、李日宣等、湖廣則梅之煥、劉弘化、沈維炳、李應魁等、山東則范景文、張鳳翔、高弘圖、宋玫等、陝西則李遇知、惠世揚等、福建則黃道周、黃景昉、蔣德璟、劉麟長等、廣東則陳子壯、黃公輔等、諸公職任在外、則代之謀方面、在內、則爲之謀爰立、皆陰爲之地、而不使之知、事後彼人自覺、乃心感之、不假結納而四海盟心、門牆之所以日廣、呼應之所以日靈、皆由乎此、是時朝議起廢、欲推舉錢謙益、而閣部持之堅、乃共推文震孟、侯恂、倪元璐、劉宗周、姜曰廣、黃道周、相繼登用、又復引翼後進、內而中行評博、外而推知、有名望應考選者、俱力行薦拔、其六部遷轉、及臺省舉劾、皆得與聞、天如雖以庶常在籍、駁駁負公輔之望、參預朝政矣、

(1) 麟、程本且本師本誤麟、案、顧峇南都死難紀略(殷禮在斯堂叢書本)有徐石麟傳、而東林中唯有徐石麟、麟乃麟字之訛、題名碑錄、天啓崇禎兩朝遺詩小傳、陳鼎東林列傳等皆作麟(2) 李應魁、師本作程註、案、所舉先達姓氏、師本更有十一人、卽南直陳必謙、鄭鄮、盧象昇、兩浙馮元麟、江西易應昌、章允儒、胡良機、山東李璟、毛九華、陝西王繼謨、福建黃文煥

當黎元寬之究書賈也、兩張以爲快、而溫氏子弟大以爲辱、入京達之體仁、使爲區處、體仁久嘖復社、得家報愈大恚、併惡元寬、欲逐之、黎元寬字左岩、南昌人、少負才名、戊辰擬中會元、三日以他故改第二、其第三名卽張采也、采與元寬雖同社、而未得識面、釋褐日始聚首、兩人才名久著、俱有館選之望、然以才鋒太露、故皆失之、元寬授禮部主政、公務之暇、惟作詩文、遠近傳錄、幾于長安紙貴、考滿陞浙江督學副使、通敏勤職、然以知交廣、頗徇情面、聲望稍減、既從兩張之命、開隙烏程、體仁遂進密揭、言各處提學官、進學冒濫、以致士風頹靡、文體日壞、乞降明旨、令部院查核處治、庶可挽回士習、以振興學政、奉旨下部查核、部知體仁意、覆言、凜奉明諭、臣等敢不破情面而逐一稽核、惟浙江學臣黎元寬、臣部磨勘解卷、大約標新拔異之意多、返雅還醇之力少、據所取錢塘學一等第一名金紳以能問於不能全章題、起講云云、皆屬說夢、又是奚足哉三句題、尤背題意、嘉興府學一等第一名袁祚亨志於道四句題、其起講後股云云、竟似嚙語、又猶彼白而我白之至無以異於白人之白也題、起股云云、更屬荒唐、而學臣公然前錄、何以式衆、所當循例查參者也、元寬遂革職、時甲戌十二月也、元寬被處、半由社局起見、自此復社諸公、參論體仁無虛日矣、

(1) 究下、程本有治字、師本究作街彈、當有誤(2) 三、師本作五(3) 同下、師本有列應二字、案、此云同社、事在戊辰以前、復

社尚未成立、列應二字不必據補(4)太、程本日本作大、師本作穎(5)風、原誤民、且本同、師本作氣、據程本改(6)云云下、程本師本有等語二字(7)起見、師本作累之、下有天如修書慰藉、當籌策去後事宜、爲異日地、且云、約進同志、遇事揮彈矣二十八字

兩張既與烏程有隙、烏程深慮溥雖在籍、能遙執朝政、乃令腹黨往官吳地、伺其隙而中之、聞江南縉紳優免徭役、偏累小民、又多縱奴僕欺詐閭里、疑清河必然尤甚、因選御史路振飛爲蘇松巡按、使圖之、路按部至松、卽具疏曰、臣聞國計重在賦役、賦役關乎民生、故均則衆擎易舉、偏則獨累難堪、吳民之苦于役、有不可勝言者、江南縉紳蔚起、優免者衆、應役之田什僅五六、再加隔邑官戶占籍優免、應役者什僅四五、大戶之有力者、又通官奴以詭寄、賄辨役以花分、應役者什止三四矣、凡承重役、無不破家、因役賣產、仍歸官籍、於是大戶不足、役及中戶、中戶不足、役及棚戶、穴居野處、無不役之人、累月窮年、無安枕之日、彼官宦族黨奴僕、坐享高腴、耳不聞當差一字、不均如此、其何以堪、況有輕糧、如軍儲南運等項、耗費較省、或爲請託、或爲暗賣、若漕糧重務、獨派小民、恐反裘負薪、皮毛俱盡、孰與供賦役而辦國計哉、臣已重申典例、凡紳宦各以現任原任品秩免所應免外、餘田悉照民間一體當差、其隔屬寄籍與官戶已故者、概不准免、仍令縣禁其詭寄花洒、嚴處賣富差貧之摠書、而輕糧一項、年豐各縣分派、以同其甘苦、歲儉荒區獨任、以恤其災疲、但查賦役不均、前經奉旨嚴飭、而不均如故、皆由強梗阻撓、吏胥作奸、有司

又奉行不力、故一番調劑、終成故紙也、懇祈敕下該部、嚴行禁止、使小民無不均之嗟、地方幸甚、奉旨、豪紳占免詭寄、奸蠹賄結花分、致重役獨累小民、深可痛恨、路振飛卽通飭有司、恪實力行、如有強梗阻撓、守令畏徇的、指名參來重處、閱數日、振飛按部蒞蘇、又具民蠹實多疏曰、江南之民、一困於賦、再困於役、蓋已皮盡而骨存矣、不意又有如蠅如蟻、吮血嘔骨、破其骨而吸其髓者、曰衙役、夫衙役有額設者也、江南則千百成群、各有頂首、占踞衙門、吞噬百姓、一役而父子兄弟傳爲世守、里下之都圖區甲、各有分司、無一人不害民、無一事不擾民、而摠書爲尤甚、諸如皂快之騶張、捕役之蔓害、不一而足、雖屢經禁革、如扇驅蠅、散而復聚、有司以忠勤而信任之、害益不可言矣、又有爲狐爲叢、竊權逞威、使人觸之立碎者、曰豪僕、俗謂之鼻頭、鼻頭云者、吳音呼嘴爲主、以其有主在而反居主之上也、借主之權勢、每以假屍抄捉、扛擡釘封、修往年之睡毗、爭久賣之田產、且門牆連黨、百鼻聚會、小民畏懼、甚於鄉紳、遊宦者不知也、有司忌器而姑容之、害益不可言矣、又有如狼如虎、咆哮市肆、使人談之色變、聞之心悸者、曰惡棍、歆血會盟、恃衆藐法、各處有天罡打降之不一其號、而天罡中又有文武大小之不一其人、鬪毆則此投彼訴、訐訟則夥告夥證、或報私仇、或假公憤、遇可欺則凌、遇可欲則奪、屢置之法、愍不畏死、有司以人衆而不治、害益不可言矣、而又有分身法、父役公堂、子投宦族、兄弟與惡少爲緣、免窟相匿、又有合身法、被告則役通消息、求贖則僕作先容、意所不慊、則惡少爲之瞋目、三者之爲地方害、人人痛恨之、人人能言之、今欲以吏胥之有

無需索、定有司之操守、以宦僕之有無縱恣、定有司之風力、以鄉村市肆之有無弱肉強食、定有司之政教、懇祈明旨嚴飭有司、同心救民、違者容臣不時參處、民庶幾得安乎、體仁見疏、即手擬旨、這奏內衙役豪僕惡棍、皆為民害、即着痛革嚴懲、如有徇玩鄉紳庇縱的、路振飛不時參來、

(1) 蘇松、原誤松江、且本同、據程本師本改(2) 計重、原脫、程本且本同、據師本補(3) 賄辨、原脫、程本且本同、據師本補(4) 棚、程本師本作朋、中本原亦同、而校改為棚、且本徑作棚、此仍原校不改回(5) 分、程本師本作均(6) 阻撓、原誤倒、且本同、據程本師本之改、案、下文有如有強梗阻撓之句、諸本皆同(7) 恪、諸本皆同、惟中本校改為確、不從(8) 民、原誤名、據程本且本師本改(9) 吮血嘔骨、原作吮骨嘔血、疑誤、師本作吮膏嘔血、據程本且本改(10) 叢、且本作妖、師本作崇、案、崇叢音近、疑崇乃叢字之訛、至於妖字、蓋以意改字、非有據也(11) 連黨百鼻、原作連廣百黨、程本且本同、據師本改(12) 鄉、原有朱校、改為縉、且本徑作縉、不從(13) 父役公堂以下二十四字、原脫、程本同、據師本且本補(14) 爲、原脫、據程本且本師本補(15) 吏、程本且本作里

張溥之父翼之失歡於其兄大司空輔之、輔之有僕陳鵬、過颯、又從而構之、鵬善筆劄、主人章奏書牘、皆出其手、崐長於聚斂、司空寵之

甚、因此內外家政、事無大小、必由兩人、翼之以主分臨之、兩人益恚、至刺翼之詩、司空不覺也、溥嚙血書壁曰、不報仇奴、非人子也、兩奴聞之笑曰、塌蒲履兒何能為、以天如母本婢也、受先聞之、憤謂溥曰、我二人日後苟得志、使兩奴得生蓋載者、非夫也、歲丁卯、受先舉于鄉、當樹棹楔木、有八字孔、采欲鋸而去之曰、是大類鼻孔、吳下鼻頭最壞事、其除之、匠與親友皆難之、云無此例、受先不能強曰、吾有法于此、從前鼻向外、故奴多出外生事、向內或差、今即不之去、鼻宜朝內不朝外、故受先棹楔木八字孔獨向內、其託志如此、及戊辰聯捷、作書約同年縉紳、毋得收投靠家人、吳下薄俗為之一變云、

(1) 崐、原作昆、據程本且本師本改(2) 筆、原誤學、據程本且本師本改、下劄字、程本作札(3) 詩、原作訪、師本同、且本作事以誣三字、據程本改(4) 日後、原誤日夜、程本作後日、據師本且本改(5) 采、程本且本作受先

路按臺按妻、采溥言陳過二奴于四府理刑黃瑞旃、徐日義、雷起劍、徐世蔭、達之兩道、檄拘陳過二奴、下之崇明縣獄、知縣顏魁登授意獄吏、暗斃之、振飛任滿、繼為巡方者上虞祁彪佳、浙局巨孽商等軒(周祚) 增也、輪差時、亦密有旨授、按部時、適兩張治衙蠹、有奸胥董寅卿者、南贛撫軍陸文獻之僕也、為庫吏時、侵盜錢糧、加派病民、兩張致意祁公、立斃之杖下、太倉之害頓除、夫體仁所注意者三

事、復社一無所徇、且皆嚴繩之、兩巡方不惟不能有所加、顧反重之、彪佳與之定交、由此浙人之謀、爲之沮止、

(1) 路按臺上、程本師本有至是二字 (2) 奴、原作人、據程本且本師本改

復社紀略上卷終<sup>①</sup>

(1) 此七字程本無、師本上卷作卷二

復社紀略下卷<sup>①</sup>

正月考選、吏部題截俸行取、將在京俸足中行評博、及行取推知等官、逐一考選、分別科道部屬等官、是時秉軸者皆浙人、以故冢臣門人張纘會、少宰張捷之姪張孫振、皆恃奧援、意爲必得、而是時吳甯望重、舊臺省多附之、掌垣掌道又屬門牆聲氣、所欲進者、宋學顯、葉高標、何楷、張盛美、胡江、鄭爾說、徐耀諸人爲最、已定爲科道矣、乃纘會、孫振爲所軋、僅得部主事、部堂俱不悅、覘知體仁之姻商周祚、門人薛國觀皆未入選也、因慫恿體仁、揭請皇上御覽諸與考各官官守鄉評實績、欽自點定、謂之改授、以故汪惟效原擬兵科、今授戶科、王之晉原擬陝西道、劉昌原擬浙江道、程源原擬江西道、荆祚永原擬福建道、王正志原擬廣西道、辜朝薦原擬山東道、今俱改給事中、鄭爾說、胡江改部主事、張纘會、張孫振改授御史、餘俱依擬、鄭爾說

係孫<sup>①</sup>淇澳之甥、胡江係馬君常之門人、皆已入臺而改部、纘會、孫振皆已註部而改臺、人咸以轉移體仁、胡江等因心恨之、又何楷、張盛美文章治行、社局所推、復爲權要所擯、公論爲之惋惜、明日、吏部又奉上傳、部屬何楷、張盛美俱改授科道、體仁與銓部亦莫測其得之由、而深忌之、

(1) 下卷、師本作卷三 (2) 正月上、程本有甲戌二字 (3) 奧、原作越、且本同、據程本師本改 (4) 請、原誤謂、據程本且本師本改 (5) 惟、原誤維、據程本且本師本改、案、汪惟效、祁門人、崇禎四年進士 (6) 荆、原誤劉、據程本且本師本改、下祚永二字、且本誤倒、案、荆祚永、臨晉人、崇禎元年進士 (7) 孫、原脫、據程本且本師本補

是年、冢臣爲謝陞、憲臣爲唐世濟、考功郎爲蔡奕琛、皆浙脈也、掌垣爲盧兆龍、掌道爲羅元賓、頗與聲氣合、南冢臣爲張延登、考功郎爲屈勳、各以門戶修隙、而最騰議論者、北察用胡浩然、南察用羅元賓、自秦寇之再入楚豫也、南京樞臣呂維祺以鳳陽單外爲憂、疏請准撫標兵移鎮汝寧、當賊來路、毋使得近中都、乃淮撫楊一鵬老眊畏賊、使人至閣臣所、求爲之地、體仁遂票旨、准撫督漕任重、不必移鎮、乙亥正月七日、賊自汝寧攻鳳陽、中都失陷、焚燬皇陵、體仁因具慰安聖衷疏、適江南紳士有公揭、投入各衙門曰、前日當國者欺罔聖明、自侈票擬盡職、夫票擬之失、孰有大於私顧門牆、狗庇鄉曲、禍及陵

寢者耶、國家二百七十餘年來、仇恥莫過於是、則不必移鎮之旨誤之、雖禍陵者寇、而縱寇禍陵者、實票擬者為之、豈得謂非其罪也、我輩臣子、當穴胸斷腹、明目張膽、求正厥辜、以雪此恥、以復此讐、揭布、人情為之震悚、於是給事中劉昌具欲收滅賊之勝算、先斥誤國之樞臣疏、吏科許譽卿直攻體仁、宋學顯繼之、御史張盛美又繼之、上諭、准撫楊一鵬錦衣衛逮問、張鳳翼戴罪視事、閣臣置不問、

(1) 考、原脫、程本同、據師本日本補、案、下文云考功郎屈勳、不作功郎、此亦當同 (2) 龍、程本誤熊、案、兆熊、崇禎十三年進士、是時尚未登第、兆龍、天啓二年進士、曾劾何喬遠、事見明史及啓禎野乘何喬遠傳 (3) 勳、原作動、程本日本同、據繆校改、案、師本無南冢臣以下數句、而下文述乙亥京察、有云南考功屈勳、與繆校合、屈勳、崇縣人、崇禎七年進士、作動似亦有據、而郎中一官、當非新進所能得、屈勳、其人不見題名碑錄、而所云考功郎、乃南京官、即非科甲出身、似可不必多怪、此從師本及繆校 (4) 自上、原衍北字、程本同、據師本日本刪 (5) 外、程本日本作弱 (6) 臣、原脫、據程本日本師本補 (7) 侈、程本作鳴、師本誤哆、中本原亦同、而校改為侈、且本徑作侈、從之

刑部主事胡江疏參首輔溫體仁、比他疏語加厲、上降嚴旨、胡江借端攻訐、誣讖大臣、着錦衣衛逮下刑部、法司究罪、

(1) 仁下、原有疏字、師本日本同、據程本刪

時浙人黨魁張捷用事、護持其黨甚力、冏卿史堇前任御史時、參劾異己、恣意傾排、門戶欲處之、堇先巡按淮揚、焚賄甚多、天如囑揚郡春元鄭元勳廉之、備得其贓跡、乃以款單達諸臺省、傳單時、捷力為之地、而莫能得、堇自此被察、得旨逮問、下獄追贓、

(1) 劾、原誤勘、據程本日本師本改 (2) 款、原誤疑、據程本日本師本改

蔡奕琛父起家一榜、未仕家貧、與同郡胡浩然交好、少結姻媿、及浩然成顯宦、門庭熾甚、奕琛躬往修候、服御儉素、浩然心易之、知交詢問東床賢否、浩然曰、一長可取、謂奕琛徒有偉幹、而無他才能也、奕琛聞之心恨、及成進士、其戚體仁為首輔、奕琛遷考功郎掌察、列胡浩然款單十事、皆贓跡、遂入察籍、謂人曰、彼往日語吾一長可取、今彼有十短宜罪、可歸矣、其睚眦必報如此、

(1) 熾甚、程本作熾盛、師本作盛熾 (2) 款、原誤疑、且本同、據程本師本改

劉宗祥差四川巡按時、少宰張捷以成都知縣賀儒珍囑其舉薦卓異、後儒珍有穢聲、宗祥疏參之、比宗祥回道、捷欲羅入察籍、文湛持力為

護持、始得免、宗祥遂疏發捷徇私囑托、庇佑墨吏賀儒珍、以所投私書爲證、達之御前、幾邀嚴旨、烏程密爲之地、捷得無恙、

乙亥京察、張溥雖庶常、得與聞察事、以前會元刻稿事啣恨李明睿、時爲掌院者姜曰廣也、係溥座師、與明睿同榜同官、曰廣避嫌、乃先致書明睿、使知有人欲處之、而已不開送以示德、拾遺仍用之、而委其責於臺省、是年明睿雖倖免、而拾遺仍被糾、後明睿知被處之由、疏參曰廣、亦以私書入奏、曰廣疏辨、兩相計奏、紛紛至不可解云、

(1) 座、原誤坐、據程本日本師本改

浙人主察者、南部院較之北尤偏徇、佐察者南考功屈勳、爲社局仇尤甚、噴羅元寶曲處史堯、拾遺疏亦羅入考功法、以南部而制北部之命、大是變體、

(1) 勳、原作動、程本日本同、據師本改

南左都張延登于計典稍持平、而當局者欲處南本兵呂維祺、延登以維祺負時望、恐招物議、稱病註籍、大計疏上始出、後維祺終以阻內官一疏、爲體仁所不喜、被拾遺去、

(1) 稍持、原誤倒、日本同、據程本乙改、師本此句作持議稍平

甲戌會榜發、奕琛以國表姓氏查對、見新進士多出社局、大異之、因思變取士之制、以禁其將來、且可進其私黨、又念事關重大、未易舉行、躊躇數月、未得其便、擬伺閒論之、

東林浙黨各有簿籍、開列應處應用諸人、持局者傳授奕世、不敢少變、庶常鄭乃振先之子、少負才名、尤爲浙人忌嫉、于鄭未起用之前、先推輿吳宗達入相、蓋欲因之以整鄭也、比鄭補官編修、懼體仁抑之、逢人肆詬、言吾必糾之、特止用虛聲爲恐嚇耳、未見施行也、體仁決計除之、先從宗達處搆得鄭昔年杖母揭帖、艸奏糾參、一日、諸臣在直、言及翰林陞轉、論資不論俸、文震孟從容言、鄭峯陽俸雖未足、年資甚深、應進宮坊、體仁艷然、袖出一揭、拱手謂文曰、正有一揭上達、欲借重大名、今若此、則不敢煩矣、推案而起、遂投進特糾滅倫詞臣揭、時乙亥十月也、

(1) 止、師本無、日本誤以、下爲字、程本作相 (2) 搆、程本師本作購、疑誤 (3) 袖、原作衷、據程本日本師本改

河南撫臣□□疏報飢民從賊、寇勢燎原、上拊膺嘆息、夜不成寐、體仁揭言、中原寇盜之多、由於民之從賊、而民之輕于從賊、由于饑寒之迫、民之困於飢寒、由於貪官污吏之朘削、臣日夜思維、弭盜之方、莫如慎擇守令、誠使守令得人、則民生安、民既安生、自不思從賊、而賊勢自衰、此返本窮源之道也、但臣觀今之守令、大半出於進士、蓋進士出身、但憑三場文字取中、房司主試、不能豫知其人之長

短、未免賢愚互收、貪廉雜進、況人才之生、迥不如古、賢者少而不肖者多、則當今取人之法、不可不思變通之計也、太祖高皇帝洪武四年、一舉制科、後以其徒有文詞而鮮實行、六年、即罷科舉、專用徵辟、有經明行修、懷材抱德、賢良方正、人才孝弟諸科、群舉於朝、

以次除用、蓋薦舉、親見其人之才品、而後薦之、非真實能賢、則不輕薦也、故其時得人為盛、但國初風俗淳厚、人情謹愿、所舉無不得當、今法紀凌夷、人情習玩、情面賄賂、在所宜防、臣請易其名為保舉、其所舉之人、果稱任使、即為所保得當、如一人有過犯、即為所保不當、舉主一體連坐、庶人心悚懼、莫敢行欺而濫薦也、所舉得人、則守令皆賢、而百姓安全、百姓安全、即驅之為盜、臣知其不願矣、上覽揭手報曰、卿所云誠救時碩畫、人情有身家、自然不願為盜賊、焉得有賢守令、以愛養吾民、使不從賊乎、但科舉由來已久、豈能遽廢、卿當更熟籌之、體仁復揭言、國家科目用人、行之二百五十餘年、一旦議更、人情必然不欲、但今日講求變通之法、故不得不出於此耳、臣以為科目雖未能遽廢、保舉請暫一舉行、俟其考成、以兩者相較、若科舉得人而保舉少、則請仍行科舉、若保舉得人而科舉少、則請專行保舉、上從之、保舉命下、社局主盟集同志謂曰、若止行科舉、吾等三年始得一出身、若薦舉、可歲歲登進矣、乃傳示各邑社長、推擇經濟博達之士、能興道致治者、與才力智術、能排斥奸黨者、彙造一冊、又馬君常與天如言、宜用忠諫後人、乃坐名保舉、知名者新建陳弘緒、桐城左光先、無錫高如麟、南昌萬六吉、莆田黃以陞、吳門徐鳴時、張世偉、崑山陸遜之、太倉沈綿應、黃翼聖、宣城沈壽民、

永州袁耀祥、桐城阮之鈿、慈溪秦俊德、山西辛全德、關中秦所式、臨川曾斌、九江李茂實、武陵朱常澗、陝右張兆熊、江右朱由斌、懷寧蔣臣、皆登啓事、一時咸稱得人云、

(1) 案、國權謂崇禎八年六月壬午、河南巡撫玄默劄籍、仍下獄議罪、八月丙午、申保舉之令、計六奇明季北略十一河南流寇充斥條、謂代玄默者陳必謙、文秉烈皇小識四亦謂八年三月、逮河南巡撫兀默以陳必謙代之、此云河南巡撫、當即陳必謙(2) 疾、程本且本師本作寢(3) 民既安生、師本且本作民生既安(4) 能、程本師本無下則字、且本無(5) 在所、原互錯、據程本且本師本乙改(6) 一人下、原有一字、據程本刪、師本且本此句作如本人一有過犯(7) 傳、原誤溥、據程本且本師本改(8) 偉、程本且本誤煒、上徐鳴時一人、師本無、案、張世偉、字異度、吳縣人、著有自廣齋集行世吏部開選保舉人員姓名、奕琛取復社黨目查對、反居大半、以告體仁、體仁大駭曰、為之奈何、奕琛曰、聞上急於程效、將來保舉一途、定於期年考成、信否、體仁曰、然、奕琛曰、社局諸人既得任職、自能有力進身、是入臺省者、較之兩榜反捷、爾時參論吾黨必力、患尤剝膚、是行保舉、適以自戕也、體仁愕然曰、念不及此、然則併廢行取何如、奕琛曰、恐未易行也、體仁曰、言路言之、內閣票之、何患不行、奕琛乃詣韓城、為述體仁語、薛國觀曰、此事大乖物情、恐衙門與吾輩合者、亦無人敢任、若異己者知所由來、必萬矢叢集矣、以思

所見、莫若令皇上青衣布袍、齋居武英殿、因火星逆行、下詔求言、許民直陳時政闕失、納奏應行事宜、以弭天變、乃募一有學識秀才、或博聞強識布衣、授之意旨、或繕疏與之、令其出名上奏、士民不識忌諱、言縱戾常、無關理亂、乃假借明旨行之、且錄其人、破格尊顯之、以示必行之意、斯時即舉朝議論紛紜、政地與言路皆不任咎矣、奕琛大喜、乃與體仁密授意閣吏王藩、使四出求其人、如所書云、

(1) 選、師本日本作送 (2) 天變、程本作天災、師本作災患 (3) 且、原作具、日本同、據程本師本改

丙子春二月、淮安衛三科武舉臣陳啓新奏、爲獨違時尚、直布痴衷、泣陳天下大病根、力復祖制、以破群迷、急解民厄、以平諸亂、果世登上理、臣死有餘榮事、恭維皇上屢旨清問、與聖人之疇咨無異、臣生逢明聖、曷任感荷、而無如世道日阱、時切隱憂、何也、顧今日文明盛矣、制度詳矣、臣下未見有巨慝權奸者、何以日阱、臣止謂專尙文辭、而鮮實行、因循苟且、而制度廢弛、臣下工射利、徇情面、誤國殃民、尤甚於奸慝矣、此臣習賈誼之痛哭流涕、蓋已有日、自傷卑賤、不敢遽言、尙冀有能言之者、乃兩奉聖諭、竟無一人告者、何也、因諸臣迷於情利之局、故不能作局外觀、具局外語也、臣旁觀甚清、所以不敢不言、皇上宵旰之勞、拊髀之思、便殿之居、責躬之諭、減膳撤樂、且欲與行閒共甘苦、是上有堯舜之君、而群臣悠悠忽忽、不能仰承宣布、諺云、有君無臣、詎不信然、臣寸心莫遏、所以不忍不

言、竊謂今天下有三大病根、摠成一迷局、一曰以科目取人、是病根也、今日文章之士、孝弟與堯舜同轍、仁義與孔孟爭衡、及其見於政事也、恣性情、任喜怒、所云孝弟仁義、竟成紙上空談、計其幼學之時、莫不謂讀書可致富貴、莫不謂讀書可榮身親、迨歷任既久、又莫不謂讀書可卜封蔭、自此三者而外、誰復思有君而我致、有民而我澤者乎、臣所以效賈誼之痛哭流涕者此也、則亦何賴以科目取人哉、一曰以資格用人、是病根也、伏考國初、曾以典史馮堅任僉都、以貢士彭友信任布政、以秀才曾泰授尙書、何嘗以資格限之、嘉靖中、猶三途並用、今則惟尙進士一途、貢生官止於貢、舉人官止於舉、界限既分、苑枯遂判、貢生明知前途無路、取如是、不取亦如是、毋寧多取以爲身家計乎、舉人明知歷任有限、貪如是、不貪亦如是、毋寧多貪以爲子孫計乎、若進士、則朝廷之爵、皆其砧几上物、天下之官、皆其朋比之人、噓成一氣、打成一片、賢否莫問、賄路通行、誠有如聖諭所云、明旨可藐、暮金自如者、臣止就見聞一二言之、如禁肩輿、未嘗不許其乘馬、長安道上、數日前、猶半肩輿、卽此細事、尙不之遵、況值財利之大者、安望其不藐旨而趨之乎、如禁交通、未嘗不處其違玩、而諸臣私第、誰無親故徑竇居閒、輦轂之下、尙不之遵、遠方外郡、又安望其恪守乃職、而不入暮金乎、設有一二清廉自愛者、且其目爲矯、共讐其異、其誰肯爲孤注之擲乎、臣所以效賈誼之痛哭流涕者此也、則亦何取以資格用人哉、一曰以推知行取科道、是病根也、舊制、給事御史、以進士舉人教官等項除之、後又以行人博士中書、及行取推官知縣充之、弘治中、又以助教教官兼選、嘉靖中、以

舉人歲貢士監生一體考選、萬曆初、猶令行取推官知縣、進士三分、舉貢一分考選、今則惟以進士考選矣、夫推知選科道者、謂其諳練世務、熟識民情耳、審是、則中行評博當不入選矣、既中行評博可選、是亦無用其諳練熟識、則推知可以舍矣、蓋推知行取科道、無異民間窩訪作奸之輩、謀入上司衙門、名爲驟雨者、夫推知何仇於臣、而臣必欲塞其向往之路哉、蓋爲民怨之而不敢言也、民怨不敢言、以致其爲盜也、今之爲知縣者、既失愛養、復加暴征、暴征不已、復益贖、贖不前、挺而立斃者不知凡幾、不勝刑撻、迫而走險者不知凡幾、挺政兼殺、酷以濟貪、溝壑中皆瘠民、庖厨中盡肥肉、民之憔悴於虐政、未有甚於此時者、以皇上之行仁、有司從而扞格之、奉蠲停而追比如故、禁火耗而勒索愈加、使民積蓄無餘於三冬、罔嗟剝肉之苦、新絲已賣於五月、莫窺敲骨之苛、民既畏官如狼虎、畏政如水火、安得不畏世如陷阱乎、所以然者、良由行取爲科道也、彼受任時、先以科道自居、謂異日吾能舉劾人、能榮辱人、及至地方、上司竟以科道相待、謂彼異日可舉劾我、可榮辱我、結交可爲膀臂、投契可爲奧援、敬畏之不暇、又何敢忤其意、制其行乎、故虐民剝民、顛倒民、凌斃民、無不肆其所欲、可憐蚩蚩之氓、叩關無路、赴愬無門、舉疾首蹙額而相計曰、與其罹罪而速死、毋寧逃亡而偷生、與其立爲杖下鬼、毋寧且爲釜中魚、於是咸以從盜爲得算、遂倡之和之、而半中原皆盜矣、臣所以效賈誼之痛哭流涕者此也、若夫推官、掌一郡之刑名、寄巡方之耳目、權能生殺人、勢可威逼人、加之自恃爲科道、人待爲科道、而不擅勢橫行、要挾有司、凌虐僚屬者有幾、不縱容衙役、窩訪

市訪、報睡毗、圖厚利、害平民者有幾、驕恣如是、下民又能安其生乎、民既不能安其生、又能已於亂乎、則又何取於以推知爲科道哉、夫國家受此三大病根、依然章句日聞、黨與日盛、苛暴日加、羅網日密、惟利是好、非情不行、竟成一迷局、舉世盡醉夢中而不醒矣、每見青衿中、朝不謀夕者有之、一叨鄉薦、便無窮舉人、及登甲科、遂鍾鳴鼎食、肥馬輕裘、膏腴遍野、大廈凌空、此何爲乎來哉、嗟嗟、財聚則民散、財散則民聚、今之財、苟其在下也、今日發內帑、明日輸加徵、猶有人入之日、卽其在上也、今日發內帑、明日發京庫、猶有出之之時、獨至侵奪于縉紳之家、則何日得其出而流通於世乎、不獨不出也、彼且產無賦、身無徭、田無糧、塵無稅、其所入正未有艾也、卽或有時出焉、非買科策、卽買田宅、買陞轉、而出一無不獲百者、況出而世世買科策、則世世以一獲百矣、夫天下有數之財、豈能當此永聚不出、而使永獲入者乎、又何怪乎朝廷匱、閭閻空乎、人謂漢之財耗於匈奴、唐之財耗於藩鎮、宋之財耗於納幣、皇明之財耗於九邊、臣謂非耗於九邊也、耗於諸縉紳也、因而吏胥效之、舞文作弊求獲也、頂首遂至數千數萬金、隸卒效之、朋奸助惡求獲也、頂首亦數千數百金、因而將士效之、求獲於偷安蠶食、兵法壞矣、而將士以疲、官旂效之、求獲於乾折盜賣、漕法壞矣、而官旂以窮、商灶效之、求獲於夾帶私販、鹽法壞矣、而商灶亦困、何也、凡有敗露、仍諸縉紳治之、有罰贖、仍諸縉紳收之、以故富者貧、貧者怨、怨極思亂、而盜起由是也、今日諸臣、又求獲在全身保家、而欺罔由是也、今日兵將、求獲在乘機擄掠、而削弱由是也、上好下甚、薰蒸習染、日趨

日極、若病根不痛加改除、迷局必不能破、盜賊必不能息、盜賊不息<sup>13</sup>內而元氣受傷、奴虜必不能滅、奴虜不滅、外而神氣再虧、勢不至舉皇上之天下、斷送於章句腐儒之手不止也、臣嘗欲喚醒衆人醉夢、急救民生倒懸、故狂言無忌、然臣言出口、臣身必死矣、以拂人所好當死、以觸人所忌當死、設邀皇上殊恩、即待臣以不死、而舉天下何地無推知、徧朝堂何地非進士、聚衆之唾、可以沒臣之身、萃衆之口、可以銷臣之骨、與其死於嫉妒之手、不若就皇上刑西市、以爲天下後世出位妄言之戒之爲愈也、再陳<sup>14</sup>治病之藥有四、一曰速停科目、以黜虛文、一曰速舉孝廉、以崇實行、一曰速罷推知行取、以除積年恣橫之陋習、一曰速蠲災傷錢糧、以蘇累歲無告之顛連、停科目、非臣創論、太祖常行之、見於通紀可考、今復祖制而行之、則諸臣不至堅立黨與、固結情面、而世臻上理矣、舉孝廉、行超擢、亦非臣臆說也、列祖常行之、昭昭布在方策、今遵祖制而行之、則人盡安分、不但進士咸奮爲名儒、即貢舉亦不自畫於不肖、而世臻上理矣、至推知一罷行取、則推官自居爲推官、知縣自居爲知縣、道府可制推知、推知亦畏道府、從前驕恣之習、難以復逞、去其害民者、則民生足矣、民生既足、盜自寡助、盜寡勢孤、不招自歸、盜息民安、而世臻上理矣、目今四郊多壘、庚癸頻呼、蠲停錢糧、恐未易言也、然臣有說焉、二祖開基、兵農合一、令軍什三備操、什七屯糧、食土屯、力守衛、萬世善經也、使長守不變、何至募兵代衛士、而以輸將爲年例哉、臣常論國家之患、半在文士、半在募兵、兵不耕而食、失意則譏、殆可畏焉、臣竊思今日不急復屯政、天下終無寧日也、蓋財斂於中、上與下

交困、免加派、兵無以餉、行加派、民不聊生、非屯莫救也、猶記萬曆四十五年、張抱赤上興屯書、灑灑將二萬餘言、深爲屯政碩畫、臣怪當日何寢閣不行也、倘皇上加意於此、幸緩臣須臾之死、容臣繕本另進、雖時異勢殊、稍加損益而行之、實天以久塞之泉源、待皇上疏通、成中興不世之美政也、迨至餉充矣、兵足矣、然後訪求大將而任之、耕漁屠釣中、寧無伊呂韓岳其人、爲皇上治亂持危、滅虜剿寇者、緣病根日深、迷局日固、豪傑卽出、而掣肘者多、雖超乘之材、將安所施、又何怪乎裹足而不至哉、雖然、將亦難言之矣、仰鼻息於文臣聽提掇於下吏、因之文官視如奴隸、故三軍遂玩若匏瓜、威望既莫重於平時、號令何能施於對壘、故虜寇之來、風聞先潰而莫制、虜寇之去、偵望狼狽而不前、惟事掠拾餘資以滿壑、執殺難民以杜口、此兵之第一能事、以致民之畏兵、甚於畏盜、生靈塗炭、幾高白骨之山、郡縣凋殘、已見金甌之缺、今茲皇陵震動、湯沐受傷、皆由任將不專之所致也、臣以爲當徵求將才、既得其人、卽當禮幣聘請、凡軍國重務、悉以委之、予以尙方、便宜行事、有司害民者、亦俾處分、罷一切監制、令天下曉然知皇上不憚屈己重將、以削平禍亂也如此、知皇上以除民賊之任、亦付之大將、大破陋習、以救民也如此、三軍亦知天子之重其事、而降禮于我將也如此、軍氣自壯、兵威自肅、行見壘改觀、旌旂變色、此一役也、民怨可平、寇賊可化、予以慰皇上上恫下疚之懷不難矣、伏望皇上審時酌理、毅然獨斷、毋徇群工而滋惑、毋因遊談而廢言、臣雖死當愉快也、臣家世淮陰、八歲喪父、母劉苦節三十六年、紡績育臣、倖邀武科、是臣有母尙未終養、臣年四十、

尙未有子、有母無後、遽以死言、是天下之大不孝、無過於臣者矣、但臣不言、知必無言者、臣及今不言、後雖言有無益者、故不恤冒死盡言、臣雖死、知皇上必憐而存恤臣母、卽屬臣養不虧、臣雖死、知後世必有以臣爲忠、卽屬臣後未斬、臣不爲勢阻、不爲威惕、捐糜瀝血、以上告聖明、臣曷勝悚惶待命之至、奉旨、開科取士、原屬典制、其中豈無才能、何可盡罷、舉孝廉、罷推知行取、與求將興屯各款、該部確議奏奪、張抱赤屯書、着卽進覽、陳啓新敢言可嘉、着授史料給事中、如遇不法之事、許直陳不諱、各衙門一體相待、若有排擠輕侮者、重處不貸、啓新旬日再疏進張抱赤與屯書、得旨留覽、

(1) 維、程本且日本師本作惟 (2) 計、諸本皆同、明季北略十二陳啓新疏三大病根條作蓋、較順 (3) 堅、諸本皆誤經、據明季北略國權崇禎九年二月壬辰條改、案、馮堅、明史有傳 (4) 以舉人以下十五字、原無、程本且本同、據師本補、案、此十五字、似有意刪節而未得當、今補回 (5) 知縣下、師本有以四分爲率五字 (6) 考、程本師本無 (7) 奉、原誤俸、據程本且日本師本改 (8) 寄、原誤掌、程本同、據師本且本改 (9) 有幾下、原衍有字、程本且日本師本同、今刪 (10) 何爲乎、程本脫爲乎二字、師本作胡爲乎、案、明季北略與師本同 (11) 使、原作便、且本同、程本無、而入下有百字、據師本改 (12) 吏胥、程本且日本師本互錯 (13) 朋、原作用、程本同、師本作明、據且本改、案、用、明、疑俱爲朋字之訛 (14) 數千數百、程本作數千數萬、疑誤、師本且本作數百數千、惟師本無下金字 (15)

盜起由是、且本自作此、程本作盜賊由起 (16) 盜賊不息、原脫、據程本且日本師本補 (17) 陳、原誤臣、且本同、據程本師本改 (18) 居原作知、且本同、據程本師本改 (19) 長、原作常、且本同、據程本師本改 (20) 執、原不成字、蓋執字之形訛、程本且日本師本作執、從之 (21) 甌、原誤毆、據程本且日本師本改 (22) 聘請下、師本有舉行推轂一句、案、徵求將才三句、國權作徵求真才、聘請登壇、行推轂禮、下文詹爾選疏有甚而欲大將登壇句、程品疏亦有誰可登壇、誰可推轂句、紀略行文、稍不相稱 (23) 旂、程本師本作旗 (24) 死言、程本互錯

廣東道御史詹爾選題、爲敬循職掌、明剖是非、以定人心、以塞亂源事、略曰、高皇帝欽定御史職掌內一款、凡學術不正之徒、上書陳言變亂成憲、希求進用、或才德無可稱、挺身自拔者、隨卽糾劾、以戒奔競、近者陳啓新一疏、亦或從憤激中來、然何至論及制科與推知、貪汙不肖、一至於此、甚而欲大將登壇、以尙方劍殺有司、創此不經之論也、高皇帝自設制科以來、迄今三百年、從無廢弛、間有大故、次年卽爲補行、豈不偶行徵辟、而畢竟以制科爲正、孝廉爲副、以故名卿碩輔、皆於科目中得之、士亦未嘗盡負國家也、故謂科目皆賢、固偏僻也、謂盡無賢、豈非誣指乎、卽謂推知有不肖、誠確論也、謂皆不肖、豈遂爲公論乎、臣僚如此其衆矣、皇上進一啓新、以愧勵群臣、豈足爲異、但天下之爲啓新者不少、恐此途一開、四方傳食之徒、孰不欲富貴、孰不蓄睡眈、裹糧而至者、不知凡幾、囊空望香、作何

散遣、不審皇上何以處之也、爲今之計、願皇上立召九卿科道、令啓新覲面敷陳、罄其底蘊、使廷臣識其言論手采、果有他長、使天下知啓新特達之遇、本不遇然、庶幾懷挾私意、希圖躐進者、皆有所惕而知畏、則人心漸定、而亂源亦可塞矣、奉旨、陳啓新以敢言特擢、奉旨甚明、詹爾選何得又行瀆擾、姑不究、

(1) 是、原誤事、且本同、據程本師本改(2) 科目、原脫目字、據師本且本補、程本作制科、下辭字、原作論、且本同、據程本師本改、案、此二句、孫承澤山書九陳言求進條與師本同(3) 之、程本師本作此、山書同

詹爾選疏入、陳啓新具疏辭職、通政司格不上、啓新再疏納言違背祖制、阻抑言路、自擊直鼓以聞、奉旨、陳啓新着恪遵供職、不必因言求退、奏內下馬紅牌不遵、殊屬玩肆、着嚴行申飭、詹爾選再疏參啓新、嚴旨着緹騎拿送獄、閣臣揭救、奉旨、奏內事情前旨甚明、詹爾選何得借端逞臆、明屬恣肆欺罔、本當重究、念閣臣申救、着錦衣衛放了、從重議處、

(1) 着、原作差、且本同、據程本師本改(2) 究、原作處、據程本且本師本改、案、本當重處、謂姑不重處、而下云從重議處、此處字疑誤、重究、蓋謂下詔獄治罪

詹爾選奉嚴旨後、社局主盟相聚而謀、謂科目中人參論啓新、上必以爲忌嫉、必不見聽、反加重處、今後參論啓新、必須科目以外人乃可、未幾有候選府庫大使程品一本、爲乞斥虛誕、以責實效、以全國脈、以維世道事、陳啓新以三科武舉、建言而得吏科、臣不勝舉手加額、以下臣而沐皇上之知、立賢無方之特典也、及讀其疏、乃知憑逞胸臆、議論則多、懼成功之或少耳、臣反覆而誅啓新之心、無非迎合聖意、以邀高位、臣試言之、啓新之參科目、非參科目也、是傷國脈也、非參科目諸臣、參孔孟也、古之取士、歷朝有法、唐詩、晉宋漢選舉孝廉、至我朝則以科目、若科目可罷、正所謂居今之世、反古之道、菑必及其身矣、有如皇上明旨、科目取士、原屬典制、其中豈無才能、豈可盡罷、此卽皇上敬天法祖、睿知聰明、乃知其爲虛誕、但不忍塞其敢言之路、無奈其蘇張之口、熒惑聖聽、是以皇上不加之斧鉞、而反加之以顯秩、將欲率天下之人、棄仁義而務口給也、方今四郊多壘、有九邊、有外夷、有四方流寇、有各處驕兵、豈一登壇所能遙制之乎、臣視皇上遣督師邊臣、微寓此意、而啓新不知也、皇上若欲專效、誰可登壇、誰可推轂、就令啓新舉何人以副皇上側席之思、欲罷推知考選、此又不通之論、推知貪濫者固有、而耿介者亦不少、每年有按臣入境、復命之舉劾、有年終風聞、又有大計之黜陟、法網不爲不密、賢者自應考選、否者自應擯斥、皇上自有睿鑑、豈容混淆、若云與中行評博並選、此三百年來不易之定典、乃爲至公至正、此卽三途並用也、官無大小、止憑才守、然以進士才守論之、百十之中有一二不才不肖、以舉貢才守論之、百十之中有三四不才不肖、以監儒言之、守

有餘而才不足，以吏員言之，才有餘而守不足，此資格所限，倘一概考選，則人人思爲賢良，誰肯自暴自棄，甘心自處於污下哉，又曰：章句之士，無益於世，臣累舉數人，如文天祥、王守仁、于謙、鄒元標、孫不揚、郭子章、楊漣、左光斗諸人，皆表表古今，炳耀史冊者，此往哲之可鑒，至於今之在朝在野諸臣之不敢舉者，恐蹈附會線索，獻譽邀寵之謂也，又曰：一登進士，則家計百萬，此在淮言淮，乃一隅之小見，非天下之通論也，以臣廬陵言之，如甲辰科蕭象烈，登賢書二十年，家徒四壁，一縣如此，他縣可推，又曰：推知貪酷小民，日以鞭扑爲事，惟利是圖，情面自徇，種種描寫，何異於戰國諸人乎，他不可知，如原任吉安知府毛堪，廬陵知縣陸康稷，此二臣者，才比王佐，守並夷齊，誰不知之，亦誰不念之，啓新准人也，知准之推知而已，或有所以激之也，不然，焉能如孔聖之席不暇暖，過化存神，而知天下之政乎，啓新又恐誘儒之說不行，又杜撰有君無臣之謠，以欺誑皇上，夫謠者，遍京內外，誰不聞之，而臣獨不聞，不足取信，乞敕五城御史，查訪有無是謠，卽知啓新之無往而不虛誕也，充啓新罪科目之念，不至於焚書坑儒不止也，充啓新罪推知考選之念，不至於舉天下之官，不盡屬啓新之黨與不已也，啓新極口誘儒，又恐諸臣之傾陷排擠也，而以一死箝天下之口，又何異於立監止謗也，夫給事何官，啓新何人，而可以遽授之乎，禮曰：爵人於朝，與衆共之，孟子曰：左右皆曰賢，未可也，諸大夫皆曰賢，未可也，國人皆曰賢，然後用之，今不知左右大夫國人皆曰賢否，而皇上用之，是孔孟不足法也，且天下有道，則庶人不議，啓新之說可行，則凡稍有一知一識

者，無不效啓新言，奔趨闕下，恐不稽之言汗牛充棟，而皇上又豈能一一遍觀之乎，又豈能人人而與以啓新之顯秩乎，其勢必置之高閣，則此輩又何以解散乎，不竄入流寇作頭領，必奔走異域，泄我情形，亂天下者，必自啓新始，且臣以啓新遽受此官，必有奇謀陳之皇上，以爲國爲民爲己任，不謂嘿嘿無言也，卽如通政司以不封啓新之疏，開罪啓新，首參之，是啓新借此爲洩忿報怨之地耳，焉得謂之侃直乎，及至詳閱啓新屯田一款，在趙充國言之詳矣，今啓新興言及此，想亦素經籌畫矣，若改啓新爲屯田之官，聽其撥可以屯田之區若干，額給牛種若干，費金錢若干，得子粒若干，計其利國之多寡爲啓新陞補之崇卑，則朝廷受得人之益，而啓新亦可以報朝廷之殊恩矣，臣之參啓新，不但得罪於啓新，亦且有干於皇上，臣豈不知異語取容，危言死忠，願皇上赫然震怒，以臣吏員下品，敢逞螳臂，敢逆龍鱗，斬臣頭以謝啓新，以遏亂萌，然後改啓新爲屯田之官，以責實效，濫諭大小文武臣工，以全國脈，以維世道，則臣死之日，猶生之年也，治平之本，在大經大濟，而不在小忠小信，流寇則解散，而不在征誅，奴酋在善守，以示其不敢犯，而不在窮兵黷武，以招其來，以今日之急務，在省刑薄斂，憐才用人，此皇上自有宸斷，廷臣自有碩畫，又非區區小臣所得而言也，伏乞皇上寬而有之，奉旨，陳啓新擢用，奉旨，查明程品何得逞臆攪擾，着刑部提問具奏。

(1) 案，府庫大使，李遜之崇禎朝紀事三無府字，府庫大使之職，不見明史職官志，府字疑衍 (2) 科，原誤部，程本同，據師本且本

改(3)此、原脫、據程本且本師本補(4)百萬下、程本有少則十萬一句、師本作少亦不下十萬(5)自、程本師本作是(6)陸、原誤陳、據程本且本師本改、案、陸康稷、萬曆四七年任廬陵知縣、見康熙縣志一(7)聖、程本師本作孟、疑誤(8)授、程本師本作受(9)大、原誤小、據程本且本師本改(10)則、師本及程本朱校作在(11)在、程本作則(12)案、具奏、崇禎朝紀事作擬罪、文義較明

啓新入垣、同官交棄之、卽公會無與接談者、科中公務、亦絕不與聞、啓新心恨甚、故經年無所建白、時人以爲恥、啓新不得已、多言細事以塞責、有色服穿朝、御街走馬、護日不敬三疏、皆得溫旨、又一日、啓新復疏言、燒密燒龍、時社局諸人群聚而嘲笑之、因檢宋書、紹興乙卯大旱、禱雨禁屠、諫議大夫趙霈上言、自來斷屠、止禁猪羊、今請併禁鵝鴨、胡致堂笑曰、可謂鵝鴨諫議矣、嘉定中、察院羅相言、越州多虎、乞多方捕捉、同臺正言張次賢言、八盤嶺乃禁中來龍、宜禁人行、太學諸生遂有羅擒虎、張尋龍之號、今日啓新正同此類、有以其事榜之六科廊者、啓新恚甚、而不得主名、乃無如之何、

(1)案、所謂宋書、乃田汝成委巷叢談也(2)請併、原誤倒、據程本師本乙改、且本脫請字(3)八盤嶺、原誤人盤嶺、人字師本且本同、據程本及委巷叢談改(4)號、原作說、據程本且本師本改

某月考選、都諫姚思孝、孫晉皆不與啓新商酌、啓新遂具考選預定疏、參江南行取知縣陸自嶽訪單公舉翰林四字、遂奉嚴旨、自嶽謫外、自嶽乃馬君常薦舉、張天如門下也、自是以後、同垣愈絕之、比啓新轉刑科右、都諫宋汝與之同署、則與啓新言醫藥卜筮事、娓娓不倦、啓新乃喜、謂掌科親我、未幾、主垣局者爲都諫徐耀、則曰不可絕之過甚、遂反前人所爲、遇事與啓新同議、啓新喜甚、詮部缺、耀不遽坐名、對衆以姓名圖置瓶中拈之、得行人張一如、啓新在坐預定、不復疏糾、蓋情分稍投、不忍立異也、啓新喜與人交接、健談、對客輒至移晷、議或投契、多自訴少時連遭、不少隱諱、一日、同垣俱以公務他出、啓新呼胥吏共語、語久款洽、謂若輩即古之掾吏、皆有出身之階、我少時亦嘗從事此中、若輩能奉公守法、我官卽若官也、自後人始知啓新昔嘗爲書手、社局聞之、遣班役往淮安、訪問啓新履歷、既得實、使人疏糾焉、

(1)案、考選推知爲翰林之例、始於崇禎七年、見明史職官志二、此云公舉翰林、乃非異事、據訪單定昇遷、亦常例也、見選舉志二(2)預上、師本且本有雖字

丙子八月、北兵入犯畿輔、啓新輪守厚載門、時有官生楊光先、欲繕疏參溫體仁以及啓新、見啓新坐門、責以不請纓而守門、啓新慚、答言一死無益、光先曰、當今冠進賢者、從寒窗攻苦得來、戴兜鍪者、由先世汗馬得來、公徒以口舌得官、既荷殊恩、當有異報、乃憚一死

耶、拂衣欲出、啓新揖之入、光先復言、前不當受職、既受職後、國計民生、兵馬錢糧、絕不侃侃直言、而乃今日一疏、色服穿朝、明日一疏、御街走馬、後日一疏、護日不敬、豈未爲官時、天下便有許多可痛哭流涕處、一爲官後、便人人遷善改過、事事無一可言耶、啓新不能答、光先日、公一味真方假藥、恕己責人、尋人小疵、搆塞大事、異日者被聖明看破、做不得明哲保身、爾時思余言晚矣、未幾、光先昇棺大明門、擊直鼓、疏參陳啓新以及首輔溫體仁、奉嚴旨逮下獄、

(1) 厚、原作後、且本同、據程本師本改、案、厚載門之名見大唐六典、由來久矣、後字疑誤 (2) 走、程本師本作騎、案、上文作走 (3) 塞、原誤突、據程本且本師本改、下大字、師本且本作了、案、李清三垣筆記上錄光先語、亦作了 (4) 余、程本師本作予、三垣筆記同 (5) 棺、程本師本作厝、中本原亦同、而校改爲棺、且本徑作棺、從之、案、厝字雖似有自、不如棺字之爲通順、又明季北略十三楊光先參陳啓新條有昇棺自隨之句、作厝不妥

科印章正宸疏言、新安所千戶楊光先、草莽介士、妄干朝事、已屬不經、且以不祥之器、輕污禁地、滔天之罪、可勝誅耶、蓋條陳參劾、亦常事耳、何須作此怪誕之爲、第據其所論陳啓新與輔臣溫體仁、則有未可盡非者、啓新以胥役而受特恩、自當始終盡言、至死無二、何以尸位年餘、一籌莫展、啓新自負耶、抑忍于負皇上耶、臣意啓新原是未嘗讀書之人、寧解致君澤民之道、今試舉其所奏屯漕諸大政、一

一面問而詰以舉行、其能之否、拾人之唾餘、轉眼而失矣、在皇上置之諫垣、無非欲鼓舞廷臣、以激爲勸耳、而沐猴天垣、遺羞名器矣、祇如繁縷之大可惜也、至輔臣溫體仁云云、得旨、陳啓新自破格特用後、軍國大事、竟無一言陳奏、着降二級、閏四月廿七日、啓新復具微臣名節、幸蒙睿鑒疏、自請褫革、

(1) 年餘、原誤倒、據程本且本師本乙改 (2) 詰、原誤計、且本同、據程本師本改 (3) 云云、師本作須錄完、案、師本三字、顯非本文、疑即撰者按語

陸文聲、字居實、少讀書外父貢士周文潛家、時張受先亦從文潛受經、兩人同塾得交、後受先成進士、文聲援例入雍、錢肅樂來宰婁東、于諸縉紳中、獨信受先、言聽計從、行鄉約、立約正副、博採人言、分別淑慝而勸懲之、政聲籍甚、文聲聞條陳地方利病、肅樂亦採之、時有一陶姓惡人、所爲不法、受先惡之、列其惡款、欲達當道、偶置硯下、文聲竊視、漏泄其事、陶往張自辨、受先知文聲所爲、因大怒、文聲央楊姓老儒、同至張所解釋、受先不顧、竟將文聲褫扶、老儒厲聲責受先、乃止、時丙子三月也、文聲不堪挫折、忿恨甚、因星變求言、乃哀集受先交通上官、把持武斷諸事、繕疏走入京、期登聞上奏、逢鹽卿王時敏家人、引之進謁烏程、其黨人自韓城德清外、又有四任子焉、一爲朱泰藩、文懿公賡之後也、一爲許曦、穎陽相國國之後也、一爲袁文樞、文榮公煒之後也、一爲王時敏、文肅公錫爵之孫也、四

人皆以才識通練、爲相君所倚重、時敏與體仁又以兩世通家誼、恩禮較他人尤厚、時太倉望族、瑯琊、太原、清河稱鼎峙、迨天如倡立復社、門牆熾盛、邑中若汝南、高陽、河南、焦國諸子弟、皆賢居門下、時敏之子挺、揆、撰、甥吳世齊、世澤、皆美秀能文、獨外壇坫、兩張以其立異、意頗少之、延陵世眷有家僮張堯者、能文章、少受業于趙自新、兩張收之爲弟子、主人不之許、使之供隸役、職抄謄、堯恥之、避之南張所、延陵拘繫其父母、南張爲請甚力、事雖解、而使執役如故、堯不能堪、舉家徙之武陵、吳來之處之客席、未幾、兩張囑之入泮吳江、延陵控之當事、求正叛主之罪、卒不勝、久之、兩張囑州守周仲璉携來之手書、造延陵進贖金、爲堯削隸籍、延陵壓於州父母、勉從之、而內不能平、時敏家法素嚴、僮奴千餘、深以爲恥、而竟無如之何、由此蓄怨復社久矣、文聲一見時敏、告以入京之意、前張堯事南張主之、故時敏啣受先甚於天如、乃曰、相君仇復社、參之正當其機、但相君嚴重、不輕見人、而主局者惟德清爲政、宜就商之、因導之奕琛所、文聲面進疏稿、奕琛卽袖入示體仁、溫意中不知有受先、且素無嫌怨、乃曰、誰爲張采、不過三家村兔園學究耳、烏足瀆聖聽、今朝廷所急者張溥耳、能併彈治溥、當授官如啓新也、奕琛出、爲文聲述相君語、令削艸更進、閱數日、奕琛復述相君言、張漢儒許錢瞿、已遭緹騎、此案遽列名、當併得逮、江南一時輿兩大獄、恐聳上聽、反至起疑、不若借端籌餉、歷陳奸弊、末後指及黨局、姑下地方官查覆、俟錢瞿獄竟、乃具第二疏、指名究處耳、袖出疏稿不文聲、文聲遂疏爲國賦萬難議緩事、奉旨、三吳通餉、悉由奸胥攬解、分派

侵吞、及花詭私占、屯田引稅、優免冒濫、水利阻撓、衙蠹豪奴藉勢詐害、俱關地方重大情弊、着該撫按逐款詳查、明白奏奪、至太倉復社、結黨恣行、把持武斷、提學臣所職何事、致士習囂橫如此、着倪元珙一面查究懲飭、仍據實回奏、俱不許隱徇取咎、

(1) 陶下、原有人字、師本旦本同、疑衍、據程本刪、下辨字、原作解、旦本同、據程本師本改、參見下一段校記八(2)朱、原作沈程本師本同、據旦本改、案、沈字或原本卽如此、而下云文懿公廢之後、則當姓朱(3)清河、師本作武陵(4)案、挺揆一人曾入復社參見校錄、此云挺等獨外壇坫、稍欠確切(5)南、原誤兩、旦本同據程本師本改、案、下文云、南張爲請甚力、又云、前張堯事南張主之、作南是(6)武陵、程本有朱校、改爲松陵、案、下文、吳來之處之客席、又云、入伴吳江、程校似是、然所謂武陵、當非湖廣之武陵、本書卷上云、武陵茗書之間爲澤國、程校非是(7)主之、中本原作之一字、而校改爲己、旦本徑作己、疑中本之上脫主字、原校非是、據程本師本改(8)奴、程本師本作僕(9)關、原脫、據程本日本師本補(10)按、程本師本無、疑脫

復社奉旨後、天如使人謂文聲子陸茂貞曰、忝在同里、與尊君素昧平生、若因他人負罪、而無故加兵、是城火池殃也、如陰隲何、茂貞因疾赴京、爲文聲述天如語、文聲默然不答、茂貞進曰、復社黨與半天下、獨不爲子孫計乎、文聲乃許之、時社中夏允彝、陳子龍、吳克孝

皆候選在京、謂陸必爲浙人願使、莫若說之就選、出之於外、社局始得安、乃釀<sup>②</sup>金爲部費、使擇善地員缺、文聲恐有報復、克孝又文聲中表弟也、爲之盟誓以堅之、始允就選、丁丑年某月、茂貞北歸、天如偕之謁蘇松道馮元颺、郡知府陳洪謐、言文聲已就選、無復更有後參矣、達之學臣倪元珙、謂可具疏回奏、元珙言、須得生徒主名數人、然後可以塞請、否者恐得罪詞臣、徐汧謂元珙曰、社中多傑才、科名恒出其中、但使社局得無恙、公祖目前雖暫屈、後必大伸、元珙許之、乃據府道申文具疏回奏曰、臣受命督江南學政、奉有復社一案、夫結社會友、乃士子相與考德問業耳、此讀書本分事、不應以此爲罪、陸文聲挾私憾、瞞<sup>③</sup>譎<sup>④</sup>抵欺、故奏事不以實、熒惑上聽、臣昧死據實以聞、其所指名、以事外廢生顧敏思、陶鎔、江德淳、董士鏞、錢渡等上奏、有旨責元珙隱徇、着降二級調外任、元珙既外轉、繼任督學者爲山東元璋、時社局諸公疏參溫相無虛日、奕琛促文聲更上第二疏、當以陳啓新例授御史、文聲不應、佯言他事以謝、時虜兵已出口歸巢、乃疏劾祖大壽虜至不能力戰、虜退但言尾追、又薦劉澤清勇敢善戰、德州賴之保全、原任大學士馮銓捐家資募士、固守涿州、其功不細、均應叙錄、亡何、臺臣姜思睿疏參體仁、兼進舊學臣黎元寬刊揭、內有體仁父子囑託私書、幾起上疑、體仁力辨<sup>⑤</sup>、而懼不能安位、再授指文聲參元寬進學冒濫、宜行追論、體仁因邀溫旨、復入直、未幾、文聲選湖廣永州府道州吏目以去、其前參復社一案、有旨下元璋再勘、會璋丁艱歸、齊人張鳳翮代之、延臨川羅萬藻閱文、學政爲萬藻一手握定、復社事再奉嚴旨、鳳翮卒置不覆、奕琛計無所出、左右有言、前泗州

衛弁李應實以逋運負罪、居戶部繫、奕琛使人授之指、借條陳漕政利病、爲周之夔<sup>⑥</sup>辨<sup>⑦</sup>、通政司奏聞、有旨、周之夔<sup>⑧</sup>果否因病乞養、着該撫按確實具奏、不許徇飾取咎、撫臣張國維、按臣路振飛下道臣查報、道臣馮元颺覆言、李應實假借言事、代人游說、妄引祖制、與漕例不合、乃引紅牌例、坐應實說謊欺君、罪在不赦、應實懼及禍、挾奕琛手書至閩、令之夔<sup>⑨</sup>赴闕辨<sup>⑩</sup>、原官可復得、且有不次陞擢、之夔<sup>⑪</sup>母服未終應命、九年八月、之夔<sup>⑫</sup>具呈應天撫按、

(1) 何、原誤乎、據程本且本師本改(2) 釀、原誤劇、師本同、日本誤據、程本原亦作劇、而校改爲釀、從之、案、梅村先生年譜崇禎九年條引文亦作釀(3) 瞞、師本作瞞、程本作肆一字、案、瞞譎或瞞、不甚規範、作滿譎爲宜(4) 元珙既外轉、既原誤復、程本同、又原校以朱筆抹去此五字、且本徑刪而不復存、據師本補回並改(5) 辨、原作解、且本同、據程本師本改、參見校記八(6) 辨、原作解、據程本且本師本改、參見校記八(7) 果、師本作是、案、下文引此旨亦作是(8) 辨、原作解、且本同、據程本師本改、案、前段以來、凡程本師本之辨字、中本皆作解、而力解、解冤等、尚可仍之、至於解白、顯然不如辨白之爲通順、不知中本何以偏作解、凡此等處、概從程本師本(9) 案、原有眉批云、接下、無庸另行、而程本亦至此另起、此仍舊不接下

十月、原任蘇州府推官告病丁艱<sup>⑬</sup>周之夔、具復社首惡、紊亂漕規、逐

官殺弁、朋黨蔑旨疏曰、崇禎九年六月、見邸報、戶部爲新運伊邇等事、奉旨、周之夔去任情由、是否因病乞養、着撫按據實回奏、不許隱徇取咎、臣伏讀驚懼、以廢棄小臣、尙蒙清問、捐糜無地、惟是臣職兌護漕、受翰林院庶吉士張溥、江西臨川告病知縣張采毒害、天下共知、撫按不敢言、卽近日聖明嚴究復社、天下共快、而溥采正復社首惡、寧代受譴、莫肯實對者、同黨相護也、切照蘇屬漕料九十三萬石、州縣各有定額、而太倉鎮海二衛軍儲四萬五千餘石、分派長吳等五縣支給、崇禎癸酉六年十一月、溥采假救荒、用奸書宋文傑謀、奪各縣所派、盡歸掌握、歲扣萬金、而本州漕兌、酒各縣代兌、令州申文、自刻軍儲說、勒臣奉行、臣思祖制、軍儲與兵糧、皆分派協濟、不使聚於一處、管於一人、防奸藉藉手耳、溥采身居海濱阻險、一旦欲聚軍儲、意欲何爲、況州漕卸縣、誰甘鄰壑、未經題請、誰敢亂制、利害所關、臣安得不爭、及劉士斗署崑山、減遠米腳價、激泗州軍變、漕臣禹好善錄臣前揭疏劾、荷皇上寬仁、但降處州官、未誅及豪紳也、溥采可以已矣、乃對訕朝廷、以臣洩忿、粘布謗帖、大肆詬逐、臣見兇醜、屢文乞休、臣母在家、聞禍驚懼、臣師庶子許士柔、南司農鄭三俊、皆教臣急去避禍、今知府陳洪謐、時在南都、亦手書促行、撫按不肯實題、勒改告養、臣出門、溥采令黨顧敏思、陶鎔等罵毆、又坐吳江沈初馨家、伏奸再逞、臣隱忍而去、不意復有運官李應實、義激條陳漕政中、惜臣之去、奉旨查議、及吏部覆、臣爭執軍儲、奉公維法、肩勞任怨、親兄尙在、養例不合、得旨、照舊供職、臣畏溥采情求撫按、不允再題、奉旨復任、溥采又假手下石、臣慮禍思親、憂

煎成病、囑醫徐繼芳害臣、臣不得已、告病致仕、到家一日、僅及訣母、終天抱恨、竊思幼學壯行、幸逢堯舜、豈甘自棄、況俸幾四年、正薦十二次、紀錄舉卓異、遭此不得榮親、竭忠報國、然棄一官而下爭一郡久遠利害、上護朝廷三百年漕規、臣子當爲、困窮不悔、溥采可以已矣、又恨應實公言、創稿授腹吏翁思禮、令府臣陳洪謐稱臣並無爭漕、道臣馮元颺不依律例、擅引紅牌、坐應實說謊欺君、該弁辨冤、通政司咨部、復荷聖明洞照、臣九年八月、本年正月、兩次具呈、僅路振飛批會據實、溥采仍把持狗飾、夫臣爭漕一案、勿論士民公呈、各院批語、鄉紳書牘、卽御前有屢旨也、溥采敢蔑視、而陷殺運弁、以伏殺臣之機、威力制縛、使箝口無訴、臣安得不急求於君父哉、況當日撫臣張國維有爲門下拂衣計、必有一通融題目、始便措處之語、按臣祁彪佳有不佞欲以州官與門下去就、分爲兩截、不必粘帶一團之語、原書具在、則臣去任情由、今日豈容狗飾、至溥采自誇社集之日、維舟六七里、祖道六百人、生徒妄立四配十哲、兄弟盡號常侍天王、同己者雖躑躅亦曰聲氣、異己者雖曾閱亦曰逆邪、下至娼優隸卒、無賴雜流、盡收爲羽翼、使士子不入社、必不得進身、有司不入社、必不得安位、每一番歲科、一番舉劾、照溥采操權飽壑、孤寒飲泣、惡已彰聞、猶爲壅蔽、臣恐東南半壁、從此不可治矣、其他焚場弊、高盜賊、詐鄉民、有證據之贓、已累鉅萬、一疏難盡、容臣列款詳奏、臣母服未滿、何敢冒瀆、緣受害冤深、奉旨嚴查、猶經年寢閣、萬不得已、七千里匍匐伏闕、臣孤立無援、櫻此雄鋒、自分必死、然生無可報國、不惜捐軀、以明漕儲利害、朋黨罪惡、伏望皇上立奮乾綱、

大破黨局、提張溥張采、與臣面鞠得實、乞斬溥采以謝朝廷、并斬臣以謝朋黨、奉旨、該部嚴查具奏、

(1) 艱、程本日本師本作憂 (2) 適、原誤爾、據程本日本師本改 (3) 據、程本日本師本作核、案、下文引此旨作據 (4) 隱狗、程本日本作徇情 (5) 洒下、程本有派字 (6) 及、原作求、程本師本同、據日本改、案、求字似有所自、而在奏疏、謂皇上未誅求云々、恐無此理、作求非是 (7) 初、原作自、師本日本同、據程本改、案、本書上卷國表初集姓氏、吳江惟有沈初馨、沈自炳、而此馨字、諸本並無異同、因從程本 (8) 復、程本日本作後、師本作行後 (9) 思、原誤畏、據程本日本師本改 (10) 臣、原脫、且本同、據程本師本補 (11) 一、原作三、程本且本同、據師本改、案、本書上卷云、各院正薦十二次 (12) 辨、原作解、據程本且日本師本改 (13) 仍、原作乃、且本同、疑誤、據程本師本改 (14) 之語、原脫、且本同、據程本師本補

二月、督學御史張鳳翽久不回答復社事、年例外轉、

丁丑殿試、狀元爲劉同升、榜眼爲陳之遴、探花爲趙士春、皆復社中人也、先是、淮安府推官孫肇興識夏曰瑚 (膚公) 於童試、以儒士入場、而肇興分房、曰瑚卷適在其房、取中頭卷、未得趙士春卷奇之、意在推敲、主司令卜之、肇興見兆曰、兩君後皆爲名臣、不可軒輊也、乃舍之、迨辛未、曰瑚以第三人及第、士春歷甲戌猶未得遇、時士春

制義、力舉先輩、非復向時才情、曰瑚曰、不售由此、丁丑、曰瑚分房、士春亦以第三人及第、時謂衣鉢相傳、後先不爽、浙人忌之、題其榜爲社榜云、

(1) 陳之遴不錄於姓氏諸本、此云皆社中人、似不確

丙子、南場禮記分房松郡司李李瑞和 (名叔元) 與華亭諸生潘辰通關節、有定約矣、編號者失檢初場三號、誤編太倉增廣生孫以敬、二三場則無訛、榜發、以敬魁選、辰落孫山、及操公舉、以敬之後場、則潘辰卷也、辰家富、交遊廣、捐重幣而不得雋、刻揭言以敬割卷弊中、以敬天如門下也、言之郡守方岳貢、制辰使不得逞、偕瑞和迎入衙署、許以貢入北雍、來科鄉場補薦、辰不得已、勉從之、及以敬赴北會試、辰尾之而行、意尚不能忘、吳偉業聞之、密爲以敬地、時禮記分房、一爲夏曰瑚、一爲羅大任、偉業以以敬囑之、既入闈、曰瑚病痢劇甚、同策視疾、曰瑚口已不能言、見枕畔有一卷、大任取閱之、尙未動筆、衆皆曰、此必膚公所心賞也、遂薦之、主裁者知其故、因皆批取中、拆號果爲以敬卷、曰瑚竟卒於闈、潘辰見以敬聯捷、乃無言而歸、

(1) 名叔元、原無、師本且本同、據程本補

六月、司禮監曹化淳使人發張漢儒、陳履謙陰事、訐之東廠太監王之心與錦衣衛掌印指揮吳啓明、拷訊得實、立枷長安門、錢謙益之獄乃

解

(1) 門下、程本有死字、案、初學集二五丁丑獄志云、履謙漢儒藩三人、立枷死長安右門外、又明史溫體仁傳云、帝命漢儒等立枷死、死字雖似後補、而亦有據

大學士溫體仁再疏引疾、得旨允之、遣行人吳本泰護行、辭朝日、揭薦太常寺少卿薛國觀、大理寺少卿蔡奕琛等可大用、上納之、八月、陞薛國觀禮部右侍郎、拜東閣大學士、入閣辦事、奕琛刑部右侍郎、蔡國用工部右侍郎、范復粹刑部左侍郎、

(1) 案、明史范復粹傳云、由大理右寺丞進左少卿、超拜禮部左侍郎兼東閣大學士、據此、復粹未嘗爲刑部侍郎也

是年閏四月、工部主事朱國壽題、爲假言騙官、欺君辱國、懇乞明斷立加褫逐、以雪公憤、以光青史事、切惟六垣之長、表率諸司、風勵天下、爲皇上耳目第一官、責綦重矣、所以皇上慎選其人、拔之制科、徵其才品、試其治行、尤必考之鄉評、酌之公議、凡此蓋恐一落彘狗、遂辱官方、辱朝廷、以辱天下後世也、今陳啓新何物么麼、假滅祖叛聖、坑儒亂世之言、遂驅六垣之長、今皇上用之、誠可以愧制科、勵制科矣、獨不思啓新久爲漕運司書手乎、免狡蠅營之醜、舞文弄智之巧、大有所得、遂鑽武舉、謂啓新爲武舉也、矧小孱夫、絕無起壯

氣、謂啓新爲文士也、錄寫掾役、亦非諂諂吉人、以不文不武之書手而用之、才品何在、鄉評公議又何在、乃竟儼然爲垣長也、臣前治內江聞之、猶以爲此必異人、皇上賞識、乃在尋常之外、諒漸敷奇見、樹奇助、以應皇上闢門之求、以短制科之氣、使天下後世傳誦皇上當夷氣寇劇之時、有撥亂反治之一異人也、孰知日以及月、月以及歲、不過煩瑣細碎之事、苟且以塞責、大負皇上委任之心、幸奉聖旨、陳啓新自破格特用後、軍國大事、竟無一陳奏、着降二級照舊、欽此、大哉皇言、已窺破啓新之假騙矣、用一格外之啓新、未暇計時之上理、祇以長宵小躍等無上之奸、啓匹夫無級而升之臆、當此劇寇猖狂、尙可開此端以引叛亂哉、天下之人、憤憤久矣、奉皇上明旨、誰敢言哉、然天下之人不敢言、惟輔臣可以言、輔臣休容之度不屑言、惟臺省可以言、至臺省而不言、臣知其故矣、大約謂我制科也、啓新一書手也、制科而與書手爭、不智矣、遂成啓新之蒙面、各自尸其位、此省臣章正宸疏、恬嘿自完、但獲一官、有味其言之也、噫、輔臣應挽回而不言、臺省應駁正而不言、乃言者獨一官生之楊光先、臣是以有感於制科之不必設、而深慕楊光先之有激而言也、臣今日者、第求爲侃侃之忠臣、不願爲嘿嘿之良臣、以負皇上之納言、天心回而霖雨布、將天開泰運、而澤不溥於無疆乎、遂出位妄言、不避斧鉞之誅、不避啓新報復之禍、伏乞鑒臣愚忠、寬臣狂瞽、照假騙以申國法、庶傳之天下後世、聖明一轉圜而欺辱之褫、青史增光矣、奉旨、陳啓新已有明旨了、朱國壽何又踵襲瀆陳、至滅祖叛聖坑儒等語、尤屬誕妄、着吏部議處、

(1) 表率諸司、程本作表帥諸臣、師本作表帥諸司、下勵字、程本師本作厲 (2) 麼、原誤魔、旦本同、據程本師本改 (3) 手、原脫、旦本同、據程本師本補、下乎字、師本脫 (4) 智、原作知、據程本旦本師本改 (5) 屨、原作弱、旦本同、據程本師本改 (6) 據、原誤稼、據程本旦本師本改 (7) 竟、原脫、據程本旦本師本補、一下、程本有言字、案、上文錄此旨、與程本同 (8) 暇、原誤悟、旦本同、據程本師本改 (9) 啓下、原衍新字、旦本同、據程本師本刪、下臆字、原校改爲噫、旦本徑作噫、據程本師本改回、案、中本既衍新字、文義遂不通、因改臆爲噫、誤 (10) 明、原作聖、旦本同、據程本師本改 (11) 臺省、原作臺臣、旦本同、師本作省臣臺臣、據程本改、下同、案、下有臺省應駁正之語、作臺臣非是、臺省、蓋謂臺諫給諫、下云省臣章正宸、可以爲證、其云省者、給事中舊隸門下省也 (12) 智、原作知、程本旦本同、據師本改 (13) 明、程本旦本師本無

九月、左諭德黃道周疏劾楊嗣昌奪情、觸上怒、降江西布政司都事、時烏程謝政、淄川張至發爲首輔、

十月、應天巡撫<sup>①</sup>張國維具疏回奏、爲直陳漕儲無誤之實、理官去任之由、明公道以祈聖鑒事、吏部咨、原任蘇州府推官今致仕周之夔奏、爲復社首惡、擅作威福、紊亂漕儲、逐官殺弁事、奉旨、該部嚴查具奏、咨查崇禎九年八月、戶部爲新運伊邇、漕政可虞事、蒙部覆、奉旨、周之夔去任情由、是否因病乞養、着撫按確查、據實具奏、不許狗飾取咎、職時身在行間、未遑會覆、且以周之夔疑礙遲臆、久當自

悔、不意其母服未終、赴京上疏、復奉旨嚴查、夫之夔之去任、謂由爭漕也、臣請先言漕儲之無誤、以破其借端可乎、蘇郡兌漕之外、復輸倉糧、以養本地之軍、名曰軍儲、漕兌苦於橫軍勒索、耗贈日增、而軍儲則在地方交納、絕無耗贈、小民利之、崇禎四年、太倉州值風潮傷稼、知州劉士斗請將他邑輕糧軍儲歸之州額、以本邑漕運扣還各邑、此在州言州、出於救荒之迫念、前撫臣莊祖誨有漕儲二項、豈得<sup>⑥</sup>更交易互兌之批、前按臣祁彪佳有漕運屆期、作速料理、毋使州民藉口觀望之批、事遂不行、至士斗署崑山、爲運弁張景文逞兇毆辱、事在崇禎六年、與太倉軍儲之議、原係兩時兩事、迥不相涉、且其時崑民相率兌完、亦與太倉無異、漕儲之無誤、已較然矣、無所誤而何必有爭、無所爭而何以求去、則因有私揭一事、爲公論所擯、乃借題以相陷也、之夔與士斗同年同事、然懷有夙隙、暗將士斗恤災詳文、指爲獻媚鄉紳、具揭于總漕巡漕兩臣、而撫按不知、迨總漕巡漕兩臣因崑山縣運軍狂逞、并糾士斗、因軍儲一節、拈出之夔私揭、於是都中訛議之夔者籍籍、臣時叨有撫吳之命、實稔聞之、之夔見士民籲留士斗、自知無所容於公論、而去志從此決矣、其詳文有曰、總漕巡漕探職言入告、致劉士斗爲法受過、職獨何心安位苟容、似此數語、真心未泯、深慚私揭之非、可爲去任之鐵案、所云誤漕爭漕、皆蛇足也、初次具詳、卽以終養爲詞、及展轉求去、臣惜其才、冀以善全其終、就案詳所請歸養、代爲具題、誰爲強勒之乎、迨蒙恩復任、臣等交相慰藉、人情絕無齟齬、之夔可以相安矣、忽而成病、一臥數月、輿疾竟歸、此固國人所共見聞、非有他端、臣又不得不爲具題矣、夫前之

求去、由私揭發露、有漕臣之疏可稽、後之決去、由真病纏綿、有道府勸詳可據、乃曖昧之情、欲掩覆於己、陰陽之患、反委咎於人、揣其意、不過從一官起見、然不妨徐為申理、胡為當陸文聲、張漢儒高張之時、奔馳赴闕、拾其唾餘、但知好秀自口、不顧衰服在躬、士類鄙之、臣又焉能曲庇之乎、至於疏中摭拾、語語張大其詞、似乎張溥、張采有紊亂把持之事、宜動聖明詰究、臣等為朝廷執法、如果壞漕千紀、敢後鷹鷂之逐、但年來漕兌如故、軍儲如故、旂軍與百姓相安如故、其相生端者、獨有之變與欠漕之奸弁李應實耳、然之變即百端借訐、張溥、張采無片語相干、又國人所共見聞也、若仍舊而坐以紊亂則漕運之功令無憑、若靜聽而坐以把持、則紳民之耳目俱亂、臣正為漕政慮、為地方慮、不能增無事以為有事也、臣會同巡按王志舉、合詞據實上奏、仰祈聖鑒施行、得旨、該部一併參看來說、

(1) 撫、原誤按、據程本且本師本改(2) 吏部上、師本有崇禎十年七月十三日九字(3) 病、原作疾、且本同、據程本師本改、案、上文兩引此旨俱作病(4) 案、太倉歲荒、事在崇禎六年、本書上卷述之頗詳、知畏堂文存十一軍儲說附自跋、亦與之合、此云四年者誤而諸本皆無異同、下文又有兩時兩事之語、此疏原文、當已如此(5) 還、原誤運、據程本且本師本改(6) 更、原脫、據程本且本師本補(7) 兌完、程本師本互錯(8) 任、原誤位、且本同、據程本師本改(9) 祈、原脫、據程本且本師本補(10) 併、原作并、據程本且本師本改、又參下、程本師本有着字

爾時又有怨惡復社者、託名徐懷丹、製十大罪檄、文曰、復社之興、主為張溥、佐為張采、幾二十年、下亂群情、上搖國是、種種奸惡、禍變將來眉睫、愚衷哀痛、嘗著論說於數年之前、而伏在寒陋、畏懼莫敢倡言、今賴祖宗之靈爽、天子之明聖、闢聰遐矚、不遺封非、早察其逆惡、布告天下、將有懲創之舉、海內風動、企踵拭目、謂流寇可靖、夷氣可息、凶荒可救、太平有日、不勝喜極破涕、但伏思之、公道久廢、正氣不伸、蠱惑既衆、詔誣復多、使不明正其罪狀、將復飾說以欺罔、禍本不除、必滋決裂、迨其傾覆、挽回何日、用敢節舉十罪、開訴四方、上冀天威銷燬之有日、下幸世道至公之猶存、凡抱惘忱、共祈鳴鼓、

一曰僭擬天王、春秋之法、誅心為烈、素王之政、正名為先、惟天王至尊、故稱天以臨之、降自王侯、不敢匹也、張溥何人、敢僭號天如或曰、此妄自尊大耳、非其心也、何以有朋黨結衆之社、始名應社者易曰、湯武革命、應乎天而順乎人也、今名復社者、易曰、復其見天地之心也、溥固讀易者也、居聖朝而萌革命之志、為臣子而冒天地之稱、是可忍、孰不可忍乎、或曰、此隱自僭擬耳、非其著也、何以榜示同志之書、前額名文匡者、語曰、一匡天下也、繼額國表者、詩曰、表正四國也、無將之心、溥固儼然命之而無忌矣、或曰、此名適湊合耳、非其實也、何以更有稱朕稱妃之實跡、其稱朕者、一再見于舉要錄之後批也、容可竄也、其稱妃者、則直勒諸碑文墓誌之首也、不可沒也、鹿馬之指、溥公然居之而不疑矣、張王治、張源、張漣、張質先、張濬、張泳等、時稱十常侍、諺呼十大王、挾以江南小天子之威

令、跨海<sup>②</sup>連州、聚財納叛、隱姓埋名（一名李樽、一名沈京應）、意欲何為、甚至金錢較射、一郡拳勇之徒、趨之若狂、則張采實輔之、此罪之魁也、其罪一也、

（1）者、原脫、且本同、據程本師本補（2）海、師本作縣

一曰妄稱先聖、仲尼至德、遠于堯舜、蕩蕩千古、莫之與京、溥采何人、竄竊其位、號西南兩聖人、趙張王蔡、友名四配（趙自新、張誼王家穎、蔡仲）、孚肇敬煥、徒曰十哲（呂雲字、吳偉業、金達盛、胡周鼎、周肇、孫以敬、許煥、周羣、吳國杰、穆雲桂）、人人公輔、賢於七十、處處同門、數過三千、口詩書而蹈無賴、躬奸宄而矜聖賢、誕妄不經、戲侮凌蔑、其罪二也、

（1）案、十人序次、程本師本稍異、金胡二人在許煥下

一曰煽聚朋黨、朝野清寧為福、至治大道為公、仕官勤職守、士子厲志行、貴賤不可相援、出處何必互徇、茲者沿戶聚徒、到處要盟、勢利行而廉恥喪、奔競急而業務墮、乃至千里赴會、停棹動以萬艘、一刺典謁、簿註輒已盈箱、贊儀行賂、勤於輸餽、郵筒薦引、急於羽符、下至僧道優倡、入社而聲價驟貴、微不至星醫卜相、入社則技術乃行、上方三君八俊、品行何稽、下比八關五鬼、奸鄙已極、嗚呼、從來朋黨、雖清流人望、鮮不起釁國家、況乎此輩、有不為喪亂之階乎、其

罪三也、

（1）起釁、原互錯、且本同、據程本師本乙改

一曰妨賢樹權、夫賞罰者人主之柄、取舍者賞罰之原、今未及比試、名第預揭、若非周張之徒、即為楊顧之黨（周為周鍾、楊為楊彝、顧為顧夢麟）、魁元成於齒頰、增廩定於赫蹏、遂使司衡空設、登落一決於黨人、好修無憑、榮辱惟視乎盟社、嗟乎、明主求賢、惟日不足、今年嚴試較、明歲復薦舉、詔諭不下數十、糜費動以萬計、然揔不出溥采之黨、則何不直宣三子、博徵國表諸士、咨以王伯之略、富強之策、與拳勇騎射方術之輩、上不至升天、下不至入地、凡宇宙可辦之事、古今曾有之人、無不羅儲於社中、稽名進用、考較不煩、帑藏不費、關防不設、時日不曠、豈不公私交利、乃使黜陟謝於私門、恩威不出主上、何其謬乎、其罪四也、

（1）周為楊為顧為各二字、程本師本無、上文即為之為字亦無（2）定、原作成、且本同、蓋因上文而誤、據程本師本改

一曰招集匪人、夫實行之士、杜門自守、卓犖之英、譬折為羞、故子治不通交於高蔡、巨勝獨抗節於伯車、跬步自好、出處可觀、茲何獨拜床下、不過名豪權貴之家、傳經帳中、悉是財虜勢雄之子、汎首高尻、廉恥掃地、懷金挾刺、奸詭插天、同門分據於要津、兜渠羽翰其

門戶、或號神行太保（孫孟樸）、或呼智多學究（曹聞遠）、傳檄星馳電發、宴會糟丘肉林、夫公薦國寶、桃李猶嫌私植、陰署隼犬、爪牙將以誰施、豈無異人誤附狡窟、徒令菜傭浪詫仙舟、然而醜類既繁、能無邪慝之作、怙勢無已、必有睥睨之心、此其罪五也、

(1) 警、原誤警、且本同、據程本師本改(2) 治、原誤治、師本且本同、據程本改、案、夏馥、字子治(3) 此、原有朱校抹去、且本則徑刪不存、不從、下同、罪十、中本亦不復存、據程本師本補

一曰傷風敗俗、彝倫敦于門帷、化行務去澆漓、故修于家者、不驚其名、篤于志者、不惑乎勢、里族所以樸茂、政令所以易施也、今者蠹附蟻趨、成炙手之勢焰、狐據鼠竊、深腐心之隱謀、或士子而插盟黨道、或縉紳而奴隸衣冠、富貴爲遊、子可以逐其父、名勢所倚、弟可以傾其兄、惟利是親、惟名是友、貧交儉戚、棄如仇寇、老成愿士、賤若死灰、故時俗所稱五倫、僅有其二、二者又喪其半、蓋謂父知愛子、子不知愛父、情篤夫婦、涼炎轉離合也、其餘長幼朋友以及君臣、又何有乎、如此悖惡、習以成風、恬不知怪、此其罪六也、

(1) 澆漓、原互錯、師本且本同、據程本乙改(2) 父、原誤人、程本且本同、據師本改

一曰謗訕橫議、政治得失、有言責者當建明、有職守者當奉法、且其

才可用、雖<sup>①</sup>邪奚何惡于仇、苟無可取、卽馬服不私其子、所以効忠貞而示至公也、茲者黨人未卽大用、則君不是、朝廷黜其私人、則相不是、惟復社乃有經術、惟復社乃有功名、外乎黨者則斥之、異我朋者則非之、曾閔夷齊、閉門難述德行、張韓衛霍、寡交難列才能、遭其毀薄、王公可驟失貴、邀其盼<sup>②</sup>、寒峻可立致身、噫嘻、踐露知暑、履霜知冰、盟社至此、殆莫測其所終、此其罪七也、

(1) 邪、原誤祈、且本原同、而校改爲邪、據程本且校師本改(2) 朋、原誤用、且本同、據程本師本改(3) 盼、原作盼、師本同、據程本且本改

一曰污習喪品、士子人倫之羽儀、縉紳國家之楨幹、志趣不高明、無以爲風化、行止不端方、無以爲事功、惟茲復社、名爵所聚、慕效攸關、乃遊博馬吊之戲、老傳而重習、中菁賈豎之言、塗誦而口占、誇豪舉于一擲、錙銖動成詭言、買歡笑于千觴、別袂已見睚眦、族謀朋誘、貪同椎劫、調欺虐誑、薄若刀鋒、座則紅粉成行、宴必梨園空國、使財賈民媮、蝨賊莫救、端實由斯、此其罪八也、

一曰竊位喪功、窮有操守、故達有廉節、學務沈密、故事多幹理、今此復社、歷數名貴、指方多屈、實稽成迹、錄無片長、大約處錢糧、則先囊橐而後國儲、司銓選、則最黨賄而殿公道、理刑獄、則曲直淆而貧富別、臨戎馬、則戰勝屈而遜避精、種種伎倆、惟見韜晦、班班功效、何人建明、夫以堂堂天朝、曾無一人展頗牧之猷、追管樂之略、

卒使聖主有仰屋之嘆<sup>2</sup>、忠良同晨星之數、典戎無功、幹方莫理、乃至于此、良由此輩故<sup>3</sup>、尚怪偽、立樹黨權、懸旌叫噪、攘臂銜鬻、使風聲之子、罔迷而失所學、瓊瑰之彥、懷羞而不肯干、故人才零落、衰弱日甚也、自是制科無人、不得不任貂璫、文臣無人、不得不任武弁、理勢必然、無足怪者、今不思自尤、平日鮮志操、少學術、生無以慰聖天子之望、死不足以塞責、乃群相致憾于引用之謬、流品之雜、抑何說歎、此其罪九也、

(1) 成迹、程本作政績、師本作成蹟 (2) 嘆、程本師本作咨 (3) 故、程本師本作攻 (4) 樹、程本空一格、師本作僅、中本原作懂、而校改為樹、且本徑作樹、案、僅僅俱誤、此從原校及且本

一曰召寇致災、側陋揚而幽憤釋、真才獲而任使精、疹整所以消、寇亂所以平也、今社黨布結、橫于朝野、主司無非社友、府縣多是朋徒、杯酒相囑、驚駭可以更價、苞苴所遺、鴉鳳無妨變形、故雅好自重、有惟谷窮塗之嘆、朴直不阿、無滌洗霽浴之恩、怨毒憤盈、則好亂樂禍之徒、不呼而集、悲愁沈滯、則愆陰伏陽之變、有召而來、近歲風蝗繼作、流寇陡發、天人之應、實有相因、此其罪十也、  
嗚呼、牛李興而唐不振、蜀洛角而宋以衰、朋黨之禍、自古有之、實因族類太別、則好惡恒僻、志氣既乖、則爭鬪必紛、積輕成重、羽可覆舟、上誤君父、下悖物情、況以越州踰郡之衆、諸教雜流之技<sup>1</sup>、誣罔驕狠之習、險詐詭鄙之謀、相率推戴此狂妄之溥采、閉賢路、絕公

道、布爪翼、恣貪詭、靡人不有、靡凶不爲、雖社稷靈長之福、萬萬無窮、亦豈堪爲斯輩腹削乎、是真當痛哭流涕而急以上聞者也、某等艸莽疎賤、忠憤自矢、伏讀制書嚴切、仰望鋤奸誅叛、激濁揚清、不得更容逆黨、永長亂源、如其有此、則君子之道終消、治理殆不可復、非志士裂冠毀冕之日、卽忠良忘生勵節之秋、當不憚君門萬里、要斧鑕而鳴其罪矣、特此露布、以彰公討、至于吞婪武斷、耗弊鄉曲、又通行之惡、非賊國之原<sup>3</sup>、無重爰書、何堪毛舉<sup>4</sup>、嘉定徐懷丹布、

(1) 技、原作伎、據程本且日本師本改 (2) 弊、原作斃、據程本且日本師本改 (3) 原、原作源、據程本且日本師本改 (4) 毛舉下、師本有崇禎柔兆困敦歲強圉作噩月十二字

按、兩張文章氣誼、海內宗仰、久爲浙人忌嫉、又天如主盟社局、引掖名流、攻擊浙黨、不遺餘力、烏程仇之尤甚、百計中傷、因造款傳布中外、當時幾陷不測、幸天如早世、得免於禍云<sup>3</sup>、  
(1) 又、程本作及、師本作乃 (2) 掖、程本師本作拔 (3) 布、程本師本作播 (4) 陷、程本師本作陷 (5) 案、程本有注云、此書非復社中人所撰、故品評公允、序事詳確、玩此條語氣、明是其後人所增、非作者筆也

張天如著書甚多、有七錄齋集、近集、史論一編二編若干卷、史論

略、春秋三書、所輯有十三經註疏、及合纂、史則有歷代文典、文乘、及崇禎大典、尙未成、已行世者、有通鑑紀事本末、宋元紀事本末、評定南北史魏齊周書、<sup>(4)</sup>子則取文選、廣文選、唐文粹、宋文鑑、元文類彙之、名曰五彙、<sup>(5)</sup>又有百名家集、歷代名臣奏議<sup>(6)</sup>、

(1) 張天如、程本無張字、師本作張溥、下書字、程本作述、案此條原有眉批云刪、日本卽不錄、殆非偶合、又師本此條在先、而上一條在後(2) 近集、師本無(3) 若干卷、師本在春秋三書後

(4) 案、子、當作集(5) 又有百名家集、師本作合漢魏六朝諸文人共百有三人、名曰百三名家、集古今奏疏、名曰(6) 案、原有注云、崇禎十五年八月、以御史劉熙祚言、命江南提學御史、輯解張溥所著述進覽、程本亦有注云、此條見張日瑞通鑑紀事跋、張之後人所增無疑

復社紀略下卷終

本稿は「中華文人の生活」班(荒井健班長)の報告である。